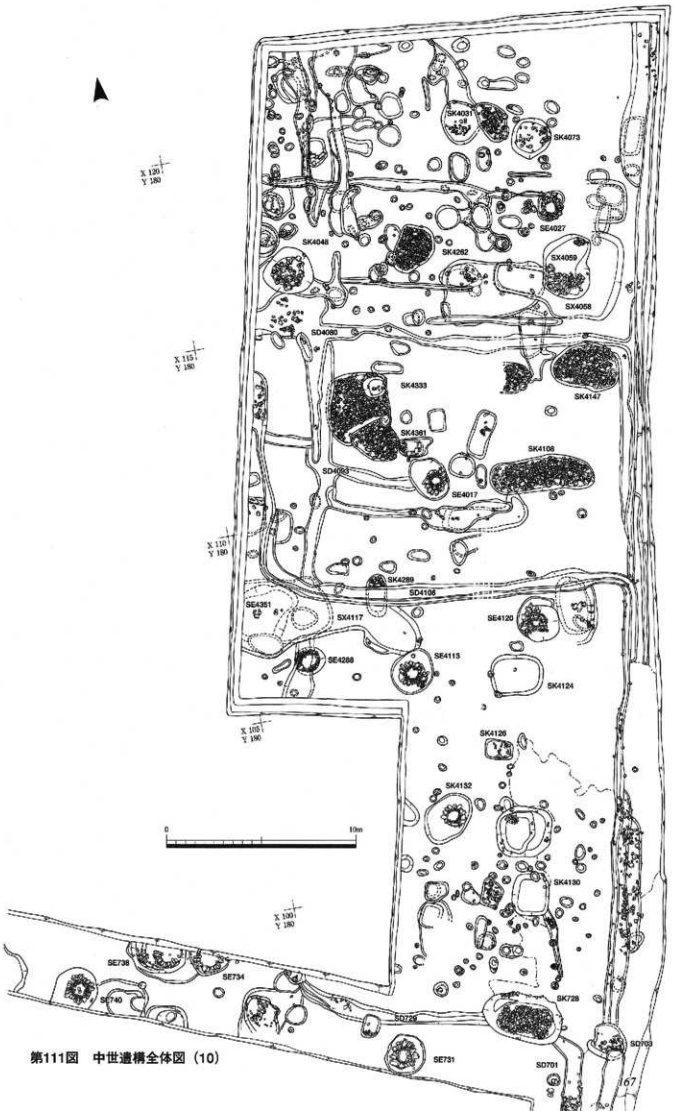
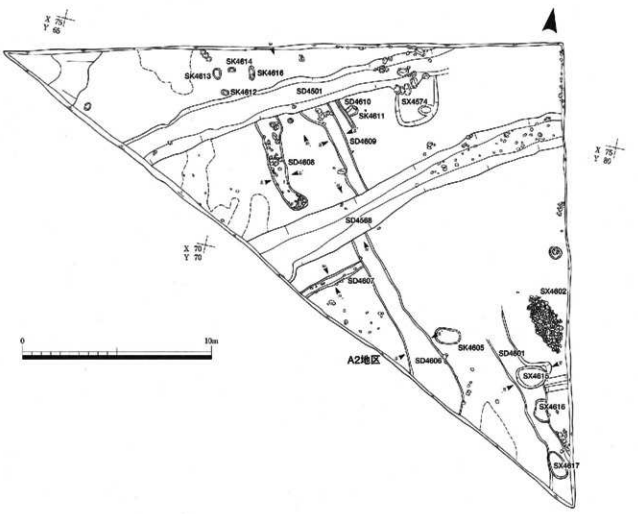


第111図　中世遺構全体図（10）



第112図　中世遺構全体図（11）

C　中世末～近世

①B２・３・４・４S・６地区（第113図、図版43）

B２～４・４S・６地区では、中世末～近世にかけて畠を中心に、掘立柱建物や土坑等を検出した。畠はB２・３・４地区で確認された。南北の溝とそれに直行する東西の溝による区画内に、等間隔で並ぶさく状遺構が検出される。B２地区南側からB３地区北側にかけて畠や区画溝が最も顕著に確認され、その他の地区では区画溝が部分的に残る。B３地区の東側に南北方向に延びるSD1050・1067がある。その溝の東側は遺構の希薄な空間が広がっており、別の土地利用形態が想定できる。また、北はB２地区のSD646、西はB４地区のSD2008の両岸で、遺構の分布形態が異なる。それらの溝に囲まれた約60m×60mの範囲が畠地となり、更にその内部を区画溝で小区画化している。区画溝は真北より東へ約20°振れており、ほぼ同位置で同一方向の溝が２回ほど造り直されている。遺構の配置や重複関係から上下２面の区画の変遷を想定した。スクリーントーンをかけて示しているSD595・646・1040・1050・2001・2008等が上層、SD645・647・1042・1067・1705・2002・2170等が下層のものである。小区画は約20m×20mの小規模なもの、約30m×30mの大規模なもの、南北約30m東西約20mの中間規模のものに大別でき、更に規模の明らかでないものが数例ある。この様な小区画が調査区内で10枚以上あったようで、形状は長方形ないしは方形を基本とする。これらの区画内に、南北方向や東西方向のさく状遺構が分布している。さく状遺構間の間隔は約１mとなっている。また、さく状遺構同士が重複する例もあり、新しいものが上層、古いものが下層に伴うさく状遺構と考えられる。なお、調査区の北東に位置するB６地区からは、耕作に伴うと考えられる微小ピット群を検出した。円形で0.05～0.1m程度の径を有し、覆土はいずれも耕作土に類似した淡灰褐色砂質土である。杭跡なども一部混じるかもしれないが、基本的には耕作物の抜株痕と考えており、構造物を作るために形成された遺構とはみなしていない。この他、上層の遺構としては竪穴状土坑や土坑、溝が確認されている。SD646の北側に畠は認められず、遺構の分布は希薄な空間となる。また、竪穴状土坑であるSK658があり、整地のための礫の廃棄もしくは排水施設と推定されるSK655などがみられ、居住空間と考えられる。下層では上層の区画割りとほぼ同じ位置に区画溝がみられ、上層の区画が下層の区画を踏襲して作られていることがわかる。なお、西側のB４地区には掘立柱建物SB44が検出され、この部分が居住空間であったと推測できる。この様な屋敷地は平成８年度に調査した持田Ⅰ遺跡でも２例が認められ、いずれも約40mの方形区画内に数棟の建物や井戸が設けられていた。遺構の時期は上層のものが17世紀、下層のものが16世紀末と考えている。

掘立柱建物

SB44（第114図）：畠地西側の遺構の希薄な空間にあり、X83Y135に位置する。３間×２間の側柱建物であり、ここでは桁行３間、梁行２間の東西棟として復元した。桁行６m、梁行3.4mを測り、面積20.4㎡、主軸はN－31°－Wである。柱穴堀方は円形もしくは楕円形を呈し、直径0.24～0.36mの大きさで、現存する深さ0.14～0.56mを測る。桁行柱列の東側部分の柱間距離が他の柱間距離に比べ2.5mとやや長い。柱穴覆土はにぶい黄褐色砂質シルト、灰黄色褐色シルトである。明確な付属施設などは認められない。

土坑

SK657（第115図）：SK658の南西側に配置されている。円形の堀方をもち直径約1.7m深さ0.53mを測る。底には直径20～40cmの石が不規則に埋まっておりSK655と同様であるが、SK658がこの土坑を意識した堀方になっており、SK658に伴う利用のされ方が窺える。そのためSK655とは異な

る利用のされ方も考えられる。覆土からは土師器、越中瀬戸が出土している。

SK658（第115図、図版44）：X85Y173に位置する隅丸長方形の土坑である。長さ4.46m、幅3.33m、深さ0.2mの浅く広い掘方をもつ。土坑内部には規則的に直径40cm大の石が配置されており、土坑を埋めた状態で利用されたと考えられる。周辺から石は確認されていないが、土台建物の一部と考えられ、遺構配置からSK657・661・667が、この土坑に関連する遺構と推測している。覆土は黄灰色砂質シルトで土坑部分を整地し、土間などに利用していたのであろう。覆土中からは土師器・中世土師器・八尾・越中瀬戸が出土している。

SK661（第115図、図版44）：SK667の南側に隣接する長方形の土坑で、規模は長さ1.86m、幅0.96m、深さ0.4mと南北に長い。直径30cmの半らな石13個を長方形に並べており性格は不明である。

SK667（第114図、図版44）：X90Y175に位置する。不整形の掘方で、長さ11.47m、幅5.51m、深さ0.56mを測る。土坑の東側は張り出し状に突出しており、内部から40cm大の石が出土している。土坑内部および周辺に柱穴は認められないが、土坑の形態は梅原胡摩堂遺跡のSK8966や東北地方の竪穴状遺構によく似ている。柱穴が認められず、整地跡の可能性もあり断定は出来ないが、SK658の様に土台建物の一部と考えられる遺構が周囲にあること、島地から離れた、遺構の希薄な居住地に配置されていることなどから、建物に関連する遺構と推測したい。覆土からは土師器・須恵器・中世土師器（672～682）・珠洲・八尾・越前・青磁（683）・越中瀬戸が出土している。また土坑の南東側周辺のX87Y178からは銅銭（2012～2028）が錆銭の状態で出土し、植物体の紐が通されていた。

溝

溝については大小様々なものを確認した。第116・117図はさく状遺構を示した。第118図は主な区画溝の断面で、断面を記録した位置は第113図に掲載している。

SD555（第118図）：X75Y160付近に位置する東西溝で、島の小区画の境界溝である。幅0.52m、深さ0.12mを測る。覆土中から中世土師器・珠洲が出土している。

SD646（第118図）：X80Y160付近に位置する東西溝で、島地部分の北端に位置する。島の境界を示す区画溝と考えられ、北側に遺構の希薄な居住空間が広がる。幅0.8m、深さ0.16mを測り、覆土中から中世土師器・珠洲が出土している。

SD671（第118図）：調査区全体の東端に位置する南北溝である。幅0.45m、深さ0.09mを測る。同方位を示すSD672・673があり、3者ではSD672が最も新しい。中世の溝（SD701・703）とも共通の方位を示し、中世からの区画が踏襲されている様である。覆土からは中世土師器が出土する。

SD672（第118図）：上記と同様の検出状況である。幅0.76m、深さ0.12mを測る。覆土中から須恵器・中世土師器・珠洲・伊万里・石製品などが出土している。

SD673（第118図）：上記と同様の検出状況である。幅0.94m、深さ0.12mを測る。覆土中からは中世土師器・珠洲が出土している。

SD1027（第113図）：調査地全体の南東隅にある南北溝である。島地の東側に遺構の希薄な空間、約20mを挟んで配置されており、この溝の東側に何らかの空間が想定される。幅0.71m、深さ0.11mを測る。SD1020・1028と重複し、ほぼ同様の配置状況だが、SD1027の方が小規模となる。重複関係から三者の中では最も新しく、覆土中から中世土師器・珠洲が出土している。

SD1040（第118図）：調査地中央に位置する東西溝である。Y160付近で南北に分岐し、しばらく平行に延びた後、南北方向にそれぞれ延びる。覆土中から中世土師器の皿（915・916）・珠洲・八尾・瀬戸美濃の水滴（923）が出土している。

ＳＤ1041（第118図）：Ｘ60Ｙ148付近に位置する南北溝で、ＳＤ1040と合流する。畠地を小区画したもので、幅0.7m、深さ0.26mを測る。覆土中から中世土師器・珠洲が出土している。

ＳＤ1042（第118図）：Ｘ60Ｙ160付近に位置する東西溝である。配置や性格はＳＤ1040と同様で、ＳＤ1040よりも古い。幅0.84m、深さ0.08mを測る。覆土中から中世土師器・珠洲が出土する。

ＳＤ1043（第118図）：Ｘ55Ｙ160付近に位置する南北溝で、幅0.7m、深さ0.04mを測る。ＳＤ1040・1704とで畠地を囲い小区画化する。覆土中から中世土師器が出土している。

ＳＤ1050（第118図）：畠地全体の南東端に位置し、畠地の境界となる。ＳＤ1067よりも新しい溝で、幅0.8m、深さ0.09mを測る。覆土中から中世土師器・珠洲・八尾が出土している。

ＳＤ1067（第113図）：上記と同等の検出状況である。幅0.85m、深さ0.23mを測る。覆土中から中世土師器・珠洲・八尾が出土している。

ＳＤ1063（第118図）：調査地の南端に位置する東西溝である。この溝よりも南側の遺構はやや希薄である。幅0.8m、深さ0.05mを測る。覆土中から中世土師器・珠洲が出土している。

ＳＤ2001（第118図）：ＳＢ44の北幅に位置する東西方向の区画溝である。居住地の区画は２回ほど重複し、ＳＤ2001が最も新しい。幅0.52m、深さ0.16mを測り、覆土中から伊万里が出土している。

ＳＤ2002（第118図）：ＳＤ2001と重複する溝で、配置状況もＳＤ2001を踏襲する。幅0.56m、深さ0.16mを測り、覆土中から土師器・中世土師器・珠洲が出土している。

ＳＤ2008（第118図）：ＳＢ44の東側に位置する南北方向の区画溝である。幅0.78m、深さ0.18mを測り、覆土中から土師器・須恵器・中世土師器が出土している。

ＳＤ2032（第113図）：Ｘ70Ｙ150付近にあり、畠地の南および東側を小区画するＬ字状の溝である。幅0.26m、深さ0.07mを測る。調査地の畠群はこの様な小規模の溝状遺構によって、小区画化されたようである。また畠地全体の境界にあたる溝についても小区画のものとほとんど差異はない。

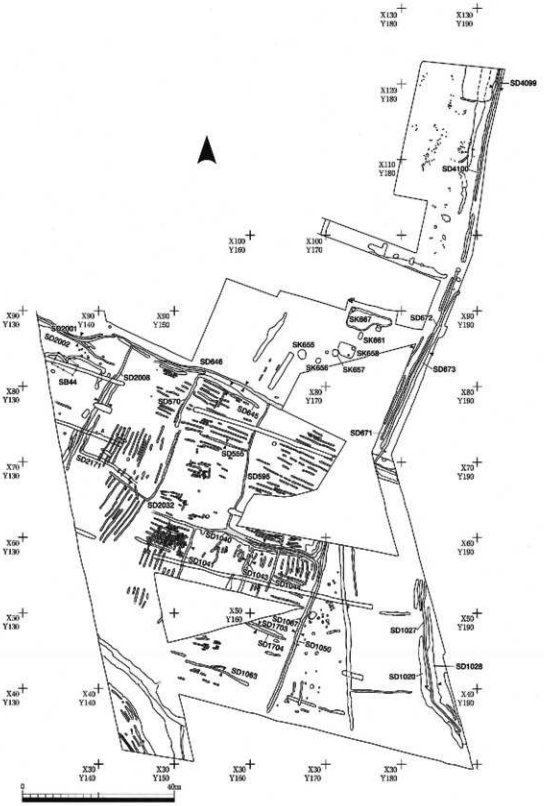
ＳＤ4099（第113図）：Ｂ６地区にある南北溝で、同一方向に延びるＳＤ4100と重複しており、ＳＤ4099の方が新しい。幅0.74m、深さ0.08mを測る。ＳＤ672の延長上にあたり、同等の性格が想定される。覆土中からは土師器・須恵器・中世土師器・珠洲・八尾・瀬戸が出土している。

ＳＤ4100（第113図）：上記と同様の出土状況である。幅0.64m、深さ0.24mを測る。覆土中から土師器・須恵器・中世土師器・珠洲・八尾・瀬戸・伊万里が出土している。

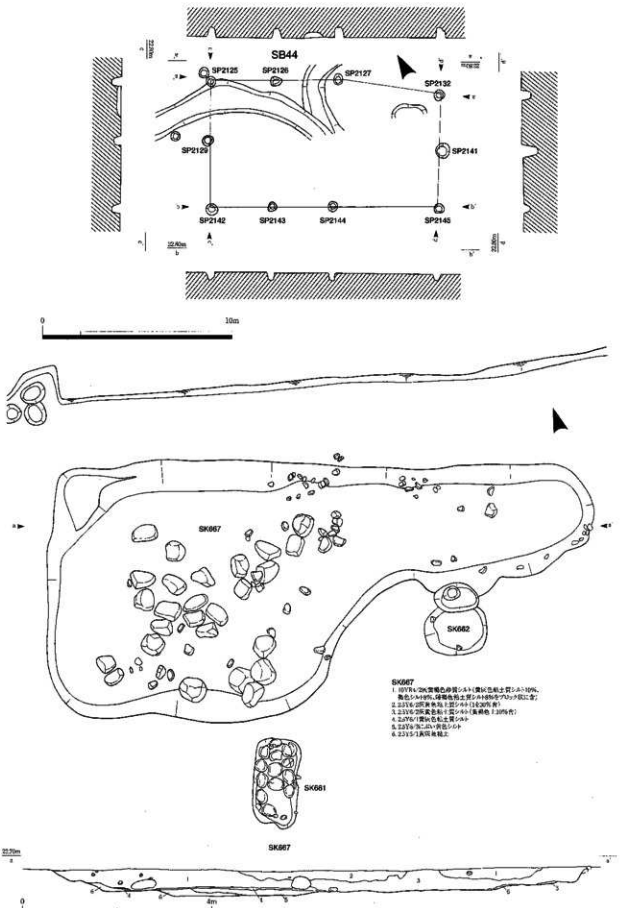
小区画（第116図）：Ｘ75Ｙ155付近に位置し、ＳＤ532・570・599・646・2008などに囲まれた南北約32m、東西約23mの区画であり、重複関係から２時期の変遷が想定される。区画内には長さ1.8～11.6mの溝群が１m程度の間隔で平行に延びるさく状遺構を確認している。南側の溝群は南北方向に、北側の溝群は東西方向に延び、重複関係は成立しない。覆土は暗灰黄色砂質シルトからなりＳＤ523の覆土中から中世土師器が出土している。

小区画（第117図）：Ｘ75Ｙ165付近に位置し、ＳＤ555・570・595・645・646・648に囲まれた南北約14m、東西約20mの区画であり、重複関係から２時期の変遷が想定される。区画内には長さ2.8～5.2m程の溝群が、１m程度の間隔で平行に東西方向に延びるさく状遺構を確認している。南と北の溝群は方位が微妙に異なっており、時期差が想定される。覆土はオリーブ褐色砂質シルトからなる。さく状遺構からは遺物がほとんど出土しなかったが、一部の溝から中世土師器・珠洲が少量出土した。

（武田　健次郎）

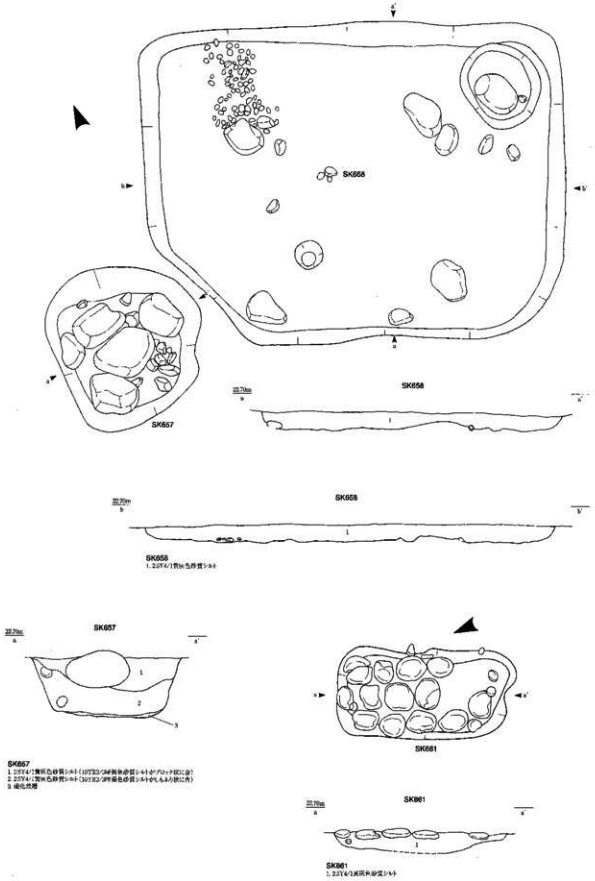


第113図　B2・3・4・4S・6地区中世末～近世遺構全体図



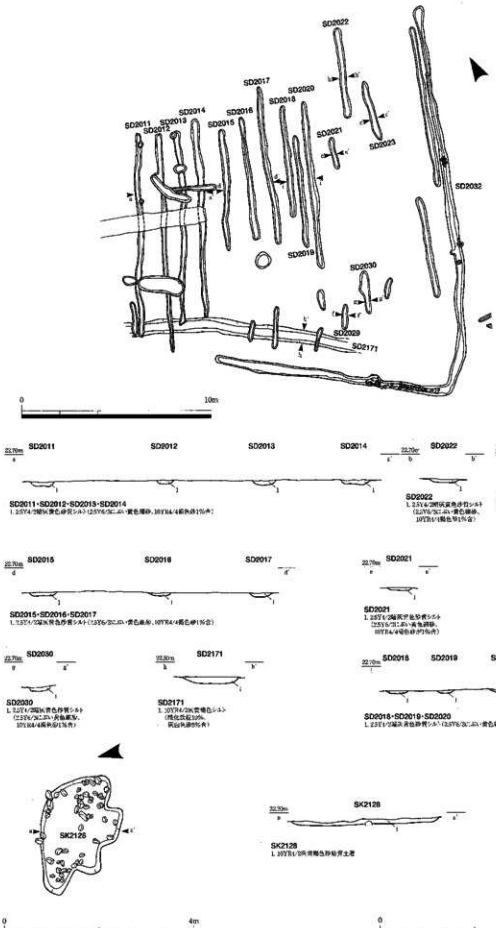
第114図　遺構実測図

SB44　SK667



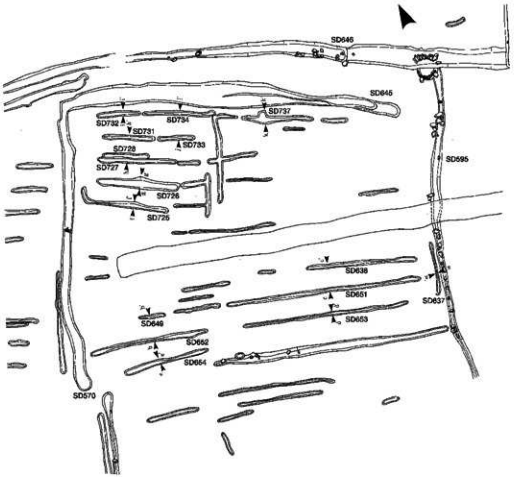
第115図　遺構実測図

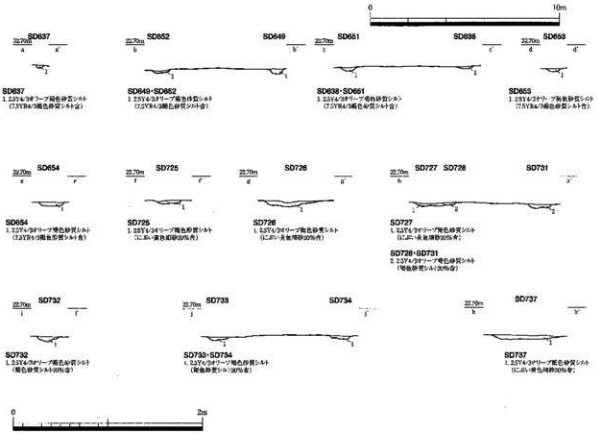
SK657　SK658　SK661



第116図　遺構実測図

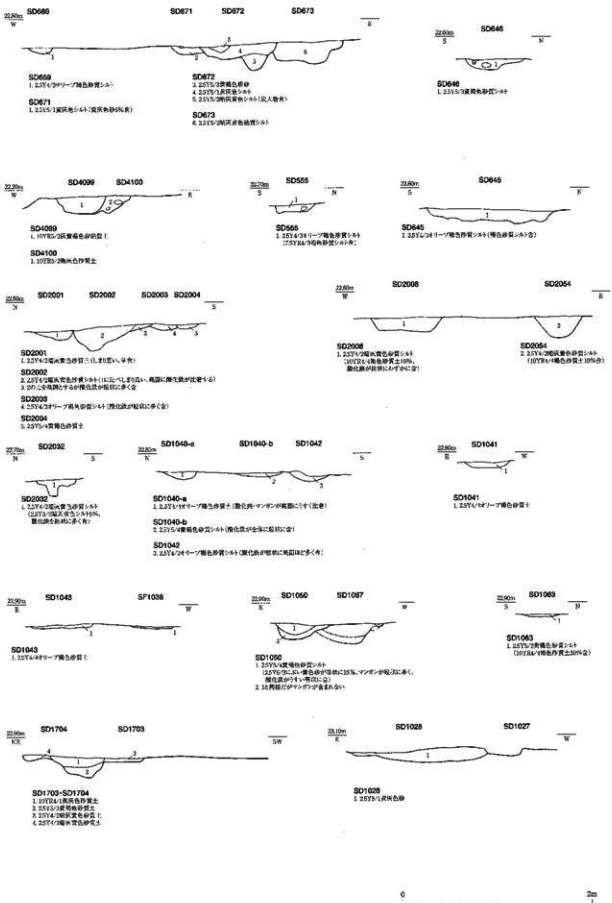
SD2011　SD2012　SD2013　SD2014　SD2015　SD2016　SD2017　SD2018　SD2019
SD2020　SD2021　SD2022　SD2023　SD2029　SD2030　SD2171　SK2128





第117図　遺構実測図

SD637　SD638　SD649　SD651　SD652　SD653　SD654　SD725　SD726
SD727　SD728　SD731　SD732　SD733　SD734　SD737



第118図　遺構実測図

SD555　SD645　SD646　SD669　SD671　SD672　SD673　SD1028　SD1036
SD1040　SD1041　SD1042　SD1043　SD1050　SD1063　SD1703　SD1704
SD2001　SD2002　SD2003　SD2008　SD2032　SD2054　SD4099　SD4100

②A 2地区

土台建物、井戸、土坑、溝、墓壙、排水施設がある。切り合いから、「溝があった時期」と「溝が埋まってその上に土台建物が建った時期」とがあることがわかる。墓壙も溝が埋まってからの時期だが、土台建物と同時期かは分からない。また、溝に汚水を流す排水施設があるため、その周辺に土台建物以前に建物があったと思われるが、調査区が狭いため、明確な柱穴の並びは確認できなかった。

土台建物

S X4502（第119図、図版46）：調査区北東端に位置する。土台建物と思われ、規模は南北4.8m、東西約6.5m、深さ約0.3mの方形で東側は調査区外へ続くものと思われる。西側と、北側に大きめの石が並び、その内側に側よりもやや小さい石が入れられている。中央も南北に大きめの石が並び、2部屋に分かれている。切り合いからS D4568よりも新しい。覆土は単層で灰色粘土質シルトに灰色シルトと炭が混じる土である。遺物は越中瀬戸・唐津・骨（ヒト）が出土している。越中瀬戸はS E4547、S D4568出土の遺物と接合する。

井戸

S E4503（第120図、図版46）：調査区東端に位置する。中央上部は暗渠によって壊されている。規模は直径約1.6m、深さ約0.77m。大きい石がみられるため、もともとは石組みであったと思われるが、廃棄されたときに抜き取られたのかきれいな石組みはみられない。覆土は3層に分かれるが、主に灰色シルトに灰色粘土質シルトと炭が混じる土である。遺物は土師器・越中瀬戸・伊万里が出土しており、越中瀬戸は包含層出土のものと接合する。

S E4547（第120図、図版45）：調査区東に位置する。石組みであるが北側は暗渠によって壊されている。直径約1.3mで深さは約1m。覆土は2層に分かれるが、主に灰色シルトにオリーブ色シルトと棒状の褐色土が混じる土である。遺物は越中瀬戸・箸が出土している。越中瀬戸はS X4502出土のものと接合する。

土坑

S K4505（第120図）：X73Y78に位置する。やや不整な円形で規模は短径0.75m、深さ0.4mである。南側に直径14.6cmの柱が残る。覆土は上層は灰色シルトに灰色粘土質シルトと炭が混じる土、下層は柱の周りは灰色粘土質シルト、それ以外は灰色シルトである。

S K4518（第120図）：X69Y79に位置する。楕円形を呈し、規模は長径0.98m、短径0.8m、深さ0.37mである。東側に直径約14cmの柱が残る。

S K4520（第120図）：X69Y80に位置する。楕円形を呈し、規模は長径0.74m、短径0.45m、深さ0.23cmである。中央よりやや南西に直径約8cmの柱が残る。柱の根本は石で挟まれ支えられている。覆土は灰色シルトで上下2層に分けられる。

S K4525（第120図）：X70Y75に位置する。長方形を呈し、規模は長径1.06m、短径0.75m、深さ0.27mである。覆土は灰色砂質シルトで上下2層に分けられる。遺物は伊万里が出土している。

S K4538（第120図）：X70Y78に位置し、切り合いからS X4509、S K4540より古い。楕円形を呈し、短径0.72m、深さ0.28mである。北側に直径約10cmの柱が残る。

S K4545（第121図）：X72Y78に位置する。切り合いからS K4549よりも古い。楕円形を呈し、規模は長径1.01m、短径0.59m、深さ0.32mである。北側に直径約13cmの柱が残る。覆土は灰色シルトで4層に分けられる。

S K4546（第121図）：X72Y77に位置する。切り合いからS K4550より古く、S K4549より新し

い。規模は、短径0.72m、深さ0.32mである。覆土は灰色シルトの間に灰色粘土質シルトがはさまる3層である。遺物は越中瀬戸・伊万里が出土している。

ＳＫ4555（第121図）：Ｘ72Ｙ75に位置する。切り合いからＳＫ4554、ＳＤ4568より新しい。楕円形を呈し、規模は長径1.58m、短径0.95m、深さ0.47mである。覆土は主に上層の灰色シルトと下層の灰色粘土質シルトに分けられる。モモの種が出土している。

溝

ＳＤ4501（第121・144図、図版46）：調査区北に位置する、東西方向に流れる溝である。西側・東側とも調査区外へ延びる。切り合いからＳＸ4502より古い。幅は約2.80m、深さ0.87mで北側の土手の上には小石が敷かれた道ＳＦ4579が溝に沿って続いている。覆土は灰色粘土質シルトや灰黄褐色粘質土で4層に分けられる。遺物は須恵器・中世土師器・珠洲・八尾・越前・瀬戸・越中瀬戸・パンドコ・砥石・五輪塔・漆器・桶が出土している。

ＳＤ4568（第121・144図）：調査区中央に位置する、東西方向に流れる溝である。西側、東側とも調査区外へ延びる。切り合いからＳＸ4502、ＳＫ4554・4555・4556・4562・4563・4564より古く、ＳＫ4553より新しい。規模は幅2.18m、深さ0.53mである。覆土は上層は灰色の粘土質シルトや粘土で、下層は黒褐色粘土である。遺物は中世土師器・珠洲・青磁・瀬戸美濃・越中瀬戸・砥石・石臼・漆器・桶・板が出土しており、越中瀬戸はＳＸ4502出土のものと接合する。

ＳＤ4573（第121・144図）：調査区中央よりやや北側、ＳＤ4568の北側に位置する。東西方向に流れる溝で規模は幅約0.7m、深さ0.18mである。覆土は上層の灰色粘土質シルトに灰色シルトが混じる土と、下層の灰色シルトにオリーブ黒色粘土質シルトが混じる土とに分けられる。遺物は唐津・底板が出土している。

ＳＤ4577（第121・144図）：調査区北側、ＳＤ4501の南側に位置する。東西方向に流れる溝で規模は長さ4.8m、幅約0.7m、深さ0.2mである。覆土は単層でオリーブ黒色粘土質シルトに灰色シルトが混じる土である。遺物は珠洲・底板が出土している。

墓壙

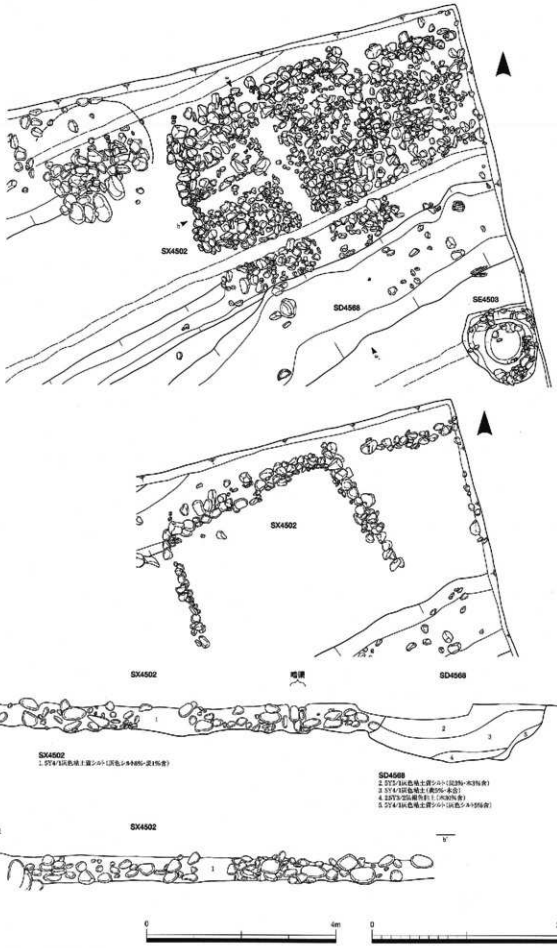
ＳＸ4562（第121図）：Ｘ72Ｙ74に位置する。切り合いからＳＤ4568より新しい。不整形を呈し、長径1m、短径0.97m、深さ0.17mである。覆土は灰色シルトに炭化木材が含まれる土である。骨（ヒト）が出土しているため墓壙としたが、深さもあまりなく炭化物もみられることから、墓というよりは火葬した場所と思われる。

ＳＸ4563（第121図、図版45）：Ｘ71Ｙ73に位置する。切り合いからＳＤ4568より新しい。楕円形を呈し、規模は長径1.6m、短径0.94m、深さ0.16mである。覆土は上層は主に灰色シルトで、下層には炭の層がみられる。骨（ヒト）が出土していることから墓壙としたが、ＳＸ4562と同様、深さもあまりなく炭がみられ、副葬品などもないことから、火葬した場所と思われる。

排水施設

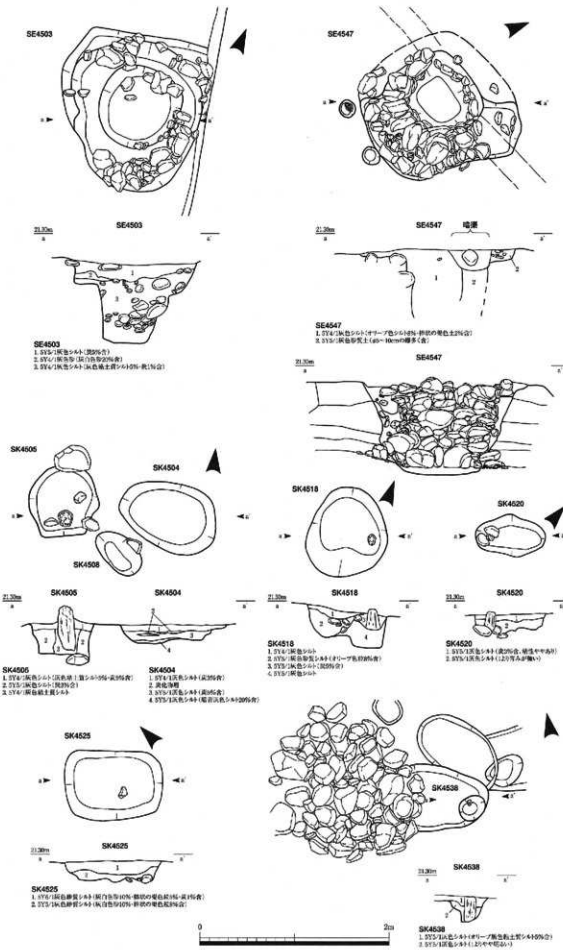
ＳＸ4509（第122図、図版45）：Ｘ70Ｙ79に位置する。切り合いからＳＫ4540・4550・4553より古い。水を捨てる部分は平面形は円形で直径約1.7m、深さ0.54mで、直径5～30cm位の石が逆円錐形に入れられている。底からは石を並べた幅約0.5mの排水路が北西に真っ直ぐ延び、ＳＤ4568につながっている。

（青山　裕子）



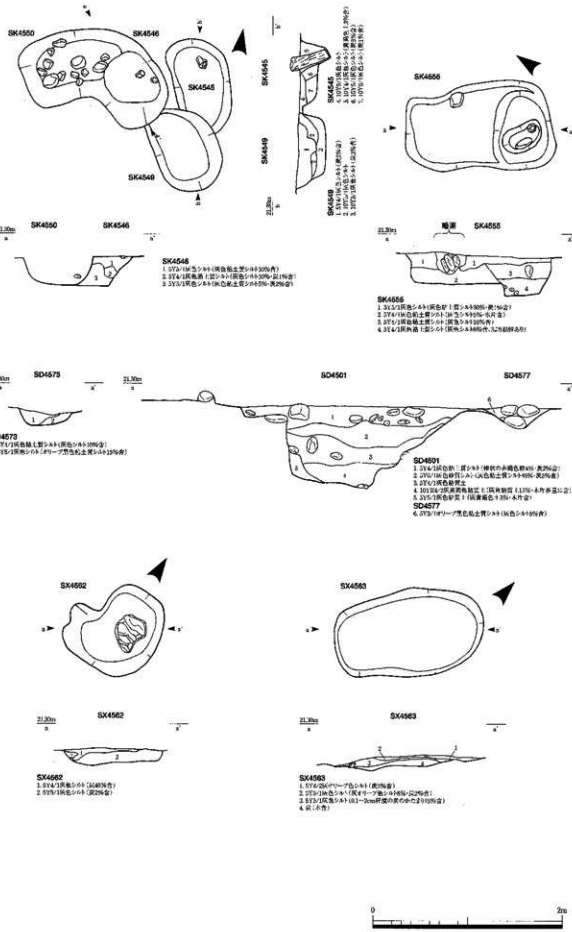
第119図　遺構実測図

SX4502　SD4568



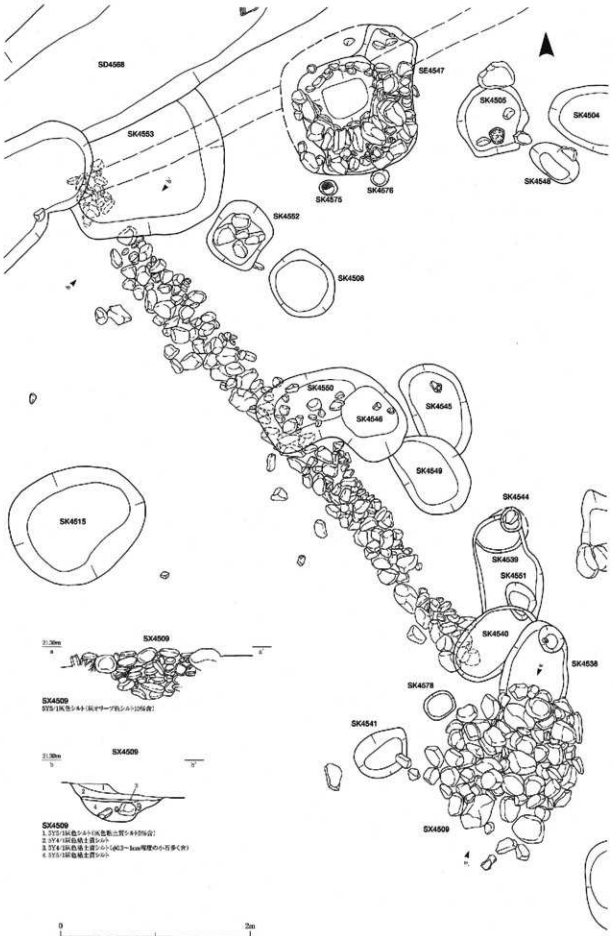
第120図　遺構実測図

SE4503　SE4547　SK4504　SK4505　SK4518　SK4520　SK4525　SK4538



第121図　遺構実測図

SK4545　SK4546　SK4549　SK4555　SD4501　SD4573　SD4577　SX4562　SX4563



第122図　遺構実測図

SX4509

③C地区

C地区は中名V遺跡西側の縁辺にあり、A2地区の約13m北に隣接している。調査区は3カ所に分かれているため、C1・C2・C3地区とした。C地区の西側では徐々に地形が低くなっていく。また、東側ではB地区との間に谷状の地形が確認されている。このような、低地、谷状地形に挟まれた微高地上に遺構群が形成されている。遺構の覆土は黒褐色砂質土と暗灰黄色砂質土を基調とする。後者は遺構検出面の色調との違いが明瞭でないこともあり、さらに検出面を下げ、にぶい黄色砂層となった段階で再度検出を行った。このため、遺構検出面は2面となったが、本来は1面で検出し得たものであるため、ここでは同一の遺構面として提示する。なお、礫層が高くなる範囲では礫層上面で遺構を検出した。特にC2地区の中央部では表土直下で礫層を確認し、遺構を検出した。また、C1地区のY105付近で礫層が上がり、さらに東側では谷状の地形となっている。谷状地形からは遺物の出土もなく、時期は明らかではない。しかし、その西縁辺では遺構分布が希薄な範囲が約20mあり、その西側から遺構が検出されることから、この谷状地形を避けるように居住域を設定していたと思われる。このことから、谷状地形は近世初頭の段階にも存続していたと思われる。C地区から検出された遺構は、掘立柱建物8棟、柵2条、石組井戸15基の他、多数の溝や土坑である。以下、それぞれの遺構について解説する。

掘立柱建物

SB45（第123・124図、図版49・50）：C2地区の東端に位置する。SP5105・5115・5270・5257を四隅とし、南北6.8m×東西7.8mの方形を呈する部分が構成される。面積は53.04㎡となる。西・南側の柱列は3間、北・東側の柱列は2間となっている。柱穴の形態・規模にはおおよそ3種類がある。一つは直径25～50cm程の円形状を呈するSP5225・5255・5256・5258・5268である。この内のSP5225・5255・5256・5258に柱根が残る。もう一つは直径もしくは長軸が1m程の円形・楕円形となる柱穴が10基ある。SP5105・5110・5122・5123・5250・5253・5254・5257・5269・5270であり、SP5123・5253には柱根が残る。また、SP5110・5122・5250・5270には柱穴内に柱の沈下を防ぐためと思われる根石が確認された。SP5257は柱根・根石の両者が検出された。柱穴の底面に径25cmまでの礫を4点置き、その上に直径9cm程の柱を設置している。さらに、長軸が1.2m程となる楕円・不整形の柱穴としてSP5115・5226がある。これらの柱穴内に遺存していた柱根では、SP5253の柱根（3187）が41.4cm、SP5255の柱根（3189）が33.8cmと比較的長く、他はSP5123の柱根（3190）と同様に24cm程であった。直径は9～18.8cmまでと一様ではない。また、中心部が腐食して樹皮のみが残った状態のSP5254など、遺存状態は不良な個体が多い。建物の北東側にSP5106・5114・5152・5448によりL字状の構列となるSA19が構成される。SB45に伴うものであり、建物東側の柱列からは約1m、北側の柱列からは約2mの間隔を空ける。建物の内部・周辺には土坑がいくつか確認されている。SK5117はSP5105・5110・5253・5256の4つの柱穴に囲まれた範囲にある。4.75m×1.55mと2m×4.5mの2基の長方形土坑が接した状態で、その境界に径30cm程の礫が南北方向に並べられている。深さも東西で異なり、西は0.08m、東は0.14mを測る。東側の中央部分には人頭大の礫が分布していた。底面はほぼ平坦で、硬化部分は認められていない。京焼磁（1266）・越中瀬戸壺（1267）の他、唐津・珠洲が出土している。SK5124は建物北東にあり、直径93cmの桶（3171～3180）が埋設されていた。検出段階では人頭大の礫で埋めているような状態であった。しかし、礫の混入は上層のみで、ほとんどが暗灰黄色の砂質土で埋まっていた。また、覆土下層からは欠損した側板の一部などが出土している。この遺構の性格を概要報告段階では便所の可能性があるとしておいた。しか

し、桶内の覆土を自然科学分析した結果、寄生虫卵が極めて少ないことや、珪藻化石から桶内の水質が極端に汚濁していなかったこと、さらに土壌の理化学成分も糞便の混入によるような有機成分のあり方を示さないことが明らかになった。それゆえ、便所とは考えられない。自然科学分析からは珪藻化石から遺構内に水が存在し、水利施設として利用されていた可能性が指摘されている。一時的な水溜に用いるような役割が想定される。ＳＫ5104はＳＫ5124の西側に隣接して構築されている。ＳＫ5104は3.45m×2.3m、深さ0.16mのやや不整な楕円形を呈し、底面はほぼ平坦で砂層となる。覆土はオリーブ褐色の砂質土となり、径30cmの礫が多く混入する。ＳＫ5104は土層断面からＳＫ5124の埋設後、埋め戻された状態で利用されていたと思われる。おそらく、水溜となるＳＫ5124と排水性を高めた空間としてＳＫ5104を合わせて水利施設としての役割を果たしていたのであろう。ＳＫ5104からは、伊万里（1261）が出土している。ＳＢ45では、建物内のＳＫ5117が土間部分として機能し、建物と柵列との間にＳＫ5104・5124といった水利施設を設置していたという利用形態が窺える。ＳＫ5120はＳＫ5104の西に隣接している。規模は5.85m×5.2m、深さ0.24mの不整形を呈する。覆土は主に暗灰黄色砂質土からなり、径30cm程の礫が多く混っている。ＳＡ19のＳＰ5152との関係から、柵と建物構築時には埋没した状態であったと思われる。主な出土遺物には越中瀬戸壺（1268・1269）・瓦質擂鉢（1270）がある。瓦質擂鉢はＣ３地区で検出されたＳＫ5156出土の破片と接合する。ＳＫ5251は建物西側の柱列のやや外側、ＳＰ5123の南西脇で検出された。1.35m×1.0mの楕円形で、深さは0.27mを測る。覆土中に径18cmまでの礫が多く混入している。また、ヒトの骨片も出土している。ＳＢ45と直接的な関連があるかは不明である。

ＳＢ46（第125図、図版50）：Ｃ２地区東側のＸ103Ｙ78付近に位置する。調査区外へ続くと思われ、全体の規模は不明である。確認されたＳＰ5090・5263・5265・5266・5267・5271から、調査区内では東西4.82m、南北4.86mを測る。ＳＰ5090・5271以外からは柱根が出土している。ＳＰ5263は1.43m×0.92m、深さ0.33mの方形の柱穴の東隅に柱根（3192）を置く。柱の南側、掘方の底部に漆器椀（3167）が出土している。他の柱穴は長軸0.76～0.95m、短軸0.62～0.75mの規模で、楕円形を呈する。ＳＰ5265の柱根（3194）で長さ59.4cm、直径18.8cm、ＳＰ5266の柱根で長さ34cm、直径13cm、ＳＰ5267の柱根（3183）では長さ32.5cm、直径14.5cmであった。この内、ＳＰ5266・5267には柱の下に礫があり、柱の沈下を防ぐための根石と思われる。特にＳＰ5265・5266・5267は、ＳＢ46より古いＳＫ5467の覆土中に掘削されており、周囲の遺構確認面となる基盤層よりもやや軟弱であることが、根石を設置した要因と考えられる。ＳＰ5090から越中瀬戸が出土している。

ＳＢ47（第125図、図版49）：Ｃ２地区中央のＸ108Ｙ70に位置する。２間×１間の東西棟側柱建物である。桁行7.2m×梁行3.7mを測り、面積は26.64㎡となる。柱穴の規模はＳＰ5216・5246・5454で径0.5m、深さ0.2m程の規模であった。ＳＰ5219は1.75m×1.36mの楕円形で、深さは0.27mとなる。ＳＰ5219が検出された位置では、遺構確認面での礫の混入が多い。柱穴掘削の際に礫の除去に伴い、掘方が大きくなったと思われる。ＳＰ5241は後述するＳＢ48でも柱穴として利用されている。埋没した井戸の覆土中に柱穴を設けたと思われる。規模は2.4m×2.33mの不整形で、深さは１mになる。石組や曲物などは確認できなかった。覆土の上層では黄褐色砂質土混じりの黒褐色砂質シルトがあるが、柱穴としての掘方は不明瞭であった。下層は、他の井戸と同じような黒色系のシルトで埋没している。ＳＰ5454・5476からは柱が出土する。ＳＰ5454の柱根（3185）は長さ44.5cm、直径15.6cmであった。ＳＰ5476は柱穴の掘方は検出できなかった。柱根（3193）は長さ44.6cm、直径12.8cmを測る。また、ＳＢ47の東側にはＳＰ5219・5241を避けるように人頭大の礫が集中して検出された。ＳＢ47・48の検

出範囲では基盤礫層が高く、建物構築の際には礫の除去をして整地したと思われる。

ＳＢ48（第126図、図版49）：Ｃ２地区中央のＸ108Ｙ70に位置する。調査区外北側へ続くと思われ、全体の規模は不明である。確認された範囲では南北8.0m、東西8.1mを測る。建物西側に石列が作られている。ＳＢ47と建物範囲では重複するが、直接的な遺構の切り合いはなく、前後関係は不明である。柱穴は10基を確認した。この内、柱根を確認した柱穴はＳＰ5056・5214・5218・5477・5478の５基である。ＳＰ5056はＳＥ5272の埋没後に掘削されている。規模は1.65m×1.35mの不整形、深さは0.3mとなる。柱穴内の中央と南側から柱根が出土している。中央に設置された柱根は長さ19.5cm、直径22cmで、建物南側の柱列を構成する。南側の柱根（3181）は長さ39cm、直径29.6cmで、柱列からは外れる。ＳＰ5214は0.65m×0.39m、深さ0.18mの楕円形で、長さ27cm、直径16.5cmの柱根が残る。ＳＰ5215は1.1m×0.66mの楕円形、深さ0.54mを測る。ＳＰ5218は1.16m×0.67m、深さ0.66mの楕円形で、長さ69.6cm、直径19.4cmの柱根（3191）が残る。ＳＰ5241はＳＢ47でも見たように、埋没した井戸を柱穴としている。３層に分層された覆土の第１・２層部分が柱穴に関連すると思われるが、掘り込みは浅く、平面形も不明瞭であった。柱穴としての規模は明らかでない。ＳＰ5264はＳＥ5472の埋没後に掘削されており、柱の沈下を防ぐために柱穴底部に礫が置かれている。ＳＰ5455は直径0.5mの円形で、深さは0.15mを測る。ＳＰ5473はＳＥ5221・5222埋没後に掘削されている。底部は基盤礫層を掘り込むためかそのままの状態で、柱穴壁面側には礫を配している。ＳＰ5477はＳＥ5213の覆土上層部分に掘り込まれ、中央付近には長さ18.8cm、直径11cmの柱根（3154）が残る。その東側には柱の沈下を防ぐため人為的に礫を配していることから、本来は２本の柱を立てるための柱穴であったと思われる。ＳＰ5478は建物南西隅の柱となる。柱穴は直径0.3m程の円形で、深さは0.15mになる。柱根は長さ18cm、直径17cmを測る。建物西側にある石列は東西方向の１列、南北方向の２列から構成されている。石列は人頭大の礫により、２段の石積みが遺存している。柱穴や石列の配置から見て、建物構造の一部に取り込んでいると思われる。東西列では礫の長軸方向を東西に合わせる。南北列はこの東西列を境にして、南側では礫の長軸が南北方向に向く。北側では礫の長軸は東西に揃えられる。また、石列の西側には集石遺構であるＳＸ5252が確認されている。石列の直線的な礫の配置がなされている部分の上に重ねて、やや湾曲した礫の配置をなすＳＸ5252の石積が配されており、ＳＸ5252が後出であると考えられる。ＳＢ48周辺には石組井戸が多く検出された。その多くが柱穴と重複するか、建物範囲内に重なるため、同時併存しないと考えられる。建物南西隣にあるＳＥ5244は配置からみて、併存する可能性がある。出土遺物には、ＳＰ5056から越中瀬戸（1253～1255・1279・1280）・中世土師器皿（1280）・漆器碗（3166）・漆塗りの円盤状木製品（3165）がある。この他、ＳＰ5218から越中瀬戸（1278）が出土している。

ＳＢ49（第127図）：Ｃ３地区北側のＸ92Ｙ62に位置する。４間×１間の側柱建物の南側に３間×１間の庇部分が付く。庇部分含めた全体の規模は桁行8.9m×梁行5.6mを測る。桁行の柱間距離は1.4～３mと一様でないが、北・南の側柱ともに、西側２間分が東側２間分に比べ長くなる。また、庇部分の南西隅にあたる柱穴は検出できなかったが、南側の柱列での柱間距離は約３mになると思われる。柱穴は長軸が1.0～1.5mの楕円形を呈するＳＰ5345・5367の他は、径0.3～0.5mの円形・楕円形を呈する。深さは0.07～0.27mと一様でないが、多くは0.2m前後の数値を示す。建物の約1.8m北側にはＳＤ5126が、約2.5m南側にはＳＤ5352が東西方向に掘削されている。建物北側にはＳＫ5165・5166、東側にはＳＫ5144が重複する。これらの土坑底面から柱穴が検出されたため、いずれもＳＢ49よりも新しい。重複するＳＫ5378との前後関係は判別できなかった。建物範囲内にＳＥ5414が検出されている。

ＳＰ5360が井戸の掘方を切っており、ＳＢ49が後出する。ＳＢ49内の南側でＳＫ5134が検出された。2.25m×1.11mの楕円形で、深さは0.06mを測る。覆土中に炭化物を多く含む。微細な骨片も認められたが、同定には至らなかった。また、覆土中から未炭化の桃の核が出土している。建物と並存するかは明らかでない。出土遺物には、ＳＰ5344からトウガンの種子、ＳＰ5345・5360から中世土師器がある。また、ＳＰ5351から柱根が出土している。長さ12.7cm、直径4.6cmを測るが、腐食が進行し遺存状態は悪い。

ＳＢ50（第128図）：Ｃ３地区の南側、Ｘ82Ｙ64に位置する。調査区外南側へ続くため、全体の規模・形態は不明である。確認されたのは２間×１間の部分で、東西5.93m×南北3.8mを測る。柱穴はいずれも楕円形を基調とするが、規模は長軸で0.27～1.3mと一様でない。ＳＢ50の2.9m北側にＳＡ20がある。３基の土坑からなり、土坑間の距離は2.9～3.0mとなる。ＳＢ50とＳＡ01の間にはＳＥ5223が存在する。配置からＳＢ50に伴う可能性がある。建物東側はＳＫ5244部分と重複している。ＳＫ5244の詳細については後述するが、人頭大の礫が集中している範囲があり、下層で検出されたＳＸ5469の一部と、礫・五輪塔の廃棄により形成されている。ＳＢ50の一部として利用されていたものではない。ＳＥ5223がＳＫ5224より古いことから、ＳＢ50とＳＡ20もＳＫ5224より古いと考えられる。柱穴からの遺物の出土は認められなかった。

ＳＢ51（第128・129図）：Ｃ３地区南側Ｘ84Ｙ63に位置する。３間×２間の南北棟掘柱建物である。桁行7.35m×梁行5.5mを測り、面積は40.43㎡となる。西側の１間×３間は庇部分と思われる。柱穴は主に楕円形を基調とするが、長軸は0.6～1.25mと一様でない。ＳＰ5480のみ1m×0.84mの方形状を呈する。建物西側では方形の土坑と重複する柱穴がいくつかあるが、前後関係が明確に分かるＳＰ5169・5181・5195・5198・5204では、いずれも他の土坑より新しい。建物東側のＳＰ5480はＳＫ5157よりも古い。南東隅の柱穴ＳＰ5479はＳＫ5224の覆土中に作られる。ＳＫ5224と重複するＳＰ5331については重複関係を明らかにできなかった。ＳＢ51はＳＢ50・ＳＡ20と重複するが、それらがＳＫ5224より古いこと、ＳＢ51のＳＰ5479がＳＫ5224の覆土中に作られることから、ＳＢ51が新しいと考えられる。ＳＰ5294から中世土師器・砥石、ＳＰ5336から棒状木片が出土している。

ＳＢ52（第129図）：Ｃ１地区の南西端に位置する。ＳＫ5026の周囲に巡る４基の柱穴からなる１間×１間を建物としている。柱間距離は3.3～4.1mと一様でない。平面は南側が長い台形状を呈している。柱によって囲まれる面積は約13.74㎡となる。ＳＫ5026は4.67m×3.45mの不整方形を呈し、その北側の3.55m×2.55mの部分は深さ0.58mとなるが、他の部分は0.1mと浅い。ＳＢ52は土坑の上屋であった可能性がある。柱穴内からの遺物の出土はない。ＳＫ5026内から青磁（1256）・珠洲擂鉢（1257）の他、中世土師器が出土している。ＳＢ52・ＳＫ5026の北・東側にはＳＤ5021・5028・5031等の溝群があり、溝により区画されている。

柵列

ＳＡ19（第123・124図）：Ｃ２地区の東端に位置する。ＳＰ5106・5114・5152・5448の４基の土坑により構成されるＬ字状の柵列である。ＳＢ45の北側の柱列の一部と東側の柱列に沿っている。土坑間の距離はＳＰ5106とＳＰ5448の間が3.8mとなり、他は4.8m前後であった。建物東側の柱列からは約１m、北側の柱列からは約２mの間隔を空ける。遺物の出土は認められなかった。

ＳＡ20（第128図）：Ｃ３地区Ｘ82Ｙ64に位置する。ＳＢ50の北側、約３m隔てて平行している。ＳＰ5280・5322・5334の３基の土坑からなり、土坑間の距離は2.9～3.0mとなる。土坑の規模は長径で0.37～0.64mと一様でない。ＳＢ50とＳＡ20の間にはＳＥ5233が存在する。配置からＳＢ50に伴う

と思われる。遺物の出土は認められなかった。

井戸

ＳＥ5101（第130図、図版51）：Ｃ２地区Ｘ105Ｙ63に位置する石組井戸である。掘方の直径は2.1m、底部までの深さは1.24mを測り、基盤礫層を擂鉢状に掘り込んでいる。最大で径50cmまでの礫をほぼ垂直に積み上げている。石組の裏込めには礫混じりの黄灰～暗灰黄色砂質シルトを用いる。底部には木臼（3150）が設置されている。覆土は２層に分層される。大部分は灰色砂質シルトで埋没する。上層にしまりのある黄灰砂質シルトが堆積しており、この土層中に径45cmまでの礫が多量に廃棄されている。下層にも礫の混入が認められるが、少ない。上層の礫に混じって板碑（4047）が廃棄されている。この他、中世土師器・珠洲・桃の核が出土している。

ＳＥ5212（第130図、図版51）：Ｃ２地区Ｘ108Ｙ69に位置する石組井戸である。ＳＥ5471・5472の北に隣接する。掘方の直径は1.82m、底部までの深さは0.78mを測り、基盤礫層を掘り込んでいる。最大で径50cmまでの礫をほぼ垂直に積み上げている。石組の裏込めには礫混じりの灰～暗灰黄色砂質土を用いる。覆土は砂質シルトからなる。板状の木材（3149）が出土している。

ＳＥ5213（第130図、図版51）：Ｃ２地区Ｘ109Ｙ70に位置する石組井戸である。掘方は遺構確認面では1.83m×1.24mの楕円形になるが、途中から径１mの円形で掘り込まれている。底部までの深さは1.26mを測り、基盤礫層を掘り込んでいる。石組の裏込めには礫混じりの粗い砂が用いられる。底部には曲物（3157）の側板部分のみが設置されていた。石組は北側部分では上部まで遺存し、ほぼ垂直に積まれている。他の部分では遺構確認面から３～４段分の石組が破壊されていた。これは、ＳＢ48構築に伴ってＳＰ5477が構築されたためだと思われる。ＳＰ5477に当たる部分の覆土は礫を含んだ黒褐色砂質シルトとなる。その下の井戸内は黒褐色粘質シルトで埋没する。遺物には、曲物（3153）や板状木製品（3151・3152）の他、箸や木片が出土している。

ＳＥ5217（第131図、図版51）：Ｃ２地区Ｘ109Ｙ71に位置する石組井戸である。ＳＥ5213の東に隣接し、ＳＥ5470を切って構築されている。掘方は径1.35mの不整な円形を呈する。底部までの深さは１mを測り、基盤礫層を掘り込んでいる。石組は掘方の壁面にわずかに食い込むようにした状態で、ほぼ垂直に積み上げられており、裏込めに土を充填していない。礫は最大で径30cm程であるが、多くは径20cmまでに至らない比較的小さな礫を使用している。また、遺構確認面から２～３段分の石組は確認されなかった。覆土中に礫が崩落した状況ではなかったことから、使用が停止された後に人為的に数段の礫がはずされたと思われる。覆土は５層に分層された。石組の遺存している部分は径１～２cmの小礫が混じる黒色シルトで埋没している。さらに上には黒～黒褐色、黄灰色のシルトや砂質シルトからなる層が堆積している。唐津甕（1252）の他、瀬戸や越中瀬戸・砥石が出土している。

ＳＥ5221（第131図、図版51・52）：Ｃ２地区Ｘ106Ｙ69に位置する石組井戸である。ＳＥ5222を切って構築される。掘方は径1.5mで、底部までは1.23mを測り、基盤礫層を掘り込む。石組はほぼ垂直に積み上げられている。裏込めには礫混じりの黒褐色砂質シルトを充填している。礫は最大で径40cmまでのものを用いている。井戸の内部は多くの礫が廃棄されており、礫の間隙は黄灰色砂質シルトで埋まっている。越中瀬戸皿（1248）の他、瀬戸・伊万里が出土している。

ＳＥ5222（第131図、図版52）：Ｃ２地区Ｘ106Ｙ70に位置する石組井戸である。ＳＥ5221に切られている。そのため、平面の規模は明らかでない。底部までの深さは1.08mで、基盤礫層を掘り込む。石組はほぼ垂直に積まれている。底部の１段分は径50cm程の礫を用いており、それより上では径30cmまでの礫で石組を構成する。井戸内は礫混じりの黒褐色砂質シルトで埋没している。越中瀬戸

(1249)・瀬戸が出土している。

ＳＥ5223（第131図、図版52）：Ｃ３地区Ｘ85Ｙ64に位置する石組井戸である。ＳＫ5224とした浅い大型の土坑内に位置する。土層断面からＳＫ5224はＳＥ5223の廃絶後に構築されていると判断される。掘方は1.95m×1.5mの楕円形を呈する。底部までは1.22mで、基盤礫層を擂鉢状に掘り込む。石組も傾斜を持って積み上げている。礫は最大で40cmまでの大きさとなる。石組の裏込めには黄灰色砂質土を用いている。底部には木臼（3155）が設置されている。井戸内の覆土は礫混じりの黒褐色のシルトで、上層は砂質、下層は粘質がある。覆土中から板状木製品（3156）・砥石が出土している。

ＳＥ5244（第132図、図版52）：Ｃ２地区Ｘ106Ｙ68に位置する石組井戸である。ＳＤ5055に切られる。掘方は1.85m×1.75mの楕円形を呈する。底部までは1.16mで、基盤礫層を掘り込む。石組はほぼ垂直に積まれている。礫は底部に最大で50cmの礫が使われているが、多くは径30cm程度にとどまる。石組の裏込めには礫混じりの暗灰黄色砂質土を用いる。石積みは底部から７段目まで遺存しており、それより上の礫は、井戸の使用停止後に除去されたと思われる。井戸の内部には暗灰黄色砂質シルトで埋没しており、上層には礫が多く廃棄されていた。この礫群が本来、石積みに利用されていた可能性がある。中世土師器・越中瀬戸・カキノキの種子が出土している。

ＳＥ5272（第132図、図版52）：Ｃ２地区Ｘ107Ｙ70に位置する石組井戸である。ＳＢ48のＳＰ5056が、井戸埋没後に作られている。そのため、東側の石組が破壊されている。掘方は径２ｍ程の不整円形を呈する。底部までは1.1mで、基盤礫層を掘り込む。石組には最大で径40cm程の礫が使われる。また、底部から３段までは径20cm内外の比較的小さな礫を用いている。底部には直径51.2cmの曲物の側板部分（3158）が設置されていた。井戸の内部は灰色シルトで埋没していた。覆土中から板状の木材が出土している。

ＳＥ5301（第132図、図版53）：Ｃ３地区Ｘ86Ｙ60に位置する石組井戸である。ＳＤ5302の南側で、ＳＢ51の北西に隣接する。建物に伴う可能性もある。掘方は径1.7mの円形を呈する。底部までは0.72mで、基盤礫層を掘り込む。石組は３段ほどであり、底部から１～２段では径50cmの比較的大形な礫が用いられ、３段目では径30cm前後の礫が使われている。石組の裏込めには径２～３cmの礫が混じる暗灰褐色土が使われる。井戸の内部は径20cmの礫が混入した黄灰色砂質シルトで埋没する。板碑の下半部分（4052）が覆土中から出土する。

ＳＥ5414（第133図、図版52）：Ｃ３地区Ｘ92Ｙ160に位置する石組井戸である。ＳＢ49のＳＰ5360や、ＳＫ5361～5363・5366・5378・5412に切られる。掘方は径2.05m×2.3mの楕円形を呈する。底部までは1.2mで、基盤礫層を掘り込む。石組はやや傾斜を持って積まれ、径40cmまでの礫が用いられる。石組最下段の礫の下には、底部の外周を囲うように直径20cmほどの木材が設置されていた。木材は樹皮が残されており、表面の加工は施されていない。底部に巡らすため、必要な長さに切断されただけの状態である。石組は掘方の東側に寄せて作られている。裏込めは黄灰色砂質土を中心に、下部では灰色の砂質シルトが礫の間隙を埋めている。井戸の内部は上層は灰色砂質シルトを基調に礫の混入具合で２分された。その下では径20cmほどの礫が廃棄された黒褐色シルトの層が堆積している。この層からは、漆器椀（3160）や折敷の底板（3161）が出土している。

ＳＥ5423（第133図、図版53）：Ｃ２地区Ｘ107Ｙ60に位置する石組井戸である。ＳＤ5205の底部から確認されており、ＳＤ5205が後出することとなる。おそらく、上部をＳＤ5205によって破壊されている。確認された掘方は1.62m×1.45mの不整楕円形を呈している。底部までは0.7mを測り、基盤礫層を掘り込む。石組の最下段には径45cm程の礫を用いている。それより上では径30cm内外の礫が使わ

れる。裏込めには礫混じりの灰色砂質土が用いられる。井戸内部は下層に径20cmほどの礫が混じる黒褐色シルトがあり、その上に灰色砂質土・黄灰色砂質シルトが堆積する。覆土中から板状の木材や昆虫遺体の破片が出土している。

ＳＥ5470（第131図、図版53）：Ｃ２地区Ｘ109Ｙ71に位置する石組井戸である。ＳＥ5213の東に隣接し、ＳＥ5217に切られる。掘方は径1.4mの不整な円形を呈する。底部までは0.95mを測り、基盤礫層を掘り込んでいる。石組の遺存は悪く、北側の石組のみで底部からの積み上げを確認できた。やや傾斜をもって積まれており、本来は擂鉢状の石組であった思われる。また、遺構確認面で石組の一部が露出していたものの、覆土が砂礫からなり、地山と判別し難かったため、隣接するＳＥ5217の断ち割りを行った際に遺構の存在をようやく確認することとなった。そのため十分な記録を行えなかった。出土遺物には中世土師器がある。

ＳＥ5471（第133図、図版53）：Ｃ２地区Ｘ107Ｙ69に位置する石組井戸である。ＳＥ5472に切られる。掘方は径1.5mで、底部までは0.93mを測り、基盤礫層を掘り込む。石組には径30cmまでの礫により構成され、やや傾斜を持って積まれている。最下段の礫の下には長さ48cm、直径14cm程の木材が設置されていた。木材は樹皮を残した状態で、井戸底の北側と南側の２ヶ所に平行するように置かれている。裏込めには礫混じりの黒褐色粘質シルトが用いられる。棒状の木片のみ出土している。

ＳＥ5472（第133図、図版53）：Ｃ２地区Ｘ107Ｙ69に位置する石組井戸である。ＳＥ5471を切って構築される。石組の上部が使用停止後にはずされており、遺構確認面では検出できなかった。重複するＳＥ5471において西側の石組が残っていないことが分かり、さらに西隣で別の石組が認められたことからＳＥ5472が確認された。掘方は径1.3mで、底部まで1.14mを測り、基盤礫層を掘り込む。石組は径40cmまでの礫により構成される。石組は下から６段ほどが残っているが、それより上は井戸の使用停止後に礫がはずされたようである。井戸底の北・南側では礫の下にＳＥ5471と同様に木材が設置される。木材の直径は13cmとほぼ同じだが、長さは88cmと長い。石組の遺存状況はＳＥ5471の方が良いが、ＳＥ5472と重複する西側部分のみ石組が残っていないことから、ＳＥ5472にその部分が壊されたと考えられ、ＳＥ5472が後出であると判断した。覆土中から棒状の木製品（3162）や、中世土師器・曲物の破片・板状木製品・昆虫遺体の破片が出土している。

土坑

ＳＫ5041（第134図）：Ｃ２地区の南西隅、Ｘ103Ｙ41に位置する。ＳＫ44・ＳＤ49に切られる。南側は調査区外へ続くため、全体の規模は不明である。東西は3.97mを測り、南北は2.74m以上となる。深さは0.27mで、底部はほぼ平坦になる。壁面の立ち上がりはやや傾斜を持つ。覆土は黄灰色の砂質シルトを基調とし、暗灰黄色砂質土や炭化物が混入している。中世土師器・伊万里の破片が出土する。

ＳＫ5075（第134図、図版54）：Ｃ２地区Ｘ108Ｙ64に位置する。ＳＫ5245の西隣にあり、ＳＤ5205を切っている。1.6m×1.05mの楕円形を呈し、深さは0.13mを測る。床面は南東側がやや低くなる。覆土は灰黄色と暗灰黄色の砂質シルトからなり、混入度の違いから２層に分ける。越中瀬戸の皿（1262）が下層から出土した。他に中世土師器が出土している。

ＳＫ5092（第134図、図版54）：Ｃ２地区の東側、Ｘ109Ｙ85に位置する。ＳＢ45の北側、ＳＫ5093の西側に隣接する。3.45m×2.3mの台形を呈し、南辺がやや広くなる。深さは0.13mを測る。床面は中央部でやや高くなる。覆土は暗灰黄色砂質土を基調とし、南側では径15cm程の礫の混入が多く認められた。遺物は出土していない。

ＳＫ5093（第134図）：Ｃ２地区の東側、Ｘ109Ｙ86に位置する。ＳＫ5092の東側に隣接する。1.52

m×0.91mの楕円形を呈し、深さは0.16mを測る。暗灰黄色砂質シルトからなる覆土中には径6㎝までの礫が多く含まれていた。遺物は出土していない。

ＳＫ5109（第135図、図版54）：Ｃ２地区Ｘ111Ｙ64に位置する。ＳＫ5062・5108に切られる。南側で重複するＳＤ5205よりは新しい。平面は4.53m×3.16mの不整楕円形を呈し、深さは0.45mを測る。底部はほぼ平坦で、基盤礫層が露出する。覆土は３層に分層された。炭化物が混ざった暗灰黄色砂質シルトが上層にあり、その下に粘性のある灰色砂質シルトが堆積する。これら二つの層には酸化鉄の形成が顕著であった。さらに下では粘性の強い黄灰色シルトが、底面直上に堆積している。中世土師器皿（1263）・瀬戸美濃皿（1264）・越中瀬戸（1265）の他、珠洲や青磁の破片が出土した。

ＳＫ5120（第124図、図版54）：Ｃ２地区の東側、Ｘ106Ｙ84に位置する。ＳＢ45北西に隣接し、ＳＡ19のＳＰ5152に切られる。規模は5.85m×5.2m、深さ0.24mの不整形を呈する。覆土は主に暗灰黄色砂質土で、一部に黄褐色砂や黒褐色砂質シルトとなる。覆土中には径30㎝程の礫が多く混っている。ＳＰ5152が掘削された段階では埋没した状態であり、人為的に埋め戻したと思われる。底面上の西壁際で完形の越中瀬戸壺（1268）が破砕した状態で出土した。この他に越中瀬戸（1269）・越前模倣の瓦質擂鉢（1270）・石臼（4057）や、中世土師器・珠洲・瀬戸の破片が出土している。また、瓦質擂鉢（1270）はＳＫ5156の破片と接合する。ＳＫ5120の底面からはＳＫ5444・5445・5453が検出された。覆土はいずれも暗灰黄色を呈し、砂質土～砂質シルトとなる。ＳＫ5120の覆土と明らかな違いがなく、掘り残しである可能性が高い。

ＳＫ5134（第127図、図版54）：Ｃ３地区のＳＢ49範囲内の南側で検出された。2.25m×1.11mの楕円形で、深さは0.06mを測る。覆土中に炭化物を多く含み、微細な骨片の混入も認められた。種類の同定には至らなかった。また、未炭化の桃の核が出土している。ＳＢ49と並存するかは明らかでない。その下層では、ヒトの骨片が出土したＳＤ5357・5358が検出されており、それらと一連の遺構である可能性もある。

ＳＫ5148（第135図）：Ｃ３地区Ｘ91Ｙ65に位置する。ＳＢ49のＳＰ5338が底部から検出されたことから、ＳＫ5148が後出する。2.65m×1.44mの不整形を呈し、深さは0.06mを測る。底部の東側には10㎝程度の礫が1m×0.25mの範囲で出土している。遺物は出土していない。

ＳＫ5150（第135図、図版55）：Ｃ３地区Ｘ88Ｙ64、ＳＢ51やＳＫ5155の北側に位置する。西辺部分がＳＫ5151と重複しており、土層からＳＫ5150の方が新しい。規模は2.52m×２mで、方形を呈し、深さは0.15mを測る。床面はほぼ平坦である。覆土は３層に分層された。土坑中央部から東側では底面直上に黒褐色砂質シルトが堆積している。この層には、礫や炭化物、さらに遺物も含まれている。混入する礫は径10㎝が中心で、径30㎝程の礫もいくつか含まれている。遺物には水輪（4053）・下駄（3169）・板状木製品（3168）が底面上から出土している。他に中世土師器皿（1258・1259）・瀬戸碗（1260）・銅銭「至道（元寶）」（2042）・漆器椀（3163）・バンドコ（4066）がある。また、箸やヒトの可能性もある中型獣の骨片も出土している。遺物から見て、中世後半の所産である可能性が高いが、遺構検出の位置が中世の石列として提示しているＳＸ5469と重なるため、中世末～近世の土坑と同一の図面に掲載している。

ＳＫ5151（第135図）：Ｃ３地区Ｘ87Ｙ163に位置する。ＳＫ5150に切られる。方形を基調とする不整形を呈する。東西は2.48mで、南北は西壁で２m、東壁で2.5mとなる。深さは0.13mを測る。覆土は黄灰色砂質シルトの単層となる。覆土中から人頭大の礫が数点出土している他に、遺物は認められなかった。

SK5155（第135図）：C3地区X87Y65に位置する。平面は1.65m×0.92mの方形を呈する。深さは0.1mを測り、底部はほぼ平担となる。遺物は出土していない。SK5155周辺にはSK5150・5151・5156・5157など、方形を基調とする土坑がいくつかまとまって検出されている。その中でSK5155は一回り小さい規模となる。

SK5156（第136図、図版54）：C3地区X86Y65に位置する。SK5157を切っている。2.43m×2.34mの方形を呈し、深さは0.13mを測る。底面はほぼ平坦で、壁面の立ち上がりは傾斜を持つ。土坑の西壁際の中央部に炭化物が集中して検出された。瓦質擂鉢（1270）が出土しており、SK5120との接合資料である。他に珠洲の破片、ヒトの可能性もある獣類の骨片や板状の木材が出土している。

SK5157（第136図）：C3地区X86Y65に位置する。SK5156に切られる。SB51のSP5480を切っている。全体の規模は南北1.5m、東西は3m以上になる。深さは0.13mを測る。底面には径30cmまでの礫が散在する。中世土師器の破片が出土している。

SK5171（第136図）：C3地区X83Y62に位置する。1.45m×1.3mの不整楕円を呈し、深さは0.24mを測る。覆土中には径1cmまでの炭化物ブロックが混入する。遺物は出土していない。

SK5174（第136図）：C3地区X83Y61に位置する。2.05m×1.7mの楕円形を呈し、深さは0.14mを測る。底部の一部分に炭化物が層状に形成されている。遺物は出土していない。

SK5176（第136図）：C3地区X82Y62に位置する。2m×1.8mの長方形を呈し、深さは0.21mを測る。覆土中には炭化物がブロック状に混入する。遺物は出土していない。

SK5247（第136図）：C2地区X108Y65に位置する。SD52を切っている。1.43m×0.82mの長方形を呈し、深さは0.31mを測る。底面は中央が低くなり、壁面の立ち上がりも傾斜を持つ。覆土中には径10cm、30cmの礫が多く混入している。遺物は出土していない。

SK5278（第136図）：C3地区X84Y61に位置する。1.09m×1.04mの方形を呈し、深さは0.11mを測る。底部はほぼ平坦で、壁面は傾斜を持って立ち上がる。底部の一部に炭化物が層状に形成される。自然化学分析の結果、炭化物はイネ科植物以外のものであることが分かった。遺物は出土していない。

SK5311（第136図）：C3地区X87Y64に位置する。1.35m×1.06mの長方形を呈し、深さは0.1mを測る。底面は平坦で、壁面の立ち上がりは垂直になる。径20cmほどの礫が散在する。遺物は出土していない。

SK5206（第137図、図版55）：C2地区X107Y62に位置する。6.25m×4.95mの不整形を呈し、深さは0.45mを測る。底面には基盤礫層の礫が露出するため凹凸はあるものの、ほぼ平坦になっている。壁面の立ち上がりは傾斜を持っており、特に南側では緩やかな立ち上がりとなる。土坑の北側でSD5205と重複している。土層断面から、SK5206の埋没後にSD5205が掘削されていたことが分かる。SD5205内には覆土中に多くの礫が含まれているが、SK5206にも礫の出土が認められる。SK5206内では、その東側に径50cm程の礫が円形に巡るような配置で出土している。単に投げ捨てられた状態とは見なしにくいが、礫が規則的に積み上げられることもないため、人為的に設置されたものか判断しがたい。南側でSD5207と重複するが、覆土の違いが明瞭でなかったことから、土坑と溝がつながって機能していた可能性もある。出土遺物には越中瀬戸皿（1274～1276）・小柄（2092）がある。他に中世土師器・珠洲・瀬戸・唐津・八尾の破片や砥石・パンドコ・炭化米・ニワトコの種子が出土している。

SK5220（第142図）：C2地区X110Y75に位置する。1.56m×（1.45m）の不整形を呈し、深さ

は0.12mを測る。柱根（3182）が出土している。

ＳＫ5224（第137図、図版56）：Ｃ３地区南東側のＸ85Ｙ65に位置する。方形状の土坑がいくつか重複したような平面形を呈する。全体の規模は5.93m×4.2mの範囲におさまる。深さは南側が0.23m、北側は0.13mを測る。ＳＫ5224と重複するＳＫ5191・5474・5475とＳＰ5479はいずれも新しい。また、ＳＫ5224の北西部分にはＳＥ5223が重複するが、土層断面からＳＥ5223よりＳＫ5224が新しい。ＳＫ5224の南側では径40cmを中心とする礫が2.5m×２m程の範囲で集中して確認された。その西側は南北の石列となっている。これはさらに下層で検出されたＳＸ5469の上部が露出したものである。しかし、その石列より東側の不規則な出土をする礫群は、廃棄されたものと思われる。その中から五輪塔火輪（4049・4050・4051）が３点出土している。この他にＳＫ5224の覆土中からは中世土師器・八尾・瀬戸の破片や獣類の骨片が出土している。

ＳＫ5234（第142図）：Ｃ２地区Ｘ109Ｙ81に位置する。3.3m×2.86mの不整形を呈し、深さは0.31mを測る。壁面は傾斜を持った立ち上がりで、底面はほぼ平坦となる。覆土は４層に分層される。主に上層は黄灰色砂質シルト、下層はオリーブ灰色シルトとなった。出土遺物には覆土下層から漆器椀（3164）があるほか、越中瀬戸・青磁の破片が確認されている。

ＳＫ5356（第144図）：Ｃ３地区Ｘ95Ｙ61に位置する。2.14m×1.2mの方形を呈し、深さは0.39mを測る。土坑の西壁側に、長軸40cm程の自然礫を最大で２段積み上げて石列としている。これは下層のＳＸ5469に伴うもので、本遺構とは関連はない。覆土中から柱根（3188）が出土している。周辺ではＳＫ5376では樹皮が覆土中に含まれており、柱があった可能性がある。これらが柱穴となり何らかの構造物となっていた可能性もあるが、明らかではない。

ＳＫ5366（第135図）：Ｃ３地区Ｘ91Ｙ60に位置する。0.53m×0.44mの楕円形を呈し、深さは0.15mを測る。ＳＥ5414と重複し、その掘方を切る。柱根（3184）が出土している。

ＳＫ5467（第137図、図版56）：Ｃ２地区Ｘ106Ｙ77に位置する。ＳＫ5467の掘没後にＳＢ46が構築されている。調査区外へ続くため全体の規模・形態は不明である。確認された範囲では南北10.8m、東西3.3mを測る。深さは0.28m前後となるが、北側はやや深く0.34mを測る。そのやや深い北側を除き、底面はほぼ平坦となる。覆土は３層に分層された。上層は暗灰黄色砂質土が混ざった粗砂からなる。中層は暗灰黄色砂質シルトとなる。下層は黒褐色砂質シルトとなる。覆土の上層は周囲の遺構確認面と色調や土質が似ており、遺構確認面上では検出できなかった。しかし、重複する遺構を掘削した段階で、ＳＫ5467の中～下層を認めたため、その存在を確認できた。底面には２ヶ所の集中的な礫の出土が認められた。北側は1.4m×１m、南側は3.3m×1.9mの範囲で、共に径40cmまでの礫で構成される。また、両者とも調査区外へ続く。南側の集石では、その南辺が東西の列状に礫が配置されていた。部分的ながら、規則的な礫の配置が認められており、本来は形態を整えた集石であった可能性もある。覆土中から中世土師器皿（1282）・珠洲甕（1283）・越中瀬戸皿（1281）・越中瀬戸擂鉢（1284）・伊万里（1288・1289）が出土している。また、石臼（4054）はＳＸ5252出土の破片との接合資料である。この他に土人形・砥石・板状木材の破片が出土している。

溝

ＳＤ5003・5004・5005・5007・5013（第138・143図）：Ｃ１地区北西隅にある溝群である。方位はやや北東に傾いている。幅はＳＤ5003が1.1m、ＳＤ5007・5013が約0.8m、ＳＤ5004・5005は約0.3mとなり、大きく３種類になる。深さはいずれも0.1m前後となる。ＳＤ5003・5005がＳＤ5004より新しい以外には重複関係はみられない。ＳＤ5007には径30cmまでの礫が多量に廃棄されていた。ＳＤ

5003からは珠洲、SD5004・5013からは中世土師器が出土している。調査区壁面での遺構掘削面から、これらの溝は近世以降の所産であると考えられる。出土遺物も混入したものと思われる。また、これらの溝が区画の機能を持っていたのかは、周囲に建物など他の遺構が検出されていないため明らかでない。

SD5014・5015（第138・143図）：C1地区北側で検出された溝である。X121Y95からX110Y95にかけての南北方向に掘削される。X114Y90付近で途切れており、北側をSD5014、南側をSD5015とした。幅はSD5014が0.53mに対し、SD5015は1.16mとやや広い。深さはそれぞれ0.1m、0.15mとあまり変わらない。遺物は出土していない。覆土から近世以降の所産であると思われる。

SD5016・5017（第138・143図）：SD5016は、C1地区X108Y95からC2地区X108Y97にかけて確認された。幅は最大で2.6m、深さは0.37mを測る。SD5017はSD5016と重複する溝で、SD5016より新しい。幅は1.16m、深さは0.4mとなる。出土遺物には珠洲があるが、調査区壁面から見る遺構掘削面から、近世以降の所産であると思われる。

SD5018・5019・5020・5021・5028・5031・5035（第138図）：C1地区SB52周辺にある溝群である。L字状のSD5021を中心に、その北側にはSD5018・5019・5020が平行する。また、SD5021に囲まれた内側で、SB52との間にSD5028・5031が作られる。溝の幅はSD5021が0.79mで、他は0.4～0.5mとなる。深さは0.06～0.13mと一様ではないが、あまり深くない。SD5021から中世土師器が出土しているのみである。これらの溝群はSB52を含めた空間を区画するためのものだと考えられる。

SD5126・5302・5373（第138・144図、図版57）：C3地区で確認された溝群である。これら3条の溝はおおむね平行し、北東方向と南西方向に向かって調査区外へ続いている。SD5126は幅0.45m、深さ0.16mで、狭くて浅い溝となる。SD5302に対して東では8m、西では10mの間隔を空けており、厳密には平行とならない。覆土は灰色砂質シルトの単層となる。瀬戸美濃の碗（1296）が出土している。SD5302は幅1.6m、深さ0.48mを測る。底面には黒褐色やオリーブ黒色の粘質土、灰色砂があり、その上に黒褐色粘質土や黄灰色砂質土が堆積している。X89Y63付近の覆土上層では径30cm程の礫が廃棄され、周囲の覆土には締まりがある。こうした様相から、SD5302はある程度、自然堆積により埋没した後に、礫の廃棄を伴う人為的な埋め戻しが行われたと思われる。SD5302からは中世土師器皿（1307～1312）・漆器椀（3137～3139）・棒状木製品（3140）・箸（3141～3147）・底板（3148）・バンドコ（4058・4059）・鉄製皿（2095）の他、中世土師器・瀬戸の破片が出土している。また、魚類・小～中型鳥類・中型獣類の骨や、昆虫遺体も覆土中に含まれていた。SD5373は幅0.54m以上、深さは0.12mとなる。SD5126の北にあり、1.5mの間隔を空けている。覆土は黒褐色砂質シルトの単層からなる。瀬戸花瓶（1313）が出土している。SD5302・5373の両者に挟まれた範囲とSD5302の南側では、SB49～51の遺物やその他の遺構があることから、これらの遺構群の区画溝であったと思われる。SD5126も同様であるが、SK5166・5167に切られる点や、方向も多少異なる点から、存続時期がやや異なる可能性もある。

SD5357・5358（第138・144図）：C3地区X92Y61からX89Y63にかけて位置する。丁度、調査区の中央部から、北に向かって伸びる2条の溝として確認した。SD5358がSD5357を切っている。幅はSD5358が0.6m、SD5357が1.1m以上となる。溝の覆土はSD5357が灰オリーブ砂、SD5358が黄灰色砂質土となり、遺構確認面との違いが明瞭でない。これらの溝は下層から検出されて石列SX5469の真上に位置していることから、SX5469の影響によりその上部の土が変色していた部分を溝

として扱ってしまったと思われる。この溝とした範囲からは青銅製の花瓶（2094）やヒトの骨片が出土している。溝内に廃棄されたというよりも、ＳＸ5469に関連した遺物である可能性が高い。

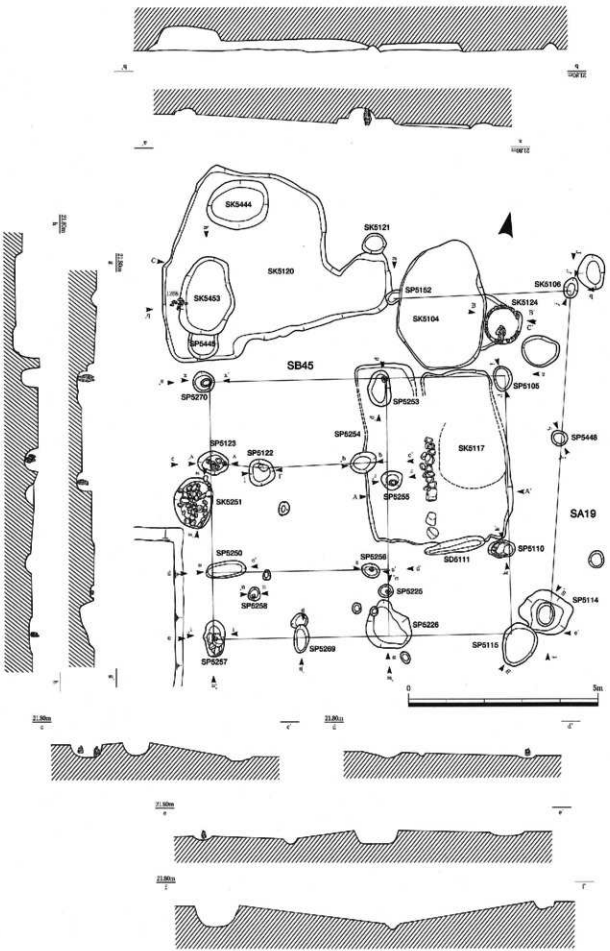
ＳＤ5045・5049～5052・5055・5060・5064・5065・5067・5070・5205・5207（第139図）：Ｃ２地区の西側では重複した溝群が検出された。Ｌ字状のＳＤ5049、東西方向に走るＳＤ5045・5051・5055・5060・5064・5065・5067・5205、南北方向に走るＳＤ5050・5052・5070・5207の13条がある。この内、ＳＤ5049・5064・5065・5205は礫の出土が多く認められる。ＳＤ5049は覆土中に径20cmの礫が多く含まれており、北側では径30cmの礫が東西方向に直線的な石列として積まれていた。その周辺ではＳＤ5064・5065においても径15cmの礫が集中している。ＳＤ5065ではＸ103Ｙ61から東側で、南壁面に沿って径20cm程の礫が覆土中に廃棄されている。他にＳＤ5205においても礫の集中的な廃棄が行われている。反対に礫の廃棄が認められない溝には２種類ある。ＳＤ5045・5051・5055・5060・5067の東西方向に走る溝は、幅0.23～0.51mとなる。ただし、ＳＤ5055は調査区外に続き、幅1.2m以上と広くなる。ＳＤ5050・5052・5070・5207は南北方向で、幅は0.55～1.03mとなる。南北方向の溝の方が、東西方向の溝に比べ、全体的に幅が広くなる傾向がある。また、これらの礫が廃棄されていなかった溝は、廃棄されていた溝に対しては、幅がやや狭くなる。いくつかの溝は重複しており、前後関係が窺える。ＳＤ5050はＳＤ5055より新しく、ＳＤ5055はＳＤ5052・5207よりも新しい。ＳＤ5050はＳＤ5049より新しく、ＳＤ5049はＳＤ5060・5205より新しい。ＳＤ5205はＳＤ5060・ＳＫ5206より新しく、ＳＫ5075・ＳＸ5252より古い。ＳＤ5064はＳＤ5065より新しい。切り合い関係から、４段階の変遷が考えられる。１段階にはＳＤ5052・5070・5207のやや幅の狭い南北方向の溝がある。２段階にはＳＤ5060・5065、３段階にＳＤ5064・5205と東西方向の溝が続く。４段階にはＳＤ5049・5050の他にＳＫ5079・5109、ＳＸ5252が該当すると考えられる。出土遺物には、ＳＤ5049では越中瀬戸の皿（1285・1286）・壺（1287）の他、中世土師器・珠洲・八尾の破片が出土している。他に桃の核が確認された。ＳＤ5050では越中瀬戸皿（1292）・中世土師器破片が出土している。ＳＤ5052では越中瀬戸・瀬戸の破片が出土している。ＳＤ5055では越中瀬戸皿（1290・1291）・中世土師器・珠洲・唐津の破片が出土している。ＳＤ5060では羽口が出土している。ＳＤ5064ではバンドコ（4060）の他、中世土師器・八尾・中型獣類の骨が出土している。ＳＤ5065では瀬戸美濃の茶碗（1293）・香炉（1294）と越中瀬戸擂鉢（1295）、他に中世土師器・八尾・珠洲が出土している。ＳＤ5205では瀬戸美濃茶碗（1297）・越中瀬戸の香炉（1298）・向付（1301）・皿（1302）・擂鉢（1303）・甕（1304）・壺（1305）・中世土師器皿（1299・1300）・珠洲（1306）が出土している。石製品として石臼（4055）・バンドコの破片が出土している。また、石臼（4055）はＳＸ5252出土の破片との接合資料である。他に伊万里・唐津の破片・桃の核が確認されている。ＳＤ5207では中世土師器が出土している。

集石遺構

ＳＸ5252（第140図、図版57）：Ｃ２地区Ｘ109Ｙ67に位置する。検出された当初は、ＳＢ48に関係する施設と思われたが、ＳＸ5252の清掃した石列がＳＢ48の一部である直線的な石列の上に乗った状態で構築されているため、ＳＸ5252が後出すると考えた。また、ＳＸ5252の北側は、ＳＤ5205の埋まった後に作られている。礫が集中して確認されたのは二つの範囲に分けられる。一つの5.0m×3.9mの範囲には、東・西・南側に礫が配置され、北に向かって開口するコの字状の石列が作られる。しかし、各辺は直線的でなくやや湾曲しており、半円形に近い形の石列となる。石列の内側には多くの礫が廃棄されている。礫の間には炭化物が多く含まれている。植物珪酸体分析の結果、イネ属の籾殻や

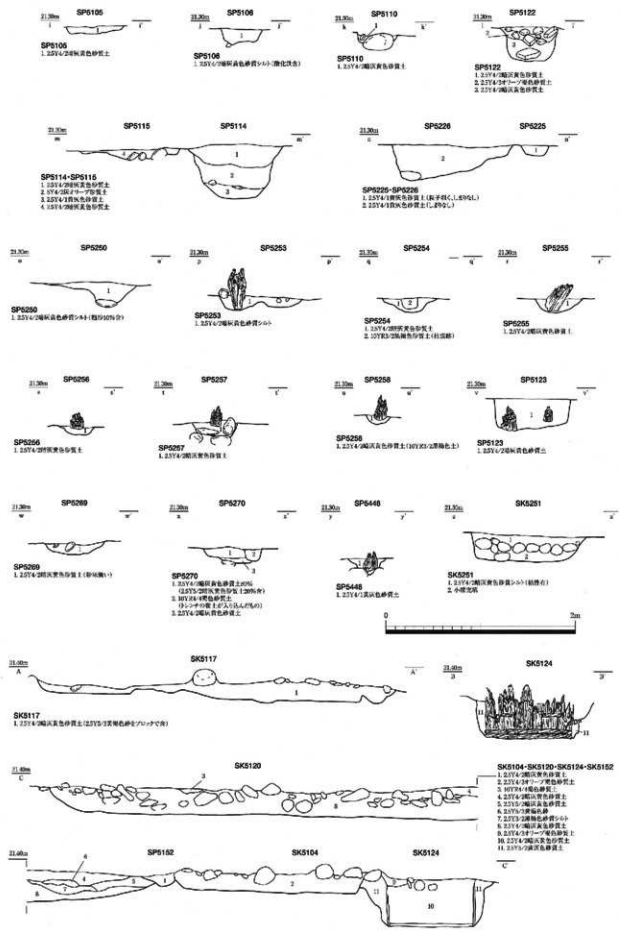
葉部が焼けたものであると判明した。そうした廃棄された礫に混ざって石臼（4054・4055）・板碑（4048）等の石製品も廃棄されている。さらに南側に続く2.5m×1.6mの範囲にも礫が集中しており、その西部分は南北の石列が作られている。出土遺物には、越中瀬戸（1315～1327・1329・1330・1336～1338）・唐津（1328・1333）・瀬戸美濃（1331・1332）・瀬戸（1335）・伊万里（1334）・珠洲（1339）・砥石（4067）の他、中世土師器・八尾・伊万里の破片が出土している。また、長さ28cm、直径10cm程の柱根が2点出土しているが、設置された状態ではなかった。ＳＸ5252は石列が直線的でないことや、全体の形態が不整形であることから、建物の基礎等ではなく、陶磁器や礫の廃棄により形成されたものと思われる。

（青山　晃）



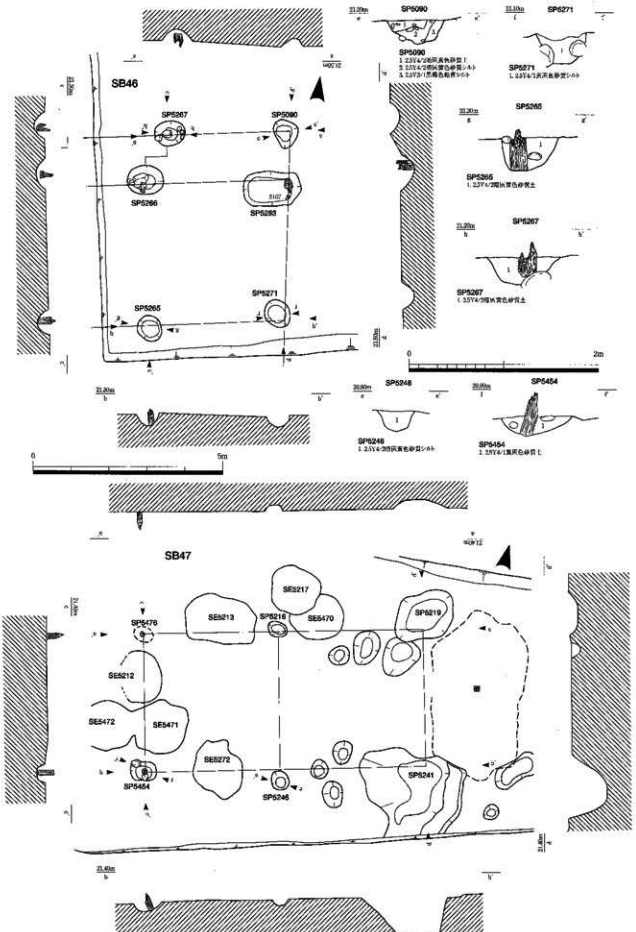
第123図　遺構実測図

SB45　SA19



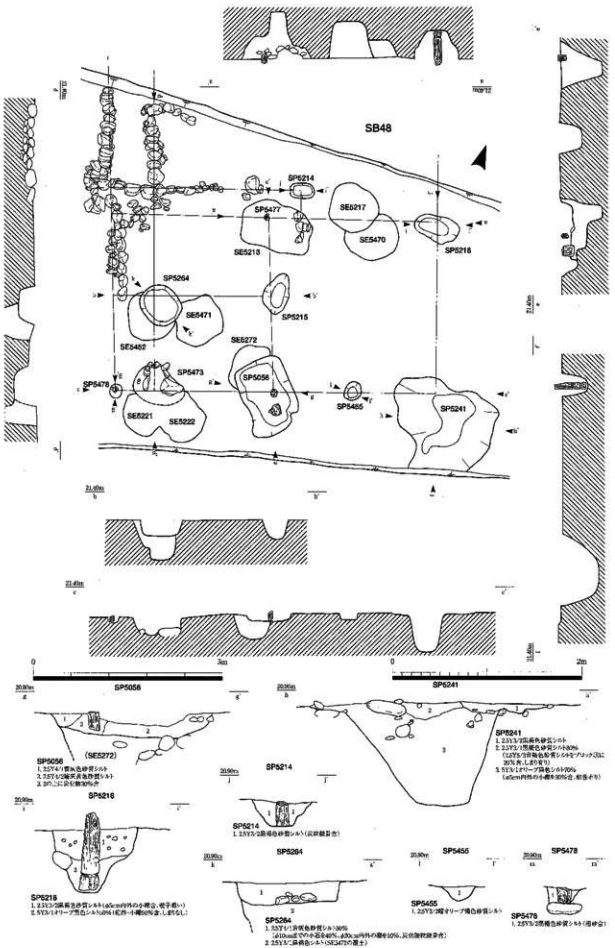
第124図　遺構実測図

SB45　SK5104　SK5117　SK5120　SK5124　SK5251



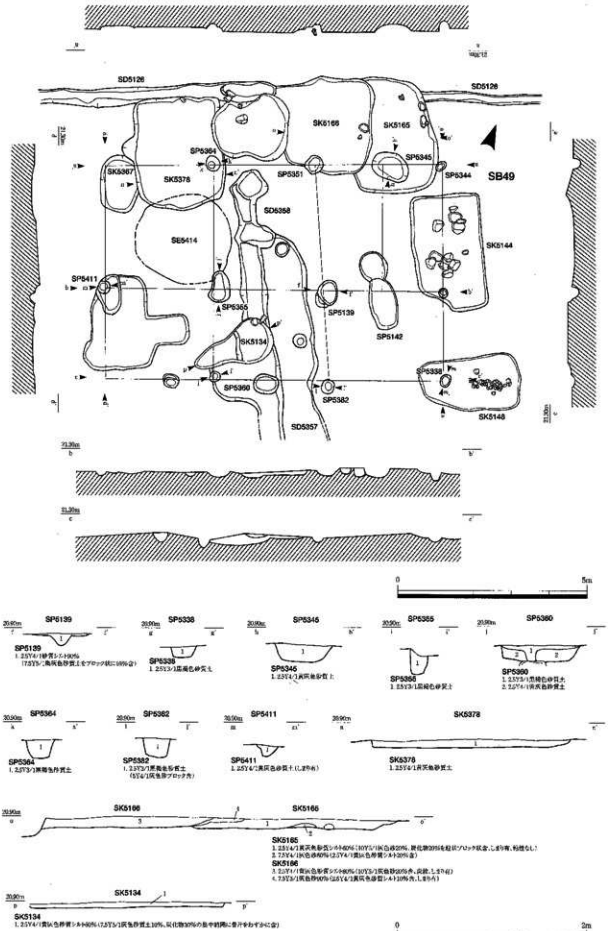
第125図　遺構実測図

SB46　SB47



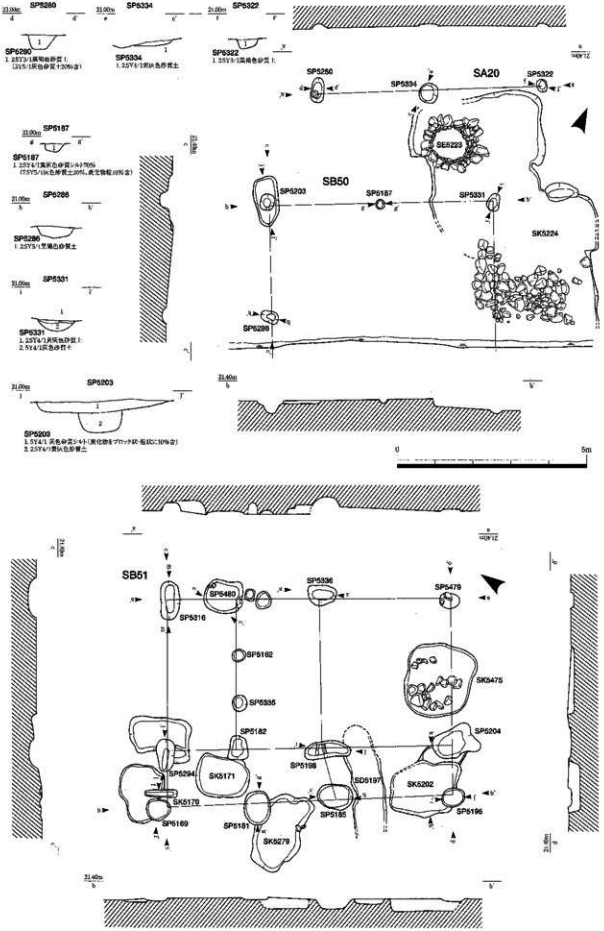
第126図　遺構実測図

SB48



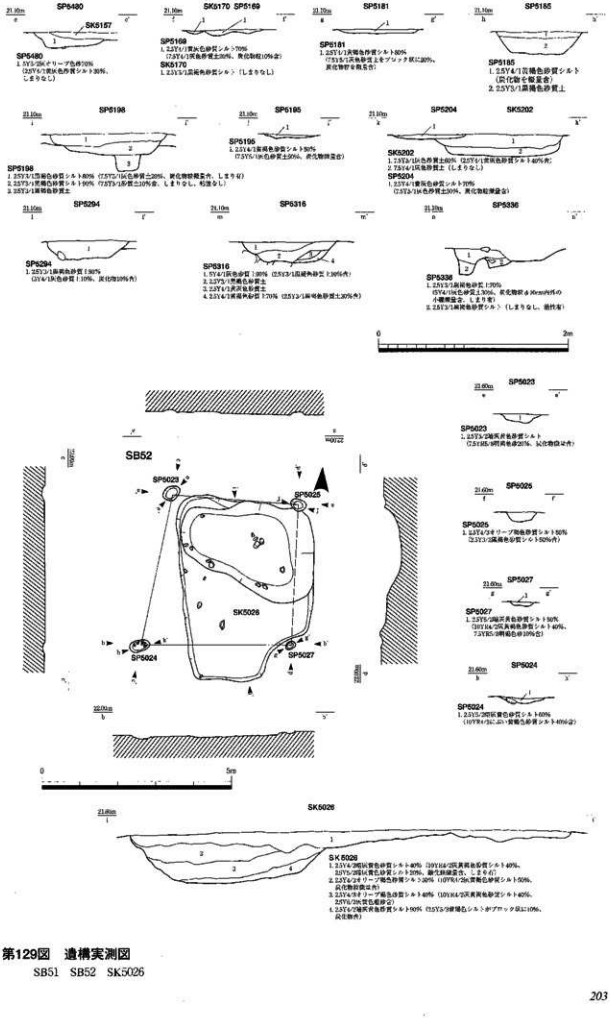
第127図　遺構実測図

SB49　SK5134　SK5165　SK5166　SK5378



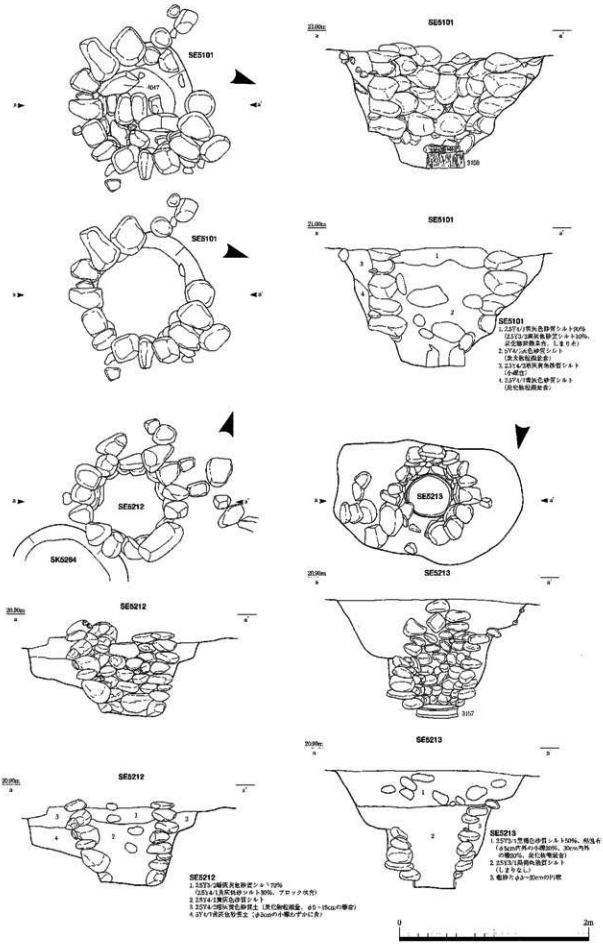
第128図　遺構実測図

SB50　SB51　SA20



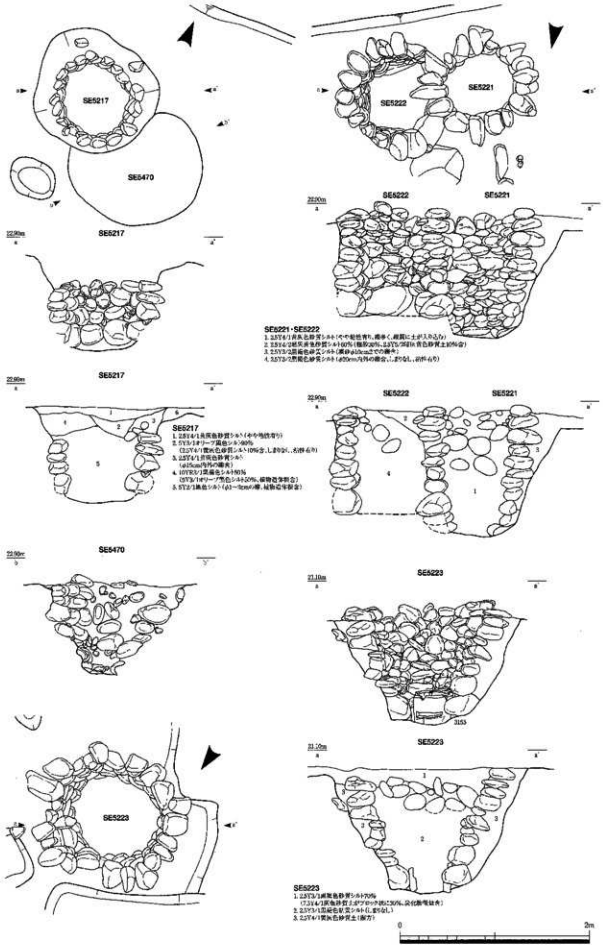
第129図　遺構実測図

SB51　SB52　SK5026



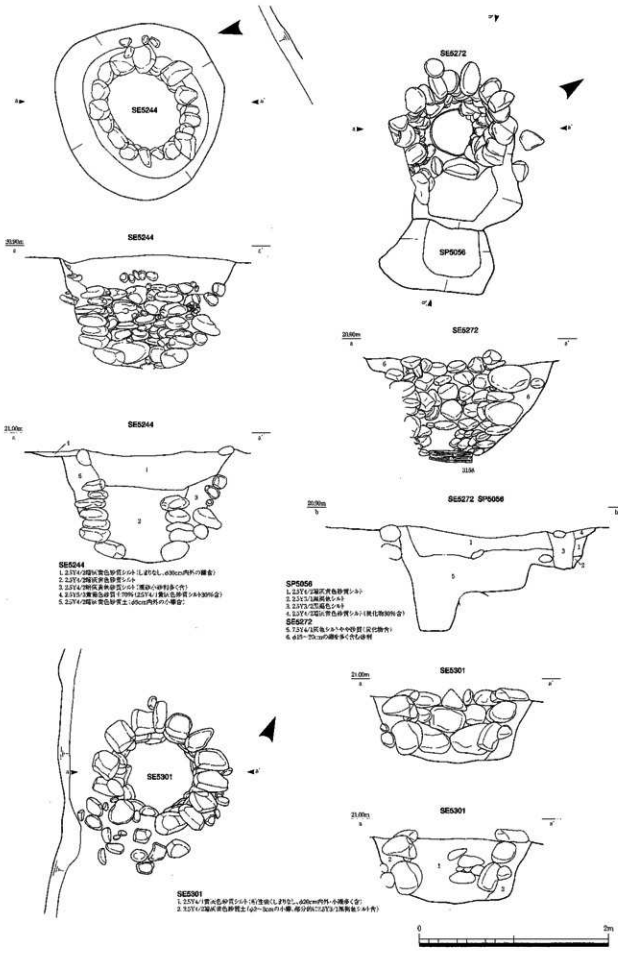
第130図　遺構実測図

SE5101　SE5212　SE5213



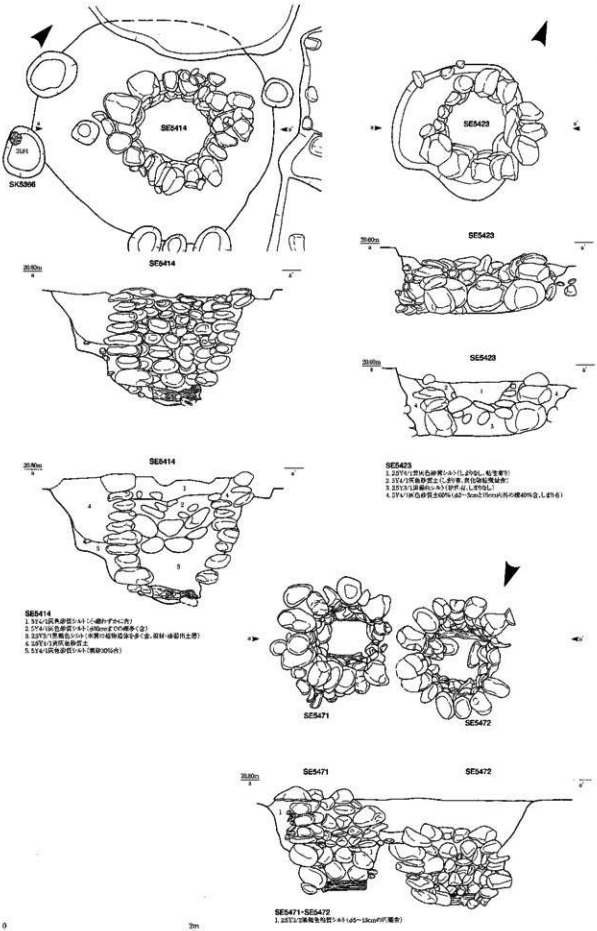
第131図　遺構実測図

SE5217　SE5221　SE5222　SE5223　SE5470



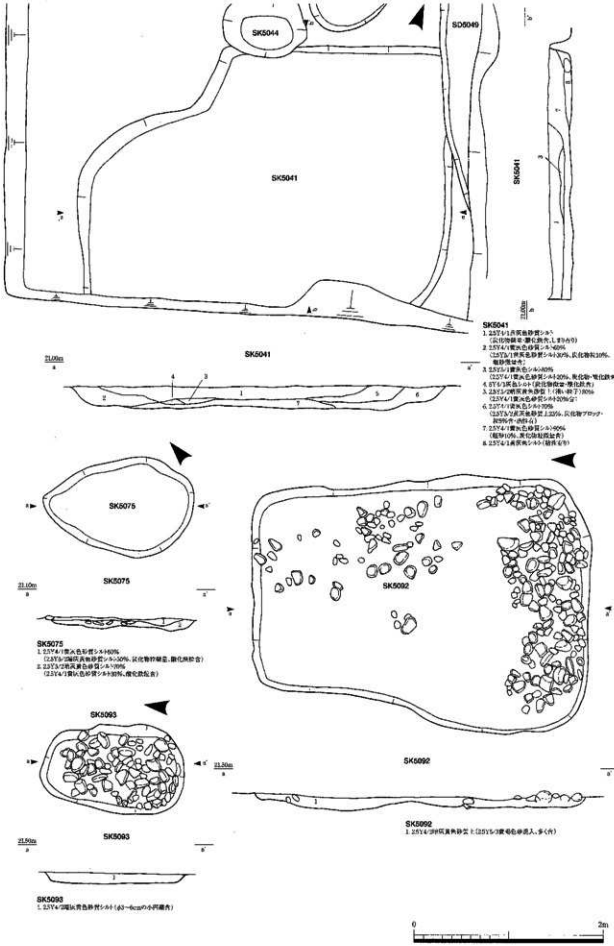
第132図　遺構実測図

SE5244　SE5272　SE5301　SP5056



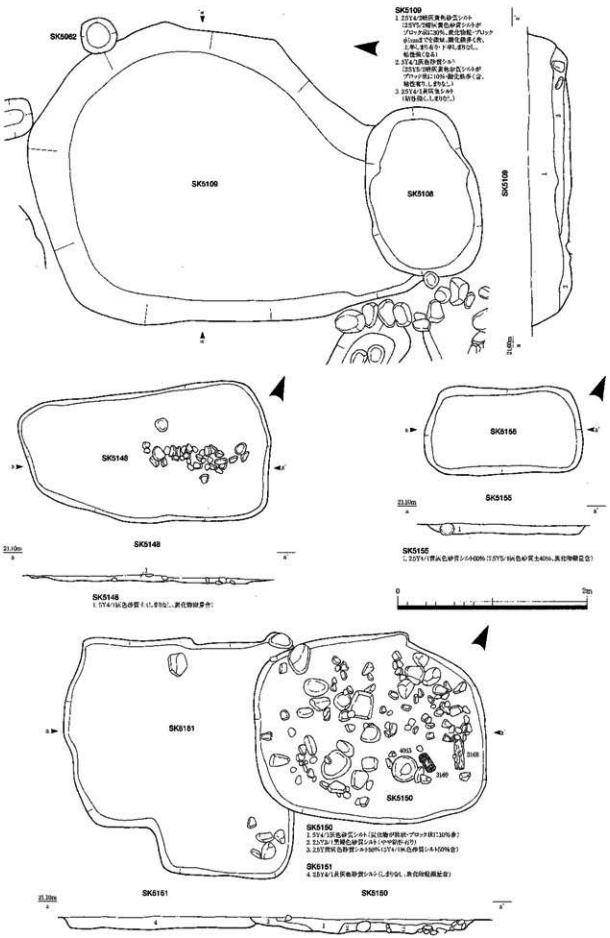
第133図　遺構実測図

SE5414　SE5423　SE5471　SE5472



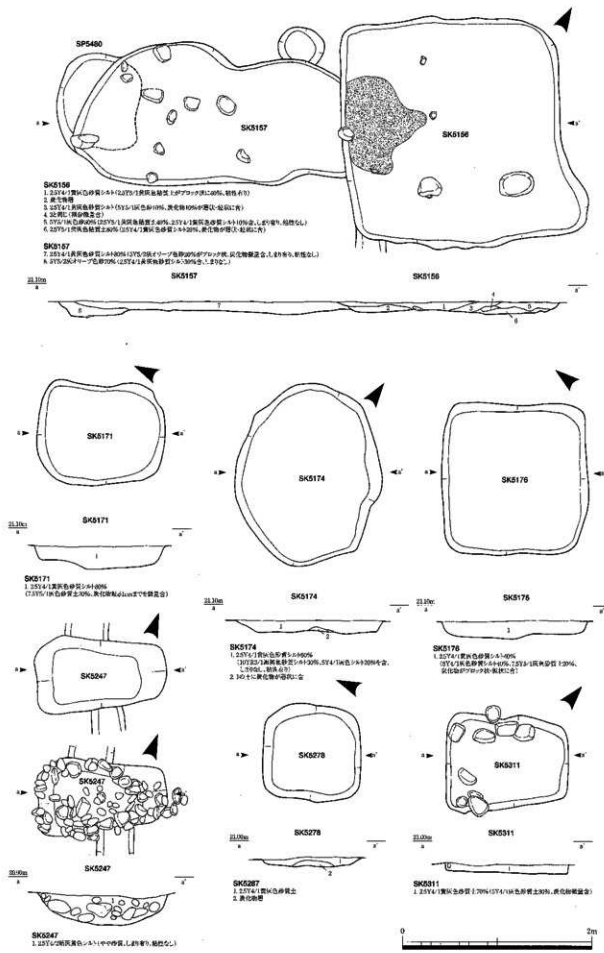
第134図　遺構実測図

SK5041　SK5075　SK5092　SK5093



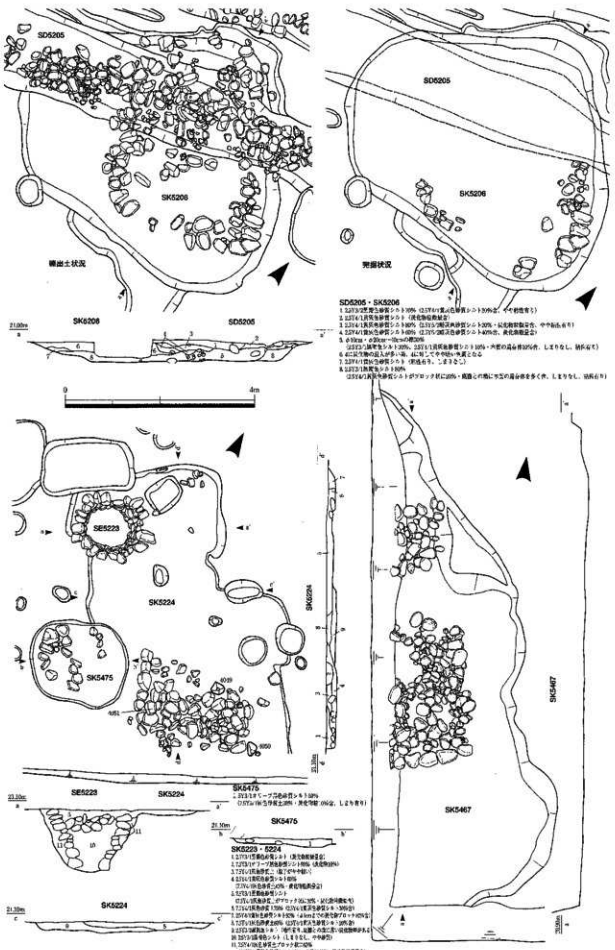
第135図　遺構実測図

SK5109　SK5148　SK5150　SK5151　SK5155



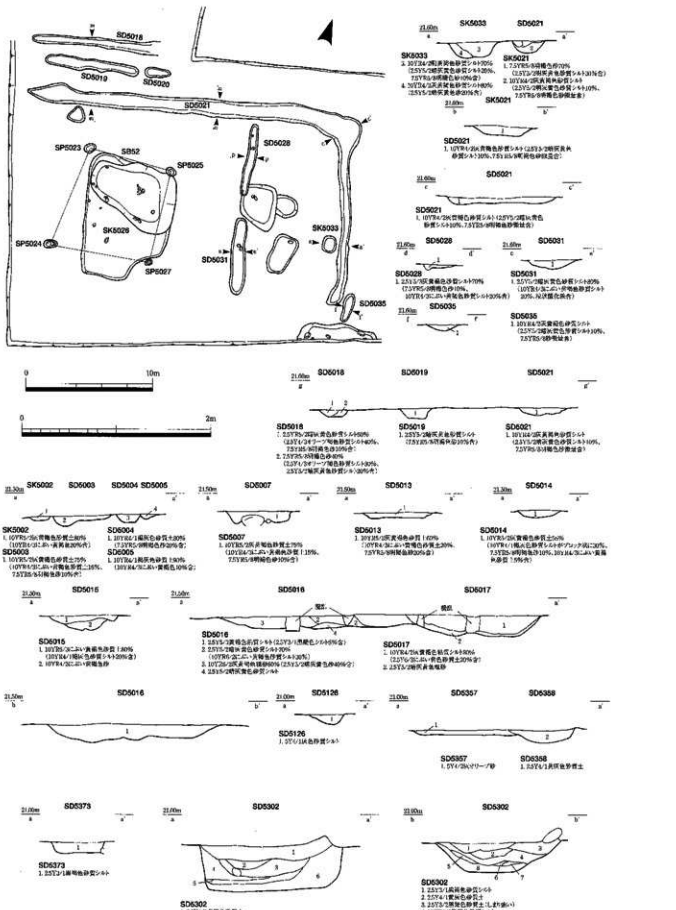
第136図　遺構実測図

SK5156　SK5157　SK5171　SK5174　SK5176　SK5247　SK5278　SK5311



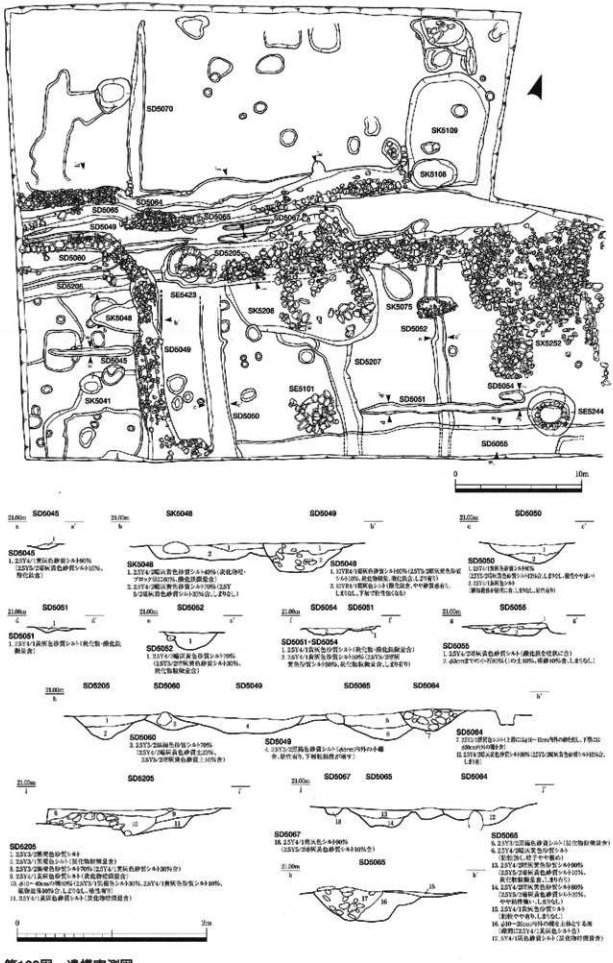
第137図　遺構実測図

SD5205　SK5206　SE5223　SK5224　SK5467　SK5475



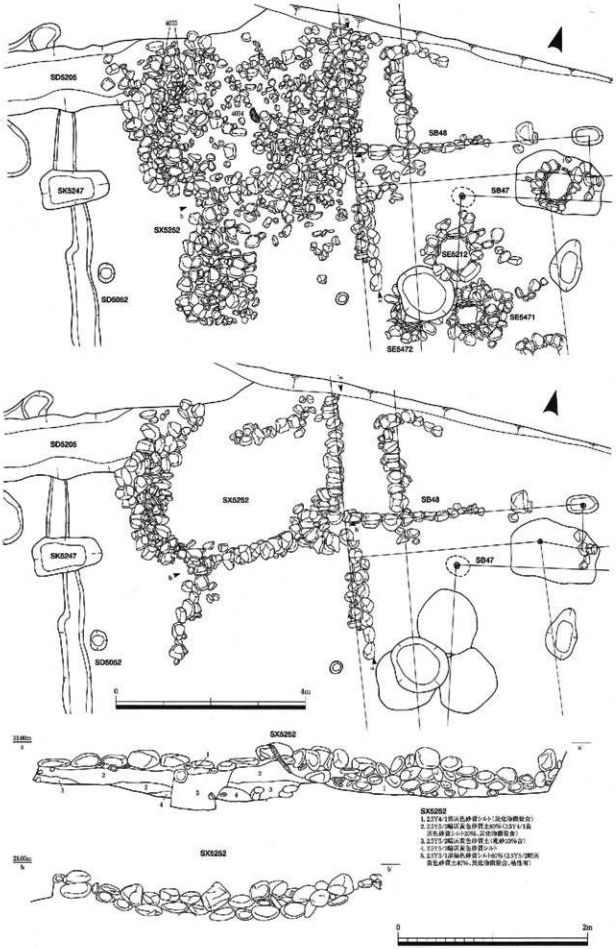
第138図　遺構実測図

SD5003　SD5004　SD5005　SD5007　SD5013　SD5014　SD5015　SD5016　SD5017　SD5018
SD5019　SD5021　SD5028　SD5031　SD5035　SD5126　SD5302　SD5357　SD5358　SD5373



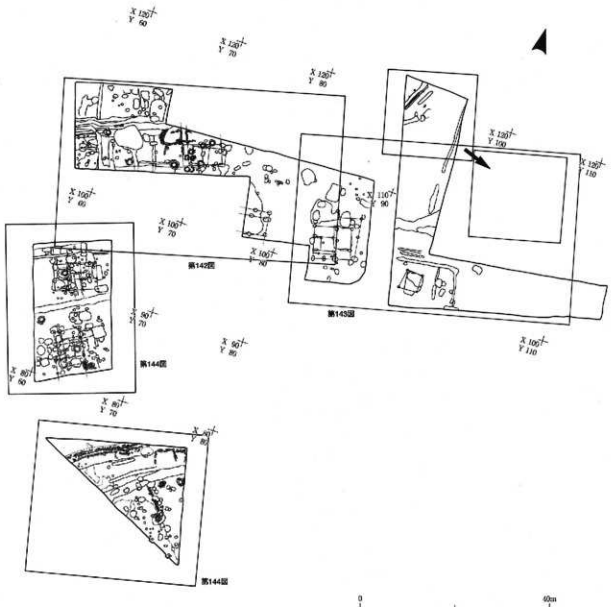
第139図　遺構実測図

SD5045　SD5049　SD5050　SD5051　SD5052　SD5054　SD5055　SD5060　SD5064　SD5065
SD5067　SD5205

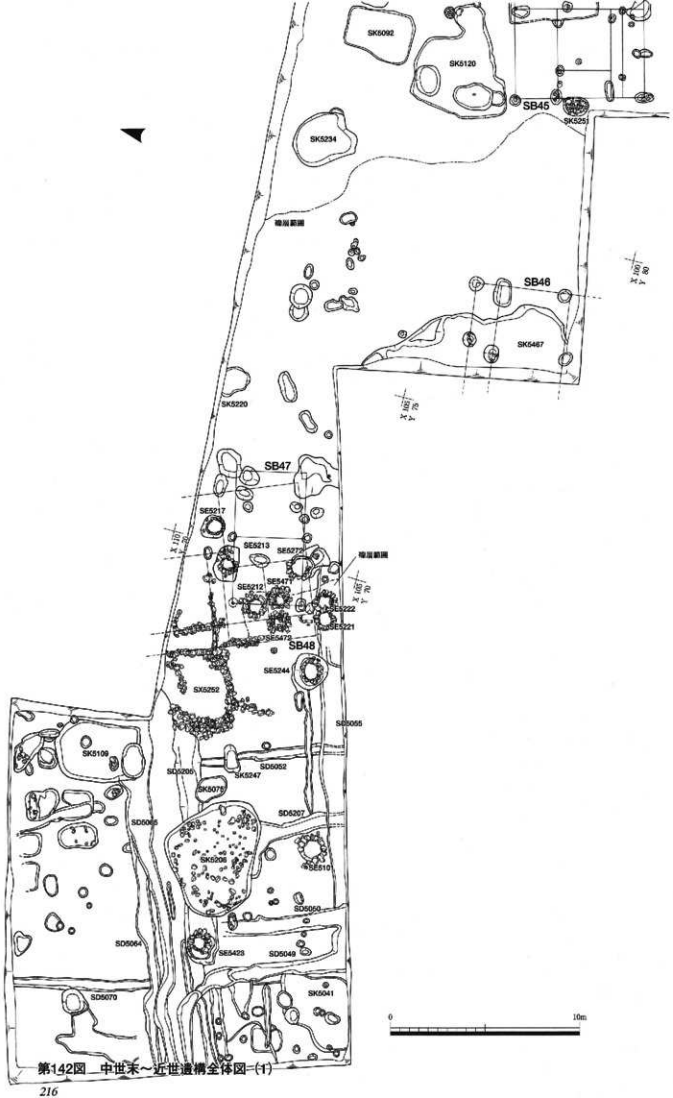


第140図　遺構実測図

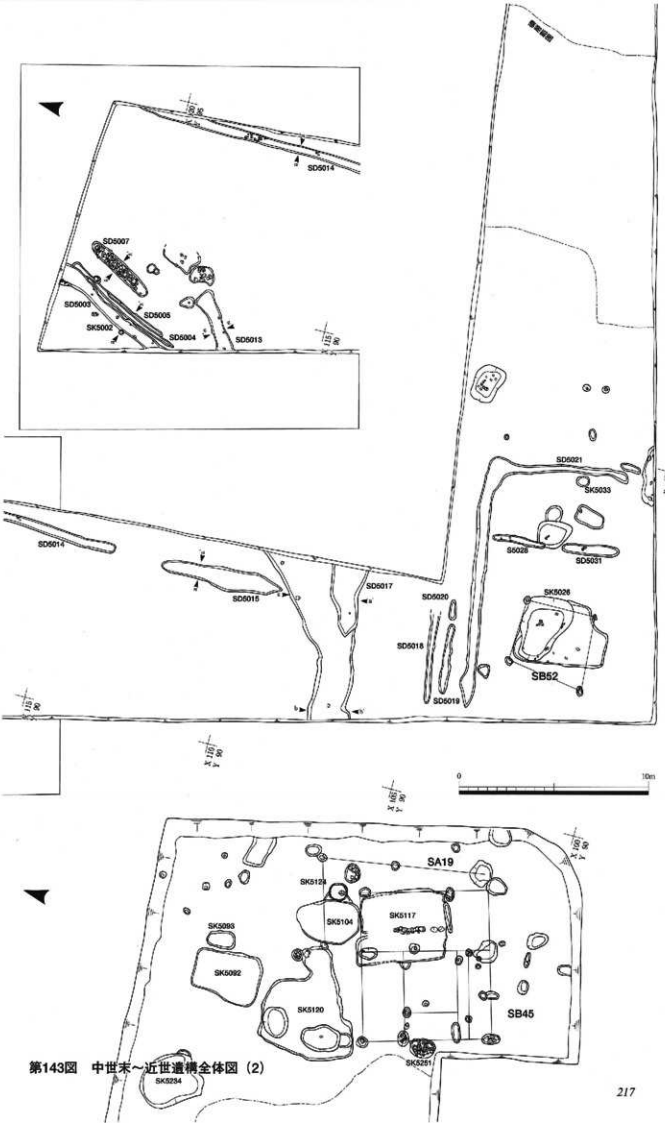
SX5252



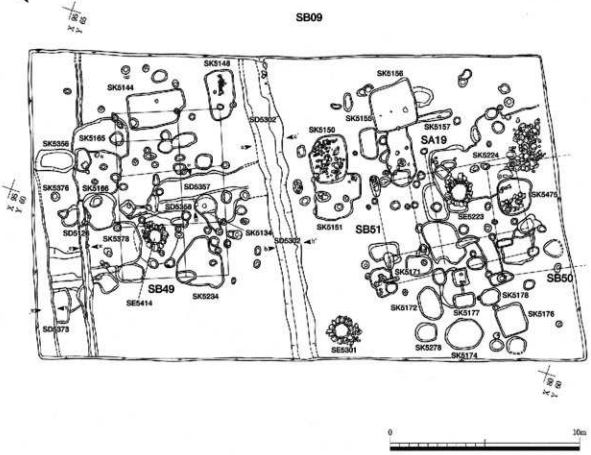
第141図　中世末～近世遺構全体図割付図

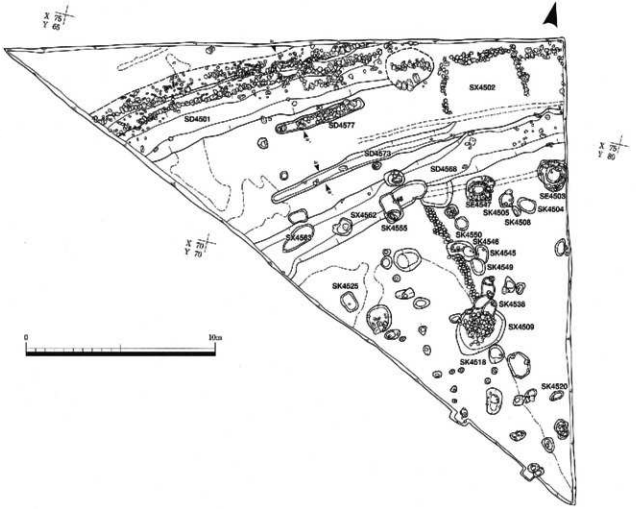


第142図　中世末～近世遺構全体図-(1)



第143図　中世末～近世遺構全体図（2）





第144図　中世末～近世遺構全体図（3）

第4表　竪穴建物一覧

建物番号	地区	平面形	長軸(m)	短軸(m)	面積(㎡)	深さ(m)	方位	竈	出土遺物	時代	備考	掲図	図版
SI01	B1	−	2.7	(1.1)	−	0.32	−	東壁	上師器・須恵器・基臺土器	古代		4	4
SI02	B4	方	3.05	2.7	8.24	0.14	N−83°−W	−	十師器・須恵器・刀子・鉄製品	古代		4	4
SI03	B4	方	2.54	2.46	6.25	0.14	N−24°−E	−	上師器・須恵器・土錘	古代	SI04＜SI03＜SK3167-3295	4	4
SI04	B4	不整形	2.66	1.7	4.35	0.1	N−4° E	−	十師器・須恵器	古代		4	4
SI05	B4	方	2.87	2.62	7.52	0.18	N−11°−E	北壁	上師器・須恵器	古代	SK3080＞SI05＞SI06	5	4
SI06	B4	方	3.0	2.0	6.0	0.22	N−87°−W	−	十師器・須恵器・刀子	古代	SI06＜SI05.SK3115-3125−3127	5	4
SI07	B4	方	3.52	3.44	12.11	0.18	N−2°−E	東壁	上師器・須恵器・鉄製品	古代	SI07＜SB02	5	5
SI08	B4	−	2.32	(1.32)	−	0.15	−	−	−	古代	SI08＜SK3342	5	5
SI09	B4	−	(2.68)	(1.73)	−	0.18	N−82°−W	東壁	上師器・須恵器	古代	SI09＜SB02.SK3149	5	5
SI10	B4	−	2.49	(1.44)	−	0.07	−	−	土師器・須恵器	古代		5	5

第5表　掘立柱建物一覧

建物番号	地区	桁行×梁行	桁長(m)	梁長(m)	面積(㎡)	棟方向	方位	柱形式	時代	備考	掲図	図版
SB01	B1	2×−×1	(4.35)	5.05	(21.97)	−	N−10°−E	−	古代		6	5
SB02	B4	4×2	8.36	4.66	38.96	東西	N−85°−W	側柱	古代	＞SI07-09.SA03	6	
SB03	B4	5×4+2×2	14.74	5.6	82.54	東西	N−82°−W	側柱	古代	＞SI02.＜SX3349	7	5・6
SB04	B1	3×3	6.5	3.8	24.7	南北	N−4°−E	総柱	古代	SA04を伴う.＞SK3283	8	5
SB05	B4	2×2	5.16	4.5	27.72	南北	N−9°−E	側柱	古代		9	6
SB06	B6	(2×2)	(5.04)	(4.88)	(24.59)	(東西)	−	−	古代		9	
SB07	B1	2×2	4.5	3.5	15.75	東西	N−73°−W	総柱	中世		24	11
SB08	B1	(2×2)	(5.0)	(4.6)	(23.0)	(南北)	N−49°−W	総柱	中世		24	11
SB09	B1	(2×2)	(3.6)	4.2	(14.7)	南北	N 36°−W	−	中世		25	11
SB10	B3	3×2	4.7	3.4	15.98	南北	N−6°−E	総石	中世	SA07を伴う	30	15
SB11	B3	3×1	6.7	2.6	17.42	南北	N−2°−E	側柱	中世		31	
SB12	B3	3×2	6.7	4.4	29.48	南北	N−10°−E	総柱	中世		35	16
SB13	B3	(5×3)	(5.6)	(3.4)	(19.04)	東西	N−16°−E	総柱	中世		35	
SB14	B3	2×2	5.8	4.9	28.42	南北	N−4°−E	側柱	中世	SA08を伴う	36	
SB15	B3	3×2	6.76	4.3	29.07	東西	N−28°−E	総柱	中世		37	17
SB16	B3	3×2	6.9	5.0	34.5	南北	N−8°−E	総柱	中世	SA09を伴う	38	17
SB17	B3	2×2〜	(8.1)	(3.9)	−	−	N−3°−E	−	中世		39	17
SB18	B3-4	3×1〜	(6.0)	(3.1)	−	(南北)	N−5°−E	総柱	中世		39	17
SB19	B3-4	(3×1)	(10.5)	(3.75)	(39.38)	(東西)	N−14°−W	側柱	中世		40	
SB20	B3	2×1	4.3	2.2	9.46	南北	N−26°−E	側柱	中世		90	
SB21	B4	2×2	5.03	4.47	22.48	東西	N−6°−W	総柱	中世	SB21＜SD2371	64	
SB22	B4	5×4	11.4	8.95	102.03	南北	N−31°−E	総柱	中世		65・66	20
SB23	B4	2×2	5.27	5.07	26.72	東西	N−67°−W	総柱	中世		67	20
SB24	B4	3×2	5.6	3.2	(17.92)	南北	N−21°−E	総柱	中世		68	
SB25	B4	4×1	11.1	4.45	49.40	東西	N−65°−W	側柱	中世	SB25＞SD2371	69	
SB26	B4	1×1	2.75	1.55	4.26	東西	N−22°−W	側柱	中世	SD2371に区画される	70	20
SB27	B4	1×1	3.2	2.7	8.64	南北	N−65°−E	側柱	中世	SD2371に区画される	70	20
SB28	B4	4×2	11.35	4.8	54.48	南北	N−22°−E	総柱	中世		71・72	
SB29	B4	2×2	4.4	4.0	17.6	東西	N−65°−W	側柱	中世	SB29＜SB30	72	
SB30	B4	2×2	5.1	4.0	20.4	東西	N−63°−W	側柱	中世	SB30＞SD29	72	
SB31	B4	3×2	4.0	2.9	11.60	東西	N−65°−W	総柱	中世		73	20
SB32	B4	3×2	4.6	2.6	11.83	東西	N−64°−W	総柱	中世	SB31の建て直し	74	20
SB33	B4	2×1	6.05	3.25	19.66	南北	N−32°−E	側柱	中世		75	
SB34	B4	2×2	5.8	4.9	28.42	南北	N−8°−E	総柱	中世	SB34＜SD2371	76	20
SB35	B6	3×1	9.42	4.9	54.1	南北	N−18°−E	側柱	中世		83	
SB36	B6	3×2	7.83	4.02	31.5	東西	N−88°−W	側柱	中世		83	
SB37	B6	3×1	6.64	3.48	23.1	東西	N−42°−W	側柱	中世		84	
SB38	B6	3〜×2	(5.7)	4.4	(25.1)	東西	N−45°−W	側柱	中世		84	
SB39	B6	3×3	6.0	3.4	20.4	東西	N−81°−W	側柱	中世		84	
SB40	B6	3×1	5.7	3.38	19.3	東西	N−77°−W	側柱	中世		85	
SB41	B6	1×1	7.61	5.37	40.87	東西	N−83°−W	総柱	中世		85	
SB42	B6	2×1	5.56	3.31	18.4	東西	N−78°−W	側柱	中世		86	
SB43	B6	2×1	8.87	4.7	41.7	東西	N−78°−W	側柱	中世		86	
SB44	B4	3×2	6.0	3.4	20.4	東西	N−31°−W	側柱	中世末〜近世		114	
SB45	C	3×3	7.8	6.8	53.04	東西	N−73°−E	−	中世末〜近世	SA19を伴う	123・124	49・50
SB46	C	−	(4.86)	(4.42)	(23.43)	−	−	−	中世末〜近世		125	50
SB47	C	2×1	7.2	3.7	26.64	東西	N−77°−E	総柱	中世末〜近世		125	49
SB48	C	4×2〜	8.1	(5.0)	(64.8)	−	−	−	中世末〜近世	石列を伴う	126	49
SB49	C	4×2	8.9	5.6	49.84	東西	N−68°−E	総柱	中世末〜近世		127	
SB50	C	5×1〜	5.93	(2.94)	(17.43)	−	−	側柱	中世末〜近世	SA20を伴う	128	
SB51	C	3×2	7.35	5.5	40.43	南北	N−32°−W	総柱	中世末〜近世		128・129	
SB52	C	1×1	4.1	4.0	13.74	−	−	側柱	中世末〜近世	SK26の上屋か	129	

第6表 柱穴一覧（1）

遺物番号	遺構番号	地区	平面形	長径(m)	幅(m)	深さ(m)	出土遺物	時期	挿図	図版
SB01	SP300	B1	円形	(0.66)	(0.44)	0.29		古代	6	
	SP301		円形	0.62	0.61	0.19	土師器・須恵器	古代	6	
	SP302		円形	0.8	0.68	0.2		古代	6	
	SP303		円形	0.84	0.77	0.27		古代	6	
SB02	SP3103	B4	円形	0.58	0.51	0.16	土師器	古代	6	
	SP3112		円形	0.46	0.45	0.2		古代	6	
	SP3121		楕円	0.65	0.45	0.25		古代	6	
	SP3130		方形	0.5	0.4	0.08	土師器	古代	6	
	SP3151		円形	0.46	0.4	0.12		古代	6	
	SP3154		円形	0.63	0.36	0.22		古代	6	
	SP3162		円形	0.5	0.47	0.29		古代	6	
	SP3175		円形	0.6	0.41	0.2	土師器	古代	6	
	SP3176		円形	0.5	0.4	0.2		古代	6	
	SP3282		方形	1.14	1.1	0.21		古代	6	
	SP3318		楕円	1.1	0.46	0.17		古代	6	
	SP3360		楕円	0.7	0.57	0.12		古代	6	
SB03	SP3047	B4	円	0.6	0.53	0.28	土師器	古代	7	
	SP3048		楕円	0.85	0.63	0.25		古代	7	
	SP3051		円	0.84	0.76	0.24		古代	7	
	SP3054		円	0.98	0.95	0.11		古代	7	6
	SP3057		円	0.6	0.57	0.26		古代	7	
	SP3059		不整楕円	1.25	1	0.42	土師器	古代	7	
	SP3068		円	0.46	0.42	0.23	土師器	古代	7	
	SP3073		円	0.88	0.85	0.18		古代	7	
	SP3074		円	0.75	0.68	0.29		古代	7	
	SP3188		円	0.4	0.38	0.24		古代	7	
	SP3299		円	0.64	0.6	0.27		古代	7	
	SP3301		不整形円	0.63	0.59	0.34	土師器	古代	7	
	SP3309		楕円	0.9	0.65	0.34		古代	7	6
	SP3311		円	0.68	0.58	0.2		古代	7	
	SP3313		円	0.74	0.65	0.36		古代	7	6
	SP3334		円	0.55	0.45	0.17		古代	7	6
	SP3341		円	0.55	0.5	0.1		古代	7	
	SP3351		円	0.68	0.64	0.3		古代	7	
	SP3352		不整形	1.12	0.93	0.43		古代	7	
SB04	SP3081	B4	円	0.53	0.52	0.25		古代	8	
	SP3082		円	0.45	0.45	0.23		古代	8	
	SP3083		円	0.64	0.52	0.3		古代	8	
	SP3087		円	0.6	0.44	0.19		古代	8	
	SP3101		円	0.85	0.78	0.1	土師	古代	8	
	SP3168		不整形	1.4	0.85	0.37	土師器	古代	8	
	SP3284		楕円	0.65	0.47	0.09	土師器	古代	8	
	SP3330		不整楕円	1.25	(0.75)	0.24	土師器	古代	8	
	SP3332		不整楕円	1.22	0.7	0.24		古代	8	
	SP3357		不整楕円	1.6	0.9	0.34	土師器・須恵器	古代	8	
SB05	SP3037	B4	楕円	0.61	0.52	0.22		古代	9	
	SP3043		円	0.4	0.41	0.13	土師器	古代	9	
	SP3044		楕円	0.45	0.37	0.22	土師器	古代	9	
	SP3049		円	0.55	0.53	0.24	土師器	古代	9	
	SP3186		円	0.34	0.34	0.2		古代	9	
	SP3280		不整形楕円	0.73	0.55	0.32		古代	9	6
	SP3310		不整形	0.55	0.55	0.41		古代	9	
SB06	SP834	B2	円	0.36	0.3	0.35		古代	9	
	SP4442	B6	円	0.4	0.38	0.1		古代	9	
	SP4444		円	0.48	0.42	0.05		古代	9	
	SP4454		円	0.58	0.5	0.2		古代	9	
SB07	SP03	B1	円	0.35	0.33	0.21		中世	24	
	SP04		円	0.33	0.29	0.11		中世	24	
	SP50		円	0.39	0.35	0.12		中世	24	
	SP51		円	0.32	0.3	0.06		中世	24	
	SP52		円	0.36	0.35	0.14		中世	24	
	SP53		円	0.37	0.35	0.19	中世土師器	中世	24	
SB08	SP10	B1	円	0.4	0.37	0.12		中世	24	
	SP11		円	0.48	0.43	0.15		中世	24	
	SP12		円	0.43	0.31	0.19		中世	24	
	SP13		円	0.39	0.34	0.37		中世	24	
	SP14		円	0.36	0.34	0.12		中世	24	
	SP15		円	0.31	0.26	0.16		中世	24	
SB09	SP39	B1	円	0.4	0.39	0.17		中世	25	
	SP43		円	0.34	0.33	0.08		中世	25	
	SP44		円	0.41	0.32	0.19		中世	25	
	SP45		円	0.33	0.32	0.34		中世	25	
	SP46		円	0.34	0.26	0.11		中世	25	
SB11	SP1945	B3	円	0.57	0.49	0.17		中世	31	

第6表　柱穴一覧（2）

遺物番号	遺構番号	地区	平面形	長さ(m)	幅(m)	深さ(m)	出土遺物	時期	掲図	図版
	SP1946		円	0.094	0.084	0.14		中世	31	
	SP1947		円	0.5	0.5	0.14		中世	31	
SB11	SP1949	B3	円	0.5	0.27	0.19		中世	31	
	SP1951		円	0.52	0.44	0.09		中世	31	
	SP1954		円	0.5	0.26	0.1		中世	31	
	SP1957		円	0.41	0.4	0.16		中世	31	
	SP1009		円	0.39	0.3	0.06		中世	35	
	SP1053		円	0.3	0.3	0.17	中世土師器	中世	35	
	SP1055		円	0.4	0.38	0.16		中世	35	
	SP1056		円	0.33	0.3	0.19		中世	35	
	SP1080		円	0.33	0.31	0.19		中世	35	
SB12	SP1093	B3	円	0.39	0.41	0.19		中世	35	
	SP1095		円	0.35	0.28	0.01		中世	35	
	SP1097		円	0.44	0.31	0.12		中世	35	
	SP1098		円	0.31	0.23	0.12		中世	35	
	SP1108		円	0.24	0.3	0.1		中世	35	
	SP1117		円	0.33	0.25	0.66		中世	35	
	SP1213		円	0.39	0.34	0.31		中世	35	
	SP1214		円	0.33	0.32	0.29		中世	35	
	SP1218		円	0.43	0.37	0.29	磨滅	中世	35	
SB13	SP1234	B3	円	0.36	0.32	0.23		中世	35	
	SP1235		円	0.39	0.32	0.23		中世	35	
	SP1236		円	0.34	0.3	0.25		中世	35	
	SP1237		円	0.35	0.3	0.2		中世	35	
	SP1731		円	0.45	0.39	0.12		中世	36	
	SP1733		円	0.46	0.42	0.21		中世	36	
	SP1755		円	0.66	0.55	0.27		中世	36	
SB14	SP1759	B3	円	0.48	0.45	0.19		中世	36	
	SP1760		円	0.47	0.46	0.23		中世	36	
	SP1782		円	0.7	0.5	0.27		中世	36	
	SP1784		円	0.57	(0.49)	0.24		中世	36	
	SP1787		円	0.53	0.43	0.18		中世	36	
	SP1132		円	0.59	0.48	0.3		中世	37	
	SP1138		円	0.49	0.46	0.27		中世	37	
	SP1140		円	0.65	0.51	0.59	中世土師器	中世	37	
	SP1143		円	0.63	0.59	0.58	須恵器	中世	37	
	SP1201		円	0.59	0.47	0.51		中世	37	
SB15	SP1347	B3	円	0.5	0.47	0.55	中世土師器	中世	37	
	SP1348		円	0.57	0.54	0.62		中世	37	
	SP1349		円	0.51	0.48	0.18		中世	37	
	SP1818		円	0.65	0.55	0.49		中世	37	
	SP1819		円	0.63	0.62	0.42		中世	37	
	SP1827		円	0.74	0.59	0.44		中世	37	
	SP1206		円	0.52	0.48	0.39		中世	37	
	SP1362		円	0.45	0.37	0.19		中世	38	
	SP1368		円	0.37	0.36	0.29		中世	38	
	SP1373		円	0.43	0.42	0.33	中世土師器	中世	38	
	SP1463		円	0.46	0.45	0.25		中世	38	
	SP1465		円	0.44	0.35	0.24		中世	38	
SB16	SP1467	B3	円	0.43	(0.24)	0.26		中世	38	
	SP1470		円	0.49	0.45	0.3		中世	38	
	SP1473		円	0.34	0.32	0.28		中世	38	
	SP1477		円	0.42	0.38	0.3		中世	38	
	SP1533		円	0.39	0.34	0.27		中世	38	
	SP1603		円	0.32	0.29	0.29	須恵器	中世	38	
	SP1606		円	0.41	0.38	0.31		中世	38	
	SP1516		円	0.44	0.43	0.23		中世	39	
	SP1531		円	0.39	0.36	0.32		中世	39	
SB17	SP1543	B3	楕円	0.66	0.35	0.18		中世	39	
	SP1550		円	0.71	(0.35)	0.22		中世	39	
	SP1555		円	0.59	0.46	0.33		中世	39	
	SP1600		円	0.49	0.42	0.24		中世	39	
	SP1821		隅丸	0.78	0.7	0.33	中世土師器・瓶洲・青磁	中世	39	
	SP1826		円	0.6	(0.52)	0.33	中世土師器・青磁	中世	39	
SB18	SP1828	B3	楕円	0.53	0.34	0.23		中世	39	
	SP1540		楕円	0.65	0.48	0.24		中世	39	
	SP1642		楕円	0.76	0.6	0.25		中世	39	
	SP2091	B4	円	0.84	0.63	0.1		中世	39	
	SP2096		円	0.66	0.36	0.15		中世	39	
	SP1545	B3	円	0.5	0.47	0.2	土師器	中世	40	
	SP1824		不整形	1	0.8	0.32	須恵器	中世	40	
SB19	SP2095		円	0.41	(0.21)	0.1		中世	40	
	SP2102	B4	円	0.81	0.57	0.21		中世	40	
	SP2107		楕円	0.7	0.64	0.17		中世	40	

第6表 柱穴一覧（3）

遺物番号	遺構番号	地区	平面形	長さ(m)	幅(m)	深さ(m)	出土遺物	時期	掘図	図版
SB19	SP2271	B4	円	0.62	0.51	0.13	土師器	中世	40	
	SP1651		円	0.46	0.35	0.28		中世	40	
	SP1654		円	0.32	0.29	0.02		中世	40	
	SP1656		円	0.57	0.39	0.21	中世土師器	中世	40	
SB20	SP1791	B3	円	0.34	0.32	0.06		中世	40	
	SP1794		円	0.33	0.31	0.2		中世	40	
	SP1795		円	0.36	0.35	0.1		中世	40	
	SP1797		円	(0.4)	0.4	0.14		中世	40	
	SP2369		円	0.37	0.29	0.08		中世	64	
	SP2737		円	0.28	0.26	0.12		中世	64	
	SP2746		円	0.61	0.45	0.19		中世	64	
	SP2750		円	0.37	0.26	0.14		中世	64	
SB21	SP2752	B4	円	0.36	0.35	0.09		中世	64	
	SP2756		円	0.43	0.42	0.07		中世	64	
	SP2757		円	0.73	0.52	0.18		中世	64	
	SP2762		円	0.72	0.49	0.3		中世	64	
	SP2942		円	0.39		0.19		中世	64	
	SP2602		円	0.56	0.44	0.17	中世土師器	中世	65・66	
	SP2603		円	0.7	0.45	0.21		中世	65・66	
	SP2604		円	0.5	0.43	0.2	珠洲	中世	65・66	
	SP2605		円	0.46	0.4	0.25		中世	65・66	
	SP2606		円	0.54	0.5	0.35		中世	65・66	
	SP2607		円	0.67	0.56	0.2		中世	65・66	
	SP2608		円	0.57	0.44	0.23		中世	65・66	
	SP2609		円	0.5	0.4	0.3		中世	65・66	
	SP2612		円	0.53	(0.26)	0.14	土師器	中世	65・66	
	SP2619		円	0.46	0.34	0.25		中世	65・66	
SB22	SP2626	B4	円	0.64	0.42	0.43		中世	65・66	
	SP2630		円	0.95	0.78	0.24		中世	65・66	
	SP2636		円	0.57	0.5	0.37		中世	65・66	
	SP2639		円	0.44	0.4	0.18		中世	65・66	
	SP2640		円	0.48	0.46	0.34		中世	65・66	
	SP2641		円	0.41	0.39	0.21		中世	65・66	
	SP2643		円	0.93	0.66	0.25	須恵器	中世	65・66	
	SP2805		円	0.36	0.3	0.09		中世	65・66	
	SP2807		円	0.46	0.35	0.3		中世	65・66	
	SP2809		円	0.42	0.33	0.21	須恵器	中世	65・66	
	SP3156		円	(0.53)	0.38	0.16		中世	65・66	
	SP2308		円	0.52	0.47	0.18		中世	67	
	SP2509		円	0.34	0.3	0.17		中世	67	
	SP2510		円	0.47	0.46	0.13		中世	67	
	SP2511		円	0.55	0.54	0.19		中世	67	
SB23	SP2512	B4	円	0.31	0.3	0.12		中世	67	
	SP2821		円	0.46	0.45	0.17		中世	67	
	SP2822		円	0.43	0.41	0.11		中世	67	
	SP2826		円	0.51	0.46	0.23		中世	67	
	SP2947		円	0.36	0.34	0.15		中世	67	
	SP2157		円	0.34	0.33	0.24		中世	68	
	SP2488		円	0.33	0.3	0.15		中世	68	
	SP2491		円	0.3	0.26	0.18		中世	68	
SB24	SP2500	B4	円	0.35	0.34	0.15		中世	68	
	SP2837		円	0.3	(0.19)	0.15		中世	68	
	SP2840		円	0.29	0.27	0.24	須恵器	中世	68	
	SP3008		円	0.34	0.32	0.18		中世	68	
	SP2329		円	0.42	0.33	0.09		中世	69	
	SP2353		円	0.52	0.52	0.19		中世	69	
	SP2376		円	0.36	0.33	0.17		中世	69	
	SP2394		楕円	1.23	0.7	0.19		中世	69	
SB25	SP2400	B4	円	0.37	0.32	0.13		中世	69	
	SP2748		円	0.47	0.44	0.15		中世	69	
	SP2735		円	0.32	0.31	0.06		中世	69	
	SP2754		円	0.42	0.27	0.11		中世	69	
	SP2755		円	0.32	0.25	0.11		中世	69	
	SP2763		円	0.32	0.3	0.25		中世	69	
	SP2772		円	0.34	0.23	0.33		中世	70	
SB26	SP2774	B4	円	0.27	0.26	0.14		中世	70	
	SP2782		円	0.27	0.25	0.1		中世	70	
	SP2784		円	0.34	0.29	0.2		中世	70	
	SP2365		円	0.36	0.34	0.14		中世	70	
SB27	SP2369	B4	円	0.37	0.29	0.08		中世	70	
	SP2443		円	0.45	0.33	0.09		中世	70	
	SP2438		円	0.41	0.39	0.11		中世	70	
	SP2254		円	0.43	0.36	0.11		中世	71	
SB28	SP2260	B4	円	0.4	0.39	0.3		中世	71	

第6表　柱穴一覧（4）

遺物番号	遺構番号	地区	平面形	長さ(m)	幅(m)	深さ(m)	出土遺物	時期	掲図	図版
	SP2324		楕円	1.31	0.9	0.4	中世土師器	中世	71	
	SP2325		隅丸	2.28	1.05	0.26	人骨	中世	71	
	SP2326		円	0.24	0.21	0.06		中世	71	
SB28	SP2328	B4	円	0.46	0.37	0.17		中世	71	
	SP2333		円	0.5	0.45	0.23		中世	71	
	SP2341		円	0.34	0.32	0.16		中世	71	
	SP2381		円	0.51	0.49	0.11		中世	71	
	SP2431		円	0.38	0.33	0.14		中世	71	
	SP2693		円	0.49	0.45	0.26		中世	71	
	SP2697		円	0.63	0.53	0.27		中世	71	
	SP2687		円	0.35	0.33	0.15		中世	72	
SB29	SP2690	B4	円	0.37	0.31	0.12		中世	72	
	SP2692		円	0.4	0.36	0.05		中世	72	
	SP2667		円	0.3	0.28	0.12		中世	72	
SB29・30	SP2675	B4	円	0.53	0.4	0.19		中世	72	
	SP2688		楕円	(0.7)	0.46	0.23		中世	72	
	SP2691		円	0.54	0.47	0.22		中世	72	
	SP2222		円	0.35	0.3	0.16		中世	72	
SB30	SP2252	B4	円	0.44	0.37	0.13	炭	中世	72	
	SP2258		円	0.29	0.27	0.21		中世	72	
	SP2299		円	0.46	0.42	0.07		中世	73	
	SP2297		円	0.56	0.45	0.07		中世	73	
	SP2302		円	0.3	0.25	0.08		中世	73	
SB31	SP2307	B4	円	0.41	0.35	0.15		中世	73	
	SP2326		円	0.24	0.21	0.06		中世	73	
	SP2346		円	0.38	0.37	0.11		中世	73	
	SP2384		円	0.32	(0.26)	0.99		中世	73	
	SP2716		円	0.27	0.19	0.13		中世	73	
	SP2321		円	0.36	0.25	0.06		中世	74	
	SP2298		円	0.54	0.4	0.06		中世	74	
	SP2301		円	0.41	0.35	0.13		中世	74	
	SP2304		円	0.26	0.24	0.1		中世	74	
	SP2314		円	0.44	0.35	0.18		中世	74	
SB32	SP2318	B4	楕円	0.3	1.08	0.14	金属製品	中世	74	
	SP2336		円	0.24	0.21	0.06		中世	74	
	SP2347		円	0.33	0.27	0.38	中世土師器	中世	74	
	SP2382		円	0.36	0.45	0.1		中世	74	
	SP2384		円	0.32	(0.26)	0.99		中世	74	
	SP2714		円	0.47	0.33	0.13		中世	74	
	SP2108		円	0.62	0.46	0.16		中世	75	
	SP2110		円	0.39	0.35	0.2		中世	75	
SB33	SP2115	B4	円	0.46	0.39	0.14		中世	75	
	SP2173		円	0.55	0.38	0.18	中世土師器	中世	75	
	SP2176		円	0.32	0.3	0.18		中世	75	
	SP2219		円	0.35	0.32	0.28		中世	75	
	SP2455		円	0.7	0.58	0.33		中世	76	
	SP2458		円	0.37	0.3	0.14		中世	76	
SB34	SP2471	B4	円	0.32	0.24	0.09		中世	76	
	SP2768		円	0.43	0.42	0.16		中世	76	
	SP2770		円	0.6	0.41	0.2		中世	76	
	SP2799		円	0.33	0.3	0.17		中世	76	
	SP4331		円	0.29	0.25	0.06		中世	83	
	SP4342		円	0.3	0.23	0.08		中世	83	
SB35	SP4346	B6	円	0.39	0.32	0.15		中世	83	
	SP4348		楕円	0.65	0.5	0.1	須恵器・中世土師器・陶磁	中世	83	
	SP4350		円	0.29	0.3	0.11		中世	83	
	SP4298		円	0.51	0.43	0.08		中世	83	
	SP4311		円	0.31	0.29	0.08		中世	83	
	SP4314		楕円	0.25	0.21	0.1		中世	83	
SB36	SP4318	B6	円	0.35	0.33	0.14	須恵器・中世土師器	中世	83	
	SP4324		円	0.37	0.34	0.12		中世	83	
	SP4356		円	0.39	0.37	0		中世	83	
	SP4362		楕円	1.23	0.71	0.18		中世	83	
	SP4340		隅丸	0.92	0.84	0.13		中世	83	
	SP4053		円	0.29	0.28	0.11		中世	84	
SB37	SP4230	B6	円	0.51	0.36	0.16		中世	84	
	SP4232		円	0.46	0.45	0.2		中世	84	
	SP4253		円	0.46	(0.3)	0.17		中世	84	
	SP4205		楕円	0.68	0.41	0.17		中世	84	
	SP4209		円	0.29	0.2	0.11		中世	84	
SB38	SP4210	B6	円	0.63	0.6	0.21		中世	84	
	SP4219		楕円	0.75	0.66	0.31		中世	84	
	SP4212		楕円	0.74	0.67	0.07		中世	84	
SB39	SP4144	B6	円	0.8	0.74	0.33		中世	84	

第6表 柱穴一覧（5）

遺物番号	遺構番号	地区	平面形	長さ(m)	幅(m)	深さ(m)	出土遺物	時期	掲図	図版
	SP4315		円	0.35	0.3	0.12		中世	84	
SB39	SP4337	B6	円	0.24	0.24	0.08		中世	84	
	SP4336		円	0.39	0.37	9		中世	84	
	SP4337		円	0.39	0.38	0.1		中世	84	
	SP4291		楕円	0.73	(0.71)	0.22		中世	85	
	SP4292		楕円	0.47	0.39	0.1		中世	85	
	SP4298		円	0.51	0.43	0.08		中世	85	
SB40	SP4299	B6	円	0.56	0.47	0.12		中世	85	
	SP4344		楕円	0.63	0.45	0.22		中世	85	
	SP4346		円	0.39	0.32	0.15		中世	85	
	SP4348		楕円	0.65	0.5	0.1	須恵器・中世土師器・珠洲	中世	85	
	SP4350		円	0.39	0.3	0.11		中世	85	
	SP4088		楕円	0.7	0.62	0.13		中世	85	
SB41	SP4114	B6	楕円	0.63	0.46	0.1		中世	85	
	SP4259		楕円	0.82	0.7	0.14		中世	85	
	SP4023		不整形	1.45	0.76	0.1		中世	86	
	SP4028		円	1.35	1.32	0.09		中世	86	
SB42	SP4039	B6	楕円	1.4	1.1	0.17	瓦器碗・中世土師器	中世	86	
	SP4049		隅丸	0.8	0.53	0.14		中世	86	
	SP4053		円	0.29	0.28	0.11		中世	86	
	SP4024		楕円	0.7	0.6	0.15		中世	86	
	SP4070		円	0.43	0.34	0.03	土師器・中世土師器	中世	86	
	SP4071		円	0.48	0.47	0.07		中世	86	
	SP4210		円	0.63	0.6	0.21		中世	86	
SB43	SP4214	B6	円	0.48	0.42	0.17		中世	86	
	SP4222		楕円	0.38	0.26	0.05		中世	86	
	SP4233		円	0.75	0.75	0.11		中世	86	
	SP4236		円	0.33	0.3	0.15		中世	86	
	SP4266		楕円	1.1	0.7	0.04		中世	86	
	SP2125		円	0.28	0.24	0.28		中世末～近世	114	
	SP2126		円	0.3	0.26	0.29		中世末～近世	114	
	SP2127		円	0.3	0.24	0.56		中世末～近世	114	
	SP2129		円	0.3	0.27	0.16		中世末～近世	114	
SB44	SP2132	B4	円	0.28	0.26	0.12		中世末～近世	114	
	SP2141		円	0.4	0.36	0.54		中世末～近世	114	
	SP2142		円	0.32	0.28	0.14		中世末～近世	114	
	SP2143		円	0.26	0.24	0.35		中世末～近世	114	
	SP2144		円	0.26	0.22	0.32		中世末～近世	114	
	SP2145		円	0.28	0.24	0.35		中世末～近世	114	
	SP5105		楕円	0.63	0.48	0.06		中世末～近世	123-124	
	SP5110		楕円	0.7	0.46	0.08		中世末～近世	123-124	
	SP5115		楕円	1.13	0.89	0.11		中世末～近世	123-124	
	SP5122		円	0.7	0.65	0.18		中世末～近世	123-124	
	SP5123		円	0.61	0.6	0.05		中世末～近世	123-124	
	SP5225		円	0.37	0.35	0.09	柱	中世末～近世	123-124	
	SP5226		不整形	1.28	1.2	0.37	中置十脚硯	中世末～近世	123-124	
	SP5250		楕円	1.05	0.43	0.26	須恵器・珠洲・瓦右・加工板	中世末～近世	123-124	
SB45	SP5253	C2	楕円	0.84	0.61	0.15	柱	中世末～近世	123-124	49
	SP5254		円	0.85	0.66	0.15	加工材	中世末～近世	123-124	
	SP5255		円	0.54	0.51	0.12	柱	中世末～近世	123-124	50
	SP5256		円	0.46	0.35	0.08	柱	中世末～近世	123-124	50
	SP5257		楕円	0.95	0.56	0.16	柱	中世末～近世	123-124	50
	SP5258		円	0.25	0.09	0.1	柱	中世末～近世	123-124	
	SP5268		楕円	0.35	0.3	0.06		中世末～近世	123	
	SP5269		楕円	0.73	0.39	0.13		中世末～近世	123-124	
	SP5270		円	0.58	0.57	0.2	加工材	中世末～近世	123-124	
	ST5090		円	0.76	0.75	0.25	墓中層J	中世末～近世	125	
	SP5263		方	1.43	0.92	0.33	漆椀・加工板・加工材・柱	中世末～近世	125	50
SB46	SP5265	C2	楕円	0.8	0.62	0.35	柱	中世末～近世	125	
	SP5266		円	0.95	0.78	0.3	柱	中世末～近世	125	
	SP5267		円	0.8	0.65	0.29	柱	中世末～近世	125	
	ST5271		円	0.76	0.64	0.28		中世末～近世	125	
	SP5216		楕円	0.51	0.39	0.24		中世末～近世	125	
	SP5219		楕円	1.75	1.36	0.27		中世末～近世	125	
SB47	SP5241	C2	不整形	(2.4)	2.33	0.36	珠洲・箱戸・柱	中世末～近世	125	
	SP5246		円	0.46	0.46	0.19	珠洲	中世末～近世	125	
	SP5454		円	0.85	0.66	0.15	加工材	中世末～近世	125	
	SP5476		円	0.5	0.41	0.08	柱	中世末～近世	125	
	SP5066		方	1.65	1.35	0.3	越中瀬戸・伊万里・唐津・磁器・柱	中世末～近世	126	50
	SP5214		楕円	0.65	0.29	0.18	柱	中世末～近世	126	50
SB48	SP5215	C2	楕円	1.1	0.66	0.34		中世末～近世	126	
	SP5218		楕円	1.16	0.67	0.66	珠洲・越中瀬戸・柱	中世末～近世	126	50
	SP5241		不整形	(2.4)	2.33	0.36	珠洲・箱戸・柱	中世末～近世	126	
	SP5264		円	1.24	1.1	0.39		中世末～近世	126	

第6表　柱穴一覧（6）

遺物番号	遺構番号	地区	平面形	長さ(m)	幅(m)	深さ(m)	出土遺物	時期	掲図	図版
	SP5455		円	0.5	0.45	0.15		中世末～近世	126	
SB48	SP5477	C2	円	1.09	1.04	0.11		中世末～近世	126	
	SP5478		隅丸	0.26	0.23	0.2		中世末～近世	126	50
	SP5139		円	0.62	0.46	0.13		中世末～近世	127	
	SP5142		楕円	(1.32)	0.71	0.2		中世末～近世	127	
	SP5338		円	0.37	0.36	0.12		中世末～近世	127	
	SP5344		円	0.46	0.34	0.24	礫1	中世末～近世	127	
	SP5345		楕円	1	0.74	0.18	中世土師器	中世末～近世	127	
	SP5351		円	0.51	0.45	0.2	加工棒	中世末～近世	127	
SB49	SP5355	C3	円	0.3	0.29	0.27		中世末～近世	127	
	SP5360		不整形	0.91	0.58	0.17	中世土師器	中世末～近世	127	
	SP5364		円	0.4	0.39	0.2		中世末～近世	127	
	SP5367		方	1.47	1.02	0.07		中世末～近世	127	
	SP5382		円	0.37	0.32	0.2		中世末～近世	127	
	SP5385		円	0.32	0.24	0.19		中世末～近世	127	
	SP5411		円	0.31	0.3	0.12		中世末～近世	127	
	SP5187		楕円	0.27	0.21	0.09		中世末～近世	128	
SB50	SP5203	C3	不整形	1.3	0.65	0.12		中世末～近世	128	
	SP5286		楕円	0.48	0.32	0.13		中世末～近世	128	
	SP5331		楕円	0.46	0.32	0.11		中世末～近世	128	
	SP5169		円	0.63	0.57	0.06		中世末～近世	128·129	
	SP5181		円	0.9	0.65	0.04		中世末～近世	128·129	
	SP5182		円	0.4	0.38	0.2		中世末～近世	128	
	SP5185		楕円	0.9	0.7	0.17		中世末～近世	128	
	SP5195		円	0.6	0.5	0.04		中世末～近世	128·129	
SB51	SP5198	C3	不整形	1.25	0.4	0.23		中世末～近世	128·129	
	SP5204		不整形	1.25	0.85	0.21	中世土師器	中世末～近世	128·129	
	SP5294		不整形	1.61	1.4	0.2	中世土師器・礫石	中世末～近世	128·129	
	SP5316		楕円	1.1	0.49	0.22		中世末～近世	128·129	
	SP5336		楕円	0.75	0.54	0.27	加工棒	中世末～近世	128·129	
	SP5479		円	0.53	0.3	0.05		中世末～近世	128	
	SP5480		方	1	0.9	0.08		中世末～近世	128·129	
	SP3023		楕円	0.45	0.36	0.18		中世末～近世	129	
SB52	SP3024	C1	楕円	0.55	0.29	0.08		中世末～近世	129	
	SP3025		円	0.4	0.3	0.1		中世末～近世	129	
	SP6027		円	0.29	0.21	0.04		中世末～近世	129	
	SP3228		円	0.68	0.56	0.15		古代	10	
	SP3234		不整形	1	0.8	0.33		古代	10	
SA01	SP3248	B4	円	0.38	0.38	0.22		古代	10	
	SP3249		円	0.53	0.45	0.22		古代	10	7
	SP3239		不整形	(0.67)	0.39			古代	10	7
	SP3269		円	(0.9)	0.78	0.32		古代	10	
	SP3233		円	0.38	0.35	0.13		古代	10	7
SA02	SP3237	B4	円	0.7	0.7	0.28	土師器	古代	10	
	SP3241		円	0.34	0.3	0.22		古代	10	
	SP3252		円	0.42	0.36	0.14		古代	10	
	SP3258		円	0.7	0.55	0.42	土師器	古代	10	7
	SP3106		円	0.68	0.56	0.09	土師器	古代	10	
SA03	SP3111	B4	円	0.7	0.65	0.13		古代	10	
	SP3155		楕円	(0.6)	0.53	0.27	土師器	古代	10	
	SP3157		円	0.79	0.67	0.25		古代	10	
	SP3137		不整形	0.73	0.72	0.44	土師器	古代	8	
SA04	SP3276	B4	円	0.33	0.33	0.29		古代	8	
	SP3278		円	0.75	0.68	0.29		古代	8	
	SP3345		円	0.27	0.16	0.09		古代	8	
	SP3099		円	0.63	0.55	0.23		古代	10	
SA05	SP3308	B4	円	0.75	0.57	0.26		古代	10	
	SP3335		円	0.66	0.5	0.21	土師器	古代	10	
	SP40		円	0.66	0.66	0.18		中世	25	
SA06	SP41	B1	円	0.5	0.45	0.26		中世	25	
	SP42		円	0.39	0.33	0.14		中世	25	
	SP1928		円	0.3	0.3	0.04		中世	30	
SA07	SP1983	B3	円	0.28	0.26	0.07		中世	30	
	SP1984		円	0.3	0.26	0.63		中世	30	
	SP1985		円	0.25	0.25	0.29		中世	30	
	SP1749		円	0.41	0.37	0.14		中世	36	
SA08	SP1752	B3	円	0.33	0.29	0.11		中世	36	
	SP1756		円	0.43	0.43	0.1		中世	36	
	SP1765		円	0.66	0.45	0.2		中世	36	
	SP1357		円	0.51	0.43	0.25		中世	38	
SA09	SP1361	B3	円	0.62	0.62	0.35		中世	38	
	SP1519		円	0.68	0.51	0.32		中世	38	
SA10	SP1385	B3	円	0.34	0.3	0.1		中世	41	
	SP1387		円	0.3	0.26	0.2		中世	41	

第6表 柱穴一覧（7）

遺物番号	遺構番号	地区	平面形	長さ(m)	幅(m)	深さ(m)	出土遺物	時期	挿図	図版
	SP1388		楕円	0.51	0.3	0.31		中世	41	
	SP1481		円	0.22	0.19	0.14		中世	41	
SA10	SP1486	B3	円	0.24	0.21	0.19		中世	41	
	SP1504		円	0.45	0.37	0.3		中世	41	
	SP1507		円	0.34	0.3	0.19		中世	41	
	SP1674		円	0.38	0.31	0.15		中世	41	
	SP1675		円	0.44	0.36	0.15		中世	41	
	SP1676		円	0.37	0.3	0.16		中世	41	
SA11	SP1677	B3	円	0.46	0.4	0.2	中世土師器	中世	41	
	SP1678		円	0.35	0.32	0.09		中世	41	
	SP1679		円	0.37	0.36	0.18	中世土師器	中世	41	
	SP1680		円	0.34	0.32	0.14		中世	41	
	SP1681		円	0.43	0.38	0.14		中世	41	
	SP1284		円	0.5	0.36	0.2	中世土師器	中世	41	
	SP1285		円	0.4	0.39	0.14		中世	41	
SA12	SP1286	B3	円	0.41	(0.36)	0.12		中世	41	
	SP1292		円	0.38	0.36	0.14		中世	41	
	SP1293		円	0.32	0.26	0.09		中世	41	
	SP1353		楕円	0.77	0.34	0.29		中世	41	
	SP1262		円	0.44	0.43	0.2	中世土師器	中世	41	
SA13	SP1263	B3	円	0.37	0.3	0.2		中世	41	
	SP1264		円	0.32	0.31	0.11		中世	41	
	SP2929		円	0.71	0.58	0.31	土師器・須恵器・中世土師器	中世	77	
SA14	SP2930	B4	円	0.68	0.55	0.2	須恵器・中世土師器	中世	77	
	SP2931		円	0.78	0.66	0.14	土師器	中世	77	
	SP2221		楕円	0.98	0.76	0.16		中世	77	
SA15	SP2238	B4	円	0.45	0.43	0.22		中世	77	
	SP2264		円	0.55	0.42	0.19		中世	77	
	SP2274		円	0.5	0.5	0.18		中世	77	
	SP2283		円	0.45	0.35	0.17		中世	78	
	SP2285		円	0.61	0.42	0.06		中世	78	
SA16	SP2287	B4	円	0.55	0.52	0.09		中世	78	
	SP2289		円	0.49	0.35	0.34		中世	78	
	SP2291		円	0.61	0.35	0.13		中世	78	
	SP1176	B3	円	0.72	0.72	0.34		中世	78	
SA17	SP2180		円	0.55	0.54	0.24		中世	78	
	SP2189	B4	円	0.75	0.6	0.09		中世	78	
	SP2198		円	0.7	0.48	0.18		中世	78	
	SP2074		円	0.47	0.41	0.2		中世	78	
SA18	SP2083	B4	円	0.57	0.35	0.12		中世	78	
	SP2084		円	0.5	0.46	0.04		中世	78	
	SP2085		円	0.42	0.4	0.13		中世	78	
	SP5106		楕円	0.54	0.39	0.2		中世末～近世	123-124	
SA19	SP5114	C2	円	1.27	(1.12)	0.46		中世末～近世	123-124	
	SP5152		円	(0.4)	0.31	0.12		中世末～近世	123-124	
	SP5448		円	0.45	0.4	0.17		中世末～近世	123-124	
	SP5280		円	0.64	0.47	0.15		中世末～近世	128	
SA20	SP5334	C3	円	0.52	0.51	0.05		中世末～近世	128	
	SP5331		楕円	0.46	0.32	0.11		中世末～近世	128	

第7表 井戸一覧（1）

遺構番号	地区	形式	平面形	長さ(m)	幅(m)	深さ(m)	出土遺物	時期	備考	挿図	図版
SE115	B1	木組	円	1.92	(1.83)	1.04	中世土師器・珠洲・青磁・刀子	中世	>SE09	23	11
SE731	B2	石組	円	2.2	2.18	0.85	須恵器	中世	<SD686	27	14
SE734	B2	石組	円	(1.15)	(2.11)	0.7	須恵器・中世土師器・八尾	中世	>SE738	27	14
SE738	B2	石組	楕円	(1.45)	(3.11)	1.02	土師器・中世土師器・珠洲・八尾・上錘	中世	<SE734	27	14
SE740	B2	石組	円	(2.08)	2.3	0.84	中世土師器・八尾・金属製品	中世		27	14
SE1208	B3	石組	隅丸	2.32	2.28	1.54	曲物・中世土師器・上錘	中世		42	18
SE1256	B3	石組	円	1.55	1.3	1.39		中世		42	18
SE1289	B3	木組	円	4.01	3.67	1.79	土師器・須恵器・中世土師器・珠洲・漆器・ヘラ状木製品・刀	中世	SA07が伴う	43	18
SE1304	B3	石組	円	1.4	(1.35)	0.64	曲物・中世土師器・珠洲・八尾・砥石	中世	>SE1305	44	18
SE1305	B3	石組	円	1.43	1.3	0.63	曲物・中世土師器・珠洲・八尾・砥石・漆器・さる・笨	中世	<SE1304、>SE1308	44	18
SE1308	B3	石組	不明	1.1	(0.65)	1.83		中世	<SE1305	44	18
SE1686	B3	石組	円	2.28	2.12	1.88	中世土師器・珠洲	中世		42	18
SE2690	B4	石組	円	1.9		1.7	中世土師器・珠洲・八尾・青磁・木製	中世		79	21
SE2348	B4	石組	隅丸方	1.7	1.7	0.9	中世土師器・加工板	中世		80	21
SE4027	B6	石組	円	1.7	1.2	0.77		中世		87	38
SE4097	B6	石組		2.53	1.86	0.82		中世		87	37-38

第7表　井戸一覧（2）

遺構番号	地区	形式	平面形	長さ(m)	幅(m)	深さ(m)	出土遺物	時期	備考	挿図	図版
SE4113	B6	石組	円	2.5	2.2	0.63		中世		87	38
SE4132	B6	石組	円	3.02	2.17	1.08	土師器	中世		88	38
SE4268	B6	石組	円	1.6	1.49	0.73		中世		88	39
SE4351	B6	木組		3.2	(2.83)	0.52	土師器	中世			39
SE4120	B6	木組		2.33	2.2	0.8	土師器・須恵器・中世土師器	中世		87	37
SE4503	A2	石組	円	1.6	1.4	0.77	土師器・越中瀬戸・伊万里	中世末～近世		120	46
SE4547	A2	石組	円	1.3	1.23	0.96	越中瀬戸・箸	中世末～近世		120	45
SE5101	C	石組	円	1.5	1.4	0.88	板碑・木臼	中世末～近世		130	51
SE5212	C	石組	円	1.2	1.1	0.17	加工板	中世末～近世		130	51
SE5213	C	石組	円	1.85	1.24	1.11	曲物	中世末～近世	<SP5477	130	51
SE5217	C	石組	円	1.3	1.21	0.34	越中瀬戸・瀬戸・砥石	中世末～近世	>SE5470	131	51
SE5221	C	石組	円	1.1	1.05	0.66	越中瀬戸・瀬戸・伊万里・加工棒	中世末～近世	>SE5222	131	51・52
SE5222	C	石組	円	1.1	0.9	0.45	越中瀬戸・瀬戸	中世末～近世	<SP5221	131	52
SE5223	C	石組	円	1.6	1.6	0.43	木臼	中世末～近世	<SK5224	131	52
SE5244	C	石組	円	1.85	1.75	0.38	中世土師器・越中瀬戸・種子	中世末～近世	<SD5055	132	52
SE5272	C	石組	円	1.3	1.2	1	曲物	中世末～近世	<SP5056	132	52
SE5301	C	石組	円	1.8	1.4	0.5	板碑	中世末～近世		132	53
SE5414	C	石組	円	1.6	1.5	0.8	木材	中世末～近世	<SP5360、5366、5412	133	52
SE5423	C	石組	円	1.45	1.22	0.38		中世末～近世	<SD5205	133	53
SE5470	C	石組	円	1.5	1.5	0.97	中世土師器	中世末～近世	<SE5217	131	53
SE5471	C	石組	円	1.3	1.1	1.1	木材	中世末～近世	<SE5472	133	53
SE5472	C	石組	円	1.3	1.1	1.1	木材	中世末～近世	>SE5471	133	53

第8表　土杭一覧（1）

遺構番号	地区	平面形	長さ(m)	幅(m)	深さ(m)	出土遺物	時期	挿図	図版
SK221	B1	円	0.77	0.77	0.5	土師器・須恵器	古代	11	
SK224	B1	楕円	0.58	0.42	0.08	土師器	古代	11	
SK232	B1	隅丸方	1.01	(0.53)	0.08	土師器・須恵器	古代	11	
SK234	B1	円	0.97	0.8	0.05	土師器・須恵器	古代	11	
SK235	B1	楕円	1.15	0.75	0.1	土師器・須恵器	古代	11	
SK256	B1	不整形	0.52	0.36	0.5	土師器・須恵器	古代	11	
SK261	B1	楕円	0.7	0.42	0.12	土師器・須恵器	古代	11	
SK272	B1	楕円	0.91	0.52	0.26	土師器・須恵器	古代	11	
SK800	B2	楕円	1	0.88	0.45		古代	11	
SK810	B2	円	1.22	(0.98)	0.06	須恵器	古代	11	
SK815	B2	円	0.32	0.32	0.07	須恵器	古代	11	
SK828	B2	不整形	1.35	0.9	0.18		古代	11	
SK2056	B4	隅丸	2.3	(1.95)	0.07	土師器・須恵器・中世土師器・珠洲	古代	11	
SK2070	B4	楕円	2.05	1.3	0.05		古代	11	
SK2076	B4	隅丸	4.3	3.3	0.2	土師器・須恵器・中世土師器・珠洲・八尾・炭・鉄滓	古代	12	
SK2591	B4	円	1.49	1.28	0.1		古代	12	
SK3053	B4	円	0.86	0.78	0.15	土師器・須恵器	古代	12	
SK3055	B4	円	0.62	0.52	0.32	須恵器	古代	12	
SK3072	B4	隅丸	1.32	(1.0)	0.1	土師器	古代	12	
SK3075	B4	不整形	0.9	0.72	0.22		古代	12	
SK3080	B4	円	1.1	1.1	0.32	土師器	古代	12	
SK3109	B4	円	0.58	0.55	0.06	土師器	古代	12	
SK3110	B4	楕円	0.92	0.59	0.08	土師器	古代	12	
SK3117	B4	楕円	0.95	0.54	0.22	土師器・須恵器	古代	12	
SK3140	B4	隅丸方	2.05	1.95	0.16	土師器	古代	13	
SK3145	B4	不整形楕円	1.14	0.67	0.15	土師器	古代	13	
SK3163	B4	円	1.35	1.35	0.13	土師器	古代	13	
SK3166	B4	円	0.4	0.4	0.12	土師器	古代	13	
SK3169	B4	不整形	0.79	0.79	0.18	土師器	古代	13	
SK3187	B4	楕円	1.35	0.86	0.19		古代	13	
SK3253	B4	円	0.7	0.6	0.37	釘	古代	13	
SK3260	B4	不整形	(0.8)	(0.55)	0.04		古代	13	
SK3261	B4	不整形	(1.4)	(0.75)	0.29	土師器・須恵器	古代	13	
SK3283	B4	方	2.33	1.6	0.13	土師器・須恵器	古代	13	7
SK3285	B4	楕円	0.92	0.84	0.11		古代	13	
SK3326	B4	楕円	0.75	0.52	0.16	須恵器	古代	13	
SK3346	B4	楕円	0.43	0.3	0.58	須恵器	古代	13	7
SK39	B1	隅丸方	2.49	1	0.28	骨	中世	25	11
SK707	B2	不整形	(2.56)	2.34	0.2	中世土師器	中世	28	
SK728	B2	楕円	4.3	2.5	0.4	土師器・須恵器・珠洲・八尾・青磁・管土錘	中世	28	14
SK751	B2	不整形	(1.7)	2.08	0.31		中世	29	
SK1915	B3	不整形	4.1	2.8	0.13	中世土師器	中世	32	
SK1918	B3	不整形	3.55	3.25	0.37	中世土師器	中世	32	
SK1924	B3		1.73	1.3	0.29		中世	33	
SK1931	B3	円	1.5	1.23	0.15	珠洲	中世	33	

第8表 土杭一覧（2）

遺構番号	地区	平面形	長さ(m)	幅(m)	深さ(m)	出土遺物	時期	挿図	図版
SK1935	B3	円	0.8	0.7	0.27		中世	33	
SK1936	B3	楕円	1.07	0.63	0.24	中世土師器	中世	33	
SK1101	B3	楕円	1.35	1.12	0.06	中世土師器・珠洲	中世	43	
SK1104	B3	円	5.1	4.32	1.18	中世土師器・珠洲・八尾・白磁・青磁・土錘・下駄・鉄滓・釘・金属製品属製品・木・種子・骨・叩き石	中世	45	19
SK1116	B3	不整形	1.96	1.57	0.18	中世土師器	中世	46	
SK1164	B3	楕円	0.72	0.46	0.38		中世	48	
SK1168	B3	楕円	1.09	0.86	0.46	中世土師器	中世	44·46	
SK1171	B3	円	0.82	0.8	0.62	土師器・中世土師器	中世	44·46	
SK1175	B3	楕円	–	1.12	0.47	中世土師器	中世	107	
SK1180	B3	円	0.59	0.57	0.47	中世土師器	中世	46	
SK1186	B3	円	0.53	0.49	0.22	中世土師器	中世	46	
SK1197	B3	円	1.3	0.79	0.35	中世土師器・八尾	中世	46	
SK1210	B3	円	(0.9)	0.97	0.09	中世土師器	中世	46	
SK1211	B3	楕円	2.61	1.08	0.2		中世	47	
SK1215	B3	不整形	1.02	0.69	0.39	土師器	中世	46	
SK1216	B3	円	(0.89)	0.99	0.55	土師器	中世	46	
SK1220	B3	楕円	2.45	1.56	0.17	土師器・中世土師器・珠洲	中世	47	
SK1221	B3	円	2.7	(2.11)	0.55	中世土師器・珠洲	中世	47	
SK1222	B3	楕円	2.43	1.78	0.59	中世土師器	中世	47	
SK1223	B3	楕円	1.22	0.83	0.52	土師器・須恵器	中世	47	
SK1233	B3	楕円	–	0.82	0.45		中世	47	
SK1241	B3	隅丸	0.98	0.94	0.24	八尾	中世	48	
SK1244	B3	円	2.02	1.74	0.5	中世土師器	中世	48	
SK1253	B3	楕円	(1.15)	1.11	0.2	中世土師器	中世	48	
SK1254	B3	円	0.62	0.58	0.11		中世	48	
SK1255	B3	円	0.54	0.49	0.44	中世土師器	中世	48	
SK1271	B3	隅丸	2.12	1.52	0.33	中世土師器	中世	48	
SK1276	B3	楕円	0.91	0.77	0.29	砥石	中世	48	
SK1277	B3	楕円	0.67	(0.32)	0.04		中世	48	
SK1282	B3	楕円	1.3	0.97	0.26	中世土師器	中世	49	
SK1295	B3	不整形	5	3.03	0.43	中世土師器・珠洲・瀬戸	中世	49	
SK1296	B3	不整形	(3.95)	(2.15)	0.26	中世土師器	中世	49	
SK1322	B3	円	0.49	0.32	0.54	珠洲	中世	49	
SK1323	B3	不整形	(2.02)	0.89	0.19	中世土師器・珠洲・青磁	中世	50	
SK1350	B3	不整形	(4.54)	(2.42)	0.24	中世土師器・珠洲・瀬戸・砥石	中世	50	
SK1355	B3	楕円	2	1.05	0.43		中世	50	
SK1411	B3	不整形	1.7	1.45	0.05	青白磁・刀子	中世	51	
SK1418	B3	不整形	2	1.75	0.02	中世土師器	中世	51	
SK1419	B3	不整形	4.81	4.56	0.1	中世土師器・珠洲	中世	51	
SK1438	B3	円	1.56	1.16	0.16	中世土師器	中世	51	
SK1443	B3	不整形	3.47	3.14	0.08		中世	52	
SK1446	B3	楕円	1.12	0.73	0.01	中世土師器	中世	51	
SK1448	B3	不整形	2.66	0.92	0.33	中世土師器	中世	52	
SK1449	B3	不整形	1	(0.97)	0.18		中世	52	
SK1460	B3	不整形	2.15	1.89	0.36	土師器・須恵器・中世土師器・金属製品	中世	54	
SK1488	B3	不整形	2.33	1.5	0.25	中世土師器	中世	53	
SK1489	B3	円	0.83	(0.6)	0.31	中世土師器	中世	53	
SK1490	B3	不整形	(1.47)	1.29	0.46	須恵器・中世土師器・珠洲	中世	53	
SK1491	B3	–	(1.1)	0.9	0.44		中世	53	
SK1492	B3	楕円	1.66	0.82	0.56	珠洲・金属製品	中世	53	
SK1493	B3	楕円	1.58	(0.75)	0.51	珠洲・金属製品	中世	53	
SK1495	B3	楕円	0.96	(0.95)	0.34	フイゴ羽口・金属製品	中世	53	
SK1496	B3	楕円	(1.2)	1.19	0.57	中世土師器・珠洲	中世	53	
SK1497	B3	楕円	1.82	0.96	0.32	中世土師器	中世	53	
SK1498	B3	楕円	(1.45)	1.06	0.31	中世土師器	中世	53	
SK1499	B3	楕円	(2.1)	1.71	0.37	中世土師器・珠洲・八尾・土師器・刀子	中世	53	
SK1500	B3	楕円	2.56	1.48	0.28		中世	53	
SK1502	B3	隅丸	0.95	0.95	0.05	土師器・須恵器・中世土師器	中世	53	
SK1508	B3	円	0.71	0.66	0.25		中世	53	
SK1509	B3	円	0.73	(0.6)	0.4		中世	53	
SK1517	B3	円	1.33	1.24	0.27	中世土師器・珠洲	中世	54	
SK1520	B3	円	0.62	0.51	0.36	土師器・中世土師器・青磁	中世	55	
SK1522	B3	円	1.72	(0.91)	0.29	中世土師器・珠洲・釘	中世	56	
SK1523	B3	–	(2.2)	(0.72)	0.22	中世土師器	中世	55	
SK1525	B3	円	0.39	0.36	0.28	砥石	中世	108	
SK1527	B3	楕円	0.68	0.44	0.27	中世土師器	中世	108	
SK1538	B3	円	0.56	(0.47)	0.36	中世土師器	中世	54	
SK1539	B3	円	0.4	0.38	0.16		中世	54	
SK1544	B3	円	0.43	0.37	0.34	中世土師器	中世	55	
SK1545	B3	円	0.38	0.32	0.33	中世土師器	中世	55	
SK1546	B3	不整形	1.07	0.6	0.17	白磁	中世	55	
SK1547	B3	不整形	1.07	0.76	0.19	中世土師器	中世	55	
SK1559	B3	隅丸	2.97	(1.39)	0.37	土師器・中世土師器・釘・炭	中世	55	

第8表　土杭一覧（3）

遺構番号	地区	平面形	長さ(m)	幅(m)	深さ(m)	出土遺物	時期	挿図	図版
SK1561	B3	円	(0.7)	0.75	0.19	土師器・中世土師器	中世	55	
SK1562	B3	円	(0.77)	0.64	0.06	中世土師器	中世	55	
SK1563	B3	円	0.68	0.6	0.26	中世土師器	中世	55	
SK1564	B3	円	0.5	0.45	0.2	土師器・中世土師器	中世	55	
SK1569	B3	不整形	2.24	1.65	0.32	中世土師器・珠洲・瀬戸	中世	108	
SK1572	B3	円	0.77	0.77	0.23	中世土師器・珠洲	中世	57	
SK1573	B3	楕円	0.77	0.38	0.27	中世土師器	中世	57	
SK1580	B3	不整形	0.81	(0.48)	0.05	中世土師器	中世	56	
SK1585	B3	不整形	1.29	0.82	0.17	土師器・中世土師器	中世	56	
SK1588	B3	円	0.55	0.54	0.08		中世	56	
SK1590	B3	不整形	0.85	(0.71)	0.27	中世土師器	中世	56	
SK1593	B3	隅丸	2.05	1.32		中世土師器	中世	56	
SK1598	B3	不整形	1.68	0.99	0.51	土師器	中世	57	
SK1613	B3	円	0.41	0.4	0.39		中世	57	
SK1614	B3	隅丸	1.85	1.83	0.44	土師器・中世土師器	中世	57	
SK1616	B3	円	0.32	0.29	0.12	土師器	中世	57	
SK1620	B3	円	0.41	0.36	0.16	須恵器	中世	56	
SK1625	B3	隅丸	1.27	1.16	0.16	珠洲・八尾	中世	56	
SK1629	B3	円	1.55	1.5	0.25	中世土師器・珠洲・青磁	中世	56	
SK1631	B3	不整形	4.4	3.05	0.27	中世土師器・珠洲・八尾	中世	58	
SK1635	B3	不整形	5.9	4	1.44	土師器・中世土師器・珠洲・八尾・白磁・青磁・釘	中世	59	
SK1636	B3	不整形	(1.97)	1.43	0.34	青磁	中世	56	
SK1637	B3	不整形	1.62	1.2	0.39	珠洲・中世土師器	中世	57	
SK1638	B3	方	1.27	1.15	0.5	中世土師器・珠洲・青磁	中世	56	
SK1640	B3	不整形	(2.36)	2.03	0.26	中世土師器・八尾	中世	108	
SK1685	B3	不整形	2.2	1.4	0.25	中世土師器	中世	58	
SK1689	B3	不整形	–	0.59	0.18	中世土師器・珠洲	中世	58	
SK1690	B3	円	0.3	0.21	0.13	中世土師器	中世	58	
SK1694	B3	隅丸	0.98	0.83	0.08	中世土師器・八尾・石鋸	中世	58	
SK1695	B3	不整形	(2.45)	2.34	0.31	中世土師器・珠洲・八尾・青磁・刀子・鉄滓	中世	58	
SK1698	B3	–	1.65	(0.64)	0.2	中世土師器	中世	58	
SK1700	B3	円	0.71	(0.31)	0.14	中世土師器	中世	60	
SK1708	B3	円	1.46	1.38	0.43	中世土師器	中世	60	
SK1714	B3	円	(1.75)	(0.95)	0.15	土師器・中世土師器	中世	57	
SK1715	B3	–	(1.76)	1.3	0.2	土師器・中世土師器	中世	57	
SK1716	B3	楕円	0.98	0.73	0.2	珠洲	中世	57	
SK1717	B3	–	1.68	1.43	0.45	中世土師器・珠洲	中世	56	
SK1722	B3	円	1.1	0.96	0.23	土師器・中世土師器	中世	60	
SK1729	B3	円	0.38	0.32	0.15	中世土師器	中世	42	
SK1743	B3	不整形	4.58	(3.73)	0.39	中世土師器・珠洲・八尾・釘・金属製品	中世	60	
SK1791	B3	円	1.93	1.86	0.41	中世土師器	中世	57	
SK1817	B3	不整形	–	–	–	中世土師器	中世	107	
SK1829	B3	–	–	2.64	0.34	珠洲	中世	59	
SK2075	B4	円	1.8	1.55	0.19	中世土師器・八尾・釘	中世	108	
SK2078	B4	隅丸	1.2	1.05	0.2	須恵器・中世土師器・八尾	中世	108	
SK2081	B4	円	0.41	0.4	0.11		中世	108	
SK2109	B4	不整形	1.79	1.43	0.15	土師器	中世	107	
SK2182	B4	楕円	1.54	0.73	0.2	中世土師器	中世	107	
SK2183	B4	不整形	1.87	0.83	0.3		中世	107	
SK2187	B4	不整形	1.8	1.3	0.2	金属製品	中世	107	
SK2236	B4	円	1.89	1.7	0.27		中世	107	
SK2240	B4	不整形	1.86	1.8	0.12	中世土師器	中世	107	
SK2241	B4	不整形	1.78	1.08	0.16	中世土師器	中世	107	
SK2243	B4	楕円	(1.86)	1.92	0.23	炭	中世	107	
SK2214	B4	円	1	0.94	0.2	土師器・炭	中世	107	
SK2245	B4	不整形	1.35	0.9	0.12		中世	107	
SK2247	B4	隅丸	1.91	1.41	0.19	炭	中世	107	
SK2265	B4	不整形	5.83	1.9	0.15	中世土師器	中世	107	
SK2267	B4	不整形	2.56	(1.75)	0.37		中世	107	
SK2292	B4	楕円	1.76	1.22	0.2	中世土師器	中世	107	
SK2325	B4	隅丸	2.28	1.05	0.26	八尾	中世	106	
SK2343	B4	隅丸	(2.7)	1.65	0.22	中世土師器	中世	106	
SK2344	B4	隅丸	(2.7)	(3.4)	0.56	土師器・須恵器・珠洲	中世	106	
SK2349	B4	不整形	2.16	1.6	0.7	土師器・須恵器・中世土師器・珠洲・八尾・炭	中世	80	22
SK2448	B4	不整形	0.85	0.67	0.15		中世	106	
SK2469	B4	円	(1.08)	1.73	0.33		中世	106	
SK2480	B4	楕円	1.32	1.02	0.08		中世	106	
SK2502	B4	不整形	4.5	3.4	0.42	中世土師器・珠洲	中世	106	22
SK2504	B4	楕円	(1.0)	1.35	0.32		中世	106	
SK2505	B4	隅丸	(2.87)	3.8	0.45	須恵器・中世土師器	中世	79・106	22
SK2529	B4	楕円	1.93	0.91	0.07		中世	105	
SK2542	B4	楕円	(1.25)	2.09	0.34		中世	105	
SK2543	B4	楕円	(2.75)	1.87	0.82	土師器・釘・鍛冶	中世	105	
SK2544	B4	楕円	2.32	1.8	0.5	土師器・中世土師器	中世	105	

第8表 土杭一覧（4）

遺構番号	地区	平面形	長さ (m)	幅 (m)	深さ (m)	出土遺物	時期	掘図	図版
SK2545	B4	円	(1.21)	1.92	0.27		中世	105	
SK2627	B4	円	1.58	1.2	0.36	中世土師器	中世	105	
SK3633	B4	円	2.2	1.69	0.09	珠洲	中世	105	
SK2841	B4	楕円	1.95	1.1	0.46	須恵器	中世	105	
SK2922	B4	不整形	2.55	1.32	0.71	土師器・須恵器・中世土師器	中世	79-105	
SK3532	B4S	円	0.27	0.24	0.06	中世土師器	中世		25
SK4049	B6	隅丸	0.8	0.53	0.14		中世	93	
SK4156	B6	楕円	0	0	0.2		中世	95	
SK4158	B6	円	1.65	(1.27)	0.27		中世	89	37-40
SK4200	B6	不整形	1.98	1.86	0.35		中世	96	
SK4211	B6	不整形	1.69	1.45	0.06		中世	95	
SK4226	B6	不整形	2.05	0.62	0.38		中世	95	
SK4228	B6	楕円	1.18	1.06	0.17	珠洲	中世	95	
SK4234	B6	隅丸	1.6	0.98	0.01		中世	96	
SK4235	B6	楕円	1.27	0.74	0.12	中世土師器	中世	95	
SK4249	B6	楕円	1.27	0.68	0.09		中世	95	
SK4254	B6	不整形	(1.67)	(0.95)	0.33		中世	95	
SK4256	B6	円	1.01	0.72	0.13	中世土師器	中世	95	
SK4261	B6	楕円	2.62	1.31	0.04		中世	95	
SK4262	B6	隅丸	1.71	0.99	0.12		中世	89	40
SK4263	B6	不整形	(1.28)	(0.81)	0.09		中世	95	
SK4264	B6	不整形	2.26	1.35	0.34		中世	92	40
SK4265	B6	隅丸	1.43	1.06	0.04		中世	95	
SK4266	B6	楕円	1.1	0.7	0.01		中世	95	
SK4269	B6	楕円	0.86	0.61	0.07		中世	95	
SK4270	B6	不整形	2.01	1.12	0.1	中世土師器	中世	96	
SK4271	B6	楕円	(1.15)	0.73	0.03		中世	96	
SK4272	B6	楕円	(0.66)	0.54	0.04		中世	96	
SK4280	B6	不整形	4.52	1.93	0.22	中世土師器・珠洲	中世	96	40
SK4281	B6	楕円	(1.23)	1.01	0.1		中世	96	
SK4286	B6	不整形	1.94	1.2	0.11	珠洲	中世	96	
SK4289	B6	楕円	2.27	1.09	0.14		中世	96	40
SK4301	B6	円	0.9	0.89	0.1		中世	96	
SK4302	B6	楕円	1.23	0.71	0.18		中世	96	
SK4303	B6	楕円	1.08	0.83	0.12		中世	96	
SK4304	B6	円	0.87	0.79	0.08		中世	96	
SK4332	B6	不整形	1.96	0.96	0.12		中世	96	
SK4333	B6	不整形	(3.7)	3.34	0.09	土師器・須恵器・中世土師器	中世	96	
SK4339	B6	不整形	1.43	1.15	0.08	珠洲・八尾	中世	96	
SK4340	B6	隅丸	0.92	0.84	0.13		中世	96	
SK4345	B6	円	0.86	(0.58)	0.16		中世	96	
SK4353	B6	楕円	1.04	0.55	0.12	中世土師器	中世	92	
SK4361	B6	不整形	2.32	2.15	0.1		中世	90	
SK4362	B6	隅丸	1.52	1.12	0.18	板碑	中世	92	
SK4452	B6	楕円	3.05	1.72	0.24		中世	92-96	40
SK4219	B6	楕円	0.75	0.66	0.31		中世	95	
SK4257	B6	円	0.36	0.35	0.12	中世土師器	中世	82	
SK4285	B6	楕円	1.1	0.35	0.11		中世	96	
SK4354	B6	円	0.27	0.26	0.07	中世土師器	中世	82	
SK4014	B6	不整形	1.23	0.81	0.08		中世	93	
SK4015	B6	円	1.41	1.3	0.22		中世	93	
SK4016	B6	円	1.25	1.15	0.12		中世	93	
SK4017	B6	不整形	1.74	1.04	0.23		中世	93	
SK4019	B6	不整形	(1.83)	(1.66)	0.29	中世土師器	中世	93	
SK4022	B6	不整形	2.6	0.85	0.14		中世	93	
SK4023	B6	不整形	1.45	0.76	0.1		中世	93	
SK4025	B6	円	0.94	0.81	0.16		中世	93	
SK4028	B6	円	1.35	1.32	0.09		中世	93	
SK4030	B6	楕円	1.61	1.03	0.12		中世	93	
SK4031	B6	不整楕円	5.51	2.5	0.24	中世土師器	中世	91-93	39
SK4039	B6	円	1.4	1.1	0.17	須恵器・中世土師器	中世	93	
SK4040	B6	不整形	1.15	0	0.07		中世	93	
SK4041	B6	円	0.66	0.58	0.29	土師器	中世	93	
SK4048	B6	円	2.65	2.48	0.39	中世土師器・珠洲	中世	92	39
SK4049	B6	隅丸	0.8	0.53	0.14		中世	93	
SK4073	B6	円	2.1	2	0.28	中世土師器・珠洲	中世	92	39
SK4083	B6	不整形	1.11	0.67	0.09		中世	93	
SK4084	B6	楕円	1.7	0.67	0.18		中世	93	
SK4085	B6	隅丸	1.24	1.23	0.18	土師器・中世土師器	中世	94	
SK4087	B6	円	0.7	0.59	0.14		中世	94	
SK4088	B6	楕円	0.7	0.62	0.13		中世	94	
SK4090	B6	隅丸	1.19	0.86	0.08		中世	94	
SK4091	B6	隅丸	2.5	1.04	0.14	須恵器・中世土師器	中世	91-94	
SK4092	B6	不整形	1.78	1.01	0.14		中世	91-94	

第8表　土坑一覧（5）

遺構番号	地区	平面形	長さ(m)	幅(m)	深さ(m)	出土遺物	時期	挿図	図版
SK4094	B6	不整形	(4.2)	(1.7)	0.15		中世	94	
SK4095	B6	円	1.01	0.52	0.1		中世	92	
SK4096	B6	円	1.38	1.26	0.15		中世	94	
SK4098	B6	円	1.22	0.6	0.08		中世	94	
SK4107	B6	不整形	(1.82)	(0.77)	0.13		中世	94	
SK4108	B6	不整形	5.5	1.8	0.1	須恵器	中世	88	37-39
SK4124	B6	隅丸	2.75	2.14	0.18		中世	94	
SK4126	B6	隅丸	1.47	1.01	0.09		中世	92	
SK4130	B6	楕円	2.15	1.82	0.32	土師器・須恵器・中世土師器・珠洲	中世	94	
SK4134	B6	隅丸	1.42	1.11	0.11		中世	95	
SK4135	B6	隅丸	1.33	1.05	0.08		中世	95	
SK4137	B6	楕円	(1.0)	0.81	0.11		中世	95	
SK4138	B6	不整形	1.01	1.17	0.05	須恵器	中世	92	
SK4141	B6	不整形	0.86	0.48	0.07		中世	92	
SK4142	B6	隅丸	0.93	(0.68)	0.22		中世	95	
SK4143	B6	楕円	1.73	0.61	0.12		中世	95	
SK4144	B6	円	0.8	0.74	0.33		中世	93	
SK4149	B6	楕円	3.6	2.5	0.36		中世	89	37-40
SK4233	B6	円	0.75	0.75	0.11		中世	93	40
SX4038	B6	不整形	9	2.98	0.35	土師器・中世土師器・珠洲・八尾	中世	93	39
SX4039	B6	楕円	3.4	2.43	0.32	珠洲・中世土師器・瓦質・八尾	中世	91-97	39
SX4117	B6	不整形	9.3	8.2	0.19	中世土師器・須恵器・珠洲	中世	94	
SP4032	B6	楕円	0.56	0.55	0.19		中世	97	
SP4037	B6	楕円	0.88	0.64	0.16	八尾	中世	93	
SP4081	B6	楕円	0.97	0.53	0.14	中世土師器・珠洲	中世	93	
SP4109	B6	楕円	1.2	0.62	0.11		中世	94	
SP4110	B6	楕円	0.88	0.6	0.13		中世	94	
SP4111	B6	楕円	1.21	0.58	0.14		中世	94	
SP4112	B6	楕円	1.34	0.9	0.04	八尾	中世	94	
SP4121	B6	円	0.59	0.51	0.06		中世	97	
SK4574	A2	−	−	1.85	0.51	珠洲・越前・越中瀬戸	中世	112	
SK656	B2	円	1.45	1.43	0.46	中世土師器・越中瀬戸・金属製品	中世末～近世		44
SK657	B2	円	1.7	1.7	0.53	土師器・越中瀬戸	中世末～近世	115	
SK658	B2	隅丸長方形	4.46	3.33	0.2	土師器・中世土師器・八尾・越中瀬戸	中世末～近世	115	44
SK661	B2	方	1.86	0.96	0.4		中世末～近世	115	44
SK667	B2	不整形	11.47	5.51	0.56	土師器・須恵器・中世土師器・珠洲・八尾・越前・青磁・越中瀬戸	中世末～近世	114	44
SK4505	A2	楕円	(0.75)	0.73	0.81	柱	中世末～近世	120	
SK4518	A2	楕円	0.98	0.85	0.37	柱材	中世末～近世	120	
SK4520	A2	楕円	0.74	0.45	0.23	柱	中世末～近世	120	
SK4525	A2	方	1.06	0.75	0.27	伊万里	中世末～近世	120	
SK4538	A2	楕円	(1.16)	0.72	0.14	柱	中世末～近世	120	
SK4545	A2	楕円	1.01	0.59	0.16	柱	中世末～近世	121	
SK4546	A2	不整形	0.75	0.72	0.74	越中瀬戸・伊万里	中世末～近世	121	
SK4555	A2	楕円	1.58	0.95	0.28	碗（モモ）	中世末～近世	121	
SK5026	C	不整形	4.67	3.45	0.58	中世土師器・珠洲・青磁	中世末～近世	129	
SK5041	C	方	3.96	(3.52)	0.25	中世土師器・伊万里	中世末～近世	134	
SK5073	C	円	1.67	1.05	0.13	中世土師器・越中瀬戸	中世末～近世	134	54
SK5092	C	方	3.55	2.68	0.13		中世末～近世	134	54
SK5093	C	楕円	1.52	0.91	0.1		中世末～近世	134	
SK5109	C	不整形	4.53	3.16	0.45	中世土師器・珠洲・青磁・越中瀬戸・擂り	中世末～近世	135	54
SK5120	C	不整形	5.85	5.2	0.24	中世土師器・珠洲・越中瀬戸・擂り・石臼	中世末～近世	124	54
SK5124	C	円	1.44	(1.6)	0.28	中世土師器	中世末～近世	124	54
SK5134	C	円	2.25	1.11	0.06	櫛？	中世末～近世	127	54
SK5148	C	不整形	2.65	1.44	0.06		中世末～近世	133	
SK5150	C	方	2.52	2	1.5	中世土師器・瀬戸・環状具・木簡・加工板・漆椀・銭・獣骨	中世末～近世	133	55
SK5151	C	不整形	2.52	2.2	0.13		中世末～近世	133	
SK5155	C	方	1.65	0.92	0.1		中世末～近世	133	
SK5156	C	方	2.43	2.34	0.13	珠洲・加工板・加工材	中世末～近世	136	54
SK5157	C	不整形	(3.0)	1.5	0.17	中世土師器	中世末～近世	136	
SK5171	C	不整形	1.45	1.3	0.24		中世末～近世	136	
SK5174	C	円	2.05	1.7	0.14		中世末～近世	136	
SK5176	C	方	2.0	1.8	0.21		中世末～近世	136	
SK5206	C	不整形	4.81	4.43	0.45	中世土師器・珠洲・越中瀬戸・唐津・八尾・砥石・種子・環状具・小柄	中世末～近世	137	55
SK5220	C	不整形	1.56	(1.45)	0.12	柱	中世末～近世	142	
SK5224	C	不整形	5.93	4.2	0.23	中世土師器・八尾・瀬戸・立臼火	中世末～近世	137	56
SK5234	C	不整形	3.3	2.86	0.31	越中瀬戸・青磁・唐器	中世末～近世	142	
SK5247	C	方	1.43	0.82	0.31		中世末～近世	136	
SK5278	C	隅丸	1.09	1.04	0.11		中世末～近世	136	
SK5311	C	方	1.35	1.06	0.1		中世末～近世	136	
SK5366	C	楕円	0.53	0.44	0.15	柱	中世末～近世	135	
SK5467	C	不整形	(10.8)	(3.3)	0.34	珠洲・越中瀬戸・伊万里・瀬戸・砥石・石臼・加工板・造人形	中世末～近世	137	56

第9表 溝・自然流路一覧（1）

遺構番号	地区	幅(m)	深さ(m)	出土遺物	時期	備考	挿図	図版
SD230	B1	0.6	0.08	須恵器	古代		14·19	
SD240	B1	1.17	0.26	須恵器	古代		14·19	
SD243	B1	1.69	0.34	土師器·須恵器	古代		14·19	
SD263	B1	0.64	0.1	土師器	古代		14·19	
SD284	B1	11.0~12.0	1.3		古代	自然流路	14·22	8
SD2960	B4	0.85~2.2	0.21~0.46	須恵器	古代	＜SK2076·2599	14·21	
SD3195	B4	0.24	0.08		古代		14·20	
SD3196	B4	0.37	0.09	土師器·須恵器	古代	＜SP3313·SK3189	14·20	
SD3200	B4	0.23~0.6	0.09		古代	＞SK3329、＜SK3124	14·19	
SD3206	B4	0.7~1.0	0.09	土師器	古代	＜SD3209·SK3211	14·19	
SD3209	B4	0.45	0.06	土師器	古代	＞SD3206、＜SK3288	14·19	
SD3347	B4	6.0~10.0	0.9	土師器·須恵器·緑釉陶器·木製品·種子	古代	自然流路	14·19	8
SD81	B1	2.79	0.1		中世		26	
SD112	B1	4.5	0.2		中世		26	
SD113	B1	3.1	0.92	須恵器·中世土師器·珠洲·青磁	中世		26	
SD119	B1	0.5	0.41	中世土師器·瀬戸·青白磁	中世		26	
SD675	B2	2.5	0.49	中世土師器·珠洲	中世		29	
SD701	B2	1.2	0.33	土師器·中土器·珠洲·八尾·白磁·青磁·金属製品	中世		29	
SD703	B2	1	0.11	瓦質土器	中世		29	
SD727	B2	1.67	0.34	八尾	中世		29	
SD1102	B3	0.85	0.31	中世土師器·珠洲	中世	＜SK1350	61·107	
SD1103	B3	1.6	0.34	中世土師器·珠洲·八尾·砥石	中世		107	
SD1199	B3	1.88	0.55	土師器·須恵器·中世土師器	中世	＞SE1208	61·107	
SD1219	B3	2	0.25	土師器·須恵器·中世土師器·珠洲·釘	中世		61·107	
SD1229	B3	(3.0)	0.49	土師器·中世土師器·珠洲·八尾·美濃·瓦質土器·叩き石	中世		61·107	
SD1312	B3	1.1	0.17	中世土師器	中世	＜SK1231	61·107	
SD1401	B3	0.81	0.14	珠洲	中世	＞SD1402·1403	61·109	
SD1402	B3	(2.85)	0.22	中世土師器·珠洲	中世	＜SD1401·1452	61·109	
SD1403	B3	(1.27)	0.25	中世土師器·珠洲	中世	＜SD1401、＞SD1405	61·109	
SD1405	B3	1.18	0.16	中世土師器·珠洲·八尾	中世	＜SD1403	61·109	
SD1420	B3	1.7	0.37		中世		61·109·110	
SD1421	B3	0.51	0.07		中世		61·109·110	
SD1422	B3	0.94	0.14	中世土師器	中世		61·109	
SD1423	B3	0.53	0.18	中世土師器	中世		61·109	
SD1589	B3	0.43	0.07		中世		56	
SD1709	B3	0.68	0.42	土師器·中世土師器·八尾·青磁	中世	＞SK1104·1708	61·108·109	
SD1710	B3	0.9	0.45	中世土師器·珠洲·八尾	中世		61·108·109	
SD1712	B3	1.72	0.4	中世土師器·珠洲·青磁·土師器·土錘	中世		61·109·110	
SD1824	B3	0.66	0.16	越前	中世	＜SK1355	50	
SD1900	B3	6.6	0.92	土師器·中世土師器·珠洲·漆器·金属製品	中世	＞SK1918	34·102·103	
SD1901	B3	0.9	0.23	中世土師器	中世	＜SD1903	34·102·103	
SD1902	B3	1.1	0.2		中世	＜SD1903	34·102·103	
SD1903	B3	2.5	0.54	中世土師器·珠洲·八尾·白磁	中世	＞SD1900·1902·1904·1917	34·102·103	
SD1912	B3	1.1	0.1	中世土師器	中世		34·103	
SD1921	B3	0.24	0.07		中世		34·102	
SD1922	B3	0.25	0.04		中世		34·102	
SD2172a	B4	8	1.6	中世土師器·珠洲·瀬戸·青磁·青白磁·越中瀬戸·伊万里·砥石·釘·種子·人骨·漆器·箸·加工材·植物遺体·昆虫遺体·土師器·須恵器	中世	自然流路 SD2172a＞SD2172b·c SD2172b＞SD2172c SD2172c＜SD2172a·b SD2172a·b·c＞SD3347	104	24
SD2172b	B4	12	1.6					
SD2172c	B4	–	1.7					
SD3550	B4S	0.7~0.8			中世	自然流路	108	
SD2089	B4	0.5~0.9	0.3	中世土師器	中世	＜SK2081	108	
SD2119	B4	0.8~1.5	0.3		中世	＜SD3550	107	23
SD2350	B4	2.8	0.3	中世土師器·珠洲·瀬戸·青磁	中世		106	
SD2371	B4	2.9	0.4	中世土師器·珠洲·青磁	中世		70·106	20
SD2532	B4	1.3~2.3	0.1~0.2		中世	＜SD2550	105	
SD2550	B4	0.8~1.0	0.1~0.2		中世		105	
SD2638	B4	0.7~2.0	0.3~0.7		中世	＞SD2550·2532·2926.SB22	105	
SD2704	B4	0.8~2.2	0.2~0.4		中世	＜SB28·32	107	23
SD2850	B4	1.2~3.5	0.1~0.2		中世		106	23
SD2853	B4	2.0~3.2	0.1~0.2		中世		106	23
SD2926	B4	0.5~1.6	0.22		中世	＜SD2638	105	
SD2948	B4	1.7~2.8	0.1~0.2		中世	＞SD2853	106	23
SD4215	B6	0.36	0.14	土師器·中世土師器	中世	＞SD4217、SK4362	97	
SD4217	B6	1.23	0.17	土師器·須恵器·中世土師器·瀬戸	中世	＜SD4215	97	
SD4012	B6	0.35	0.12		中世	＜SD4020	97	
SD4013	B6	2.07	0.26	中世土師器·珠洲	中世	＜SK4022、＞SD4020	97	
SD4020	B6	0.64	0.09	珠洲	中世	＜SD4013、＞SD4012	97	
SD4066	B6	0.33	0.1	土師器	中世	＜SK4048	97	
SD4080	B6	1.32	0.22	土師器·須恵器·中世土師器·珠洲·白磁	中世	＞SD4093	97	
SD4093	B6	1.26	0.15	須恵器·中世土師器·珠洲	中世	＜SD4080·4103·4106	97	
SD4103	B6	0.55	0.21	須恵器·中世土師器·珠洲	中世	＞SD4106	94·97	
SD4106	B6	(0.8)	0.15		中世	＜SD4103	94·97	
SD4116	B6	1.55	0.11	中世土師器	中世		97	
SD4147	B6	0.65	0.05	中世土師器·珠洲	中世		82	
SD4152	B6	0.57	0.07	珠洲	中世	＜SD4080	82	
SD4501	A2	2.2	0.61	須恵器·中世土師器·珠洲·八尾·越前·瀬戸·越瀬·バンドコ·砥石·五輪塔·漆器·桶·曲物	中世	＜SX4502	98·112·121·144	46
SD4568	A2	2.18	0.58	中世土師器·珠洲·瀬戸美濃·越瀬·砥石·石臼·漆器·桶·板·昆虫(トビケラ)	中世	＜SK4554~4556、SX4562·4563	98·112·121·144	
SD4601	A2	1.17	0.15	中世土師器·銭·骨(ヒト)·炭化物(イネ·サンショウ)	中世	＜SX4615、＞SX4616·4617	98·99·112	

第9表　溝・自然流路一覧（2）

遺構番号	地区	幅(m)	深さ(m)	出土遺物	時期	備考	掲図	図版
SD4606	A2	0.93	0.14		中世	＜SD4568、＞SD4607	98・112	
SD4607	A2	0.48	0.08		中世	＜SD4606	98・112	
SD4608	A2	1.22	0.15		中世		98・112	
SD4609	A2	1.44	0.08		中世		98・112	
SD555	B2	0.22	0.07	中世土師器	中世末～近世		118	
SD570	B2	0.28	0.05		中世末～近世		118	
SD569	B2	0.58	0.07	骨	中世末～近世		118	
SD645	B2	0.62	0.07		中世末～近世		118	
SD646	B2	0.8	0.16	中世土師器・珠洲	中世末～近世		118	
SD648	B2	0.72	0.07	中世土師器	中世末～近世		118	
SD671	B2	0.45	0.09	中世土師器	中世末～近世		118	
SD672	B2	0.76	0.12	瓦質器・中世土師器・珠洲・伊万里・石製品	中世末～近世		118	
SD673	B2	0.94	0.12	中世土師器・珠洲	中世末～近世		118	
SD1027	B3	0.71	0.11	中世土師器・珠洲	中世末～近世		113	
SD1040	B3	–	–	中世土師器・珠洲・八尾・瀬戸	中世末～近世		118	
SD1041	B3	0.7	0.26	中世土師器・珠洲	中世末～近世		118	
SD1042	B3	0.84	0.08	中世土師器・珠洲	中世末～近世		118	
SD1043	B3	0.7	0.04	中世土師器	中世末～近世		118	
SD1050	B3	0.8	0.09	中世土師器・珠洲・八尾	中世末～近世		118	
SD1067	B3	(0.85)	0.23	中世土師器・珠洲・八尾	中世末～近世		113	
SD1063	B3	0.8	0.05	中世土師器・青磁	中世末～近世		118	
SD2001	B4	0.52	0.16		中世末～近世	＞SD2002	118	
SD2002	B4	0.36	0.16	土師器・中世土師器・珠洲	中世末～近世	＜SD2001	118	
SD2008	D4	0.78	0.17	土師器・須恵器・中世土師器	中世末～近世		118	
SD2032	B2	0.26	0.07		中世末～近世		113	
SD1099	B6	0.74	0.08	土師器・須恵器・中世土師器・珠洲・八尾・瀬戸	中世末～近世	＜SD4100	113	
SD4100	B6	0.61	0.24	土師器・須恵器・中世土師器・珠洲・八尾・瀬戸・伊万里	中世末～近世	＞SD4099	113	
SD4573	A2	0.81	0.21	唐津・肥前	中世末～近世		121・144	
SD4577	A2	0.7	0.2	珠洲・肥前	中世末～近世		121・144	
SD3003	C	1.1	0.11	珠洲	中世末～近世		138・143	
SD3004	C	0.3	0.09	中世土師器	中世末～近世		138・143	
SD3005	C	0.3	0.05		中世末～近世		138・143	
SD3007	C	0.8	0.13		中世末～近世		138・143	
SD3013	C	0.8	0.1	中世土師器	中世末～近世		138・143	
SD3014	C	0.53	0.1		中世末～近世		138・143	
SD3015	C	1.16	0.15		中世末～近世		138・143	
SD5016	C	2.6	0.27	珠洲	中世末～近世	＜SD3017	138・143	
SD5017	C	1.16	0.4	珠洲	中世末～近世	＞SD5016	138・143	
SD5018	C	0.4	0.07		中世末～近世		138	
SD5019	C	0.5	0.11		中世末～近世		138	
SD5020	C	0.37	0.13		中世末～近世		138	
SD5021	C	0.79	0.13	中世土師器	中世末～近世		138	
SD5028	C	0.37	0.06		中世末～近世		138	
SD5031	C	0.56	0.13		中世末～近世		138	
SD5035	C	0.41	0.06		中世末～近世		138	
SD5045	C	0.43	0.05		中世末～近世		139	
SD5049	C	1.11	0.3	中世土師器・珠洲・八尾・越中瀬戸・パンドコ	中世末～近世	＞SD5090・5205	139	
SD5050	C	1.03	0.19	中世土師器・越中瀬戸	中世末～近世	＞SD5055	139	
SD5051	C	0.43	0.04		中世末～近世		139	
SD5052	C	0.55	0.18	越中瀬戸・瀬戸	中世末～近世		139	
SD5055	C	1.2	0.17	中世土師器・珠洲・越中瀬戸・唐津	中世末～近世	＜SD5052・5207	139	
SD5060	C	0.51	0.18	須恵	中世末～近世		139	
SD5064	C	1.0	0.28	中世土師器・八尾・瓦質・パンドコ	中世末～近世	＞SD5065	139	
SD5065	C	1.57	0.31	中世土師器・珠洲・八尾・瀬戸・越中瀬戸	中世末～近世		139	
SD5067	C	0.23	0.08		中世末～近世		139	
SD5070	C	0.59	0.05		中世末～近世		139	
SD5126	C	0.45	0.16	瀬戸系陶	中世末～近世		138・144	
SD6206	C	1.7	0.45	中世土師器・珠洲・瀬戸・越中瀬戸・唐津・伊万里・石臼・石鉢・パンドコ・鞴子	中世末～近世	＞SD6060、SK5079・6206、SX5252	139	
SD3307	C	0.82	0.23	中世土師器	中世末～近世		139	
SD3302	C	1.6	0.48	中世土師器・陶器・瓷・パンドコ	中世末～近世		138・144	57
SD3337	C	1.1～	0.06	人骨	中世末～近世	SX5469の下部	138・144	
SD3338	C	0.6	0.13	青磁碗在底・人骨	中世末～近世	SX5469の下部	138・144	
SD3373	C	0.54～	0.12	瀬戸（花瓶）	中世末～近世		138・144	

第10表　墓壙一覧

遺構番号	地区	種類	平面形	長さ(m)	幅(m)	深さ(m)	出土遺物	時期	掲図	図版
SZ1683	B3	土壙墓	楕円	1.14	0.69	0.12	人骨	中世土器	63	
SZ1684	B3	土壙墓	–	1.25	0.71	0.36	人骨・白磁	中世土器	63	18
SX4615	A2	十城墓	楕円	1.31	1.2	0.11	人骨・中世土師器・銅銭	中世	99	
SX4616	A2	土壙墓	楕円	1.42	–	0.07	骨片	中世	99	
SX4617	A2	土壙墓	楕円	1.5	0.79	0.11	人骨・瓦質（鉄鉢片）	中世	99	
SX4562	A2	土壙墓	不整形	1.0	0.97	0.17	人骨	中世末～近世	121	
SX4563	A2	土壙墓	楕円	1.6	0.94	0.16	人骨	中世末～近世	121	45

3 遺物

今回の調査では古代・中世の遺物が多く出土している。古代の遺物は8世紀から10世紀代のものが主体で、7世紀以前に溯るものはほとんどない。次いで13世紀以降中世を通じて遺物が出土する。その後近世に入ると出土遺物量そのものは減少していく。出土遺物では土器・陶磁器類が多く、次いで木製品、石製品、金属製品など各種がある。このため記述は遺物の種別ごとにおこなう。土器・陶磁器は記述の便を図るため、古代と中・近世に章を分ける。個々の遺物の記述は、遺構出土と包含層出土にわけ、さらに各地区毎、遺構毎におこなう。

A 土器・陶磁器（第145図～第172図）

《古代》

出土遺物は須恵器、土師器が大半を占める。これ以外には少量の緑釉陶器、土錘などがみられる。須恵器では杯類がもっとも多くみられる。杯・皿については、無高台のものを杯A・皿A、有高台のものを杯B・皿Bとする。土師器については、奈良時代は煮炊器が主体となるが、平安時代以降になると供膳形態のものが増加する。分類名称は須恵器杯・皿に準拠する。赤彩土師器や黒色土器は記述のなかで言及し、実測図ではスクリーン・トーンなどで特に表示していない。

①B 1 地区（第145図1～66）

〈柱穴・土坑〉

S P301（第145図5）：須恵器有高台の杯Bで、直線的に外傾する体部に、断面が扁平な角状を呈する貼り付け高台が付く。口径11.3cm、器高3.95cm。色調は灰色を呈す。底部外面の高台内側に2文字の墨書がみえるが、字の内容は判読できない。

S K206（第145図1・2）：1は須恵器杯の破片である。復元口径は15.7cm、やや焼成が悪く、色調は灰白色を呈する。2は須恵器長頸壺の頸部破片で、外面に2条の沈線が巡る。

S K224（第145図13）：土師器甕ないし鉢の口縁部小破片で、断面の形状は内側に折り返した卵状を呈する。内面に一部カキ目状の調整痕が残る。

S K227（第146図88）：赤彩土師器杯Aの口縁部破片と考えられる。復元口径12cmを測る。

S K229（第145図3）：須恵器高台付底部の破片で、瓷器模倣の椀の器種である。底部には足の高い断面長方形の高台が貼り付けされる。底部切り離しはナデ調整のため不明。色調は灰色を呈す。

S K256（第145図4）：須恵器蓋の破片で、天井部は丸味を持ち、口縁端部は折り曲げず、丸く肥厚させている。復元口径15cm、色調は灰色を呈す。

〈溝〉

S D230（第145図6）：須恵器蓋の破片で、天井部は丸味を持ち、口縁端部は下方に直接折り曲げず、屈曲させている。復元口径11.4cm、色調は灰白色を呈す。

S D231（第145図7）：須恵器杯の体部破片で、杯Bと考えられる。復元口径12cm。灰色を呈す。

S D240（第145図8・9）：8は須恵器杯Aで、平坦で径の大きな底部から体部が外傾して短くのびる。口径13.8cm、器高2.8cmの法量。底部はヘラ切り未調整。灰色の色調を呈す。9は須恵器蓋の口縁部破片で、外傾する短い頸部の先端を鋭く横方向につまみだしている。復元口径20cm。青灰色を呈す。

S D252（第145図14～31）：14～18は土師器である。14、15は共に瓷器模倣の有高台皿Bで、15は赤彩土師器である。体部は共に浅い角度で外方へ直線的に開く。断面が「ハ」の字状に開く足高高台

を有す。法量は14が口径12cm、15が口径13.5cm、器高2.8cm。16、17は平底の底部から体部が内湾しながら開く形態で、17の底部には糸切り痕跡が残る。法量は16が口径12cm、17が口径12.5cm、器高4.5cmである。18は有高台椀の底部破片である。外底面に回転糸切りの痕跡が残る。19は京都系緑釉陶器の破片である。切り高台の平底の底部に、軽く外反する体部・口縁部を有す。軟質の素地に淡黄緑色釉が施釉される。いわゆる京都洛北産のものである。20～31は須恵器である。20、21は須恵器蓋で、扁平な天井部を有し、口縁端部は内側に巻き込み肥厚させる。21は無紐で、天井部外面には回転ヘラ切りの痕跡が残る。22～24はいずれも無高台の須恵器杯A。平坦な底部に斜外方へ直線的に開く体部を有す。22は底部外面に回転ヘラ切り痕が残る。23は底部回転糸切りで、外底面には撫痕の痕跡がみられる。24は体部が短く浅い器形となっている。法量は22が口径12cm、器高3.3cm、23が口径13.6cm、器高2.5cm、24が口径14cm、器高2.4cmである。25～31はいずれも須恵器杯Bで、体部は逆「ハ」字状に開く。法量は口径11cm、器高4.5cm前後のやや小振りなものと、口径14～15cm、器高8～9cmのやや大振りのものの二種がある。

ＳＤ284（第145図10～12）：10、11は須恵器蓋である。10は天井部と口縁部との境がなく扁平である。口縁端部は下方に短く折り曲げ、天井部中央には宝珠状つまみが付く。口径15.6cm、器高2.3cmを測る。11は無紐の蓋で、丸味のある天井部に、端部を内側に折り曲げ肥厚させた口縁部が付く。口径12.4cm、器高1.6cmの法量を有す。12は底部糸切りの土師器杯Aである。平坦な底部から体部がやや内湾気味に大きく開く。口径12.4cm、器高４cmの法量を有す。

〈包含層出土遺物〉（第145図32～41・43～66）

包含層出土遺物には須恵器、土師器、土錘がある。32～41、43は須恵器蓋である。32は平坦な天井部の二分の一が回転ヘラ削りされる。33～40は形態・法量とも類似する蓋で、丸味を帯びた天井部に、端部を内側に巻き込み肥厚させる口縁部を有する。33のみ天井部を３分の一程回転ヘラ削りする。39は宝珠状つまみを有さない無紐の型式。法量は口径12～14cmにおさまる。41は大振りの蓋で、天井部と口縁部の境界に稜を有する。復元口径16cmを測る。43は丸味のある天井部に宝珠状つまみを有す。口縁端部は下方に短く折り曲げる。口径12.4cm、器高3.4cm。44～49は須恵器杯Aで、底端部が丸味をもって緩やかに屈曲するもの（44、45）と、平坦な底部から体部が強く屈曲して斜外方へ直線的に開くもの（46～49）がある。法量は44、45が口径12～13cm、46～48が口径10～11cm、器高2.5～3.5cm、49が口径13cm、器高3.2cm。50は壺の底部で、底部には外方に大きく「ハ」字状に開く貼り付け高台を有す。体部の外面下半は横方向に回転ヘラ削りされる。51～56は須恵器杯Bで、平坦な底部から体部が屈曲して外傾する。高台は底端部の内側に貼り付けられるものが多く、断面の形状は角状である。なお51は、体部の外面にヘラで「×」と刻むヘラ記号を有する。法量は52が口径10cm、器高3.2cm、53が口径11cm、器高4.1cmを測る。57は短頸壺の壺の破片である。天井部は平坦で、口縁部は直角に下方に屈曲させ、端部を短く外反させる。58、59は瓷器模倣の須恵器皿Bで、扁平な皿部に高さのある「ハ」字状の高台が貼り付けされる。法量は59が口径13.2cm、器高3.6cmを測る。60～63は土師器である。60、61は底部平底の土師器杯A。60は赤彩土師器で、底部は静止糸切りされる。61は体部が内湾気味に大きく開き、底部には回転糸切り痕が残る。口径11.1cm、器高3.9cmの法量を有す。62、63は長胴甕の口縁部破片で、62は口縁端部を内側に折り込む。63は端部を短く折り曲げ内傾気味におさめる。64～66は土師質の土錘である。胎土、焼成、色調など土師器甕類と共通する。64は小型で葉巻状の形態を有す。径1.25cm、長さ５cm、内径0.3cmで、先端を欠失する。65、66は樽型の形態で、このうち完存する66は径4.1cm、長さ6.3cm、内径1.2cm、重さ89.4ｇを測る。

②B 2 地区（第146図67～87・89～118）

〈竪穴建物〉

S I 01（第146図67～78）：67～75は須恵器である。67は蓋の口縁部破片で、端部が面を持って接地する。大型の蓋で、復元口径20cmを数える。72は蓋の宝珠状つまみである。68～70、73は杯Aで、平坦な底部から体部が屈曲し、斜外方に浅く開く。68、70には底部ヘラ切りの痕跡が残る。法量は、口径12～13cm、器高３～４cmを測る。73は外底面に「九」と墨書される。71、74は杯Bで、71の底部には扁平な角高台が付く。口径12cm、器高4.1cm。75は皿で、ほぼ蓋をひっくり返した形態だが、底部が平坦で、端部を面取りしておさめている。底部外面に回転ヘラ切り痕が残る。口径12.8cm、器高3.7cm。76～78は土師器の甕である。76、77は土師器の長胴甕の口縁部の破片で、端部を短く内側に折り曲げる。78は体部下半の破片で、底部は丸底、外面には叩き目の痕跡が残る。

〈井戸〉

S E731（第146図87）：87は須恵器杯Bの破片である。高台は断面が角状を呈する。

S E738（第146図86、93）：86は土師器甕・鍋の口縁部破片である。口縁端部は内側に折り返して肥厚させる。93は土錘で、土師質の焼成。樽型の形態で、径3.6cm、長さ5.8cm、内径1.5cmを測る。

〈土坑〉

S K728（第146図90・91・94～96）：90は須恵器蓋の破片で、口縁端部は短く下方に折り曲げている。91は須恵器杯Bの体部破片と考えられる。94～96は土師質の土錘で、いずれも樽型の形態を有する。径3.6～4.4cm、長さ5.8～6.4cm、内径1.3～1.6cm、重さ87～106ｇを測る。

S K753（第146図89）：須恵器高台付杯Bの底部破片で、扁平で低い高台が貼り付けされている。

S K810（第146図92）：須恵器杯Bの破片で、底端部の屈曲が明瞭でなく、体部は内湾気味に斜外方へのびている。高台は断面角状のものが貼り付けされる。

〈溝〉

S D595（第146図79）：須恵器蓋の口縁部破片で、高さのある天井部から端部を短く下方に屈曲させる。

S D686（第146図80～82）：80、81は須恵器蓋である。80は平坦な天井部に、口縁端部を内側に丸める口縁部を有する。81は天井部中央に宝珠状つまみを有す。口縁端部の下方への屈曲はわずかで、端面が切り立つ。口径15.5cm、器高2.6cmの法量を有す。82は土師器杯Aの体部破片と考えられる。

S D717（第146図83）：須恵器甕の口縁部破片。端部を内側に軽く短く屈曲させる。復元口径17.6cmを測る。

S D729（第146図84・85）：ともに土師器杯Aと考えられるが、84は体部が内湾気味に、85は直線的に斜外方にのびる。85の底部外面には回転糸切り痕が残る。口径13.4cm、器高3.4cmの法量。

〈包含層出土遺物〉（第146図97～118）

包含層出土遺物には土師器、須恵器、土錘、製塩土器がある。97～104は須恵器である。97～99は須恵器蓋で、天井部が丸味を有し、端部が内側に丸め込まれるもの（97、98）と、天井部が平坦で、体部がそこから屈曲して稜をなすもの（99）がある。100、101は須恵器杯Aで、底端の屈曲が丸味を帯びるもの（100）と、強く屈曲するもの（101）がある。ともに底部外面には回転ヘラ切り痕が残る。法量は口径12cm代、器高3.5cm前後。102は須恵器杯B、103も同様と考えられる。このうち102は瓷器の影響を受けた折衷形式である。104は須恵器円面硯の破片である。脚部は緩やかな裾広がりで、接地面の端部は外反させる。四方透かしを有するが、穿孔部分の窓は円形ではなく、隅丸の六角形とな

る。器壁は薄く精良な胎土を用い、焼成も堅緻である。105～107は土師器杯Aで、107のみ赤彩土師器となる。105、106はいずれも回転糸切り痕が残る。法量は105が口径12.5cm、器高3.4cm、106が口径13.2cm、器高4.2cmである。108、109は製塩土器の尖底部である。荒い胎土に手ずくねの成形痕が顕著に残る。110、111は土師質の土錘。共に樽型の形態だが法量が異なる。110は径3.8cm、長さ6.8cm、内径1.4cm、111は径2.2cm、長さ3.7cm、内径0.4cm、重量15.8ｇを測る。112～118は法量の大小はあるが、いずれも土師器の甕ないしは鍋である。鍋は115、116、118、甕は117である。口縁端部は、内側に折り曲げ肥厚させるもの（112、115）、受け口状に端部が屈曲内傾するもの（113）、短く上方に折り曲げるもの（114）、端部が「S」字状を呈するもの（116～118）がある。

③B３地区（第147図119～160）

〈井戸〉

ＳＥ1269（第147図119～125）：119～122は須恵器である。119は壷で、低い扁平な天井部に、端部を短く下方に屈曲させた口縁部が付く。120、121は須恵器杯Bの器形と考えられる。122は須恵器壺の体部破片で、肩部に断面角状の突帯が巡る。123～125は土師器。123、124は口縁部と肩部の境界があまり明瞭でなく、これに短く軽く外反する口縁部が付く。123は外面に、124は内外面にハケメ調整が残る。125は「く」の字に屈曲する口縁部を有する大型の甕である。

ＳＥ1305（第147図128）：128は須恵器壺の口縁部破片で、端部は短く下方に屈曲させている。

〈柱穴・土坑〉

ＳＰ1143（第147図127）：127は須恵器蓋の破片で、扁平な天井部の中央に宝珠状つまみを有する。天井部外面は回転ヘラ削りされている。

ＳＫ1614（第147図126）：126は土師器の長胴甕で、口縁端部は内側に折り返し肥厚させている。

ＳＫ1635（第147図129）：129は須恵器蓋で、扁平で丸味を帯びる天井部に、やはり扁平な宝珠状つまみが付く。口縁端部は短く下方に屈曲させる。天井部の３分の２程を回転ヘラ削りしている。

ＳＫ1220（第147図131）：131は須恵器杯B。平坦な底部から体部が屈曲し、斜外方へ直線的にのびる。高台は底端部やや内側に貼り付けされる。口径14cm、器高４cmを測る。

ＳＫ1154（第147図132）：須恵器双耳壺の耳部の破片である。耳の中央には円孔をあける。耳部自体は突帯に引っかけるように上から貼り付けされている。

ＳＫ1638（第147図133）：133は須恵器蓋の口縁部破片である。丸味をもった天井部から口縁部が軽く屈曲外反しながら下方に開く。復元口径11.3cmを数える。

ＳＫ1564（第147図134）：134は製塩土器の尖底部で、胎土は荒く色調は橙色を呈す。

ＳＫ1578（第147図135）：135は須恵器蓋の口縁部破片で、内面にわずかだが墨書の痕跡が残る。

〈包含層出土遺物〉（第147図130・136～160）

包含層出土遺物には須恵器、土師器、土錘がある。130、136～154、156、157は須恵器である。136～141は蓋で、天井部中央に宝珠状つまみを有する。136は口縁内端に短いカエリを有し、今回の調査地では唯一７世紀に遡る型式である。138～141は、いずれも口縁端部を短く下方に屈曲させる。141のみ天井部全体を回転ヘラ削りする。法量は口径14～16cm、器高1.7～2.7cm前後。142～146は須恵器杯A。平坦な底部から体部が屈曲、直線的に外傾するものが多い。概ね口径12～14cm、器高３～3.5cmの法量におさまる。130、147～152は須恵器杯Bである。130は須恵器の口縁部破片で、須恵器杯Bの器形と考えられる。147は径の大きな底部から体部が屈曲して外傾して開く。高台は扁平で低いものが付く。口径13.8cm、器高3.4cmの法量。外底面の中央付近に墨書がみられるが、判読できない。148

～150は形態は類似するが、法量がやや小振りである。149が口径11cm、器高3.7cm、150が口径11.4cm、器高3.2cmとなる。151、152は口径に比べ器高が増している。口径12cmに対し、器高は4.3～4.5cmとなる。153、154、156は須恵器の壺の口縁部破片である。頸部から口縁部が外傾気味に立ち上がり、口縁部の端面は水平となる。154は体部外面に叩き目が、内面に当具痕が残る。156は口縁端部の破片で、体部外面の直下に幅の狭い突帯の痕跡が残る。157は須恵器短頸壺の口縁部破片である。158～160は土師器で、158が小型甕で口縁端部を内側に巻き込む。159は「く」字状に開く口縁部を有し、内外面にカキ目の痕跡が残る。160は鍋で、半球形の体部に「く」の字に外反する短い口縁部が付く。体部上半の内外にカキ目が、下半に刷毛の痕跡が残る。155は土師質の土錘で、樽型の形態を有す。径4cm、長さ6cm、内径1.5cm、重量75.7gを測る。

④B 4地区（第148図161～第156図509）

〈竪穴建物〉

S I 02（第148図163～165）：163は須恵器杯Aで、底部は回転ヘラ切り痕が残る。口径11.2cm、器高3cm。164は土師器甕で、口縁部は直立気味に立ち上がる。165は須恵器長頸壺の体部破片で、体部中位の屈曲部やや上方に一条、体部下半に二条の沈線を巡らす。

S I 03（第148図166～176）：166～169は須恵器である。166は蓋で、丸味を帯びる天井部に、端部を短く下方に屈曲させる口縁部が付く。天井部には扁平な宝珠状つまみが付く。口径13.8cm、器高3.2cmの法量を測る。167は杯Aで、平坦な底部に外傾して直線的にのびる体部を有す。口径11.5cm、器高3.2cm。168、169は杯Bで、167と同型の杯Aの底端やや内側に扁平な角高台を貼り付けする。法量は口径11.5cm前後、器高4.5cm前後。170～175は土師器である。170、171は杯の口縁部小破片。172、173は同型式の小型甕で、半球形の体部の端部を直接口縁部にしたような形態である。体部の内外面にはハケ調整の痕跡が残る。174は口縁部が短い受け口状を呈する中型の甕。175は口縁部が「く」字状に外反するもので、現状で長胴甕か鍋か判別できない。体部の外面にはカキ目が残る。176は土師質の土錘で、小胴型の形態。径3.2cm、長さ4.9cm、内径1.3cm、重さ42.8gを測る。

S I 04（第148図161・162）：161は須恵器蓋の口縁部破片で、端部は短く下方に折り曲げている。162は須恵器杯Aで、浅く外方に開く体部を有す。

S I 05（第148図177・178・180～182）：177、178、180は土師器煮炊器である。177、178は長胴甕で、体部外面の上半はカキ目、下半はヘラ削り、内面にはハケ調整が残る。178の口縁部は軽く内湾する「く」の字状である。180は鍋で、「く」の字状口縁を有する。成形・調整は長甕と同様である。181、182は須恵器蓋で、天井部に宝珠状つまみを有し、口縁端部は下方に短く折り曲げている。

S I 06（第149図179）土師器の鍋で、体部と口縁部との境界が明確でなく、端部は外反させておさめる。

S I 07（第149図185～195）：185は須恵器蓋で、天井部には宝珠状つまみが付くが、口縁端部は単に面取りしておさめる。口径13.4cm、器高2.9cm。186は須恵器杯Aで、平坦な底部に短く外反する口縁部を有する。口径12cm、器高2.7cm。187は須恵器杯Bである。底端部の内側に扁平な角高台が付く。口径12.6cm、器高3.3cm。190は須恵器鉢で、バケツ状の体部の外面中位に二条の沈線が施される。底端部は回転ヘラ削りされる。188、189、191、192は土師器甕の口縁部である。188、189は口縁端部が受け口状を呈す。191、192は「く」の字状の口縁部となる。193、194は土師器甕の底部で、いずれも丸底である。195は土師器鍋で、「く」の字状の口縁部に浅い丸底の体部が付く。

S I 08（第148図183・184）：共に須恵器杯Aで、平坦な底部から体部が屈曲して短く外傾する。

ＳＩ09（第149図196～206）：196は須恵器蓋で、口縁端部は断面が三角状となる。197は須恵器杯A、198は須恵器杯Bである。199～206は土師器。199は丸底の底部、200、201は緩やかに外反する口縁部を有する小型甕である。202は「く」の字状口縁に、丸底の体部を有するが、それほどの長胴とはなっていない。口径23.2cm、現存高28cmを数える。体部の内外にハケ調整がみられる。203も同タイプの甕。204～206は長胴甕で、「く」の字状口縁に胴長丸底の体部を有する。

〈溝〉

ＳＤ2172（第150図207～249）：207～232、247、248は須恵器である。207～213は蓋で、笠型の天井部に宝珠状つまみを有する。口縁端部は208～210が下方に短く折り曲げる。他は肥厚させたり端面を面取りしたりしている。212は体部内面に「両」ないしは「□内」と、また213は「舟」と墨書される。214～219、225、227は杯Aで、概ね平底の底部から体部が斜外方に開く形態である。底部切り離しに糸切りのものはみられない。220は杯Aであるが、法量が大振りで、口縁端部も軽く内傾する形態である。内外面に顕著に自然釉が付着しており、製品というより焼き台に転用されたような特異な概観を呈している。225、227は墨書土器で、225は底部外面に「舟」、227は「舟生」と墨書されている。221～224、226は杯Bである。外傾して逆「ハ」字状に開く体部、底端やや内側に貼り付けされる角状の高台を有する。226の底部外面にはヘラで刻んだヘラ記号がみられる。228は短頸壺の蓋で、天井部中央に宝珠状つまみを有し、天井部外面は回転ヘラ削りされる。229は須恵器壺の口縁部破片である。230はミニチュアの短頸壺の蓋である。231、232は須恵器甕の口縁部破片。246は甕の体部破片で、下半は回転ヘラ削りされる。247、248は須恵器壺の体部下半の破片。平底底部に寸胴状の体部を有する。外面ないしは内外面を手持ちヘラ削りしている。233～235は瓷器模倣のBにほぼ同一形態だが、233が土師器、234、235は須恵器となる。浅く開く体部に、「ハ」字状の足高高台が付く。底部切り離しは土師器は回転糸切り、須恵器は回転ヘラ切りである。236～239、242は土師器の甕。237、238は口縁端部を内側に肥厚させる。239、242は口縁端部が受け口状を呈す。243は製塩土器の尖底部である。244、245は土師質の土錘である。244は小型で径1.4cm、長さ3.7cm、内径0.3cm、重量6.4ｇ、245は径2.8cm、長さ4.9cm、内径1.3cmを測る。249は「く」字状の口縁を有する土師器鍋で、端部は短く上方につまみあげている。

ＳＤ3347（第151図250～267・269～第152図325、第154図460）：250～255は須恵器蓋で、破片資料以外ではいずれも天井部中央に宝珠状つまみを有す。口縁端部は短く下方に折り曲げるもの（250、252、253）と、内端を肥厚させるもの（251、254）がある。250、252については天井部の外面を二分の一程回転ヘラ削りしている。また254は天井部外面に「舟」と墨書される。255も同様に天井部外面に墨書がみられる。256～267、269～284は須恵器杯Aである。概ね平坦な底部から体部が緩やかに屈曲し、体部が短く外傾するものが過半を占める。法量も口径12～13cm、器高2.5～3.5cm前後におさまる。外底面はナデ消しが施されない場合は、全て回転ヘラ切りの痕跡が残る。269、283、284は墨書土器で、全て底部外面に墨書される。269は「舟□」、283は「稲□（東カ？）」、284は「□主」と判読できる。285～311、460は須恵器杯Bで、285～294については杯Aの器形の底部に、外方へ踏ん張る貼り付け高台を有す。口径13～14cm、器高3.5～4.5cmと、杯Aに比べわずかに法量の数値が大きくなる。295～311は同じ杯Bだが、底端の屈曲が強く稜を持つものがみられ、同時に体部の立ち上がりも異なる。295、296、309～311は体部が直線的に立ち上がる。297～299は体部が斜外方に直線的に開く器形である。300～308は体部が内湾気味に立ち上がり、さらに口縁端部のみ短く外反させるものがみられる（303、306、308）。法量はばらつきがあり、大型の311では口径17.3cm、器高7.1cmを測る。底部切

り離しは、痕跡の残るものではいずれも回転ヘラ切りである。297については、体部外側面に墨書がみられるが、判読はできない。312、313は土師器杯A で、底部は回転糸切りされる。314は土師器皿Bの口縁部破片と考えられる。315は黒色土器A類の杯Aである。316、317は土師器甕の口縁部破片で、316が「く」の字状に、317が内側に肥厚させる形態である。318～320は須恵器短頸壺で、球状の体部に短く直立する口縁部を有す。318、320は体部外面がカキ目調整される。323～325は須恵器長頸壺である、体部上半が強く屈曲して稜を持ち、稜端付近に一条の沈線を施す。底部には外方へ大きく「ハ」の字に開く貼り付け高台を有す。325は、体部下半を回転ヘラ削りする。321、322は緑釉陶器である。器形は底部が平坦な切り高台で、体部は内湾しながら大きく開き、口縁端部をわずかに外反しておさめる。白色胎土に淡緑色釉が施釉される。京都洛北産の緑釉陶器の特色を示す。

ＳＤ2850（第152図334）：土師器鍋の口縁部破片で、「く」字状に屈曲する口縁部を有する。

ＳＤ2960（第152図326）：須恵器杯Bで、平坦な底部から体部が直立気味に立ち上がる。

ＳＤ3194（第152図335）：須恵器蓋で、平坦な天井部の中央に宝珠状つまみを有する。

ＳＤ3195（第152図336）：須恵器杯Aで、やや丸味のある底部から体部が外傾して短くのびる。

〈柱穴・土坑〉

ＳＰ3101（第152図350）：楕墜の土師質土錘。径3.9㎝、長さ5.8㎝、内径1.1㎝、重さ76.4ｇの法量。

ＳＰ3168（第152図352）：土師器小型甕で、「く」字状に外反する口縁部を有する。

ＳＰ3237（第152図346）：土師器杯Aで、体部は「S」字状に開き、底部には回転糸切り痕が残る。

ＳＫ2056（第152図330・331）：須恵器杯Bの器形で、外傾気味に開く体部に角高台が付く。

ＳＫ2349（第152図333）：須恵器杯Bで、口径に比べ器高がなく浅く外傾する体部を有する。

ＳＫ2543（第152図349）：須恵器杯Bで、口径に比べ器高が低く、浅く外傾する体部を有す。外底面にヘラ描きのヘラ記号が刻まれている。同一破片がＳＫ1039出土のものと接合している。

ＳＫ2650（第152図332）：大振りの須恵器杯Bで、口径17.2㎝、器高6.7㎝の法量を測る。

ＳＫ3053（第152図337・338）：337は須恵器短頸壺の蓋で、口縁部は短く「く」字状に内側に屈曲する。338は須恵器杯Aで、平坦な底部から体部が短く外傾する形態である。口径12.4㎝、器高3.1㎝の法量。

ＳＫ3055（第152図339）：扁平な天井部の中央に宝珠状つまみが付き、口縁端部は軽く下方へ屈曲する。

ＳＫ3105（第152図347・348）：ともに土師器小型甕で、348は口縁端部を短く外反させる。

ＳＫ3117（第152図340・341）：須恵器杯Aで、体部は軽く屈曲し浅く外方へ開く形態である。

ＳＫ3145（第152図354・355）：354は土師器甕で、「く」字状に屈曲する口縁を有す。体部外面には縦方向のハケ調整が、内面には横から斜方向のハケ調整が施される。復元口径25㎝を数える。355も「く」字状の口縁部を有する土師器甕だが、体部に張りがなく鍋に近い形状と推定される。体部の内外面にはハケ調整の痕跡が残る。

ＳＫ3234（第152図342）：須恵器杯Aで、底端部に稜を有し、体部は外傾して開く形態である。

ＳＫ3261（第152図327～329）：327、328は須恵器杯A、329は杯Bである。杯Aは浅く斜め外方に体部が広がる。口径11～13㎝、器高3.3㎝の法量。329も逆「ハ」字状に開く体部を有する。

ＳＫ3283（第152図343・344・353）：343、344は須恵器杯Aで、平坦な底部から体部が強く屈曲し立ち上がる。353は土師器小型甕で、「く」字状に外反する口縁部に垂下する体部を有する。

ＳＫ3326（第152図345）：須恵器杯Bで、浅く外傾する体部と「ハ」字状に開く貼り付け高台を有

する。

ＳＫ3329（第152図351）：土師器小型甕で、「く」字状に外反する口縁部を有する。

ＳＫ3346（第151図268）：須恵器杯Ａで、平坦な底部から体部が緩やかな屈曲で立ち上がり、体部が短く外傾する。

〈集石遺構〉

ＳＸ3353（第153図356～367・369）：356、357は須恵器蓋で、やや丸味を帯びるが扁平な天井部に宝珠状つまみを有する。356は口縁端部を短く下方に折り曲げるが、357は端面が丸味を帯びる。357はさらに天井部外面を３分の２程回転ヘラ削りする。358～361は須恵器杯Ｂで、平坦な底部から体部が強く屈曲して立ち上がる。高台は底端の内側に貼り付けられる。358は底部外面に墨書文字がみえるが、判読できない。362は須恵器杯Ａで、底部から体部が浅い角度で開く形態のもの。363は362と同型式の杯部に高台を貼り付けたもの。364は須恵器壺の高台付底部である。365は土師質の土錘で、径４cm、長さ6.1cm、内径1.3cm、重量76.4ｇである。366、367は土師器鍋で、半球形丸底の体部に「く」字状の口縁部が付く。366は体部の内外面にカキ目が、376は外面カキ目、内面にはハケメ調整がみられる。369は土師器取手付き小型甕で、取手部は一カ所と考えられる。

〈包含層出土遺物〉（第153図368・370～第154図459・461～第156図509）

包含層出土遺物には土師器、須恵器、黒色土器、赤彩土師器、土師質土錘、墨書土器などがある。368、370は須恵器鉢で「く」字状に屈曲する口縁部に、浅い体部と平底の底部を有すると考えられる。体部外面に叩き目が、内面に当具痕が部分的に残る。371～377は土師器杯Ａで、平底底部に内湾気味に開く体部を有す。外底面には回転糸切り痕が残る。このうち371、372、374の３点は赤色塗彩の土師器である。378～381は黒色土器で、平底（378、379）と姿器模倣の有高台椀（380、381）がある。382は須恵器蓋の器形だが赤彩土師器で、内外面に暗文ヘラミガキがみられる。383も須恵器杯Ｂの高台を取ったような器形だが、やはり赤彩土師器である。内面に放射状の暗文ヘラミガキがみられる。384は土師器甑の取手と考えられる。385～388は土師質の土錘である。385、386は小型管状の形態。387、388は樽型で、完存する388では径3.4cm、長さ4.9cm、内径1.1cm、重量38.7ｇを測る。389～393は土師器甕で、小型甕の389の口縁のみ外傾に折り返し玉縁状とするが、他は「く」字状に外反する形態である。394～398は土師器甕・鍋の口縁部破片である。「く」の字の形態のものと、内側ないしは外側に折り返し肥厚させるもの（396～398）がある。399～423は須恵器蓋である。399～404は扁平な天井部に宝珠状つまみを有し、口縁端部は下方に短く折り曲げる。403は天井部外面をさらに２分の１程回転ヘラ削りする。405、406も同様の形態と考えられる。407は高さの無い平坦な天井部が特徴的である。408～420は扁平だが丸味を帯びた天井部に、内側に丸め込んだような口縁端部を有す。天井部には宝珠状つまみを有さない無紐タイプと考えられる。421、422は399～406と同型式の須恵器蓋で、421は内面に「稲東」と墨書されている。422は内面にヘラ刻みで「十」とヘラ記号を入れている。423は無紐タイプの須恵器蓋で、こちらは天井部外面に「舟」と一字墨書される。424～448は須恵器杯Ａである。424～428は、底端部の屈曲が緩やかで、体部が外傾気味に立ち上がるもの。このうち424は体部外面に墨書の痕跡がみられるが、判読はできない。429～432は底端の屈曲が強く、外面に稜が走るもの。433～441は径が大きい底部から体部が屈曲して斜外方にのびた後、口縁端部を短く外反させるもの。442～448は径が小さく平坦な底部から、体部が斜外方へ大きく開くものである。観察可能なものの底部切り離し手法は回転ヘラ切りのみで、回転糸切りのものはみられない。449～451は姿器模倣の須恵器皿Ｂで、浅く側方に開く皿部に、「ハ」の字状に踏ん張る足高高台が貼り付けされ

る。452は須恵器短頸壺の蓋。453～487は須恵器杯Bである。454～462、465～469は、口径・底径に比べ器高がなく浅い杯部を有し、高台は底端部の内側に扁平な「ハ」字状に開くものが付く。453の外底面には「×」と刻まれたヘラ記号が、462の外底面には墨書文字がみられる。464、470～476は底部・口径に比べ器高が増し、体部も外傾気味に直線的に立ち上がるもの。470や476のように大型法量のものが含まれる。470は体部外面の中位に一条の沈線を巡らせ、金属製仏器模倣の稜椀を意識している。高台貼り付け前に底端部付近に回転ヘラ削りを加えており、全体に丁寧に作出されている。また内面は使用痕が顕著である。475は外底面に「Z」字状のヘラ記号が刻まれる。463、477～487はさらに底径に比べ口径、器高が増し、体部は斜外方へ逆「ハ」字状に大きく開く器形である。これらの杯Bの底部切り離しは、確認できるものは全て回転ヘラ切りで、回転糸切りのものはみられない。なお477と482は墨書土器である。前者は外底面に「舟」と一字、後者は体部外側面に墨書文字がみえるが判読できない。また486は破片復元資料だが、破片の一部に墨痕が残り、本体が破損後一部の破片が硯に転用された可能性がある珍しい資料である。488～490は須恵器甕の口縁部破片で、頸部外面に1～2条一単位の沈線を巡らせている。491、492は須恵器双耳壺の耳部破片である。493、494は頸部が直立する小型の須恵器壺。495、496は頸部が窄まるタイプの須恵器小型壺と考えておく。497は須恵器高杯の脚部。498は横瓶の破片で、横瓶はこの他にも数点別個体の破片がある。499は「く」字状口縁の須恵器甕である。500、501は土師器鍋で、「く」字状口縁の500と、端部を内傾に折り返し肥厚させる501とがある。502は須恵器壺の体部で、外面は斜方向に手持ちヘラ削りが施される。503は須恵器突帯付四耳壺の破片。2条の突帯の上に貼り付けられた耳部には、上方から2箇所の穿孔がなされている。504、505は大型の須恵器壺の頸部破片で、外面には波状文の文様帯を有す。506は須恵器鉢の破片で、体部外面中位に二条一単位の沈線を巡らせる。507～509は須恵器壺・甕の口縁部破片である。

⑤B 4S地区（第156図510～516）

〈溝〉

SD3550（第156図516）：516は土師質の土錘で、径2.9cm、長さ5.1cm、内径1.3cmを測る。

SD3579（第156図514）：514は須恵器杯Aで、体部は外傾して口縁端部は軽く外反する。

〈包含層出土遺物〉（第156図510～513・515）

510は須恵器蓋で、端部は下方に短く折り曲げる。512、513は須恵器杯Bで、体部は直線的に外傾する。515は須恵器短頸壺の口縁部破片である。

⑥B 6地区（第156図517～551）

〈柱穴・土坑〉

SP4054（第156図518）：須恵器蓋で、天井部は丸味を帯び、口縁端部は下方に短く折り曲げる。

SP4348（第156図519）：519は無紐の須恵器蓋で、端部を内側に巻き込む口縁部を有する。

SK4120（第156図529）：529は須恵器杯Aで、径の大きな底部から体部が浅く直線的に外傾する。

SK4124（第156図535）：寸胴型の土師質土錘で、径2.9cm、長さ6cm、内径1.2cmを測る。

SK4333（第156図533）：533は須恵器杯Bの体部破片で、角高台が底端の内側に貼り付けされる。

SK4505（第156図530）：須恵器杯Bで、底部に角高台を有し、体部は直立気味に立ち上がる。

〈溝〉

SD4038（第156図534）：534は須恵器杯Bで、口径・底径に比べ器高が浅く、高台も底端付近に付く。541は樽型の土師質土錘で、径4.4cm、長さ6.4cm、内径1.4cm、重量110gを測る。

ＳＤ4217（第156図545）：土師器小型甕で、口縁部は受け口状の形態である。

〈包含層出土遺物〉（第156図517・520～528・531・532・536～540・542～544・546～551）

517は須恵器蓋の天井部破片で、中央に宝珠状つまみを有する。520～527は土師器杯Ａで、回転糸切り痕を有する平底底部に、内湾しながら開く体部を有す。このうち521～525は赤彩土師器である。528は須恵器杯Ａで、底端部に稜を有し、体部は直線的に外傾する。531、532は須恵器杯Ｂで、531は細い断面三角の貼り付け高台を、532は扁平な角高台を有す。536～540、542～544は土師質土鍾で、いずれも樽型の形態である。表面摩滅が激しく、使用痕跡とみなせる。径4.5～５㎝、長さ６～７㎝、内径1.5㎝、重量80～100ｇ程度のものが多い。546、547は土師器甕の底部で、平底底部の外底面には回転糸切り痕が残る。548、549は土師器甕の口縁部で、548は「く」字状の形態、549は「S」字状に屈曲する形態である。550、551は土師器鍋のＬＩ縁部で、いずれも「く」の字に屈曲する口縁形態を有す。

⑦Ｃ地区（第145図42）

42は口縁内端を丸くおさめる小型の甕で、包含層出土の遺物である。

《中・近世》

中世の出土遺物には土師器皿類、珠洲・八尾などの壺・甕・擂鉢類、白磁・青磁・青白磁などの中国陶磁、瀬戸美濃の施釉陶器などがある。近世では越中瀬戸の施釉陶器類、伊万里・唐津などの陶磁器類があるが、これらの近世遺物が主体的に出土するのはＡ２およびＣ地区だけである。

①Ａ２地区（第157図601～647）

〈土台建物・排水施設・集石遺構・墓壙〉

ＳＸ4502（第157図601～607）：601～607は越中瀬戸である。601は灰釉の小皿で、内底面には菊花のスタンプ文がみられる。602、603は鉄釉の小皿で、浅く開く体部に低い削り出し輪高台が付く。604は鉄釉の向付。605は鉄釉の椀である。606、607は鉄釉擂鉢で、口縁端部の形状は断面三角形である。擂目は６～７条を一単位とする。

ＳＸ4509（第157図610～613）：610は瀬戸美濃の鉄釉丸椀。611～613は越中瀬戸。611は鉄釉小皿で、外反して浅く開く体部に断面三角の削り出し高台が付く。外底面には「一」の墨書がみられる。612、613は鉄釉擂鉢で、612は断面三角状だが、613は口縁内端に段を一条巡らせている。擂目は612が一単位７条以上、613が一単位10条で密に施している。

ＳＸ4602（第157図632・633）：632、633は珠洲の擂鉢である。633は内面に８条一単位の擂目が間隔をあけて縦方向に施されている。

ＳＸ4615（第157図618）：618は中世の土師器皿の口縁部破片で、短く外反する端部は鋭くおさめる。

〈土坑〉

ＳＫ4525（第157図614）：614は伊万里の磁器小碗である。

ＳＫ4546（第157図615～617）：615、616は越中瀬戸鉄釉小皿で、浅く外反する体部に断面三角形の削り出し高台が付く。617は伊万里の磁器染付中瓶の体部破片で、外面に笹竹文が呉須で描かれる。

ＳＫ4574（第157図623～627）：624、625は越中瀬戸の鉄釉小皿である。624は外底面に墨書の痕跡が残る。623、626、627は珠洲。623は大型の甕の口縁部破片で、短く外反する口縁部の断面は卵状である。626は小型の壺の体部破片で、張りのある体部に短く直立する口縁部を有す。627は擂鉢で、内

面には12条一単位の擂目が密に施されている。

〈井戸〉

SE4503（第157図608・609・619）：608は伊万里の磁器染付の丸形小皿である。609は越中瀬戸鉄釉小皿で、外底面に「一」の墨書がみられる。619も伊万里の磁器染付の丸碗である。

SE4547（第157図620）：越中瀬戸の鉄釉椀で、削り出し高台は断面逆台形を呈する。

〈溝〉

SD4501（第157図628～630・643）：628、629は土師器小皿で、628は平坦な底部から体部が浅く開き、口縁端部は軽く内側に肥厚させる。629は体部から口縁部が丸味をもって浅く開き、端部は鋭くおさめる。630は越前の擂鉢で、面を持って内傾する口縁端部を有す。擂目は10条一単位で、間隔を開けて施こす。643は越中瀬戸の小皿で、灰釉が施釉される。外底面に墨書がみられるが、判読できない。

SD4568（第157図621）：龍泉窯系青磁碗の破片で、ヘラ刻みの細線蓮弁文がみられる。

SD4573（第157図622）：唐津の灰釉椀で、削り出しの高台は低く径も大きくないものが付く。

SD4601（第157図631）：土師器の皿で、浅く逆「ハ」字状に開き、口縁端部は鋭くおさめる。

〈包含層出土遺物〉（第157図634～642・644～647）

634は伊万里の花生の口縁部破片で、端部は屈曲して短く立ち上がる。635～638は土師器皿。635は口縁端部を軽く外反させる。636、637は鋭くおさめる。638の体部は浅くラッパ状に開き、口縁端部を内側につまみ込むように仕上げる。639～645、647は越中瀬戸。639は鉄釉の向付で、内底面に重ね焼きの痕跡を残す。640は灰釉の向付で、外底面に墨書の痕跡が残る。641、642は小皿で、641は灰釉、642は鉄釉が施釉される。641の内底面には菊花文のスタンプがみられる。644は鉄釉擂鉢の口縁部破片。645は鉄釉天目茶碗の体部破片、647の椀は鉄釉に灰釉でアクセントを付け二彩とする。646は珠洲擂鉢の口縁部破片である。

②B1地区（第158図648～670）

〈土坑〉

SK114（第158図655・656）：655は土師器大皿で口縁部は大きく一段ナデされた後、口縁端部はさらに面取りされる。口径14cm、器高3.4cm前後を測る。656は珠洲擂鉢で、体部は内湾気味に立ち上がり、口縁内端をさらに短くつまみだす。擂目はみられない。

〈井戸〉

SE115（第158図657～659）：657は同安窯系青磁碗の口縁部破片で、内面に櫛描文、外面にヘラ描文がみられる。658は珠洲擂鉢で、体部は内湾気味、口縁端部は水平な面を持つ。659は珠洲の大型壺・甕類の底部大破片で、体部外面は斜方向の叩き目、内面には円形に窪む当具痕が残る。下半はナデ消し仕上げされている。

〈溝〉

SD113（第158図648～653）：648は底部回転糸切りの土師器小皿で、平坦で厚みのある底部に短く内湾する口縁部を有する。649は土師器大皿の口縁部、650は珠洲擂鉢の口縁部破片である。651は珠洲及耳壺の体部で、取手状の耳の痕跡が残る。652は龍泉窯系青磁碗で、内面に草花文の一部がヘラ描きされている。653は珠洲擂鉢で、658とほぼ同形態だが、内面に擂目を一部確認できる。

SD119（第158図654）：654は中国製青白磁の合子の身で、体部外面に蓮弁文を連続して巡らす。

〈包含層出土遺物〉（第158図660～670）

660は中国製青白磁の蓋で、天井部に型押の蓮弁文が施される。合わせ口となる内面は露胎とする。661～666は土師器の小皿類。661以外は底部から口縁部が丸みをもって内湾する。663～666は口縁端部を鋭くおさめる。665は内外面に油煙の痕跡が残る。666は大皿タイプの法量。667は口縁端部が短く端反る、いわゆる白磁Ⅴ類の碗である。内面に櫛描文様が施されている。668は灰釉が施釉される鉢で、口縁部は玉縁状に肥厚させている。669は瀬戸美濃の灰釉折縁深皿の底部破片で、底端部に沿って短い脚部が貼り付けされる。670は珠洲の擂鉢で、体部は内湾気味に開き、口縁端部は内傾気味に平坦に仕上げている。

③B２地区（第158図671～第160図759）

〈土坑〉

ＳＫ655（第158図671）：671は唐津の灰釉小皿。径が小さく断面逆三角形の削り出し高台に、内湾気味に浅く外方に開く体部を有す。口径12.9cm、器高3.2cmの法量を数える。

ＳＫ661（第158図687）：土師器小皿で、浅く内湾して開く口縁部の端部は鋭くおさめる。

ＳＫ662（第158図688）：土師器小皿で、口縁部は短く内側に屈曲させている。

ＳＫ667（第158図672～683）：672～676、678～680は、土師器の小皿である。674～676、678、679は口縁部を短く折り曲げるタイプ。672、673、680は底部が丸みを持ち、口縁部と底端の境界が明確でないもので、端部を鋭くおさめる672と、丸くおさめる673、680がある。672はＳＤ729と破片接合する資料である。681、682は土師器大皿で。口縁端部を鋭くおさめる681と、丸く仕上げる682がある。677は越中瀬戸の鉄釉小皿の底部破片である。683は龍泉窯系青磁碗の小破片である。

ＳＫ707（第158図689）：土師器小皿で、平坦な底部に口縁部は短く屈曲、外反させる。

ＳＫ728（第158図692・693）：692は龍泉窯系青磁碗で、内底面に吉祥文字と考えられる漢字が一字みえる。693は珠洲擂鉢の底部で、櫛描きの擂目は密に施されている。

ＳＫ741（第158図690）：土師器小皿で、斜外方へ開く体部に、断面三角形で先端を鋭くおさめる口縁部を有す。

〈井戸〉

ＳＥ738（第158図694）：八尾の壺で、僅かに内傾して立ち上がる頸部に、「N」字状の口縁部を有す。

ＳＥ740（第158図691）：土師器小皿で、丸みを持って浅く開く体部と先端を丸くおさめる口縁部を有す。

〈溝〉

ＳＤ675（第158図684）：684は土師器小皿で、口縁部はやや肥厚させ丸くおさめる。

ＳＤ670（第158図685）：685は土師器大皿で、口縁部は外反気味に先端は鋭く仕上げる。

ＳＤ619（第158図686）：底部回転糸切りの土師器大皿で、平坦な切り高台の底部から体部が内湾しながら浅く開く器形である。口径15.6cm、器高3.7cmの法量を数える。

ＳＤ686（第159図695～697）：695、696は土師器小皿で、丸みをもった体部に先端を鋭く仕上げた口縁部を有す。697は古代の壺の混入で、外面は全体に手持ちヘラ削りが施されている。

ＳＤ701（第159図698～708）：698は珠洲甕の口縁部破片で、端部を丸く肥厚させずに短く外反させる。699～704は土師器の小皿。699、700は平坦な底部から口縁部を短く折り曲げたもの。701～704は体部が丸みを帯びながら浅く開くもの。口縁端部は丸くおさめてる。705は土師器大皿で、外傾気味に開く口縁部は、端部に面取りが施される。706は中国製の白磁碗。華南産とされるいわゆるⅣ類

碗で、玉縁状口縁を有する。707は龍泉窯系青磁碗で、内面にはヘラ彫りの草花文の一部がみえる。708は珠洲壺・甕類の底部で、体部外面の上半に叩き目の痕跡が観察できる。

ＳＤ717（第159図709～712）：土師器の皿類。709は平坦な底部から口縁部を短く折り曲げる。710～712は法量差はあるが、いずれも内湾して浅く開く体部に、丸くおさめる口縁部を有す。

〈包含層出土遺物〉（第159図713～第160図759）

713～730は土師器皿類である。713、716、717、725は平坦な底部から口縁部を短く屈曲されるもの。714はわずかに端面をつまみ出し口縁部とするもの。715、718は底部が丸みをもち、口縁部は丸くおさめる715と、鋭く仕上げる718がある。719～721は口縁部が浅く逆「ハ」字状に開き、器壁の最大厚が体部中位付近にある。722～724は、口径に比べ器高のある皿で、口径も10～11cmと中皿的な法量である。726～729は口径11～12cmで、一応大皿と考えておく。丸みのある体部が浅く開き、口縁端部を鋭く仕上げる。730も土師器大皿で、平坦な底部から口縁部が短く開く形態のもの。731～733はいずれも龍泉窯系青磁碗で、外面にヘラ彫りの蓮弁文がみられる。731についてはさらに内面に草花文の一部がみえる。734は瀬戸美濃灰釉皿で、口縁の端面は平坦で内側に折り返したような形状となる。735はあまり大型でない瓦質土器の深鉢型火鉢の体側面と考えられる。垂直に立ち上がる体部には3条の凸線が水平に巡り、さらに器表面はヘラ磨きされている。736は越中瀬戸の小皿類の破片で、内底面中央に菊花文のスタンプが施されている。737、738は瀬戸美濃の鉄釉天目茶碗の破片である。739は越中瀬戸の鉄釉鉢で、体部は垂直に立ち上がり、口縁の端面は平坦な面を有す。740は鉄釉筒腰形香炉の破片で、底部には低く切り込みの入った三足が貼り付けされる。741～748、751～757は珠洲である。741、757は壺の破片。742～748は擂鉢である。このうち742～745は内湾しながら開く体部に、平坦な面を持ち端面が外傾する口縁部を有するもの。いずれも体部内面に装飾風の湾曲した擂目を施す。746、747、756は口縁部に内傾する広い面を持ち、747はさらにこの部分に波状文を描く。擂目は垂直方向に密に施す。748は擂鉢の底部破片。751～755はいずれも甕の口縁部破片で、口縁部は短く外反させ、端部を大きく丸めて断面卵状を呈するものが多い。749は越前の擂鉢の口縁部破片である。750、758、759は八尾である。750は擂鉢の底部破片758、759は口縁部の断面が「N」字状を呈する壺の口縁部破片である。

④Ｂ３地区（第160図760～第164図1033）

〈柱穴・土坑〉

ＳＰ1526（第160図785）：龍泉窯系青磁碗の破片で、内湾する体部の外面には鎬蓮弁がみられる。

ＳＫ1104（第161図797～888）：797～850は土師器小皿である。797～808は器高のない扁平な形態だが、底端部の境界は明瞭ではなく、体部から口縁部が丸みを持ちながら浅く開き、口縁端部は鋭く仕上げるタイプの土師器小皿である。814～822は形態は797～808に類似するが、法量がやや大きくなり、口縁端部も丸く納めるものが多い。831～838はこれに加えて口縁端部を短くつまみ出すか、ないしは短く外反させるものである。809～813は平坦な底部から口縁部を短く屈曲させ、先端を鋭く、ないしは丸くおさめるもの。823～830は口縁部が屈曲して短く外反するもので、端部は丸くおさめるか、面を持つ。839～844はやや器高が増し、底部から体部が丸みを持って浅く開くもので、口縁端面に面を持つもの。845～847はこれの口縁端部が面ではなく、単に丸くおさめるものである。848は平坦な底部から体部が外傾して直線的に開き、さらに端部を上方につまみあげるもの。849、850は法量は異なるが、平坦な底部から体部が浅く外反気味に大きく開き、先端を鋭くおさめるものである。851～881は土師器大皿である。851～855は底部から体部が丸みを持ちながら浅く開くもので、口縁端部は

丸くおさめる。これに対し856は口縁端部を短く外反させるもの。857は口縁端部に幅広の端面を有す。859、860は法量的には中皿相当で、とくに860は体部と口縁部の境界付近が最大厚となり、ここから口縁部を、断面三角形状につまみだしている。861、862は、体部が外傾して直線的に開き、口縁端部を三角形につまみだすもの。864、865は口縁端部を肥厚させ、丸め込むもの。866～873は、底部から体部が丸みを持ちながら屈曲し、軽く内湾しながら立ち上がるもので、口縁端部は丸くおさめる。874～876は口縁部が大きく外反するもの。877は口縁部が浅く側方に開くもの。878は体部が強く内湾して立ち上がり、口縁端部は丸くおさめる。879～881は口縁部全体が軽く外反し、先端を細く仕上げている。882は中国製青白磁の合子の小破片である。883、884は龍泉窯系青磁碗の破片で、外面には鎬蓮弁が施される。885～888は珠洲の擂鉢である。885は平坦な底部から体部が内湾気味に開く形態で、口縁端部は狭い面を持ち、ここに波状文が施文される。また底部にはさらに手捏ねの短い脚部が4カ所貼り付けされるが、いずれも剥脱し痕跡のみを残す状態で出土している。886も885とほぼ同形態・法量であるが、底部には脚部はなく、かわりに体部内面に菊花状のスタンプ文がみられる。体部内面はさらに3条一単位の擂目が、波状文状に、疎らに施されている。887は口縁端部に外傾する平坦な面を有し、内端は内傾につまみ出している。体部内面には12条一単位の擂目が疎らに施される。888は内湾して立ち上がる体部に、端面が外傾する口縁部を有する。体部内面には16条一単位の擂目が疎らに施される。889は土師質の土錘で芽子浮子形の形態だが、体部中位で折損している。

ＳＫ1159（第160図772・776）：772は土師器小皿で、体部が軽く内湾しながら浅く開き先端は鋭くおさめる。776は土師器大皿で、内湾しながら浅く開く体部の先端は細く仕上げる。

ＳＫ1163（第160図773）：土師器小皿で、体部が軽く内湾しながら浅く開き先端は鋭くおさめる。

ＳＫ1164（第160図760）：土師器小皿で、内湾して短く開く口縁部の先端は鋭く仕上げている。

ＳＫ1175（第160図767）：土師器小皿で、平坦な手部から口縁部は外傾して直線的に開く。

ＳＫ1323（第160図786）：龍泉窯系青磁碗の底部破片で、高台は幅広で低い削り出し角高台が付く。

ＳＫ1350（第160図780・793・794・796）：780は土師器大皿で、平坦な底部から体部が内湾気味に外傾し、端部は丸くおさめる。793は珠洲擂鉢の底部。794も珠洲擂鉢で、内湾して開く体部に内側につまみだし断面三角に仕上げる口縁部が付く。796は珠洲の甕の口縁部破片で、短く外反する口縁部を有す。

ＳＫ1371（第160図789）：中国製白磁の碗で、口縁端部を無釉とする、いわゆる口禿げの白磁である。

ＳＫ1419（第160図775）：土師器大皿で、平坦な底部から体部が外傾して浅く開き端部は丸くおさめる。

ＳＫ1460（第160図762・781）：762は土師器小皿で、平坦な底部から体部が短く屈曲し、口縁端部は面を持つ。781は土師器大皿で、内湾しながら浅く開く体部の先端は細く仕上げる。

ＳＫ1490（第160図792）：珠洲擂鉢の底部の破片で、内面には9条一単位の擂目が施される。

ＳＫ1497（第160図764）：土師器小皿で、平坦な底部から口縁部を短く直角に屈曲させる。

ＳＫ1522（第160図770・783）：770は土師器小皿で、丸みのある底部から体部が内湾しながら浅く開く。783は土師器大皿で、丸みのある底部から体部が外傾しながら開く器形である。

ＳＫ1527（第160図763）：土師器小皿で、平坦な底部から口縁部を短く直角に屈曲させる。

ＳＫ1563（第160図777）：土師器大皿で、浅く直線的に開く体部の先端は鋭く仕上げる。

ＳＫ1569（第160図774・784）：774は土師器中皿で、体部が軽く内湾しながら浅く開き先端は鋭く

おさめる。784は瀬戸美濃の灰釉平碗で、内湾して開く体部と外反する口縁部を有する。

ＳＫ1573（第160図778）：土師器大皿で、外反気味に開く口縁部の先端は鋭く仕上げる。

ＳＫ1635（第160図788）：中国製白磁の皿で、底部は平坦で無高台の形態。全面施釉される。

ＳＫ1637（第160図761）：土師器小皿で、平坦な底部から体部が短く屈曲し、口縁端面は面を持つ。

ＳＫ1640（第160図782）：土師器大皿で、丸みのある底部から体部が内湾しながら開く器形である。

ＳＫ1644（第160図779）：土師器大皿で、丸みを帯びた底部から体部が屈曲外反し端部は丸くおさめる。

ＳＫ1694（第160図790）：珠洲の壺の体部破片で、外面にヘラ刻みの文字線刻があるが、判読できない。

ＳＫ1695（第160図768）：土師器小皿で、丸みのある底部から体部が内湾しながら立ち上がる。

ＳＫ1708（第160図771）：土師器小皿で、平坦な低部から口縁部は外傾して直線的に開く。

ＳＫ1729（第162図914）：土師器大皿で、内湾気味に立ち上がる体部を有する。

ＳＫ1743（第160図791）：八尾擂鉢の底部破片で、内面には波状文状の擂目が施される。

ＳＫ1817（第160図769）：土師器小皿で、丸みのある底部から体部が内湾しながら浅く開く。

ＳＫ1918（第160図765）：土師器小皿で、内湾して短く開く口縁部の先端は鋭く仕上げている。

ＳＫ1931（第160図794）：珠洲の甕の口縁部破片で、短く外反する口縁部を有す。

ＳＫ1936（第160図766）：土師器小皿で、内湾して短く開く口縁部の先端は鋭く仕上げている。

〈井戸〉

ＳＥ1208（第162図903・904）：903は土師質の土錘で、樽型の形態を有す。径3.3cm、長さ6cm、内径1.1cm、重量57.3ｇの法量を測る。904は珠洲の擂鉢で、浅く逆「ハ」字状に直線的に開く体部を有す。擂目は8～9条一単位のものを、数cmの間隔を開けて垂直方向に施す。

ＳＥ1269（第162図890～899・900～902）：890～892は土師器大皿で、平坦な底部から体部が屈曲し、直線的に外傾する。口縁端部は単に丸くおさめるもの（890）と、つまみ上げて面取り風に仕上げるもの（891、892）がある。893、894は土師器小皿である。893は扁平だが底端部は丸みを有し、口縁端部が短く開く。894は平坦な底部から口縁部を短く斜外方に屈曲させる。895、896はいずれも底部回転糸切り手法を有する小皿。895は平坦な底部から体部が短く屈曲、内湾するもの。896は体部が斜外方へ浅く開き、口縁端部を鋭く仕上げるものである。897、898は中国龍泉窯系青磁碗の口縁部破片である。899～902は珠洲擂鉢。899、902は底部破片で、902は内面に波状文風の擂目を施す。900、901は口縁部の破片。体部は僅かに内湾しながら開き、口縁部は広い端面を有する。擂目のみられる900では7～8条一単位のものが疎らに施される。

ＳＥ1304（第162図909～912）：909は土師器小皿で、口縁部を短く外反させ、端部を鋭く仕上げている。910も同形態の土師器皿だが、中皿相当の法量である。911は珠洲擂鉢の口縁部破片で、片口部が残存する。912は珠洲の甕で、口縁部は軽く外反しながら立ち上がり、口縁端部は外方に玉縁状に肥厚させている。

ＳＥ1305（第162図913）：土師器小皿で、体部を強く屈曲させ、口縁端部は上方に短くつまみだす。

ＳＥ1686（第162図905～908）：905～908は土師器小皿。905は体部が斜外方に直線的に開き、端面は丸くつまみ出す。底部を欠失するが、回転台成形の小皿の可能性が高い。906～908は平坦な底部から体部を短く屈曲させるか、折り曲げている。口縁端部は丸くおさめる。

〈溝〉

ＳＤ1002（第162図915～920）：915は土師器小皿で、丸みを帯びた底部から体部が浅く開く。口縁端部は丸くおさめる。916は915と同形態の土師器大皿である。917は中国龍泉窯系青磁碗の口縁部破片で、内外にヘラ彫りの文様が施される。918は珠洲の壺で、体部外面上位に波状文が施される。919は珠洲擂鉢の口縁部破片で、端面は水平な面を持つ。920は土師質土錘で細長い葉巻型の形態だが、中途で折損している。最大径1.1cm、内径0.3cmを測る。

ＳＤ1040（第162図921～923）：921、922は土師器の小皿で、器高が浅く扁平で、側方に開く口縁部を有する。923は瀬戸美濃灰釉の水滴で、球形体部の側面に取手が付く形態である。

ＳＤ1044（第162図925）：土師器小皿で、扁平で丸みのある底部から体部が浅く短く開く形態である。

ＳＤ1057（第162図924）：珠洲擂鉢で、平底底部から体部が内湾気味に斜外方へ開き、口縁端部は水平な面を有す。内面には６条一単位の擂目が櫛方向に施される。擂目は内面を８分割、８単位がみられる。

ＳＤ1102（第162図926～929）：926、927は土師器小皿。926は丸みのある底部から体部が内湾しながら浅く開く。927は口縁部が短く外傾気味に立ち上がる。928、929は土師器大皿で、平坦な底部から体部が屈曲、外傾気味に開く形態である。口縁端部は面を有する。

ＳＤ1103（第162図930）：珠洲擂鉢の口縁で、体部は内湾気味に開き、口縁部は端面に面を持つ。

ＳＤ1229（第162図931～937）：931は八尾の瀬の口縁部で、断面は潰れた「N」字状の形態を有す。932、933は土師器の小皿で、丸みのある底部から体部が内湾しながら浅く開く。934は珠洲擂鉢の口縁部破片で、口縁端部が内傾し、端面に波状文を施す。935、936は珠洲擂鉢の底部破片。937は瓦質土器深鉢の底部破片と考えられる。

ＳＤ1422（第163図938）：土師器大皿で、平坦な底部から体部が屈曲外傾し、口縁端部は面取りする。

ＳＤ1703（第163図939）：珠洲壺の底部破片で、外底面には静止糸切り痕が残る。

ＳＤ1712（第163図940～944）：940、941は土師器小皿で、平坦な底部から口縁部が内湾気味に短く開く。942は同安窯系青磁碗の破片で、外面に櫛描き文様を有する。943は紡錘型の土師質土錘で、径１cm、長さ５cm、内径0.3cm、重量5.4ｇを測る。944は珠洲甕の口縁部破片で、口縁部は短く屈曲し外反する形態で、端面が僅方に短く突出する。

ＳＤ1900（第163図945～947）：945は底部回転糸切り手法を有する土師器の小皿で、体部は逆「ハ」字状に浅く大きく開く。946、947は土師器大皿の口縁部破片。946は口縁部が短く内湾気味に屈曲する。947は口縁部が外傾しながら開く形態で、端部は丸くおさめる。

ＳＤ1901（第163図948・949）：948は柱状高台の土師器皿で、外底面には回転糸切り痕が残る。949は土師器大皿で、口縁部が短く外反気味に屈曲する形態である。

〈土壙墓〉

ＳＺ1684（第160図787）：中国製白磁の小型無頸壺の破片で、外面に細かな蓮弁文が施される。

〈包含層出土遺物〉（第163図950～第164図1033）

950～988は土師器皿類である。このうち950～961は底部回転糸切り手法のもの。950～955は小皿で、平坦な底部から体部が短く外反させるもの（950～952）と、内湾させ端部を丸くおさめるもの（953～955）がある。956～958は中皿相当の法量のもので、体部は浅く内湾しながら大きく開く形態である。961の器形もこの形態で、法量のみ大皿相当となる。959、960は柱状高台土師器皿の底部破片で

ある。962～980は土師器の小皿である。このうち962～971は、丸みのある底部から体部が内湾しながら浅く開く。大半が口縁端部を細く仕上げるが、971のみ丸くおさめる。972～976は半当な底部から体部を短く屈曲折り曲げるもの。977～980は口縁部が短く内湾ないしは外傾気味にのび、口縁端部を軽くつまんで面取りしたり、丸くおさめるもの。981～984は中皿相当の法量のもので、体部は内湾しながら立ち上がる。985～988は土師器大皿で、口縁部を短く内湾させ先端を細く仕上げるもの（985、986）、同じく内湾させるが、端面を面取りするもの（987、988）がある。989～1013は中国陶磁である。989は青白磁梅瓶の体部破片、990も青白磁の皿の破片である。991～996はいわゆる口禿げの白磁の一群。997は底部破片だが、玉縁状口縁を有する白磁Ⅳ類碗の底部と考えられる。998は白磁皿の底部破片。999は白磁碗の底部破片で、内底面は蛇の目釉剥ぎされている。1000～1013はいずれも龍泉窯系青磁と考えられる一群である。このうち1002が小碗、1004が香炉、1005が口縁部が受け口状を呈する杯、他は碗と考えられる。このうち1007～1013は体部外面に鎬蓮弁ないしはヘラ彫りの蓮弁文を有する。1014～1016、1021は瀬戸美濃の鉄釉天目茶碗。1017は瀬戸美濃の灰釉平碗の口縁部破片である。1018は越中瀬戸鉄釉小皿。1019、1020は伊万里の磁器染付の蓋と碗の破片である。1022、1023は八尾の壺の口縁部破片で、「N」字状口縁の1023と、端面が外傾する1022とがある。1027は八尾の擂鉢の口縁部破片で、内面には波状文が崩れたような文様状の擂目が施される。1024～1026は珠洲の壺の体部破片で、1024の体部外面には線刻様の文様が、1025には三段にわたる波状文が施文されている。1028～1033は珠洲擂鉢の破片。1028～1032は口縁部で、内面に擂目がなく口縁端部が水平な面をもつもの（1028、1029）、口縁端部の先端が内側に短く突出し、内面に間隔をおいた垂直方向の擂目をもつもの（1030）、口縁端部が内傾する広い端面を有するもの（1031）、さらにそこに波状文を施し内面に密に擂目を施すもの（1032）がある。1033は底部の破片で、内面には12条一単位の擂目が間隔をおいて垂直方向に施されている。

⑤B４地区（第164図1034～第166図1131）

〈柱穴・土坑〉

ＳＰ2347（第164図1042）：土師器小皿で、扁平な底部から体部が浅く斜方へ開き端部は丸くおさめる。

ＳＰ2604（第164図1051）：珠洲擂鉢の口縁部破片。端部は外傾する面を持ち、内面には擂目を施す。

ＳＫ2055（第164図1034～1037）：1034は土師器小皿で、丸みのある底部から体部が内湾しながら短く立ち上がる。1035～1037は土師器大皿で、丸みのある底部から体部が屈曲・内湾しながら立ち上がり、口縁端部は心持ち外反させる。

ＳＫ2056（第164図1038）：1038は土師器大皿で、丸みのある底部から体部が屈曲・内湾しながら立ち上がり、口縁端部は心持ち外反させる。

ＳＫ2076（第164図1040）：土師器小皿で、丸みのある底部から体部が内湾しながら短く立ち上がる。

ＳＫ2182（第164図1041）：土師器小皿で、丸みのある底部から体部が内湾しながら短く立ち上がる。

ＳＫ2306（第164図1050）：珠洲の擂鉢の底部破片で、内面には擂目が密に施される。

ＳＫ2502（第164図1046）：珠洲甕の口縁部破片で、口縁部は短く屈曲外反させる。

ＳＫ2554（第164図1043）：土師器小皿で、扁平な底部から体部が浅く斜方へ開き端部は丸くおさ

める。

ＳＫ2615（第164図1048）：底部回転糸切り手法の土師器小皿で、平坦な底部から体部が浅く逆「ハ」字状に開く。口縁端部は丸くおさめる。

〈溝〉

ＳＤ2172a（第165図1056～1062）：1056～1060は土師器皿類である。1056は土師器小皿で、平坦な底部から体部が短く外傾する。1057も土師器小皿で、丸みのある底部から体部が屈曲・内湾しながら立ち上がり、口縁端部は心持ち外反させる。1058～1060は土師器大皿の口縁部破片で、直線的に外傾する1058、1059と、内湾気味に立ち上がる1060がある。1061、1062は珠洲擂鉢の口縁部破片で、口縁部の端面は外傾する面を有する。内面には擂目が施され、とくに1062は波状文風の擂目となる。

ＳＤ2172b（第165図1063～1076）：1063は中国製青白磁合子の蓋で、天井部外面には型抜きの蓮弁文が施される。1064、1065は中国龍泉窯系青磁碗の破片で、1064は体部内面に櫛描きの文様が、1065は体部外面にヘラ彫りの蓮弁文がみられる。1066、1067、1069～1071は土師器皿類である。1066は土師器小皿で、体部が軽く内湾しながら浅く開き先端は丸くおさめる。1067も土師器小皿で、1066に比べ器高が深くなっている。1069～1071は土師器大皿である。1069のみ口縁端部が外反するが、他は内湾気味に立ち上がる形態である。1068は越中瀬戸の碗である。1072は珠洲壺の口縁部破片で、端部は外側方に突出させている。1073～1076は珠洲擂鉢。1073は軽く内湾しながら斜外方へのびる体部に、外傾し広い端面を有する口縁部が付く。内面の擂目は波状文風に施される。1074は口縁端部に幅広の内傾する面を持ち、ここに波状文を施す。1075、1076は口縁端部に外傾する面を有し、内面には垂直方向の擂目を施す。

ＳＤ2172c（第165図1077～1080）：1077、1078は土師器小皿で、平坦な底部から口縁部が短く内側に屈曲する。1079は瀬戸美濃灰釉小皿の破片である。1080は同安窯系青磁の小皿で、内底面にいわゆる猫掻きと呼ばれる櫛描き文がみられる。

ＳＤ2172（第165図1081～1092）：1081～1084は土師器大皿で、丸みのある底部から体部が屈曲・内湾しながら立ち上がり、口縁端部は心持ち外反させる形態である。1085～1087は土師器小皿で、1085は扁平な底部から体部が浅く斜外方へ開き端部は丸くおさめる。1086、1087は平坦な底部から口縁部が短く内側に屈曲する形態である。1088は龍泉窯系青磁碗の口縁部破片である。1089は瀬戸美濃鉄釉天目茶碗の口縁部破片。1090は瀬戸美濃灰釉壺の肩部破片で、体部外面に２条一単位の沈線を二段にわたって施している。1091、1092は珠洲擂鉢の底部破片である。

ＳＤ2182（第164図1044）：1044は土師器小皿で、扁平な底部から体部が浅く側方へ開き端部は鋭く仕上げる。

ＳＤ2350（第164図1052～1055）：1052は土師器中皿で、体部は浅く逆「ハ」字状に開き、口縁端部は軽く外反させる。1053は瀬戸美濃灰釉壺の底部破片で、底部には外方へ「ハ」字状に踏ん張る足高の高台を有す。1054、1055は珠洲擂鉢の口縁部破片で、口縁端部に面を持ち、内面に擂目を施す。

ＳＤ2550（第164図1047）：珠洲甕の口縁部破片で、口縁部は強く外反させ、端部は側方に突出する。

ＳＤ2371（第164図1039・1045、第166図1131）：1045は土師器小皿で、体部が軽く内湾しながら短く立ち上がる。1039は土師器大皿で、丸みのある底部から体部が内湾しながら立ち上がり、口縁端部は心持ち外反させる。1131は珠洲擂鉢の口縁部破片で、口縁端面は内傾する平坦な面となる。

ＳＤ3347（第164図1049）：底部回転糸切り手法の土師器小皿で、平坦な底部から体部が浅く逆

「ハ」字状に開く。

〈包含層出土遺物〉（第165図1093～第166図1130）

1093～1105は土師器小皿である。1093～1095は、平坦な底部から口縁部が短く内側に屈曲する。1096～1103は丸みのある底部から体部が内湾しながら浅く開き、先端は鋭くおさめる。1104、1105は、丸みのある底部から体部が屈曲・内湾しながら立ち上がり、口縁端部は丸くおさめる。1106～1110は土師器大皿である。1106は体部が外傾し、のち口縁端部が外反する形態である。1107は1103の小皿と同形態の大皿である。1108～1110は、丸みのある底部から体部が屈曲・内湾しながら立ち上がる形態である。1111は唐津の陶胎染付碗の底部破片。1112は唐津内野山の鉄絵釉の皿で、内面見込みに蛇の目釉剥ぎがみられる。1113は伊万里の磁器染付の皿。1114は越中瀬戸鉄釉碗の体部破片。1115、1119は龍泉窯系青磁碗の破片、1116は口禿げの白磁皿の口縁部破片である。1117、1120は瀬戸美濃の灰釉卸皿、1118も同じ類のもの。1121は瀬戸美濃の灰釉平碗である。1124は八尾の擂鉢の底部破片である。1122、1123、1125～1128は珠洲擂鉢の口縁部破片で、口縁端部に水平の面を持つもの（1123、1128）と、それ以外の端部を丸くおさめるものがある。擂目はみられるものは全て間隔を開けて施され、密なものはみられない。1129、1130は壺の破片で、両例とも体部や頸部・口縁部に波状文を施している。

⑥B４S地区（第166図1132～1190）

〈土坑〉

ＳＫ3517（第166図1139）：珠洲甕の口縁部破片で、短く強く屈曲する口縁部の先端は外傾する面を有す。

ＳＫ3524（第166図1140・1141）：1140は土師器小皿で、平坦な底部から口縁部が短く内側に屈曲する。1141は土師器大皿で、平坦な底部から口縁部が短く内側に屈曲し、端部は上方へつまみ出す。

ＳＫ3532（第166図1138）：土師器小皿で、平坦な底部から口縁部が屈曲して短く立ち上がる形態である。

ＳＫ3535（第166図1142）：土師器大皿で、丸みのある底部から体部が屈曲・内湾しながら立ち上がり、口縁端部は心持ち外反させる。

〈溝〉

ＳＤ3501（第166図1132～1137）：1132、1133は土師器大皿で、口縁部は内湾しながら立ち上がり、端部は丸くおさめる。1134は龍泉窯系青磁碗の破片で、体部外面には鎬蓮弁がみられる。1135、1137は珠洲擂鉢。1135は７条一単位の擂目が間隔をおいて施される。1137は口縁内端が上方へつまみ出され、端面は外傾する。1136は中国陶磁の白磁四耳壺で、直立気味に開く頸部に玉縁状の口縁が付く。体部上端付近に耳部が貼り付けされる。

ＳＤ3550（第166図1146～1185）：1146～1165は土師器小皿である。1146～1152は平坦な底部から口縁部を短く屈曲させる形態である。1153～1165は、丸みのある底部から体部が屈曲・内湾しながら開く形態である。1166～1175は土師器大皿で、丸みのある底部から体部が屈曲・内湾しながら立ち上がり、口縁端部は丸くおさめるものが多い。1176～1178は中国陶磁である。1176は鎬蓮弁を有する龍泉窯系青磁の碗。1177は青白磁梅瓶の体部破片である。1178は白磁四耳壺の頸部破片で、口縁部は玉縁状に仕上げられている。1179は瀬戸美濃の蓋。1180～1182は珠洲の甕の口縁部。1183は珠洲擂鉢で、平底底部に軽く内湾しながら立ち上がる体部を有し、口縁端部は端面を有す。内面に擂目はみられない。1184も珠洲擂鉢で、口縁端部の内端が内側につまみ出されている。擂目は波状文状のものが施されている。1185は越中瀬戸の壺の破片で、短く直立する口縁の端部は水平の面を有す。

ＳＤ3579（第166図1143～1145）：1143、1144は土師器大皿である。1143は平坦な底部から体部が屈曲し、口縁部は斜上方へ軽く外反する。1144は、丸みのある底部から体部が屈曲・内湾しながら立ち上がり、口縁端部には面を有す。本例については体部外面に布目の圧痕が残されており、外型成形された可能性を示している。1145は珠洲壺の口縁部破片で、短く強く屈曲する口縁部の先端は外傾する面を有す。

〈包含層出土遺物〉（第167図1186～1190）

1186は低い削り出し高台を有する唐津の灰釉碗である。1187、1188は伊万里の磁器染付で、1187は碗、1188は皿で、内面中央に五弁花文がみえる。1189は八尾の壺口縁で、断面はやや潰れた「N」字状を呈している。1190は珠洲擂鉢の底部破片で、内面には８条一単位の擂目が間隔を開けて施されている。

⑦Ｂ６地区（第167図1191～第168図1246）

〈土坑〉

ＳＫ4031（第168図1203）：土師器小皿で、底部から体部が屈曲、大きく外反する形態を有す。

ＳＫ4039（第168図1204）：土師器小皿で、底部から体部が浅く開き、口縁端部は鋭く摘む。

ＳＫ4073（第168図1214・1215）：1214は土師器の小皿。1215は珠洲擂鉢の口縁部破片で、口縁端部は水平な面を持つ。

ＳＫ4120（第168図1205）：土師器小皿で、丸みのある底部から体部が短く内湾しながら開く形態。

ＳＫ4124（第168図1208・1209）：1208は珠洲壺の口縁部破片。1209は土師器大皿で、丸みのある底部から体部が浅く斜外方に開く形態である。

ＳＫ4130（第168図1207）：土師器小皿で、丸みのある底部から体部が浅く屈曲しながら開き、口縁端部を軽くつまみ出す形態である。

ＳＫ4147（第168図1206）：土師器小皿で、扁平な底部から口縁部を短く折り曲げ外反気味におさめる。

ＳＫ4280（第168図1217～1221）：1217～1219は土師器小皿である。1217は径の小さな底部から体部が「S」字状に屈曲して開く形態で、「へそ皿」模倣の器形と考えられる。1218、1219は底部から体部が浅く開く形態で、口縁端部は鋭く摘んでいる。1220は珠洲擂鉢の底部破片で、内面には密に擂目が施されている。1221は珠洲甕で、口縁部は軽く「く」字状に屈曲し、端面は丸くおさめる。体部外面には叩き目が、内面には窪んだ円形の当具痕が残る。

ＳＫ4353（第168図1212）：土師器中皿で、底部から体部が浅く開く形態で、口縁端部は鋭く摘む。

ＳＫ4354（第168図1210・1211）：共に土師器の小皿で、底部から体部が浅く開く形態で、口縁端部は鋭く摘んでいる。

〈大型不整形土坑〉

ＳＸ4036（第167図1200・1201）：1200は土師器小皿で、平坦な底部から体部が屈曲、口縁部が外反する形態である。1201は瓦質土器の支脚と考えられ、1196と同一個体の可能性がある。

ＳＸ4058（第167図1202）：土師器小皿で、底部から体部が浅く開く形態で、口縁端部は鋭く摘んでいる。

ＳＸ4124（第167図1199）：珠洲擂鉢で、体部は内湾しながら開き口縁部に端面を有す。内面に擂目有り。

〈柱穴〉

ＳＰ4057（第168図1216）：八尾の小型の擂鉢で、平底の底部から体部が斜外方へ直線的に開き、口縁部は内端を内側に軽く摘み出す形態である。体部側面には「界万」と焼成前にヘラ刻みされる。

ＳＰ4257（第168図1213）：中国陶磁で、龍泉窯系青磁碗の底部破片である。

〈溝〉

ＳＤ4038（第167図1193・1194）：1193は土師器小皿で、丸みのある底部から体部が浅く内湾しながら開き、口縁端部は内端を軽くつまみあげる形態である。1194は瀬戸美濃の灰釉平高台皿で、内面に重ね焼き時の融着を防ぐための目跡が３カ所残る。

ＳＤ4080（第167図1191・1195）：1191は土師器小皿で、扁平な底部から体部が浅く側方へ開き端部は摘むようにしては丸くおさめる。1195は珠洲の甕で、口縁部は「く」字状に外反させ、端面は断面の形状が卵型に近いものとなる。体部外面に並行の叩き目が、内面に当具痕である円形の窪みが残る。

ＳＤ4099（第167図1192・1198）：1192は土師器小皿で、丸みのある底部から体部が浅く内湾しながら開き、口縁端部は内端を軽くつまみあげる形態である。1198は瀬戸美濃灰釉合子の体部破片と考えられる。

ＳＤ4102（第167図1196）：瓦質土器の浅鉢型火鉢。洗面器状の体部を有し、口縁部の内端は折り曲げられ側方に拡張する。体部の外面には細かなヘラ磨きが施され、カーボンの吸着により黒銀色を呈する。本来は底部に低い三脚の支脚が付くと思われるが、本例では残存していない。同一個体か定かでないが、支脚自体は先述のＳＸ4036から１点破片で出土している。

ＳＤ4152（第167図1197）：珠洲擂鉢で、体部は内湾気味に開き、口縁部は外端を側方へつまみ出す形態である。内面には擂目は観察されない。

〈包含層出土遺物〉（第168図1222～1246）

1222～1234は土師器皿類である。1222～1227は 底部から体部が浅く開く形態で、口縁端部は丸くおさめるものと鋭く仕上げるものとがある。1228、1229は口縁部が内湾気味に短く開き、口縁端部はさらに摘み出される。1230、1231は 土師器小皿で、丸みのある底部から体部が浅く内湾しながら開き、口縁端部は内側に軽くつまみあげる形態である。1232～1234は、丸みのある底部から体部が屈曲、口縁端部は逆に外反する形態である。1235は唐津鉄釉天目茶碗の底部破片である。1236、1237、1239～1242は越中瀬戸である。1236、1237、1241は灰釉小皿で、1241については内底面見込みに菊花文のスタンプがみられる。1242も同様だがこちらは施釉が鉄釉である。1239は鉄釉柔燭（ひょうそく）の脚部破片。1240は内底面に舌状の粘土が貼り付けられており、柔燭類の一種と考えておく。施釉は鉄釉で、外底面のみ露胎となる。1238は伊万里の白磁小皿で、内面は蛇の目釉剥ぎされる。1243は八尾の帝口縁部破片で、口縁部は断面「N」字状を呈する。1244は珠洲甕の体部破片で、底部から体部への屈曲部（接合部）より上半は叩き目、当具痕が内外両に残る。1245は中国陶磁で、龍泉窯系青磁碗の口縁部破片である。体部外面には細い蓮弁文がヘラ先で線描される。1246は伊万里磁器染付の八角鉢の破片で、内面には草文が呉須で描かれる。破片接合部には焼継ぎの痕跡がみられる。18世紀～幕末の時期と考えられる。

⑧Ｃ地区（第168図1247～第172図1393）

〈井戸〉

ＳＥ5101（第168図1247）：土師器小皿で体部は外傾しながら立ち上がり、口縁部は端面を軽く摘み出す。

ＳＥ5217（第168図1252、第169図1277）：1252は唐津の鉄釉甕で、あまり胴の張らない寸胴の体部に、端部を内側に折り返す短い口縁部を有する。体部は叩きが施されており、内面には成形時の青海波文状の当具痕が残る。1277は越中瀬戸の灰釉小皿で、底部外面に「十」の字の墨書がみられる。

ＳＥ5221（第168図1248）：越中瀬戸の鉄釉小皿で、底部は削り出しの三角高台を有す。

ＳＥ5222（第168図1249）：越中瀬戸の灰釉小皿で、内底面には釉止めの段がみられる。

ＳＥ5244（第168図1251）：越中瀬戸の灰釉小皿で、内底面に菊花文のスタンプが、外底面に「十」の字の墨書がみられる。

ＳＥ5414（第168図1250）：瀬戸美濃の灰釉小皿の口縁部破片である。

〈柱穴・土坑〉

ＳＰ5056（第168図1253～1255、第169図1279、1280）：1253～1255は越中瀬戸である。1253は鉄釉小杯、1254は灰釉向付の破片、1255は灰釉小皿で、外底面に「十」の字の墨書がみられる。1279は越中瀬戸の鉄釉小杯で、ほぼミニチュアの天目茶碗の形態である。1280は土師器小皿の小破片である。

ＳＰ5218（第169図1278）：越中瀬戸の灰釉小皿で、底部外面に「十」の字の墨書がある。

ＳＫ5026（第169図1256・1257）：1256は中国陶磁で、龍泉窯系青磁杯の口縁部破片である。1257は珠洲擂鉢の破片で、口縁は内傾する広い面を持ち、内面は密に擂目を施す。

ＳＫ5075（第169図1262）：1262は越中瀬戸の灰釉小皿で、内底面中央に菊花文のスタンプを施す。

ＳＫ5104（第169図1261）：1261は伊万里の磁器染付碗の底部破片である。

ＳＫ5109（第169図1263～1265）：1263は土師器小皿で、底部から体部が浅く開く形態で、口縁端部は丸くおさめる。1264は瀬戸美濃の灰釉小皿、1265は越中瀬戸の鉄釉小皿である。

ＳＫ5117（第169図1266・1267）：1266は京焼の鉄釉碗で、高台畳付部分にスタンプがみられる。1267は越中瀬戸の鉄釉壺で、口縁部は短く外反する形態である。

ＳＫ5120（第169図1268・1269）：1268、1269は越中瀬戸の鉄釉壺。1268は寸胴の体部に短く直立する口縁部を有す。1269も若干法量が小さいが、ほぼ同様の形態である。

ＳＫ5150（第169図1258～1260）：1258、1259は土師器小皿で、丸みのある底部から体部が浅く内湾しながら開き、口縁端部は内端を軽くつまみあげる形態。1260は瀬戸美濃の鉄釉天目茶碗である。

ＳＫ5156（第169図1270）：本遺跡では珍しい瓦質土器の擂鉢。斜外方へ直線的にのびる体部に、断面の形状が三角形となる口縁部を有する。器形自体は越前写しと考えられる。内面に擂目が施される。

ＳＫ5165（第169図1271・1272）：1271は瀬戸美濃の鉄釉天目茶碗の体部破片である。1272は伊万里磁器染付の皿で、内面全体を使って抽象化した花文状の模様を描いている。

ＳＫ5206（第169図1274～1276）：３点とも越中瀬戸の小皿で、1274が灰釉、1275、1276がそれぞれ鉄釉の施釉である。

ＳＫ5467（第169図1281～1284・1288・1289）：1281は越中瀬戸の灰釉小皿で、底部は無高台で土師器皿に類似する形態である。1282は土師器大皿で、丸みのある底部から体部が屈曲しながら開き、口縁端部は心持ち外反させている。1283は珠洲甕の口縁部破片。1284は越中瀬戸鉄釉擂鉢の口縁部破片である。1288、1289は伊万里磁器染付の皿。ともに内面に呉須で文様が描かれる。1289では内面に水車の文様がみえる。

〈溝〉

ＳＤ5049（第169図1285～1287）：1285、1286は越中瀬戸灰釉小皿で、内底面に梅花文のスタンプが施文され、さらに1286については口縁部内面全体にレコード状の圏線を巡らす。1287は越中瀬戸鉄釉壺で、平底に球形の体部を有す。

ＳＤ5050（第169図1292）：越中瀬戸の灰釉小皿で、内底面に梅花文のスタンプがみられる。また口縁部内面全体にレコード状の圏線を巡らす。

ＳＤ5055（第169図1290・1291）：1290は越中瀬戸の灰釉小皿で、内底面に菊花文のスタンプが施文される。1291は唐津の灰釉小皿で、本例についてはＳＫ245と破片が接合する関係にある。

ＳＤ5065（第169図1293～1295）：1293、1294は瀬戸美濃で、1293は鉄釉天目茶碗、1294は鉄釉の香炉と考えられる。1295は越中瀬戸の鉄釉擂鉢で、口縁端面は内傾する広い面を有す。擂目は密に施す。

ＳＤ5126（第170図1296）：1296は瀬戸美濃の鉄釉天目茶碗の体部破片である。

ＳＤ5205（第169図1273、第170図1297～1306）：1273は越中瀬戸の鉄釉水差しの口縁部破片である。1297は瀬戸美濃の鉄釉碗で、低い削り出しの輪高台に、半球形に内湾する体部を有す。1298は越中瀬戸の鉄釉香炉の口縁部破片である。1299は土師器小皿で、底部から体部が浅く開く形態で、口縁端部は鋭く摘んでいる。1300も土師器小皿で、こちらは口縁部が肥厚した後、端部を摘み出す。1301～1305は越中瀬戸である。1301は鉄釉向付の口縁部破片。1302は鉄釉小皿で、外底面に「中」の字に類似した墨書がみられる。本例についてはＳＸ252と破片接合の関係にある。1303は鉄釉擂鉢で、内面には６条一単位の擂目が間隔を開けて施されている。1304、1305は耳付きの壺で、ともに鉄釉が施されている。1306は珠洲擂鉢の口縁部破片である。

ＳＤ5302（第170図1307～1312）：1307～1312は土師器皿類である。1307、1309は土師器小皿で、平坦な底部から口縁部が斜外方に浅く開く形態である。1308、1310も土師器小皿で、丸みのある底部から体部が屈曲し緩やかな「Ｓ」字を描き、端部は軽く上方に摘み出す。1311、1312は土師器大皿だが、形態的には1308、1309に類似し、とくに1309は法量のみ大型化した相似形となっている。

ＳＤ5373（第170図1313）：1313は瀬戸美濃の灰釉花瓶の底部破片である。

ＳＤ5418（第170図1314）：1314は土師器小皿で、底部から体部が浅く開き、口縁端部は鋭く摘む。

〈集石〉

ＳＸ5252（第170図1315～1339）：1315～1324は越中瀬戸の皿類である。1315、1320～1324は小皿で、1315、1322が灰釉、残りが鉄釉の施釉である。1315の内底面には菊花文のスタンプがみられる。また1321の体部内面はレコード状の連続圏線が施される。1322～1324は、底部外面に墨書がみられるが、字は判読し難い。1316～1319は向付の器形で、1316は灰釉、残りが鉄釉の施釉である。口縁部は体部中位で強く屈曲・外反するものが多くみられる。1325～1327は越中瀬戸の鉄釉の碗類である。1328は唐津の灰釉碗で、低い削り出しの三角高台を有す。1329、1330は越中瀬戸の碗で、体部は斜外方へ直線的に開く。内外面を施釉するが、茶褐色の錆釉に黒色の鉄釉を掛け回して、二彩風に仕上げている。1331は瀬戸美濃の灰釉小皿で、削り出し平高台の外底面には墨書の痕跡が残る。1332は瀬戸美濃の鉄釉花瓶の体部破片である。1333は唐津の灰釉皿で、復元口径は25.8cmを数える。1334は伊万里の磁器染付の皿で、破口には漆継ぎの痕跡がみられる。1335は越中瀬戸の鉄釉香炉。1336は越中瀬戸の鉄釉水指で、体部は僅かに内傾しながら立ち上がり、口縁端部は平坦な面に仕上げる。1337、1338は越中瀬戸の水指などの底部で、体部の内外面は鉄釉が施釉されているが、底部の内外面は露胎となっている。1339は珠洲壺の底部破片で、内面が使用痕により平滑となっており、上半部が破砕後

に、底部のみ擂鉢に転用された可能性が高いものと考える。

〈包含層出土遺物〉（第171図1340～第172図1393）

1340～1349は土師器小皿である。1340～1343、1346、1347は底部から体部が浅く開く形態で、口縁端部は鋭く仕上げる。1344、1345は、丸みのある底部から体部が屈曲・内湾しながら立ち上がる形態である。1348、1349は平坦な底部から口縁部が斜外方に直線的にのびる形態。1350は土師器大皿で、口縁部が心持ち屈曲・外傾する。1351は底部糸切り手法を有する土師器皿の底部破片である。1352は瀬戸美濃の灰釉卸皿の底部破片。1353は唐津の灰釉小皿で、底部には低い削り出しの輪高台が付く。1354は越中瀬戸の鉄釉向付で、屈曲した口縁部は垂直に立ち上がり、口縁端部を僅かへ摘み出す。体部には低い削り出しの三角高台が付く。1355は越中瀬戸の灰釉ヒダ皿で、内底面には花文のスタンプが施文される。1356、1357は瀬戸美濃の灰釉小皿の破片、1358は平碗の底部破片である。1359は瀬戸美濃の花瓶、1360は瓶子の底部破片で、いずれも灰釉の施釉である。1361は瀬戸美濃灰釉の水滴と考えられる。球形体部に短い口縁部、取手が付く。1362は多角形の水滴の破片で、型抜き成形され、外面は灰釉が施釉される。1363～1373は越中瀬戸の小皿である。1368、1370、1371、1373が鉄釉、残りが灰釉の施釉である。また1365に菊花文、1367に梅花文のスタンプが内面にみられる。外底面の墨書については1364、1367～1373にみられる。1374は越中瀬戸の鉄釉擂鉢の破片。1375、1376は越中瀬戸の鉄釉天目茶碗で、とくに1376は茶褐色の錆釉のベース地に黒色釉を掻掛けし、二彩風としている。1378、1388は瀬戸美濃の鉄釉天目茶碗の体部破片である。1379、1380は越中瀬戸の鉄釉壺で、安定した平底に寸胴の体部を有し、口縁部は短く直立させる。1381は伊万里の磁器染付碗で、内底面に「寿」の銘、体部外面には並草紋文がみられる。本例は破損後一度焼継ぎされており、外底面に「道場　□□□□（人名と考えられるが判読不明）」と朱で記されている。焼継ぎ屋が顧客を区別するために記したもので、「道場」は中名に隣接する地名である。1383は伊万里の磁器染付小皿で、内底面は圏線で区画し、さらに花文を呉須で描く。1384は伊万里の瓶類の底部破片で、外面中位に圏線一条と文様の一部と考えられる呉須が観察される。1386は伊万里白磁の紅皿。1382、1385は中国陶磁。共に龍泉窯系青磁で、1382は碗、1385は小杯である。1387、1393は珠洲甕の口縁部破片。1389～1392は珠洲擂鉢の口縁部破片である。1389～1391は口縁端面が幅広く内傾するもので、1389、1390はこの部分をさらに波状文で飾る。内面の擂目は密に施す。1392は口縁部の端面がほぼ水平となるもので、内面の擂目にもやや間隔がある。

B　金属製品（第173図～第175図）

金属製品の出土は土器・陶磁器に比べはるかに少ない。このうち図示したものは64点である。金属製品のうち種別が判別できたものの中で最も多いのが銅銭、刀子で、この他には釘、銅製の鈴、鉄鏃、火箸、小柄、花瓶、紅皿、内耳鉄鍋、鉄滓などがある。また種別が明確でないのもは、現状での残存形状により、棒状、板状などと仮称している。以下にまず銅銭のみ一括提示し、次いで各地区毎の出土遺物を記述する。

①銅銭（第173図2001～2034）

宋銭を主体に34枚の出土がみられる。

A２地区ＳＫ4615（第173図2001～2005）：2001～2005はＡ２地区ＳＫ4615から出土したもの。2001、2002は咸平元寶（北宋・初鋳998年）、2003は明道元寶（北宋・初鋳1032年）、2004は淳化元寶（北宋・初鋳990年）、2005は元豊通寶（北宋・初鋳1078年）である。

A 2地区ＳＤ4601（第173図2006～2008）：2006～2008はＡ２地区ＳＤ101から出土したもの。ともに2006、2007は「寶」の一字は判読できるが、他は不明。

B 2地区包含層（第173図2009～2011）：2009はⅠ層包含層の出土。天聖通寶（北宋・初鋳1017年）か。2010はⅢ層包含層の出土。熙寧元寶（北宋・初鋳1068）か。2011もⅢ層包含層の出土で、元豊通寶（北宋・初鋳1078年）である。

B 2地区Ⅱ層一括（第173図2012～2028）：2012～2028は包含層中の遺構一括出土品で、墓などの何らかの遺構に伴うものである可能性が高い。2012は開元通寶（南唐・初鋳960年）、2013は嘉定通寶（南宋・初鋳1208年）、2014は□□通寶とのみ読める。2015は祥符元寶（北宋・初鋳1009年）、2016は□□元寶とのみ読める。2017は大観通寶（北宋・初鋳1107年）、2018は天□通寶。2019は太平通寶（北宋・初鋳976年）、2020は紹聖元寶（北宋・初鋳1094年）、2021は淳熙元寶（南宋・初鋳1174年）と読める。2022は熙寧元寶（北宋・初鋳1068年）か。2023は天□通寶で、一字が判読できない。2024、2025は□□元寶とのみ読める。2026政和通寶（北宋・初鋳1111年）、2027は治平元寶（北宋・初鋳1064年）、2028は淳化元寶（北宋・初鋳990年）である。

B 6地区ＳＤ4020（第173図2029）：2029は表面摩滅のため判読できない。

B 6地区ＳＫ4085（第173図2031）：2031は治平元寶（北宋・初鋳1064年）である。

B 6地区耕作土（第173図2030）：2030は江戸時代の寛永通寶である。

C地区ＳＫ5124（第173図2032）：2032は表面摩滅のため判読できない。

C地区ＳＫ5150（第173図2033）：2033は半損しているが、至道（元寶）と読める。

C地区包含層（第173図2034）：2034は元豊通寶（北宋・初鋳1078年）である。

②B 1地区出土遺物：（第174図2035）

2035はＳＥ115から出土した刀子である。刃部先端および茎の基端部を欠失する。現存での残存長7.6cm、幅1.5cm、峰の厚さ0.4cm、重さ8.4ｇを測る。

③B 2地区出土遺物：（第174図2036～2041）

2036～2038は棒状の鉄製品。いずれも断面の形状が厚みのある長方形ないしは角柱となっている。2036はⅠ層包含層、2037はＳＤ701、2038はＳＥ740の出土である。2039は板状の鉄製品。損壊により不整形な形状だが、厚さは1.6cmある。ＳＤ750からの出土。2040、2041は鉄滓で、ともにⅡ層包含層からの出土である。

④B 3地区出土遺物：（第174図2042～第175図2069）

2042は包含層から出土した銅製の鈴。直径2.5cmの球形・中空の内部に丸を封じ込めている。一端に細い鈴口があく。基端に吊り下げるための紐の取り付け口が開けられているが、紐自体は残存しない。2043～2051は棒状の鉄製品。このうち2043、2046、2050、2051は頭が「L」字に折り曲げられ、横断面が角状の和釘である。2046がＳＤ1219から、2049がＳＫ1104から、2050がＳＫ1159、2051がＳＥ1269からそれぞれ出土している。他は包含層からの出土である。2052～2054は鉄製の刀子である。2052は刃部は折損するが、茎は完存している。現存長15.8cm、刃部の幅1.6cm、厚さ0.5cm。2058は刃部中央のみの残存で、両端を欠失する。2054は中途が折損するが、同一個体と考えられる刃部と茎を一つに復元したもの。刃部と茎の境界が断面を除いて明確でなく、先端の細い篦型の形状である。茎の基端には柄に装着するための目釘の穴が二カ所みられる。刃部の幅1.1cm、峰の厚さ0.3cm。2052がＳＫ1411の出土、2053がＳＫ1499の出土、2054が包含層の出土である。2055、2056は板状の鉄製品である。2055はもとの形状は不明だが、厚さは0.7cmを測る。ＳＫ1371からの出土である。2056は小刀

の刃部と考えられる。先端側および茎との境界付近の二カ所で折損する。現状で長さ11cm、幅2.9cm、峰の厚さ0.6cmを測る。ＳＫ1695からの出土である。2057～2060はいずれも輪（リング）状の鉄製品である。径は小さなもので2.3cm、大きなもので4.2cm程度である。断面の形状は2508が円形、他は角状である。また2060は一重でなく二重に巡る。2057、2058が包含層等の出土、2059、2060がＳＸ1360の出土である。2061は棒状の鉄製品を鉤状に45°の角度で折り曲げている。端面はともに折損しており、鉤かどうかは不明である。断面は角状を呈する。包含層からの出土である。2062は鉄製の鋳物で、内耳鍋の口縁部破片である。復元口径は約30cmとなる。口縁部は受け口状を呈し、この口縁部の内側に鍋を吊り下げるための耳を接合している。この鉄鍋は包含層からの出土である。2063～2069は鉄滓である。2063、2069が包含層、2064がＳＫ1695、2065がＳＤ1057下層、2066、2067がＳＫ1104、2068がＳＥ1269からそれぞれ出土している。

⑤Ｂ４地区出土遺物：（第175図2070～2089）

2070は鉄鏃で、身（刃部）の先端側および茎の基端部が折損している。このため鏃の型式は不明だが、一応有茎式で、身に幅があり厚さが薄い「平根」のタイプである。身の幅は４cm、厚さ0.5cmを測る。この鉄鏃はＳＫ2055から出土している。2071、2072は丸釘。2071は鋲と考えられ、頭部は丸く胴の断面は角状である。包含層からの出土。2072は頭、胴の断面ともに丸く、先端をネジ切りしている。近現代の工業製品と考えられる。ＳＤ2032の出土。2073は板状の鉄製品で、断面は一端が薄く尖っている。ＳＫ2187の出土。2074は棒状の鉄製品で、横断面の形状は長方形を呈する。包含層の出土。2075～2081は全て和釘の一種と考えられる。大きさには大小があるが、頭が残存しているのは2080のみである。2076、2077、2079はＳＤ2172、2078はＳＫ2075、2081はＳＫ3253、他は包含層の出土である。2082は棒状の鉄製品だが、横断面が薄い長方形の身と、断面が角状を呈する茎とが明確に分かれる。残存長14.3cm。なんらかの工具の一種と考えられる。包含層からの出土である。2083、2084は刀子の刃部破片。2083はＳＩ06、2084はＳＩ02と、ともに竪穴建物からの出土である。2085は棒状の鉄製品で、長さ8.3cm、厚さ0.5×0.8cmの棒状のものにリング状の鉄製品が巻き付いている。ＳＩ07の出土。2086は取っ手金具の一部で、包含層の出土。2087は幅の広い板状の鉄製品で、鋲緑両端に突起がみられる。ＳＰ2318下層の出土。2088は鉄製火箸で、中途で折損し２個体に分かれている。包含層からの出土である。2089はＳＩ02出土の鉄製の箙と考えられるもの。刺突部は箙に最も多い三つ又と考えられるが、うち２本は基端から、残り一本も先端が折損している。このため刺突部先端の形状は不明である。柄に固定する基部は基端部が「L」字に折り曲げられ、棹の引っかかりとしている。県内での漁撈用箙の類例としては４例程度がみられるが、いずれも中世以降の時期のものと考えられている。

⑥Ｂ４Ｓ地区出土遺物：（第175図2090・2091）

2090は鉄滓、2091は鉄製の和釘で、断面は角状を呈する。２点とも包含層からの出土である。

⑦Ｃ地区出土遺物：（第175図2092～2095）

2092は小柄で、現存長8.8cm、幅1.1cm、厚さ0.3cmを測る。ＳＫ5206からの出土である。2093は和釘で包含層の出土。2094は密教法具のひとつである花瓶。いわゆる華字形花瓶と考えられるが、圧壊したため変形している。この花瓶はＳＤ5358から出土したもの。2095は紅皿ないしは鉄漿皿で、ＳＤ5302から出土している。口径5.5cm、器高2.3cm、厚さ0.1cm、重さ13.2ｇを測る。体部には輪花状のヒダを口縁部に沿って巡らせる。中央には格子文を施した飾り鋲があり、中空の高台中央を突き抜けて両端を固定するもの。

C 木製品（第176図～第189図）

木製品は水の漬きやすい井戸、溝等から多く出土している。これらの木製品のうち生活関係の用品としては、各種の漆器、桶類（曲物・結桶）、箸、ザル、下駄、木臼などが、また建築材としては柱穴内に残存する柱根、杭、その他各種の建築部材などがある。以下に各地区ごとに記述していく。

①A 2地区（第176図3001～第178図3037）

〈溝〉

S D4501（第176図3001～第177図3019）：3001～3005は漆器椀である。3001は椀の残欠と考えられる。黒色漆塗りで、さらに内外面に赤色漆で文様が描かれる。3002～3005は椀の破片で、高台には足の高いものから低いものまで各種ある。いずれも黒色漆塗りで、内外面または片面に赤色漆で文様を描く。赤色漆部分は剥落が顕著で、文様の内容は読みとり難い。木材の樹種は3005のみオオウラジロノキ、他はブナである。3006～3013は結桶の部材。3006は分割式の底板の部材で、一側縁に板材どうしを結着する際の木釘を通す柄穴が2カ所残存する。長さ22.1cm、幅3.4cm、厚さ0.6cmを測る。3007～3012は結桶の側板で、一端ないしは両端にタガによる結束痕が残る。長さは概ね20～23cm程度、幅は狭いもので3.5cm、広いもので6cm、厚さは1.1cm前後のものが過半を占める。3014は長方形の加工板で、幅6.8cm、長さ18.8cm、厚さ0.2cmを測る。3015は折敷の底板で、側板結束用の木釘の穴が直交する二個縁に一カ所ずつ残存する。幅5.5cm、長さ16.8cm、厚さ1.3cmを測る。3016は桶の側板の可能性があるが定かでない。3017は曲物の側板で、現存で幅6.2cm、長さ19.8cm、厚さ0.3cmを測る。3018、3019は桶の底板。前者は側板の綴じ代と、結束に使用した桜材が二カ所に残存しており、曲物桶の底板と知れる。後者は組み合わせ式の結桶の底板と考えられる。やや大型で直径は22cmを超える。厚さは0.8cmを測る。木材の樹種はヒノキである。

S D4568（第177図3023～3025）：3023は漆器椀で、内湾する半球形の体部に「ハ」の字に踏ん張る足高の高台が付く。器表面は全面黒色漆が塗布され、さらに赤色漆で扇文を内底面および体部外面に描いている。口径15cm、器高9cmの法量を測る。木材の樹種はトチノキである。3024は板状の部材。3025は結桶の側板で、上下にタガによる結束痕が残る。幅5.8cm、長さ22.6cm、厚さ0.9cmを数える。

S D4573（第177図3020）：3020は桶の底板。一枚作りで径13.5cm、厚さ1cmを測る。樹種はヒノキ。

S D4577（第177図3021）：3021は桶の底板。二分割作りで、接合部に二カ所木釘穴がみられる。復元径12.6cm、厚さ0.5cmを数える。木材の樹種はヒノキである。

〈井戸〉

S E4547（第177図3022）：3022は箸で、両端を細く削り出す両口箸である。幅0.6cm、長さ22.6cm、厚さ0.45cmで、横断面は扁平な六角形を呈する。

〈土坑〉

S K4505（第178図3027）：円柱状の柱材で、現存長45.2cm、径14.6cmを測る。樹種はクリである。

S K4518（第178図3026）：3026は柱材で、側面に木材を組み継ぐための方形の柄穴が穿孔されている。横断面の形態は角状。樹種はクリである。現存長45cm、幅14×11.9cmを測る。

S K4520（第178図3030）：円柱状の柱材で、現存長16.1cm、径7～9cmを測る。樹種はクリである。

S K4538（第178図3029）：円柱状の柱材で、現存長27cm、径11cmを測る。樹種はクリである。

S K4545（第178図3028）：円柱状の柱材で、現存長42.4cm、径10～14cmを測る。

〈包含層出土遺物〉（第178図3031～3037）

3031は棒状の木製品で、断面は角状を呈す。上端に穿孔がみられる。下端側は折損しており、破断面付近が焼けこげている。現存長13cm、幅2.1cm、厚さ1.3cmを測る。材質樹種はモミである。3032は漆器椀で、口径に比べ器高が低く、体部は内湾しながら浅く開く形態である。高台は幅が広く低いものが付く。内赤、外黒で漆が塗布されている。材質樹種はブナである。3033は墨書のある木札で、墨書自体は「荒木」と読める。現存長8.5cm、幅2.4cm、厚さ0.3cmを数える。3034は小型板状で長方形を呈す。3035は曲物の底板で、側板の綴じ代と結束に使用した桜材が一カ所残存している。径21.8cm、厚さ0.5cmを測る。材質樹種はヒノキである。3036も桶の底板で、復元径22cm、厚さ0.6cmを測る。材質樹種はヒノキである。3037は欠失部分が多く全体の形状が不明だが、一応底板状の板材と考えておく。中央付近に円形の穿孔が4カ所みられ、内外面の所々に漆塗りの痕跡がみられる。材質樹種はヒノキである。

②B 1 地区（第179図3038～3051）

〈井戸〉

ＳＥ115（第179図3038～3048）：3038は井戸枠に使われた桟と側板である。3038は井戸枠を方形に組み、縦板を差し込む際に使われた桟で、現存長61.2cm、幅５cm、厚さ１cmを測る。3039～3048は井戸枠に使われた縦板であるが、残存状況が良くなく、ほぼ基端部のみの残欠となって出土している。幅は概ね12～13cm、厚さ3.8～５cmを測る。

〈溝〉

ＳＤ284（第179図3049～3051）：3049、3050はともに板材で、前者は長さ43.4cm、幅15.4cm、厚さ0.7cm、後者は長さ43.1cm、幅11.3cm、厚さ0.7cmを測る。3051は棒状の木製品で、横断面は円形を呈する。現存長31.3cm、径1.2～1.6cmを測る。中央付近の径が大きく、両端がやや窄まる形状である。

③B 2 地区（第179図3052）

〈井戸〉

ＳＥ731（第179図3052）：3052は板状の木製品で、現存長42cm、幅4.7cm、厚さ１cmを測る。

④B 3 地区（第179図3053～第182図3092）

〈井戸〉

ＳＥ1208（第181図3081）：曲物のタガで、打合わせ部の先端、本綴じの部分が残存している。縫い目には桜皮が残されている。内面ケビキの刻目は縦方向である。板材は幅16cm、厚さ0.6cmを測る。

ＳＥ1269（第179図3053～第181図3080）：3053～3055は両端を細く削り出す両口箸である。3053、3054は横断面が円形に近く、3055は扁平な角状を呈す。法量は完存する3055では長さ20.5cm、幅0.7cm、厚さ0.3cmを測る。3056は一端を斜めに削りだしたヘラ状の木製品。幅２cm、長さ20cm、厚さ0.3cmを測る。材質樹種はスギである。3057は漆器椀で、口径に比べ器高が低く、体部は内湾しながら立ち上がる形態である。高台は欠失する。口径14.5cm、体部高4.5cmの法量。内外面とも黒色漆塗りで、文様はみられない。材質樹種はケヤキである。3058、3059は桶の底板である。3058は復元径25cm、厚さ0.6cm、3059は復元径30cm、厚さ１cmを測る。材質樹種はともにスギである。3060～3080は板材である。このうち3061は井戸枠材として使用されたもの。一端ないしは両端が腐食欠失するものが大半である。3067は下端部に手斧の加工痕が残る。大半が厚みのない薄い板状であるが、3065のみ横断面が角状を呈する。大きさは、大型の3066で現存長67.4cm、幅15cm、厚さ4cm、小型の3074で現存長35.5cm、幅2.8cm、厚さ0.6cmを測る。

ＳＥ1305（第182図3082～3084）：3082は漆器の皿。底部の高台は低く断面逆三角形で、体部は中

位で屈曲し稜をもつ。内外面黒色漆塗りで、材質樹種はブナである。3083、3084はともに編組品で、笊と考えられるものの残欠である。幅広の縦材に細い横材を交互にくぐらして、編み込んでいる。

〈溝〉

ＳＤ1900（第182図3085）：3085は漆器椀の体部残欠で、内外とも黒色漆塗りされている。

〈土坑〉

ＳＫ1104（第182図3086～3092）：3086は台と歯を別々に製作せず原材から直接切（剝）りだす、いわゆる連歯下駄である。台の形状は平面が小判形、縦断面は厚みがない台形である。幅9.4cm、長さ19.5cm、厚さ1.4cm。前壺は前歯の前方に、横緒穴は後歯の前方にやや斜めに穿孔する。歯は後歯のみ完存しており、概ね4.2cmの高さ。歯裏の幅は9.4cm、厚さ３～3.5cmである。材質樹種はスギである。3087も連歯下駄で、中途で折損しており後歯儔のみが残存する。台の幅は6.8cm、残存長11.4cm、厚さ１cm、全体に3086より小振りの作りである。横緒穴は２個とも残存するが、穿孔はやや斜め下方に向かってなされている。折損面および下端に焼け焦げがみられる。材質樹種はスギである。3088～3092は両端を細く削り出す両口箸である。

⑤Ｂ４地区（第182図3093～第183図3115）

〈溝〉

ＳＤ2172（第182図3093～第183図3112）：3093～3095は漆器椀であるが、完存するものはみられない。3093、3094は体部の破片で、高台を欠失する。口径に比べ器高が無く、浅く内湾しながら開く体部である。3095は底部の破片で、高台は低く薄いものが付く。３点とも内外黒色漆塗りで、文様はみられない。材質樹種はいずれもはケヤキである。3096は加工材、3097、3098は板状木製品であるが、用途などは不明である。3099～3109は両口箸で、3099～3102は一端が折損するが、他は完存する。断面の形状は方形や楕円形などがある。幅0.7～0.8cm、長さ21～22cmのものが多くみられる。3110、3111は棒状の木製品で、いずれも一端ないしは両端が折損している。3112は板状の木製品で、現状で幅5.4cm、長さ32.5cm、厚さ1.6cmの大きさである。用途不明。

〈井戸〉

ＳＥ2090（第183図3113～3115）：3113、3114は井戸用材に転用された曲物桶のタガと側板である。3113はタガで、打合わせ部が部分的に残存している。綴い目には桜皮が残されている。3114は側板で、内面ケビキの刻Ｈは縦方向である。3115は円形の木蓋で、復元径24cm、厚さ0.7cmの法量。材質樹種はヒノキである。

⑥Ｂ４Ｓ地区（第183図3116）

〈溝〉

ＳＤ3501（第183図3116）：3116は漆器椀の小破片である。内湾する体部と低い高台の底部を有す、内外面とも黒色漆塗りで、内面見込みには赤色漆による彩文がみられる。

⑦Ｂ６地区（第183図3117～第184図3136）

〈井戸〉

ＳＥ4120（第183図3117～第184図3134）：3117～3123は両口箸である。3117のみ一端を折損、他は完存と考えられる。法量は二種あり、3118、3119は幅0.5～0.8cm、長さ17～18cm、厚さ0.4～0.5cm、3120～3123は幅0.6～0.8cm、長さ20～21cm、厚さ0.3～0.5cmとなっている。3124～3134は井戸枠の側板である。上端部は腐食により欠損するものが多いが、下端は良好に残存している。またほとんどが板状であるが、3131、3132のみ角柱状となる。板状のもののうち3127～3130、3133には、下端から３～

4㎝ほどのところに方形の柄穴が穿孔されている。全長は残存状況によりまちまちであるが、長いもので50㎝、短いもので30㎝程度である。幅は8～12㎝、厚さは1～2㎝程度である。3134のみ形状が他と異なり、長さ41.4㎝、幅21.4㎝、厚さ2.2㎝を測る。角柱状の3131、3132は長さ50～60㎝、幅9～10㎝、厚さ6～8㎝で、3131については上端から5分の2ほどの表面に手斧の加工痕が残る。

ＳＥ4288（第184図3135・3136）：ともに井戸の傍板である。形状は長方形の板状である。幅15～18㎝、長さ30～37㎝、厚さ1.2～1.5㎝を測る。

⑦C地区（第184図3137～第189図3194）

〈溝〉

ＳＤ5302（第184図3137～第185図3148）：3137～3139は漆器椀である。3137、3138は口縁部を欠失するが、底部の高台は低く外方へ踏ん張る形態である。3137は黒色漆塗りで、内面に赤色漆の文様の痕跡が残存する。3138は内外黒色漆塗りで、内面は全体を使って鶴、扇、草木文が赤色漆で描かれている。体部外面にも赤色漆塗りの文様痕跡が残る。3139は低いベタ高台から体部が軽く内湾しながら開く形態である。法量は口径15.2㎝、器高5.9㎝、底径5.6㎝を測る。内外面とも黒色漆塗りで、内面には鶴と草木文らしき赤色漆塗りの文様が残る。これら漆器の材質樹種は全てブナである。3140は小型棒状の木製品で、円柱状に削り出し、上端を丸く、下端を軽く尖らせている。長さ6.5㎝、径1.2㎝を測る。材質樹種はヒノキ科である。3141～3147は両端を尖らす両口箸である。3141～4144は一端を折損するが、他3点は完存である。3145は長さ9.5㎝、幅0.7㎝、厚さ0.5㎝、3146、3147は長さ22～23㎝を測る。3148は底板の一種と考えられるが、中央付近に2個の方形孔が穿孔されており、全体に煤が付着している。形状は円形の可能性があるが、欠損部分が多く本来の正確な形は不明である。厚さは0.7㎝を測る。材質樹種はスギである。

〈井戸〉

ＳＥ5101（第185図3150）：3150は井戸材に転用された木臼で、籾摺り用の木摺臼である。木摺臼は上臼と下臼を組み合わせて使うが、本例は上臼に該当する。芯持ち材を輪切りにして細部を刳りだし成形している。この上臼は井戸に転用される過程で、天井の中央を径10㎝前後に円形に刳り抜いている。上臼自体の直径は40㎝、高さは下端側を欠失しており、残存高で21㎝を測る。臼の臍面には縄掛け用の横に長い窓が対向して二面作り出される。樹種はブナ。実測図の天地は井戸内での正立状態のものである。

ＳＥ5212（第185図3149）：3149は板状木製品。両端が丸く軽く円弧を描く。幅3.4㎝、長さ15.2㎝、厚さ0.4㎝。材質樹種はヒノキである。

ＳＥ5213（第185図3151～3153・3157）：3151は板状木製品で、表面の一部に漆が残存しており、漆塗り製品の部材であることが知れる。幅5.8㎝、長さ31.5㎝、厚さ0.5㎝を測る。材質樹種はヒノキである。3152も板状木製品であるが、両端が円弧を描いており形状は矩形ではない。現状で幅6.4㎝、長さ28.2㎝、厚さ0.6㎝を測る。材質樹種はヒノキである。3153は曲物桶の底板である。形状は円形で、径18㎝弱、厚さ0.8㎝を測る。周縁の3カ所に側板と結束するための綴じ穴と綴じ皮が残存している。材質樹種はヒノキである。3157は井戸枠に転用された曲物で、底板は残存しないが他は完存する。復元径48.4㎝、高さ10.3㎝、重ね合わせた状態での厚さ1.2㎝を測る。側板は上下両端を幅2㎝のタガで結束する。また底板と側板を留める木釘の穴も残存している。

ＳＥ5223（第186図3155・3156）：3155は井戸材に転用された木臼で、籾摺り用の木摺臼の上臼部分に該当する。上臼は井戸に転用される過程で、やはり天井の中央を径24～25㎝前後に大きく円形に

刳り抜いている。上臼の直径は40cm、高さ32.8cm、下端側面壁の厚さは3cm程度である。臼の側面には縄掛け用の横に長い窓が対向して二面残存する。摺り目の痕跡はあまり明確でない。材質樹種はブナである。3156は板状木製品で、欠損部分が多く、本来の形状は不明。

S E 5272（第186図3158）：3158も3157と同様に、非戸枠に転用された曲物である。底板は残存しないが他は完存する。復元径48.6cm、高さ10cm、重ね合わせた状態での厚さ1.4cmを測る。側板は上下両端を幅2～3cmのタガで結束する。底板と側板を留める木釘の穴も残存している。

S E 5414（第186図3160・3161）：3160は漆器椀の残欠である。体部・底部とも欠失する。底部外面には焼け焦げた痕跡が残る。内外とも黒色漆塗りで、内面にはさらに赤色漆による文様の痕跡が確認できる。材質樹種はトチノキである。3161は折敷の底板で、幅5.6cm、長さ17.3cm、厚さ0.5cmを数える。一端の側面に一カ所綴じ目が残る。材質樹種はヒノキである。

S E 5472（第186図3162）：3162は部材の一部と考えられるが、用途不明。細長い板材の両端に切り込みをいれ、側面は一端を直線に、対面する他端は、その両端の内側に緩いカーブを描く抉り込みを入れる。幅2.7cm、長さ29.4cm、厚さ1cmを測る。

〈柱穴・土坑〉

S P 5056（第187図3165・3166、第188図3181）：3165は小型円盤状の木製品で、径6.6cm、厚さ0.7cmの法量である。内外面とも黒色漆塗りされており、漆塗り容器の底板などの可能性がある。3166は漆器椀。高台を欠失するが、体部は半球状に内湾して開く。内外面とも黒色漆塗りされ、さらに赤色漆で両面とも文様加飾される。口径12cm。材質樹種はブナである。3181は柱で、芯持ち材を使い、表面には一部樹皮が残存している。下端および切断面には手斧による加工痕が顕著に残る。径29cm、残存高39cmを測る。材質樹種はエノキである。

S P 5123（第189図3190）：3190は柱である。円柱状の形状だが、腐食のため残存状況は良くない。径12～17cm、残存高24cmを測る。

S P 5218（第189図3191）：3191は柱である。芯持ち材を使った円柱状のものだが、上端は腐食して先細りとなっている。下端から10cmほどの所を、水平方向に輪状に切り込みを入れている。径17～20cm、残存高69.6cm。材質樹種はクリである。

S P 5253（第189図3187）：3187は柱である。芯持ち材を使った円柱状のものだが、かなり腐食している。径15～19cm、残存高41.4cmを測る。

S P 5255（第189図3189）：3189は柱である。円柱状の形状だが、かなり腐食しており中央が空洞になっている。径14～18cm、残存高33.8cm。材質樹種はスギである。

S P 5263（第187図3167、第189図3192）：3167は漆器椀である。扁平で低く径の小さな高台に、底端が張り、屈曲・内湾しながら立ち上がる体部を有す。内面は赤色漆塗り、外面は黒色漆塗りで、さらに赤色漆での文様加飾の痕跡が残る。口径12cm、器高5.4cm、底径5.6cmの法量を有す。材質樹種はブナである。3192は柱である。芯持ち材を使った円柱状の形状である。下端の切断面は残存するが、上端は高さ44cmほどで腐食欠失する。径は22～23cmを測る。材質樹種はクリである。

S P 5265（第189図3194）：3194は柱である。円柱状の形状だが、先端は腐食している。径16～19cm、残存高59.4cm。材質樹種はクリである。

S P 5267（第188図3183）：3183は柱。芯持ち材を使った円柱状のものだが、腐食が激しく残存状況は良くない。復元径15cm、残存高32.4cm。材質樹種はムクロジである。

S P 5454（第188図3185）：3185は柱である。芯持ち材を使った円柱状のものだが、かなり腐食し

ている。下端側に方形の柄穴が穿孔されている。径14～16cm、残存高44.5cm。材質樹種はクリである。

ＳＰ5476（第189図3193）：3193は柱である。円柱状の形状だが、先端は腐食しており先細りとなっている。径11～13cm、残存高44.6cm。材質樹種はクリである。

ＳＰ5477（第185図3154）：3154は柱と考えられるが残存状況は良くない。材質樹種はクリである。

ＳＫ5124（第187図3170～第188図3180）：3170は円盤状の木製品で、中央に円孔らしき痕跡が残る。径10cm、厚さ0.5cmを測る。材質樹種はスギである。3171～3179は結桶の側板である。いずれも下端側は完存するが、上端は欠失する。下端から５～10cmの範囲内にタガによる結束痕が残る。幅５～９cm、厚さ1.5～1.8cmを測る。3180は結桶の底板で直径87.9cm、厚さ3.9cm。５枚の板を組み継いで一枚の底板とする。

ＳＫ5150（第187図3163・3168・3169）：3163は漆器椀で、体部の一部のみが残存する。内外面とも黒色漆塗りされ、さらに外面には赤色漆による文様が一部に残る。3168は長方形の板で、箱状に組み合わせて使用するものと考えられる。左右両端に組み合わせのための抉り込みと木釘穴がみられる。また長辺の一端側の中央に円弧を重ねたような切り込みがみられる。あるいは引き出しなどの正面にあたる板かもしれない。現状で幅9.3cm、長さ30.2cm、厚さ0.5cmを数える。材質樹種はヒノキである。3169は連歯下駄である。台の形状は平面が隅丸長方形、断面は厚みがない長方形である。幅9.8cm、長さ21.9cm、厚さ2.5cm。前壺は前歯の前方に、横縮穴は後歯の前方に垂直に穿孔する。歯は前後とも残存しているが、使い込んでおり磨り減っている。概ね２cmの高さ。歯裏の幅は16～20cm、厚さ10cm前後である。材質樹種はヒサカキである。

ＳＫ5220（第188図3182）：3182は柱。芯持ち材を使った円柱状のものだが、かなり腐食しており、残存状況は良くない。径13～15cm、残存高35.4cm。材質樹種はクリである。

ＳＫ5234（第187図3164）：3164は漆器椀である。口縁部、底部を欠失するが、高台は「ハ」字状に大きく開く足高のもので、体部も平坦な腰部から口縁部が外傾気味に開く形態である。内外とも黒色漆塗りされ、内面には赤色漆による文様加飾の痕跡が残る。材質樹種はブナである。

ＳＫ5356（第189図3188）：3188は柱である。芯持ち材を使った円柱状のものだが、上端は腐食して先細りになっている。径15～18cm、残存高42cm。材質樹種はクリである。

ＳＫ5366（第188図3184）：3184は柱。芯持ち材を使った円柱状のもので、両端の切断面が残存する。上端部ついては、建造物の解体処理において柱の根本の地上露出部分を切断したためと考えられる。径９～12cm、高さ54cm。材質樹種はエノキである。

〈包含層出土遺物〉（第186図3159、第188図3186）

3159は漆器の蓋である。天井部と口縁部との境界には稜がつき、口縁部は内湾気味に開いて接地する。天井部中央には低いリング紐が付く。内外面とも赤色漆塗りで、外面天井部にはさらに蒟の文様を金色で彩漆している。口径11.5cm、器高3.4cmの法量を測る。材質樹種はヒノキ科である。3186は柱で、芯持ち材を使った円柱状のものだが、かなり腐食しており、残存状況は良くない。残存高28cm。材質樹種はウルシ科である。

D　石製品（第190図～第195図）

石製品としては砥石の出土が最も多いが、その他にも硯、石臼、五輪塔、石製塔婆、板碑、暖房具、変わったところでは滑石製石鍋の破片などがある。このうち五輪塔、石製塔婆、板碑など宗教関係の遺物は、本来の現位置を保つものではなく、遺物のみが遊離して出土したものと考えられる。

①A 2地区（第190図4001～4010）

〈溝〉

SD4501（第190図4002～4007）：4002、4004は砥石と考えられるが、破損した小破片として出土した。厚さは4002が1.8cm、4004が0.6cm。鎌砥石の類であろう。4003、4007は暖房具と考えられるものである。4006は五輪塔の火輪（笠）で、一辺21.8×23cm、高さ15cmを測る。

SD4568（第190図4009）：4009は石臼で、本例は上臼（雌臼）に該当する。半裁破損しているが、復元径30cmの車輪形を呈する。最大厚10cm、最小厚6cmを測り、摺り目は度重なる使用により磨り減っている。上臼の上面は一段窪んでおり、中軸よりややはずれた位置に「ものいれ」と呼ばれる円孔（供給口）が穿たれている。側面には挽き木を打ち込むための長方形の孔の痕跡がみられることから、いわゆる横打ち込み式の石臼と知れる。本例には2孔の打ち込み孔がみられる。1孔が使用不能になり、新たに反対側に1孔あけたと解釈できる。摺り合わせ側の中心軸の芯棒受けは、中央にわずかに痕跡を残す。臼目のパターンは推定復元だが、溝8本の痕跡が確認でき八分画で標準型と考えられる。また摺り合わせ面には「ものくばり」が磨り減って円弧を描くかすれた痕跡となって残存している。

SD4608（第190図4008）：4008は加工痕のある石であるが、用途不明。現状で一辺24×32.4cm、厚さ7.6cmを測る。

〈道〉

SF4579（第190図4010）：4010は加工痕のある石で、五輪塔などの一部の可能性があるが、詳細は不明。

〈包含層出土遺物〉（第190図4001）

4001は砥石であるが、破損していて原型を損なっている。厚さは0.3cmを測る。

②B 2地区（第190図4011～4012）

〈溝〉

SD672（第190図4011）：4011は、平面形態は一辺25～26cmの方形で、厚さは17cmを測る切石である。用途不明。

〈包含層出土遺物〉（第190図4012）

4012形状が長方形の砥石で、両端を折損している。上端側の一面が磨り減って厚みを減じている。幅3.1cm、厚さ1.3cmを測る。

③B 3地区（第191図4013～第192図4035）

〈溝〉

SD1002（第191図4015）：打製石器の製作過程でできたと思われる小剥片、いわゆるチップである。背面には細かな調整剥離の痕跡が残る。腹面は一度の加撃で形成された主要剥離面のみで構成される。主要剥離面には、打点とこれに収束するリングおよびフィッシャーが観察される。材質石材は不明。

SD1229（第191図4014）：4014は球形の叩き石で、表面の一部に叩打に伴う使用痕が観察される。直径6.5cm、重さ377gを数える。

〈土坑〉

SK1104（第191図4017～4019）：4017は球形の叩き石で、対極面の2カ所に叩打に伴う使用痕が残る。直径9.4cm、重さ840gを数える。4018、4019は大きさは異なるが、ともに砥石の残欠と考えられる。

ＳＫ1276（第191図4022）：4022は長方形で角柱状の砥石。幅４㎝、長さ7.8㎝、厚さ3.4㎝を測る。

ＳＫ1315（第191図4024）：4024は長方形の砥石。幅3.9㎝、長さ９㎝、厚さ1.5㎝を測る。

ＳＫ1350（第192図4033）：4033は不整長方形の砥石。幅6.2㎝、長さ8.6㎝、厚さ1.5㎝を測る。

ＳＫ1525（第191図4020）：4020は小型長方形の砥石で、上端側が使用に伴い厚みが減じた結果、折損している。幅3.4㎝、厚さ0.6㎝を測る。

ＳＫ1622（第191図4021）：4021は半裁折損した磨石。幅10.4㎝、厚さ3.3㎝を測る。

ＳＫ1694（第190図4013）：4013は県内では出土例の少ない滑石製の石鍋の破片。内外面とも成型時の加工痕が顕著に残る。本来は鍔が口縁直下を巡り体部は平底の形態だが、出土部位は体部下半の一部分である。このため型式分類にあてはめる特徴に欠く。おそらくは長崎県西彼杵郡の産であろう。

〈井戸〉

ＳＥ1304（第191図4025）：4025はやや不整形だが角柱状の大型の砥石。幅6.3㎝、長さ12.5㎝、厚さ6.4㎝を測る。

ＳＥ1305（第191図4023）：4023は長方形の砥石。幅4.4㎝、長さ8.2㎝、厚さ２㎝を測る。

〈包含層出土遺物〉（第191図4016、第192図4026～4032・4034・4035）

4016は不整形な形態の砥石。幅5.9㎝、長さ9.4㎝、厚さ2.9㎝を測る。4026～4032、4034、4035も砥石である。大小取り混ぜて各種がみられるが、小型のものは厚みのない板状、大型のものは角柱状のものとなっている。4035は破損しているが、敲石具の一部と考えられる。

④Ｂ４地区（第192図4036～4042）

〈溝〉

ＳＤ2172（第192図4036・4037）：２点とも砥石の破片で、本来は長方形の板状を呈する。4036は幅3.8㎝、厚さ0.5㎝、4037は幅2.4㎝、厚さ0.5㎝を測る。

〈包含層出土遺物〉（第192図4038～4042）

4038は表面に漆が付着する石片である。4039は長方形の形状だが、叩打痕があり、一応叩き石の一種と考えておく。4040、4041は砥石で長方形・板状の形状。4040は厚さ0.4㎝、4041は厚さ0.3㎝と薄い。4042は瑪瑙製の剥片である。やや縦長の形状で、背面には大きな剥離面と、周辺に細かい調整剥離が見られる。主要剥離面（腹面）側は大きく一枚で構成される。上側の打面中央に打点が位置し、そこから放射状にリングとフィッシャーが観察される。剥片の末端形状はややヒンジ・フラクチャー状に波打っている。

⑤Ｂ６地区（第192図4043～第193図4046）

〈土坑〉

ＳＫ4060（第193図4046）：4046は石製五輪塔の火輪（笠）に該当する。屋根型を呈する笠の四隅は先端が上方に反り上がる形状である。頂部は平坦に仕上げ、空輪・風輪を載せて固定するための円孔が穿たれている。一辺26㎝、高さ16.5㎝を測る。石材は安山岩である。

ＳＫ4505（第192図4043・4044）：4043は板碑。板碑とは板形をした石製卒塔婆で、その名の通り薄い板状のものが多いが、本例は厚みのある角柱状でシンプルな形状のもの。ちょうど将棋の駒の身を厚くしたような形態である。頂部の山形と身部（軸部）とは線刻区画されておらず、高さのない三角錐状の山形が頭頂部に作り出されている。身部表面には図像にかわる種子として梵字を刻んでおり、いわゆる梵字板碑に該当する。梵字は大日如来を表す「バン」の字が一字、軸部中央やや上側に陰刻される。幅17㎝、長さ36.2㎝、厚さ13㎝を測る。4044も同様の梵字板碑で、全体が僅かに大きい。幅

18cm、長さ45cm、厚さ12.4cmを測る。

〈溝〉

SD4080（第193図4045）：4045は板碑で、本例は厚みのある角柱状でシンプルな形状のもの。三角錐状の山形が頭頂部に作り出されている。身部表面に梵字を刻む梵字板碑である。梵字は大日如来を表す「バン」の文字が一字、軸部中央やや上側に陰刻される。幅16.5cm、長さ39cm、厚さ13cmを測る。石材は安山岩を使用している。

⑥C地区（第193図4047～第195図4067）

〈井戸〉

SE5101（第193図4047）：4047は板碑。正面からみると将棋の駒形であるが、上下端とも欠失する部分がみられる。梵字板碑と考えられるが、梵字自体は破断面により大きく損なわれている。残存する字形から、やはり大日如来を表す「バン」の文字と推定される。幅19.8cm、残存長43cm、厚さ15.6cmを測る。

SE5301（第194図4052）：4052は板碑の下半部分である。残存部分の形態は完全な正立方体ではないキャラメル形で、幅23cm、残存高25.6cm、厚さ14.4cmの大きさである。

SE5150（第194図4053）：4053は石製五輪塔の水輪である。上下を平坦に押しつぶしたような球形で、梵字が陰刻された側が正面となる。梵字はやはり「バン」の字が刻まれている。水平方向の直径は26cm、高さは17.5cmを測る。

〈集石〉

SX5252（第193図4048、第195図4067）：4048は梵字板碑。厚みのある角柱状の形態。頂部の山形は10cm以上の高さのあるしっかりとしたものが付く。下端側は折損・欠失している。梵字はやはり大日如来を表す「バン」の字が陰刻される。幅22cm、残存高47.6cm、厚さ18.8cmを測る。4067は横断面が角状の大型の砥石である。残存で幅6.6cm、長さ19cm、厚さ4cmを測る。石材は砂岩である。

〈土坑〉

SK5224（第193図4049～4051）：4049～4051は石製五輪塔の火輪（笠）である。4049は屋根型を呈する笠の四隅は角張らず丸くおさめる。頂部には空輪・風輪を載せるための円孔が穿たれている。一辺22～24cm、高さ15.3cmを測る。石材は凝灰岩である。4050は屋根型を呈する笠の四隅の先端が上方に反り上がる。平面形態は方形ではなく長方形を呈する。頂部の円孔も大きい。一辺19.5×27cm、高さ18cmを測る。石材は凝灰岩である。4051は笠の四隅は角張らず丸くおさめる。一辺23.5～26cm、高さ13.5cmを測る。

SK5467（第194図4054）：4054は石臼で上臼に該当する。直径30.2cmの車輪形を呈す。最大厚10cmを測る。度重なる使用により明らかに片減りしている。側面には挽き木を打ち込むための方形の孔が穿たれている。臼目のパターンはやや均等に欠くものの、基本的に八分画と推定され、一区画の溝は7～9本みられる。石材は凝灰岩である。

SK5120（第195図4057）：4057は石臼で、下臼に該当する。直径31.4cm、厚さ7.5cmを測る。中心軸の芯棒受けは、直径2.5cm。臼目のパターンはやや均等に欠くものの、基本的に六分画で、6～10本の溝を刻む。内外面に煤の痕跡が残る。本例はさらに建物の礎石に転用された状態で出土している。

SK5318（第195図4063）：4063は砥石で、上下端を欠失するが、角柱状の形態。幅3.5cm、厚さ2.4cmを測る。石材は砂岩である。全面に被熱の痕跡がみられる。

〈溝〉

ＳＤ5205（第194図4055・4056）：4055、4056は共に石臼で上臼に該当する。4055は直径31.2cm、最大厚10cmを測る。下面の接地面には軽く傾きがみられ、片減りしている。上臼の上面は一段窪んでいる。側面には挽き木を打ち込むための長方形の孔が２カ所穿たれている。臼目のパターンはやや均等に欠くものの、八分画で副溝は６～11本が刻まれる。材質は凝灰岩である。上面に煤が多量に付着している。4056も基本的な形態は4055と同じであるが、本例の場合高さがあり、頻繁な使用による片減りなどがみられない。おそらくあまり使い込まないうちに損壊したのであろう。径31cm、厚さ16cmを測る。摺り目は六分画で、一区画に４～７本の溝を刻む。石材は凝灰岩である。

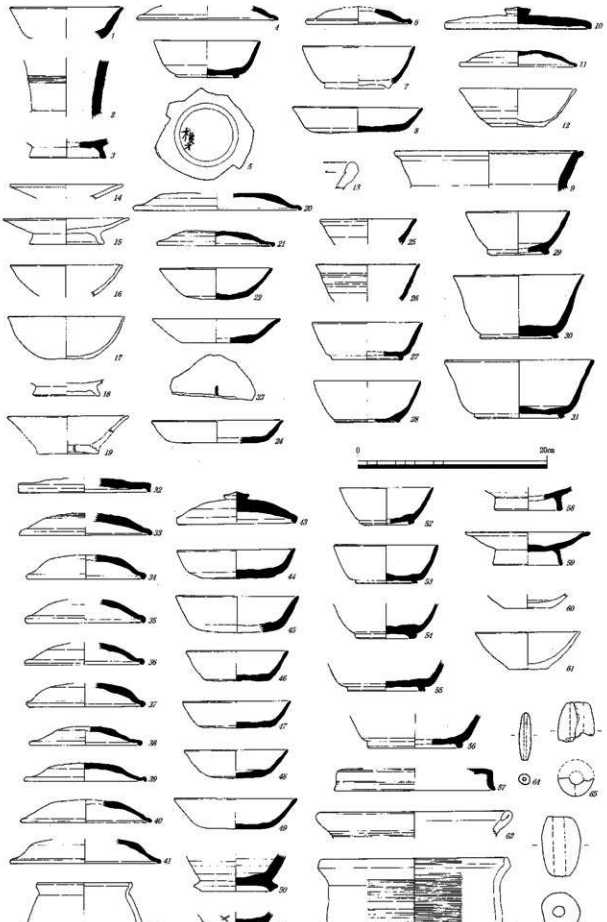
ＳＤ5302（第195図4058・4059）：4058、4059は暖房具で、いずれも内側に被熱痕跡がみられる。4058は箱形の角の部分、4059は長方形の窓の縁の部分に相当する。石材はともに凝灰岩である。

ＳＤ5064（第195図4060）：4060は暖房具で、長方形の窓の縁の部分で「T」字型に折損している。

〈包含層出土遺物〉（第195図4061・4062・4064・4065）

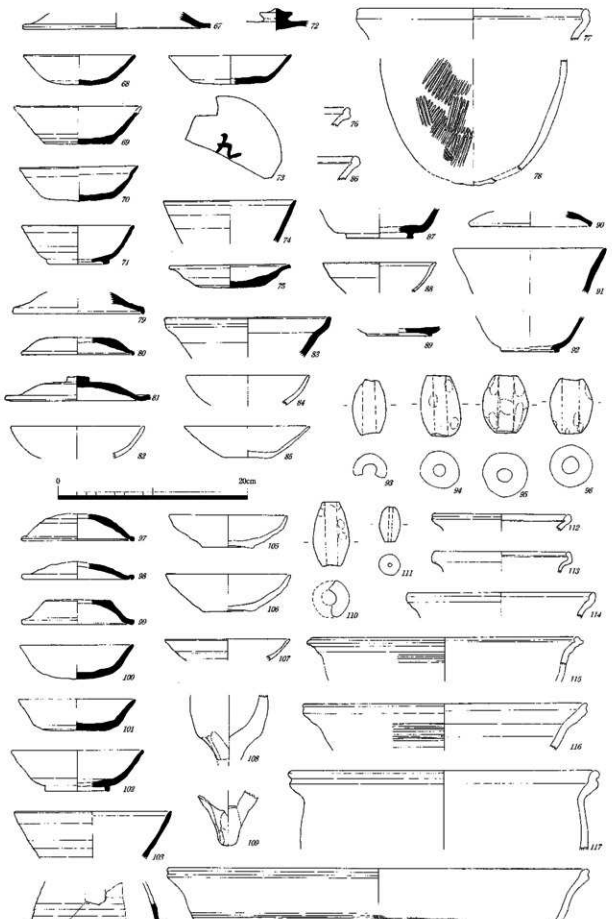
4061は石臼で、上臼に該当する。破損した残欠であるが、平面形態が方形を呈する点が特異である。摺り合わせ面には片減りがみられ、明らかに使用されている。貫通している孔は軸穴ではなく「ものくばり」の円孔であろう。また側面には打ち込み穴が一カ所みられるが、浅く孔もきれいに刳り抜かれていない。摺り合わせ面の区画数は破片のためよくわからない。現状で一辺14cm、高さ24cmを測る。4062は石製硯である。破片で硯頭側を折損・欠失する。長方硯で内面も長方形、裏面は平坦である。残存部位で幅6.4cm、厚さ0.8cmを数える。石材から高嶋硯と考えられる。4064、4065は砥石。両者とも角柱状のもの。4064は幅４cm、長さ11.3cm、厚さ3.5cm、石材は砂質凝灰岩、4065は幅6.2cm、長さ14.7cm、厚さ4.6cmを測る。

（森　隆）



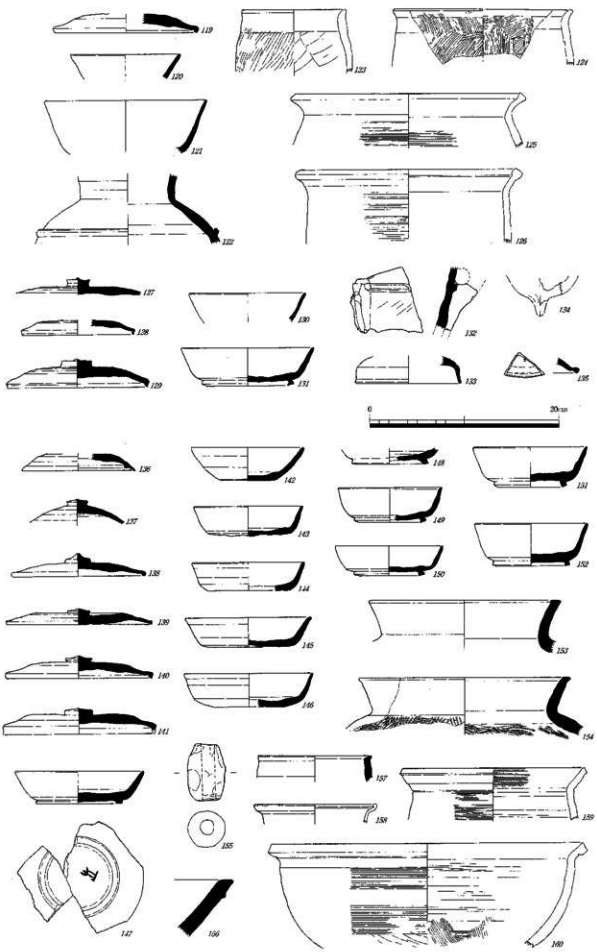
第145図　遺物実測図（1/4）

B1地区　各遺構出土遺物（*1*～*13*）　SD252（*14*～*31*）　包含層（*32*～*66*）
C地区　包含層（*42*）



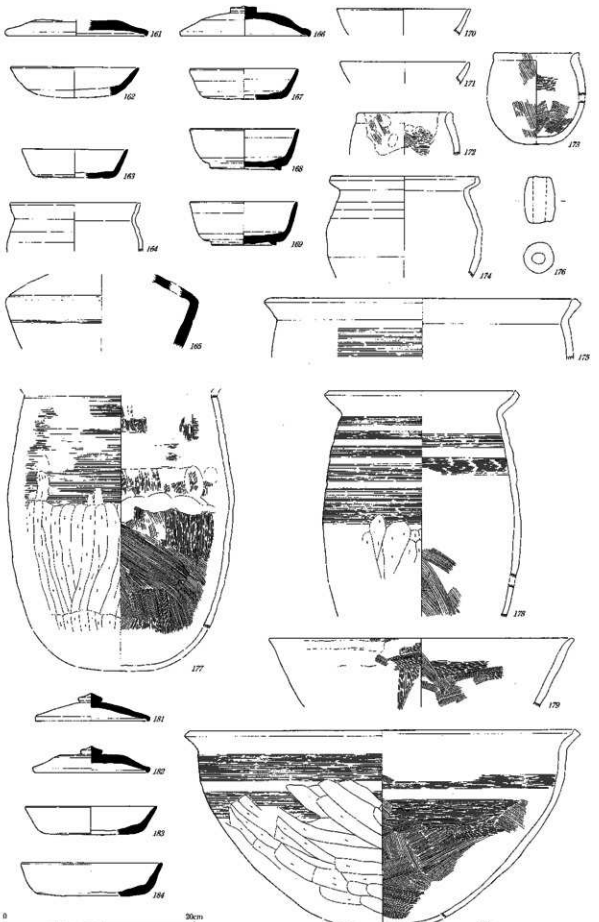
第146図　遺物実測図（1/4）

B2地区　SI01（67～78）　各遺構出土遺物（79～87・89～96）　包含層（97～118）
B1地区　SK227（88）



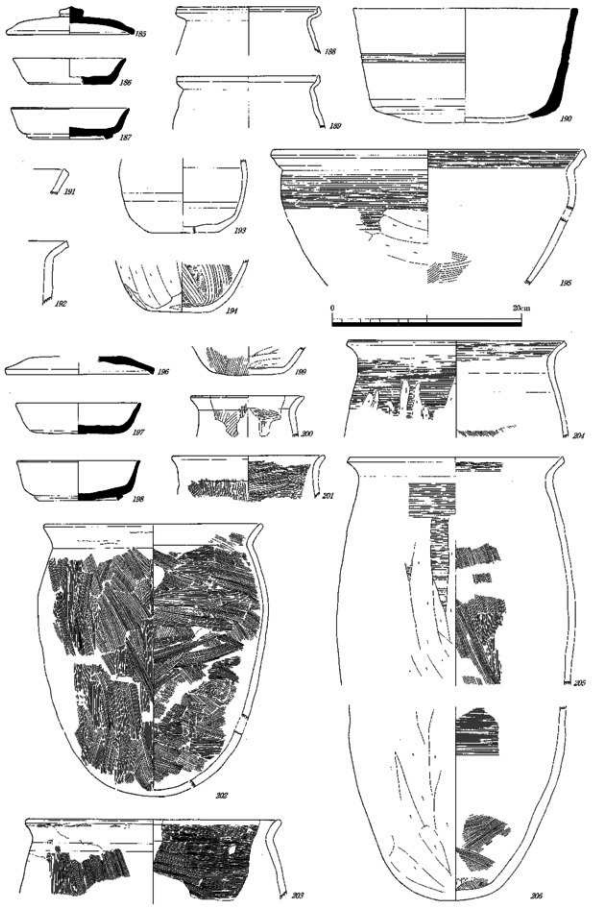
第147図　遺物実測図（1/4）

B3地区　各遺構出土遺物（119～129・131～135）　包含層（130・136～160）



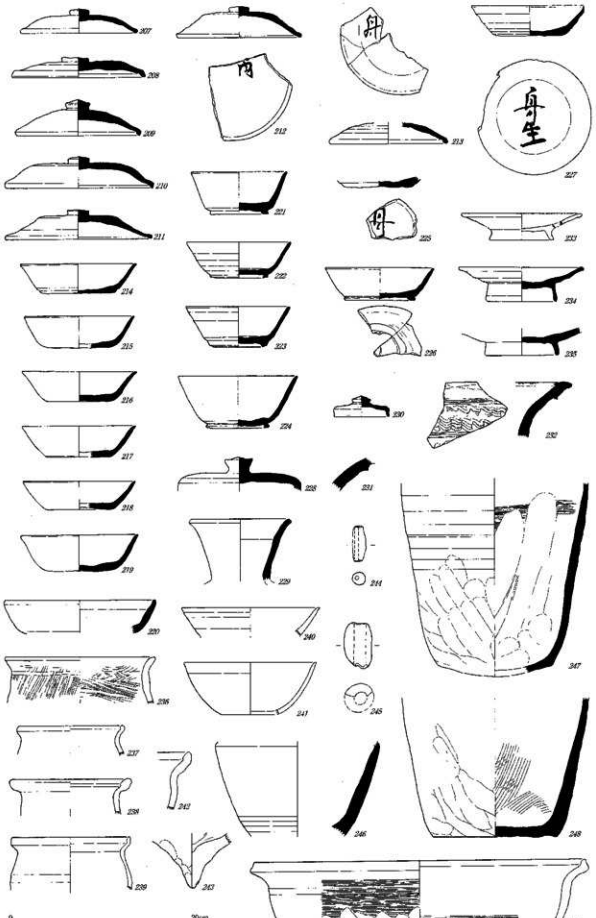
第148図　遺物実測図（1/4）

B4地区　SI04（*161・162*）　SI02（*163～165*）　SI03（*166～176*）　SI05（*177・178・180～182*）
SI06（*179*）　SI08（*183・184*）

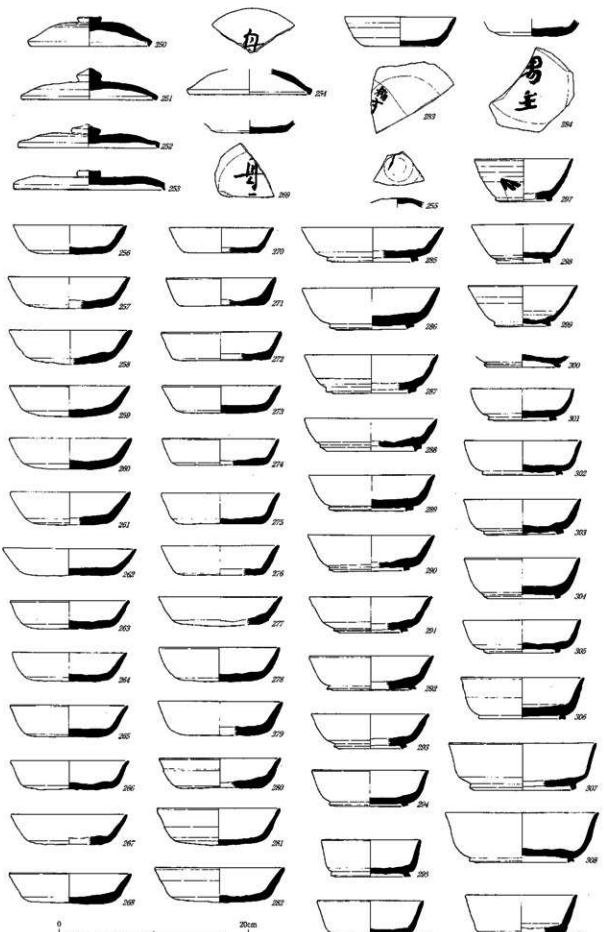


第149図　遺物実測図（1/4）

B4地区　SI07（185～195）　SI09（196～206）

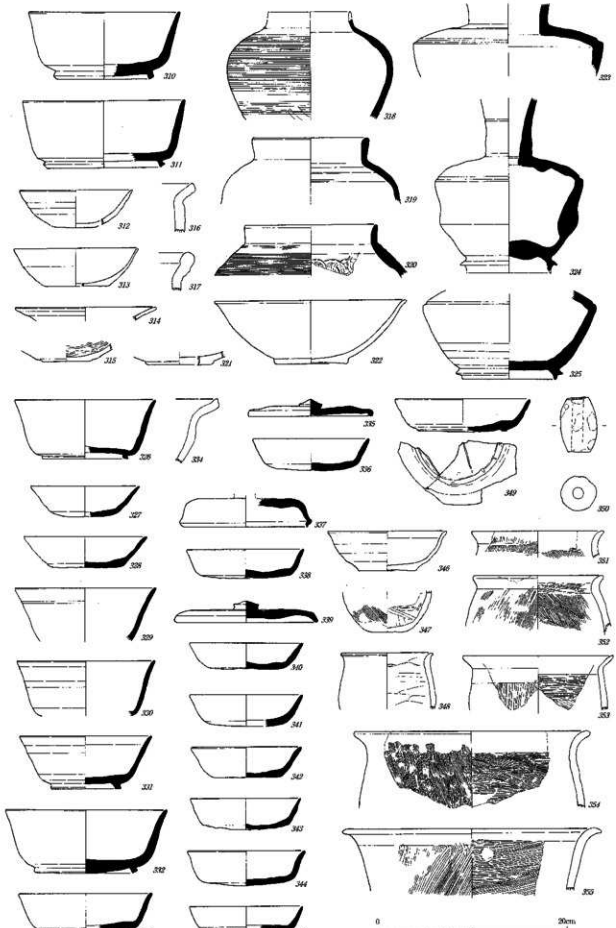


第150図　遺物実測図（1/4）
B4地区　SD2172（*207～249*）



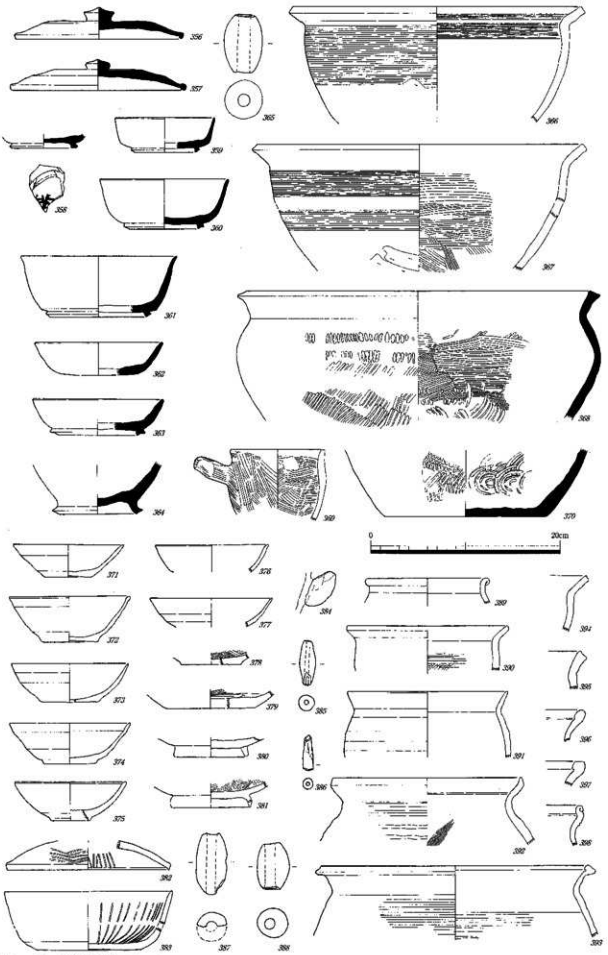
第151図　遺物実測図（1/4）

B4地区　SD3347（250～267・269～309）　SK3346（268）



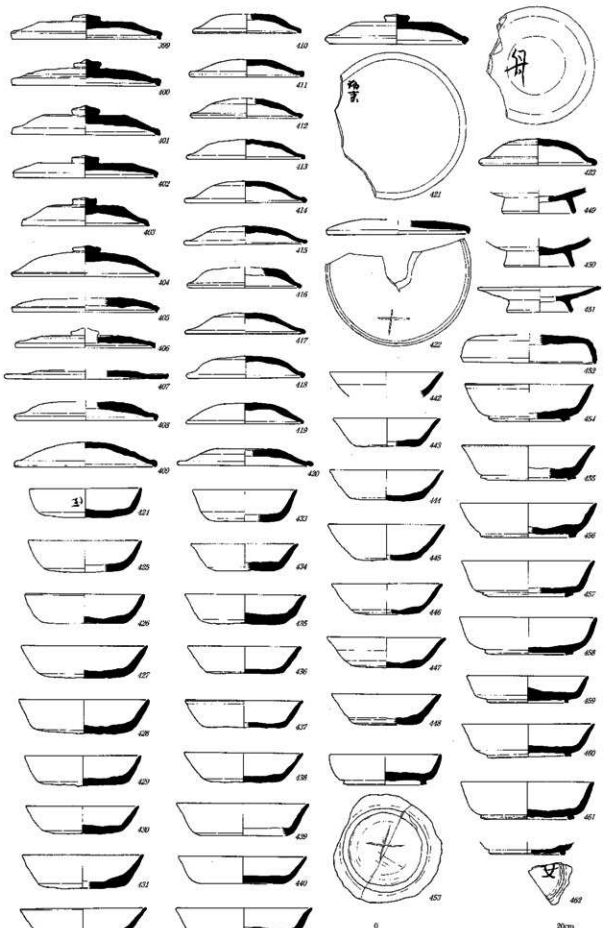
第152図　遺物実測図（1/4）

B4地区　SD3347（*310～325*）　各遺構出土遺物（*326～355*）



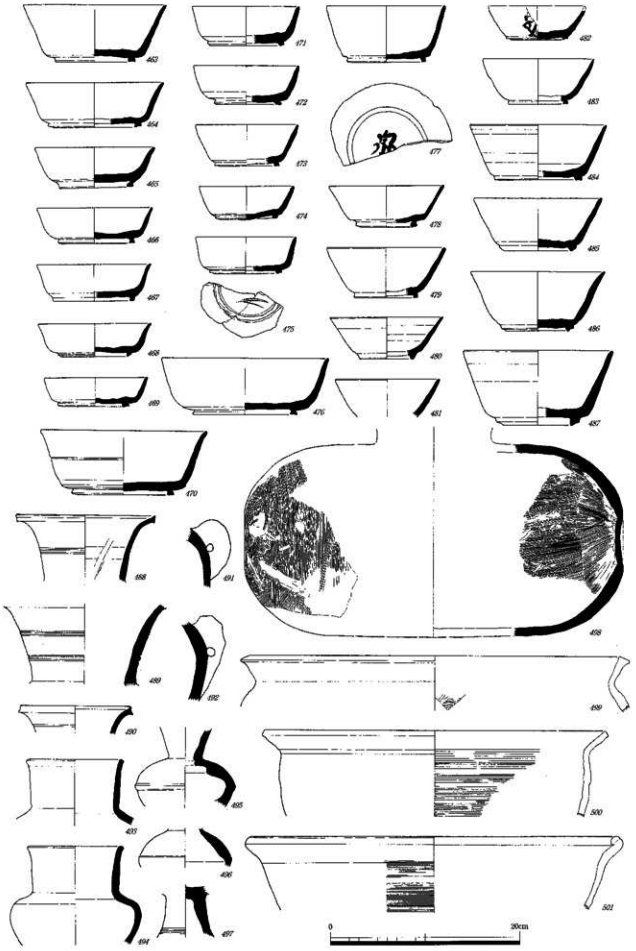
第153図　遺物実測図（1/4）

B4地区　SX3353（*356～367・369*）　包含層（*368・370～398*）

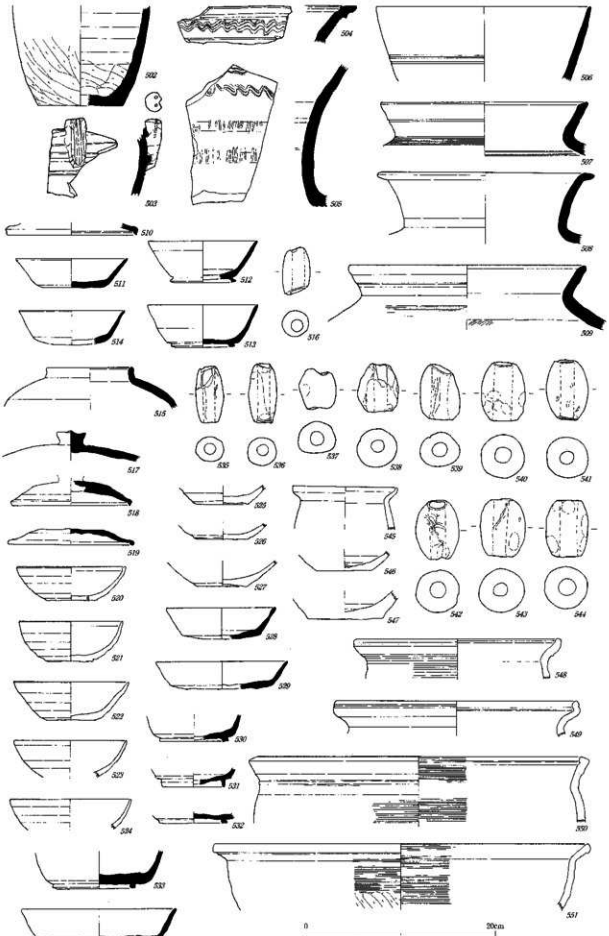


第154図　遺物実測図（1/4）

B4地区　SD3347（*460*）　包含層（*399～459・461・462*）

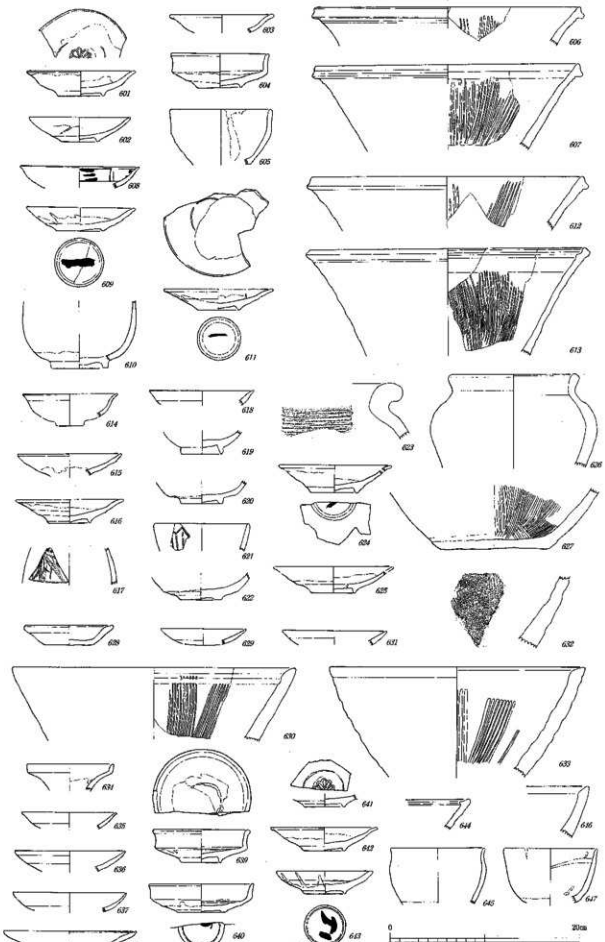


第155図　遺物実測図（1/4）
B4地区　包含層（*463～501*）



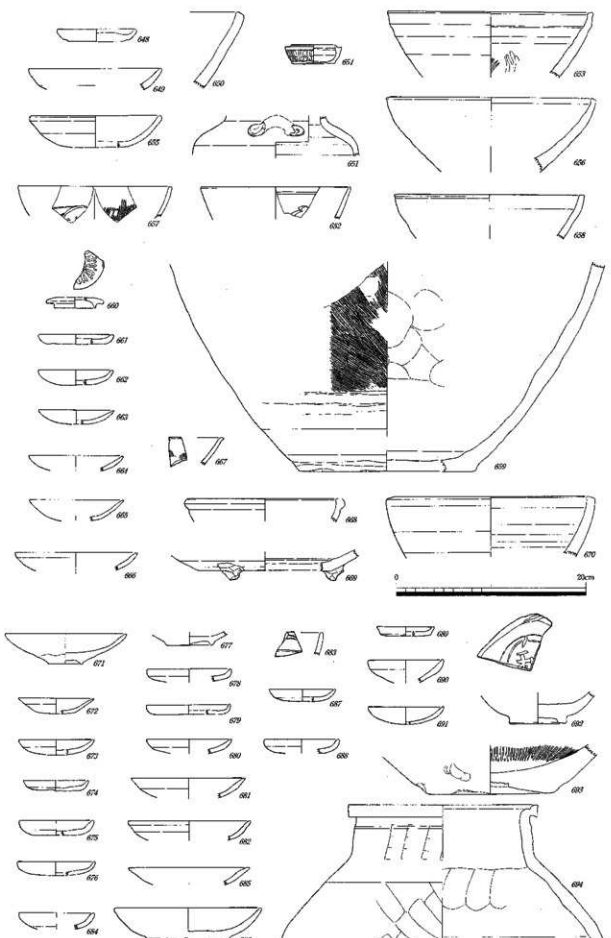
第156図　遺物実測図（1/4）

B4地区　包含層（502～509）　B4S地区　各遺構出土遺物（514・516）　包含層（510～513・515）
B6地区　各遺構出土遺物（518・519・529・530・533～535・541・545）
包含層（517・520～528・531・532・536～540・542～544・546～551）



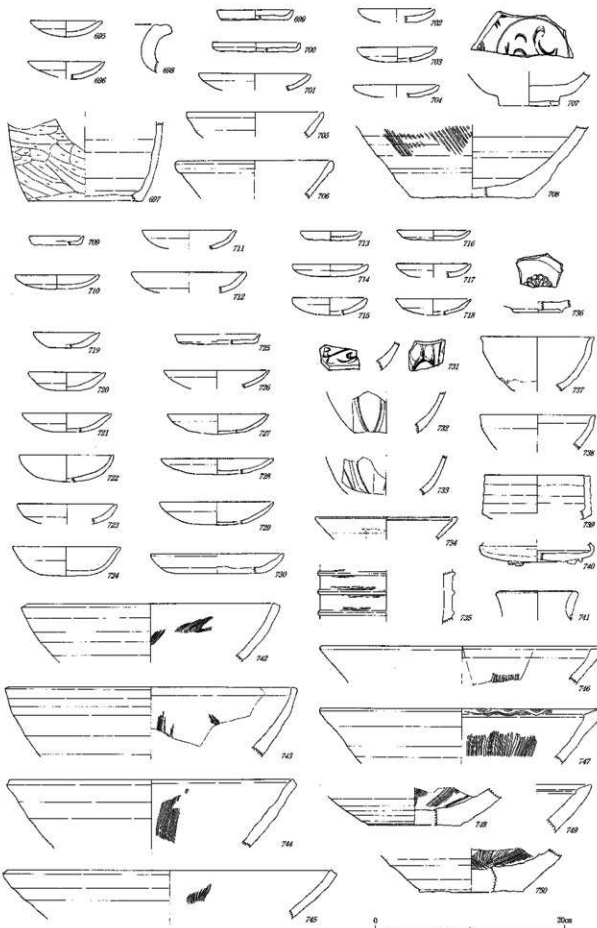
第157図　遺物実測図（1/4）

A2地区　各遺構出土遺物（601～633・643）　包含層（634～642・644～647）



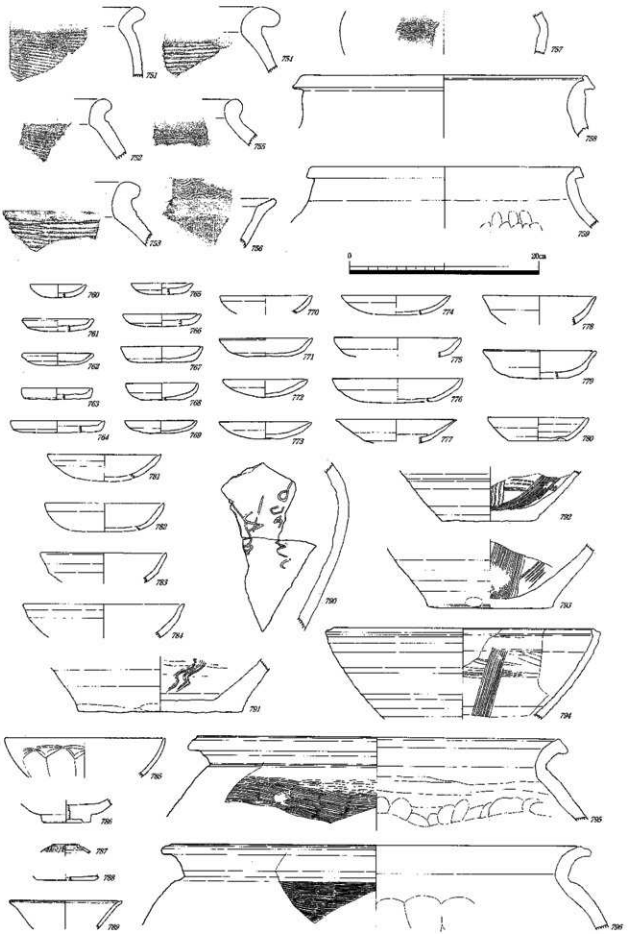
第158図　遺物実測図（1/4）

B1地区　SD113（*648～653*）　SD119（*654*）　SK114（*655・656*）　SE115（*657～659*）　包含層（*660～670*）
B2地区　SD667（*672～683*）　各遺構出土遺物（*671・684～694*）



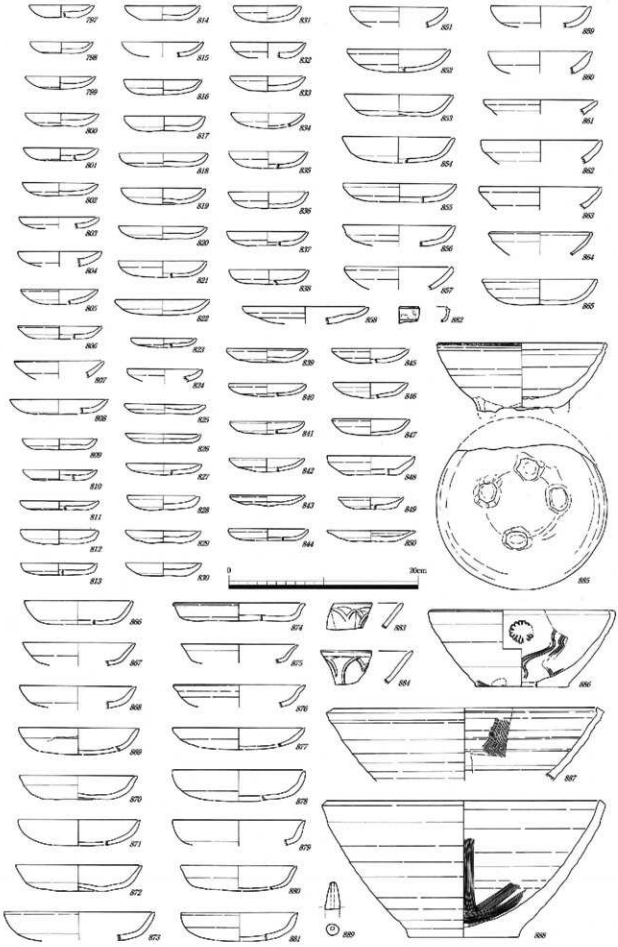
第159図　遺物実測図（1/4）

B2地区　SD686（*695～697*）　SD701（*698～708*）　SD717（*709～712*）　包含層（*713～750*）

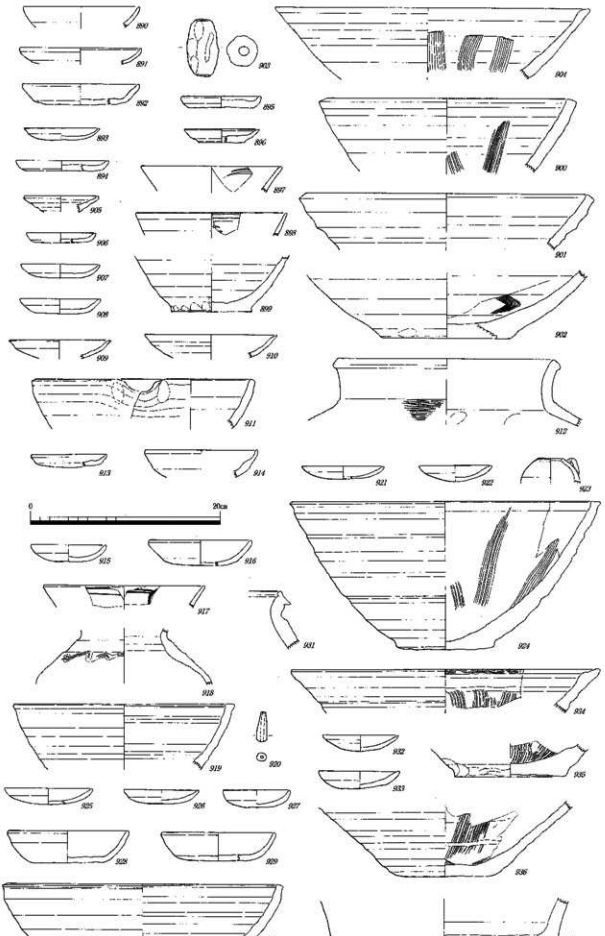


第160図　遺物実測図（1/4）

B2地区　包含層（751～759）　B3地区　SZ1684（787）　各遺構出土遺物（760～786・788～796）

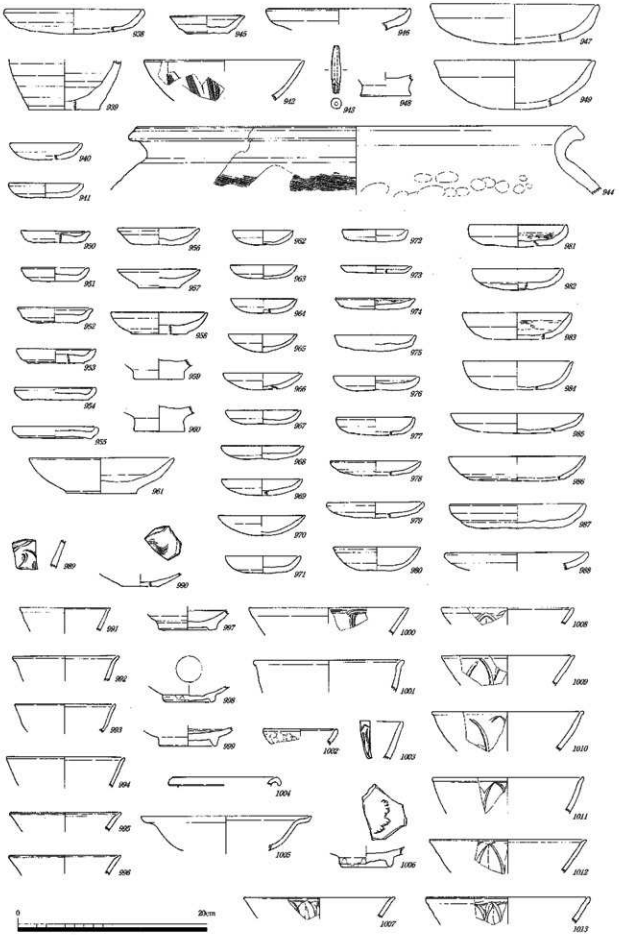


第161図　遺物実測図（1/4）
B3地区　SK1104（797～889）



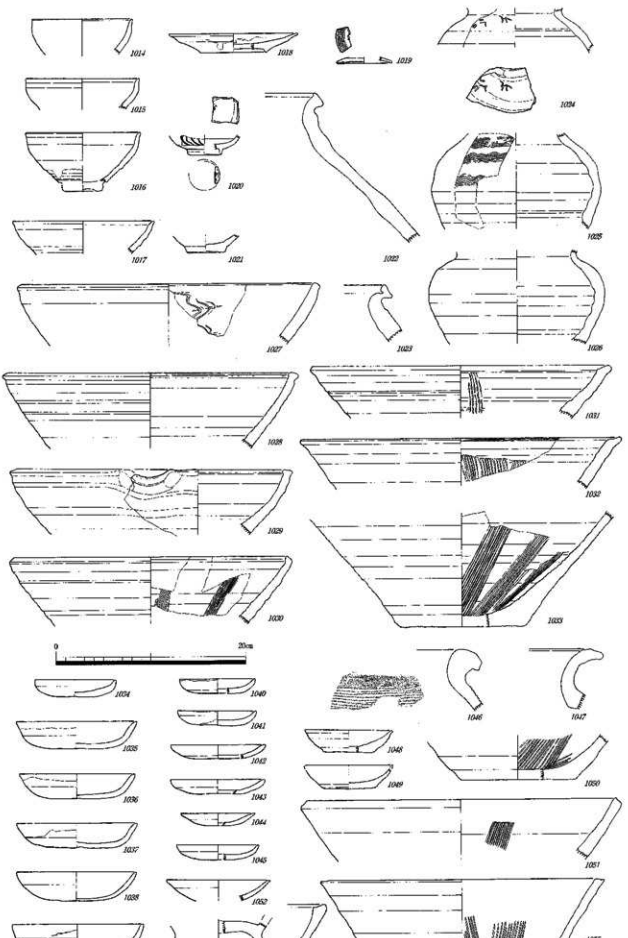
第162図　遺物実測図（1/4）

B3地区　SE1269（890～902）　SE1208（903・904）　SE1686（905～908）　SE1304（909～912）
SD1002（915～920）　SD1040（921～923）　SD1102（926～929）　SD1229（931～937）
各遺構出土遺物（913・914・924・925・930）



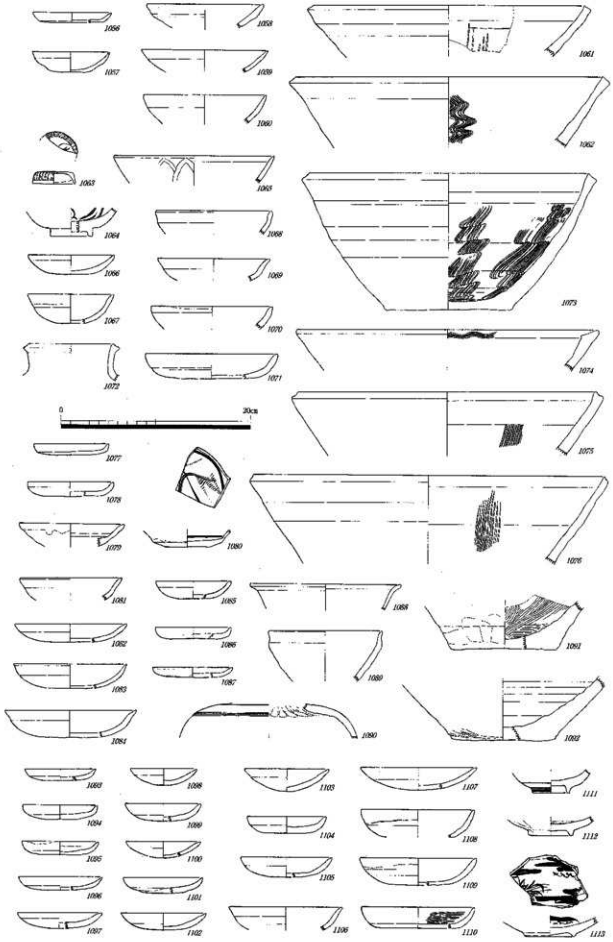
第163図　遺物実測図（1/4）

B3地区　各遺構出土遺物（*938～949*）　包含層（*950～1013*）



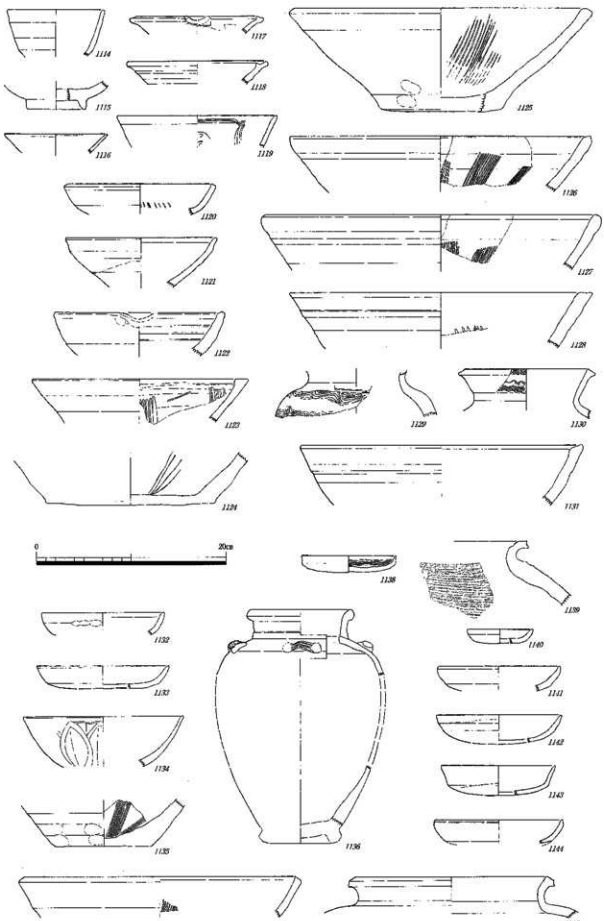
第164図　遺物実測図（1/4）

B3地区　包含層（*1014～1033*）　B4地区　SK2055（*1034～1037*）　各遺構出土遺物（*1038～1055*）



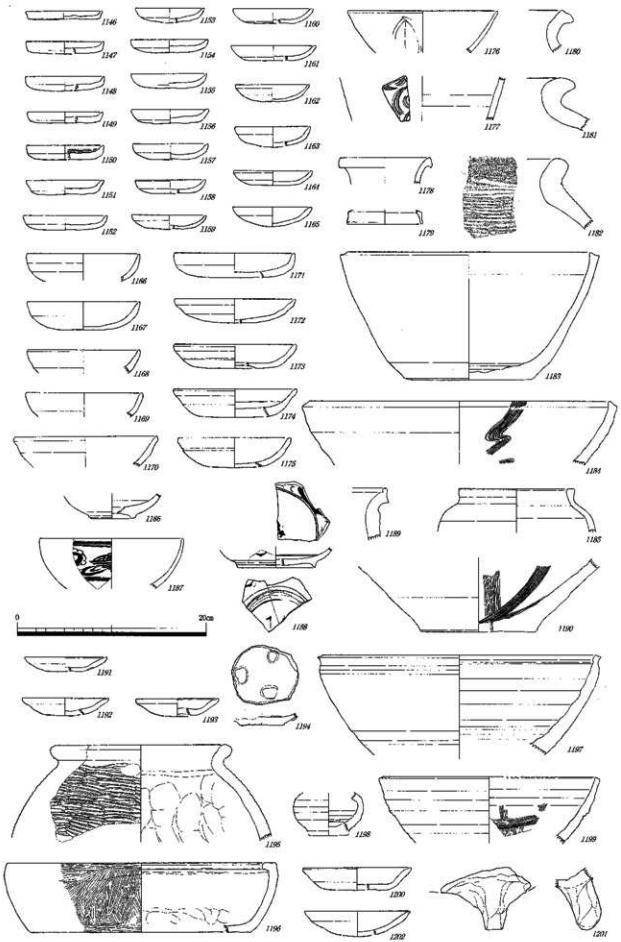
第165図　遺物実測図 (1/4)

B4地区　SD2172 (*1056*～*1092*)　包含層 (*1093*～*1113*)



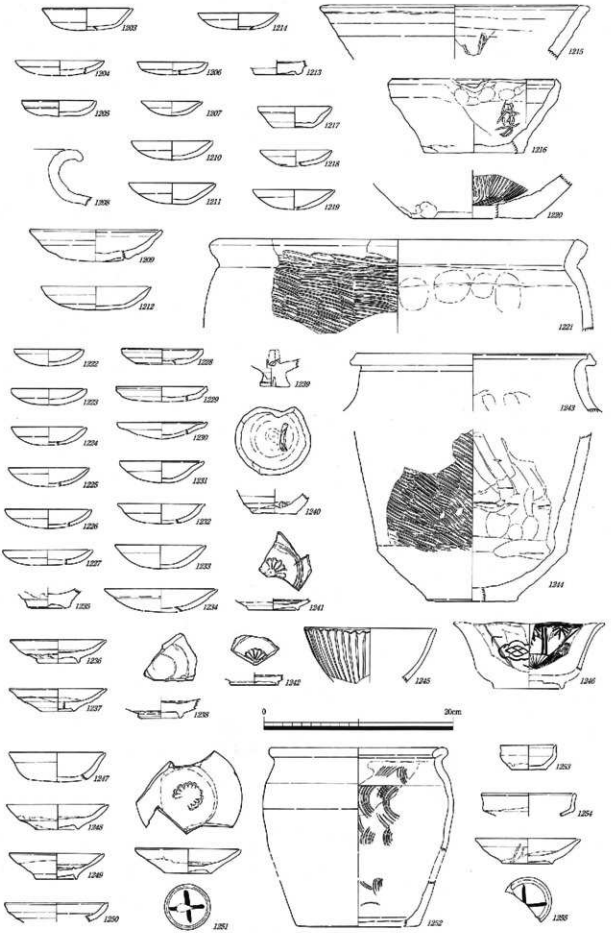
第166図　遺物実測図（1/4）

B4地区　SD2371（*1131*）　包含層（*1114～1130*）　B4S地区　SD3501（*1132～1137*）　SK3517（*1139*）
SK3524（*1140・1141*）　SK3532（*1138*）　SK3535（*1142*）　SD3579（*1143～1145*）



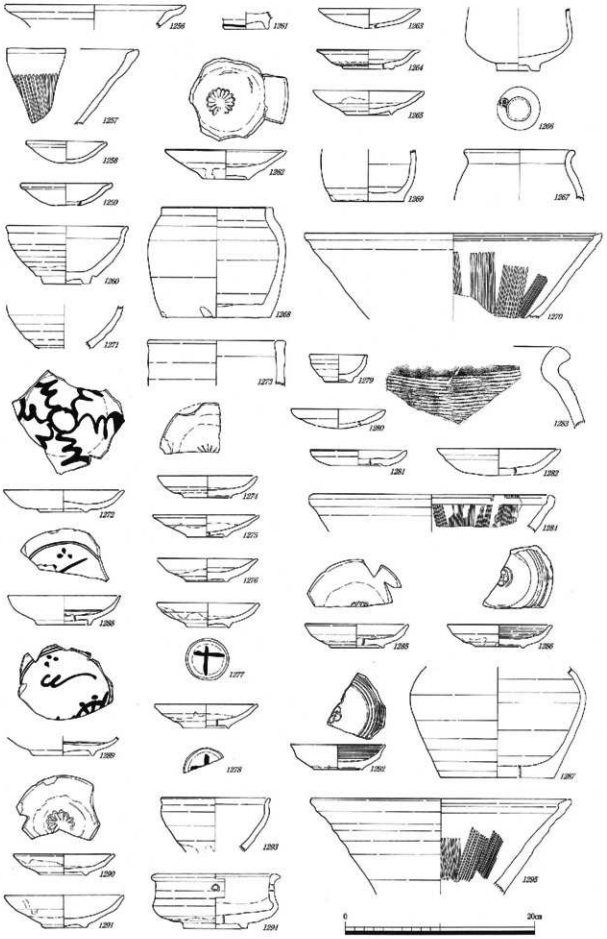
第167図　遺物実測図（1/4）

B4S地区　SD3550（*1146～1185*）　包含層（*1186～1190*）　B6地区　各遺構出土遺物（*1191～1202*）



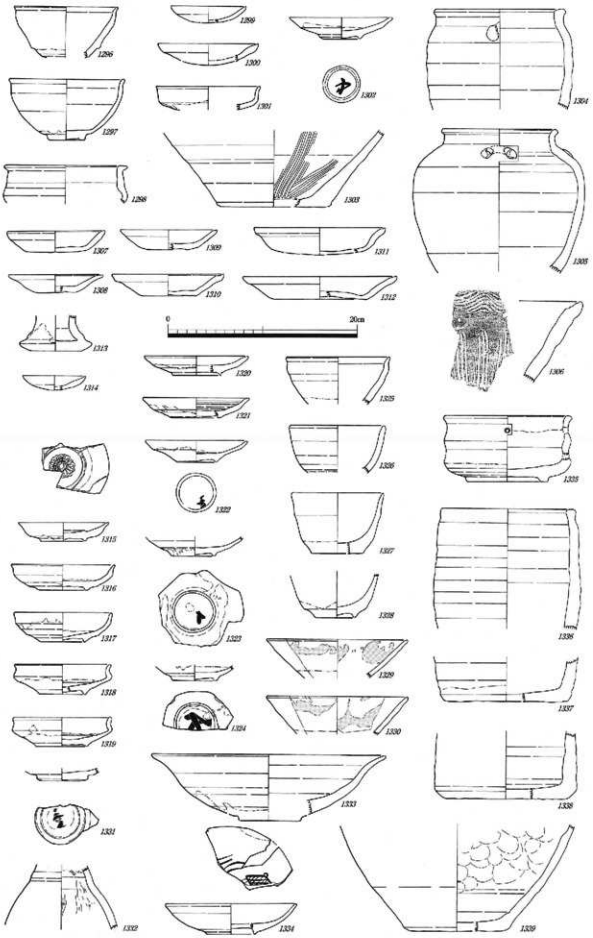
第168図　遺物実測図（1/4）

B6地区　SK6280（*1217～1221*）　各遺構出土遺物（*1203～1216*）　包含層（*1222～1246*）
C地区　SP5056（*1253～1255*）　各遺構出土遺物（*1247～1252*）



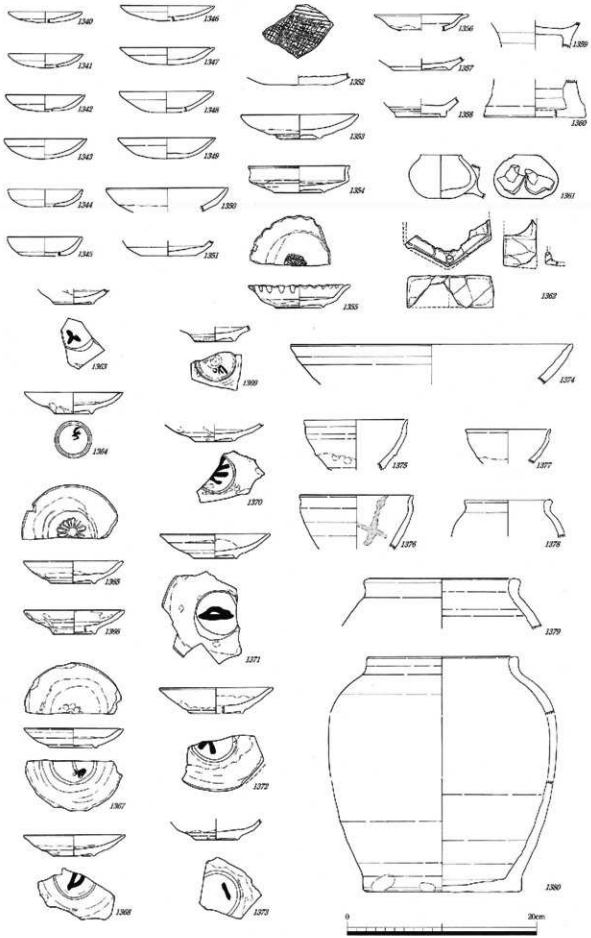
第169図　遺物実測図（1/4）

C地区　SK5150（*1258～1260*）　SK5109（*1263～1265*）　SK5206（*1274～1276*）　SK5467（*1281～1284・1288・1289*）　SD5049（*1285～1287*）　SD5065（*1293～1295*）
各遺構出土遺物（*1256・1257・1261・1262・1266～1273・1277～1280・1290～1292*）

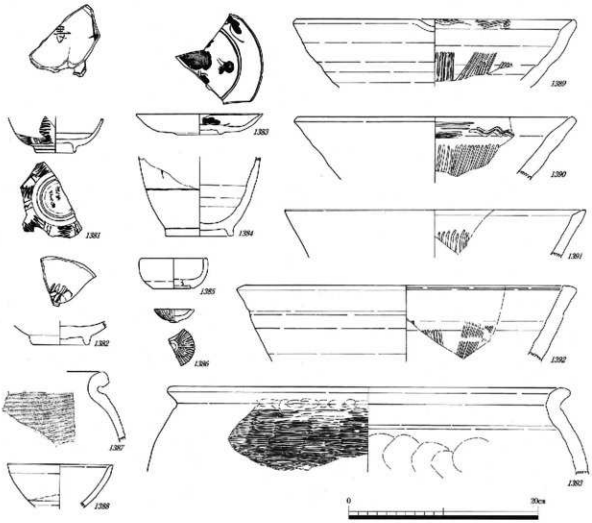


第170図　遺物実測図（1/4）

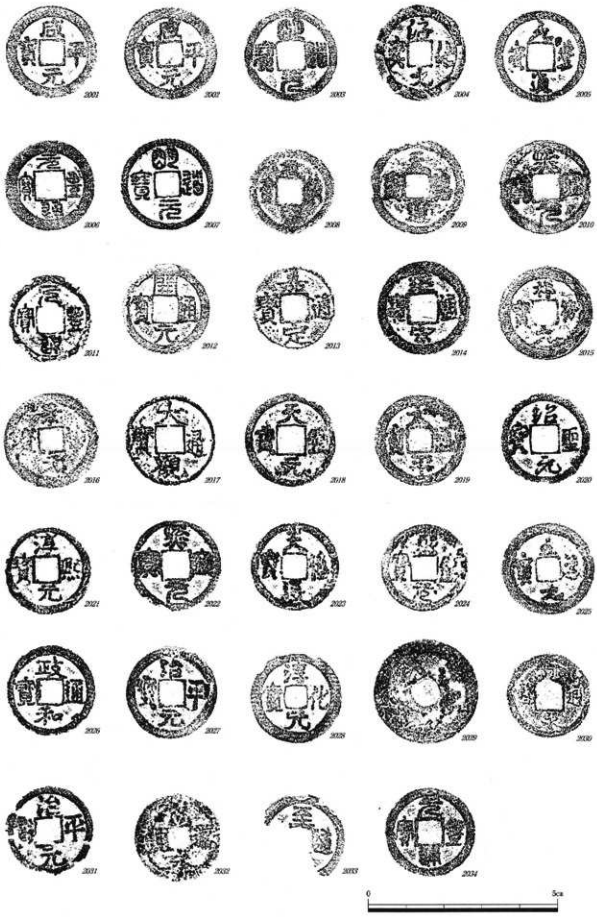
C池区　SD5205（*1297～1306*）　SD5302（*1307～1312*）　SX5252（*1315～1339*）
各遺構出土遺物（*1296・1313・1314*）



第171図　遺物実測図（1/4）
C地区　包含層（*1340*～*1380*）

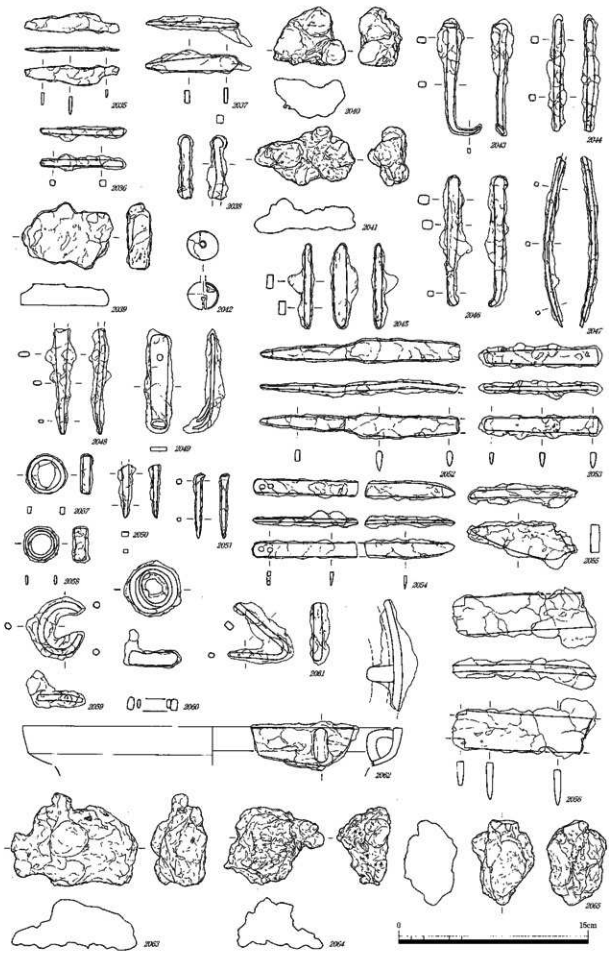


第172図　遺物実測図（1/4）
C地区　包含層（*1381*～*1393*）



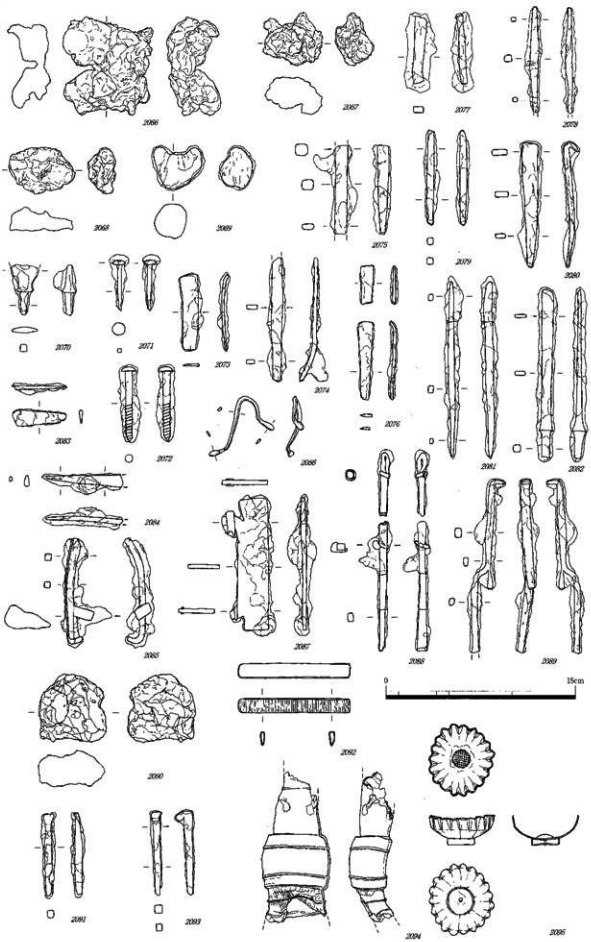
第173図　遺物実測図（*2001～2034*　1/1）

A2地区　SD4601（*2006～2008*）　SK4615（*2001～2005*）　B2地区　包含層（*2009～2028*）　B6地区　SD4020（*2029*）　SK4085（*2031*）　耕作土（*2030*）　C地区　SK5124（*2032*）　SK5150（*2033*）　包含層（*2034*）



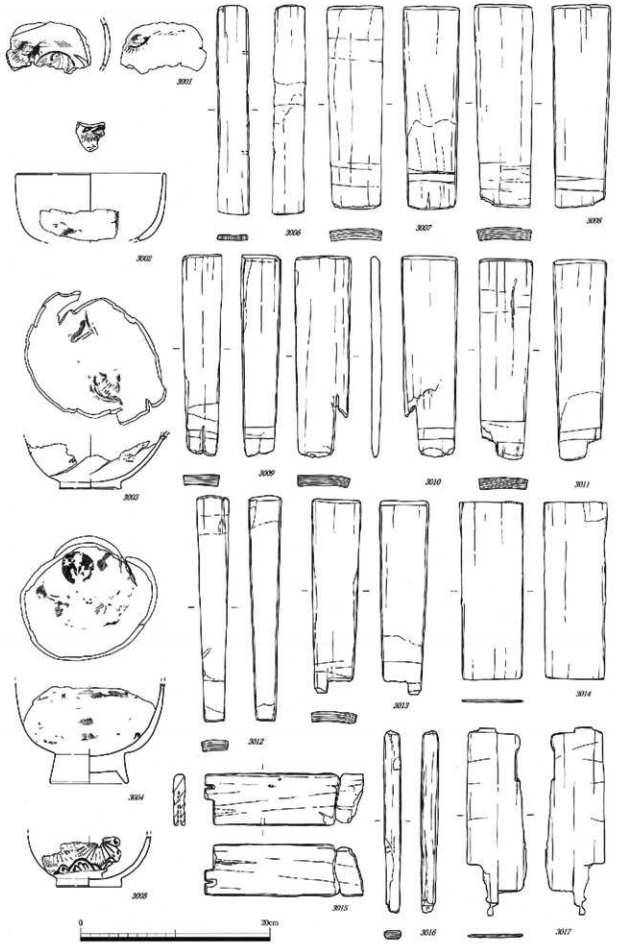
第174図　遺物実測図（*2035～2065*　1/3）

B1地区　SE115（*2035*）　B2地区　SD701（*2037*）　SE740（*2038*）　SD750（*2039*）　包含層（*2036・2040*）
B3地区　SD1057（*2065*）　SK1104（*2049*）　SK1159（*2050*）　SD1219（*2046*）　SE1269（*2051*）
SX1360（*2059・2060*）　SK1371（*2055*）　SK1411（*2052*）　SK1499（*2053*）　SK1695（*2056・2064*）
包含層（*2041～2045・2047・2048・2054・2057・2058・2061・2062・2063*）

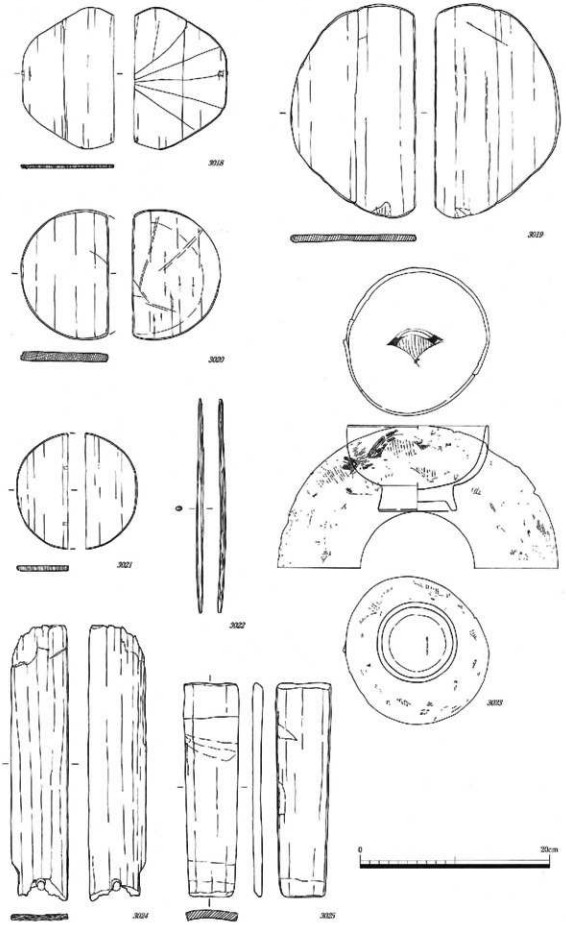


第175図　遺物実測図（*2066～2095*　1/3）

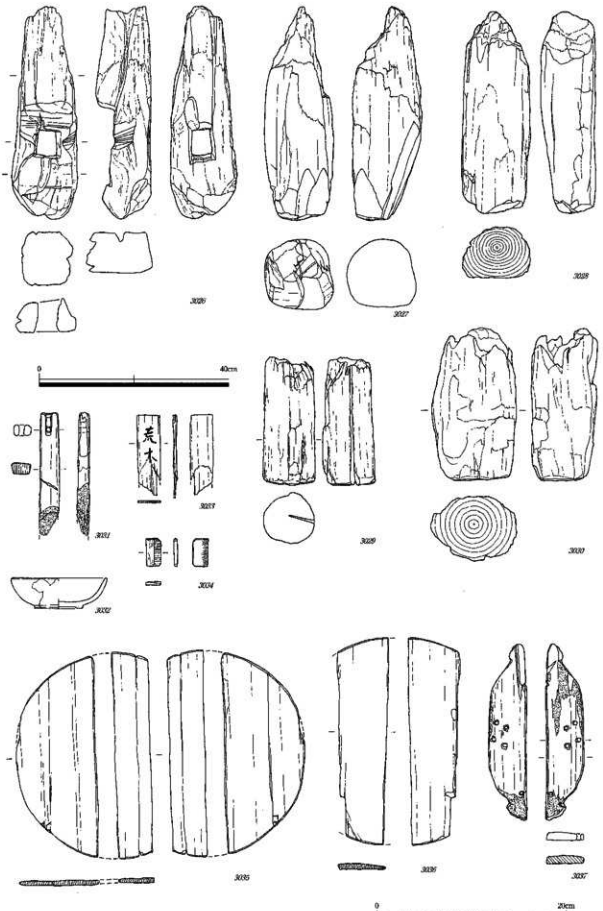
B3地区　SK1104（*2066・2067*）　SE1269（*2068*）　包含層（*2069*）　B4地区　SD2032（*2072*）　SK2055（*2070*）
SK2075（*2078*）　SD2172（*2076・2077・2079*）　SK2187（*2073*）　SK2318（*2087*）　SI02（*2084・2089*）
SI06（*2083*）　SI07（*2085*）　SK3253（*2081*）　包含層（*2071・2074・2075・2080・2082・2086・2088*）
B4S地区　包含層（*2090・2091*）　C地区　SK5206（*2092*）　SD5302（*2095*）　SD5358（*2094*）　包含層（*2093*）



第176図　遺物実測図（*3001～3017*　1/4）
A2地区　SD4501（*3001～3017*）

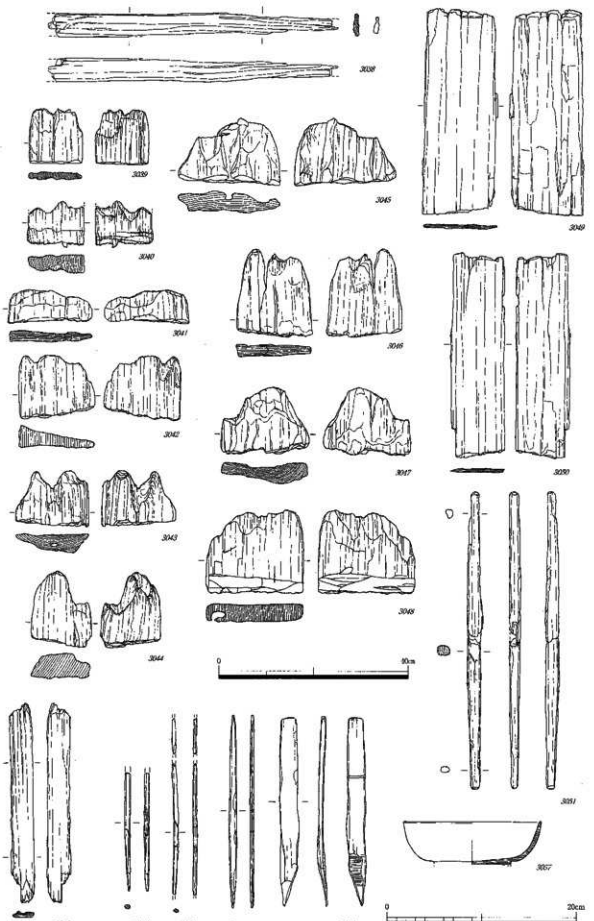


第177図　遺物実測図（*3018～3025*　1/4）
A2地区　SD4501（*3018・3019*）　SE4547（*3022*）　SD4568（*3023～3025*）　SD4573（*3020*）　SD4577（*3021*）



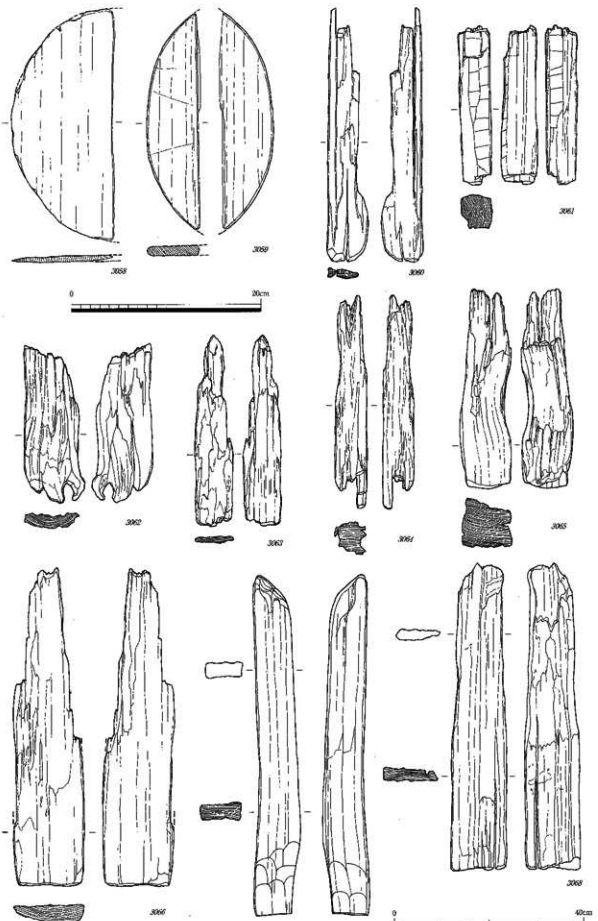
第178図　遺物実測図（*3030～3037*　1/4，*3026～3029*　1/8）

A2地区　SK4505（*3027*）　SK4518（*3026*）　SK4520（*3030*）　SK4538（*3029*）　SK4545（*3028*）
包含層（*3031～3037*）

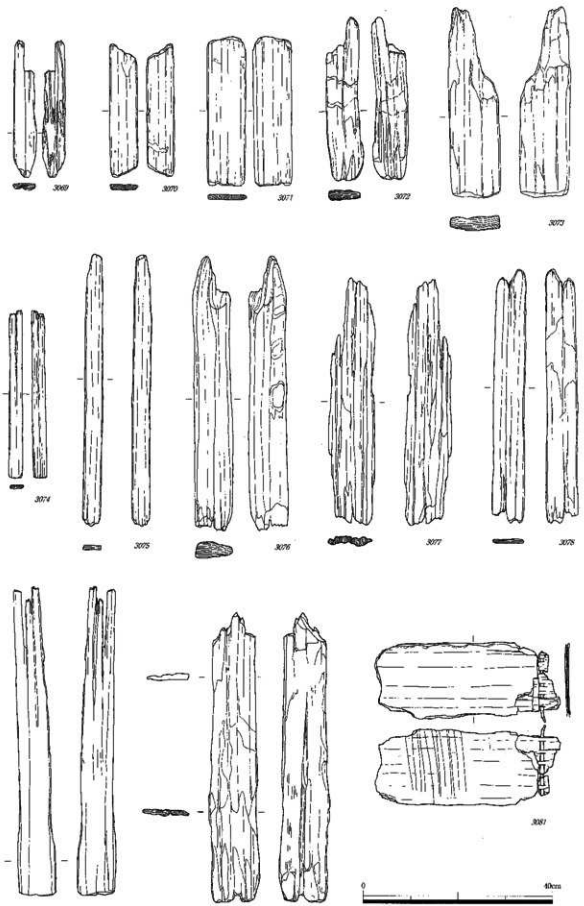


第179図　遺物実測図（*3038～3048・3052～3057* 1/4，*3049～3051* 1/8）

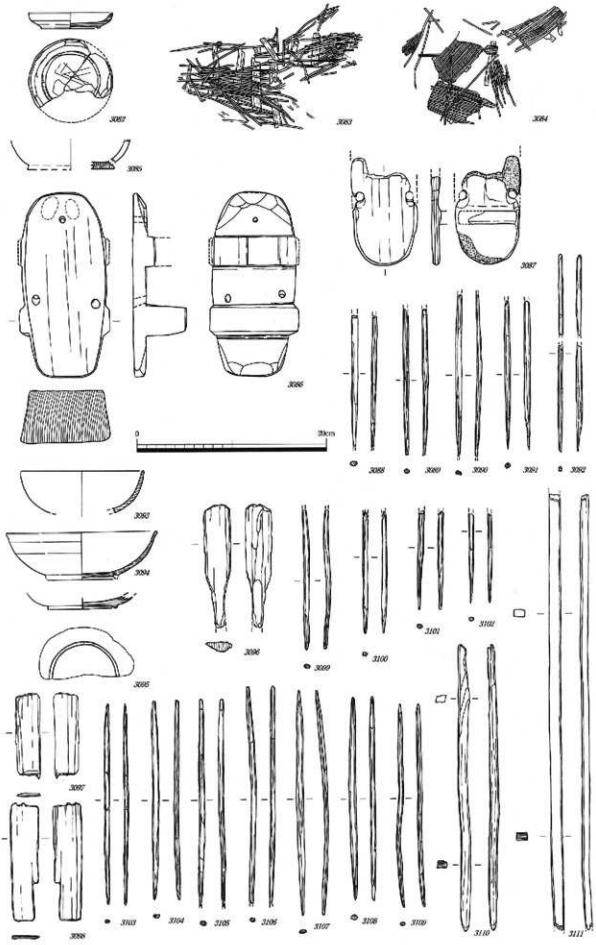
B1地区　SE115（*3038～3048*）　SD284（*3049～3051*）　B2地区　SE731（*3052*）
B3地区　SE1269（*3053～3057*）



第180図　遺物実測図（*3058～3065*　1/4，*3066～3068*　1/8）
B3地区　SH1269（*3058～3068*）

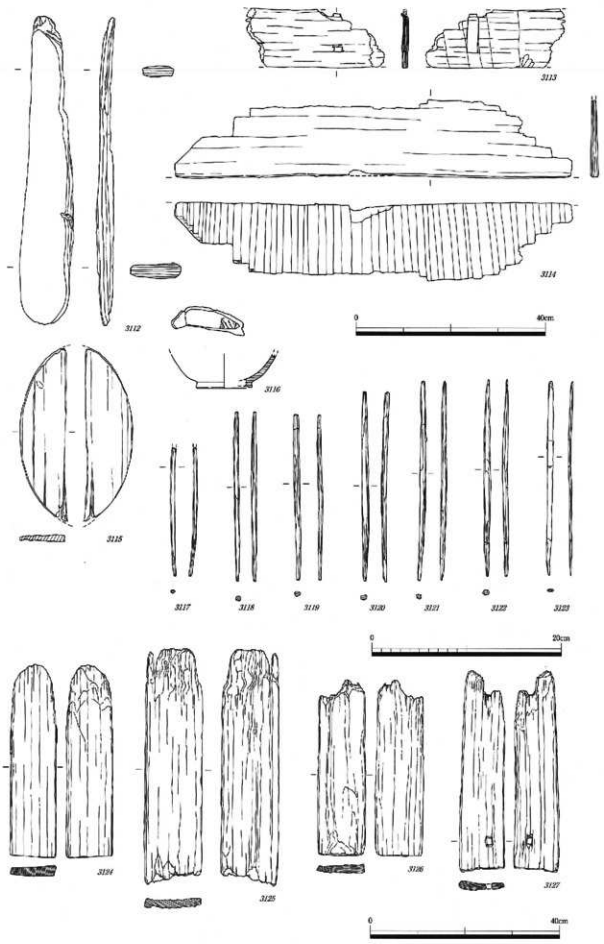


第181図　遺物実測図（*3069～3081*　1/8）
B3地区　SE1208（*3081*）　SE1269（*3069～3080*）



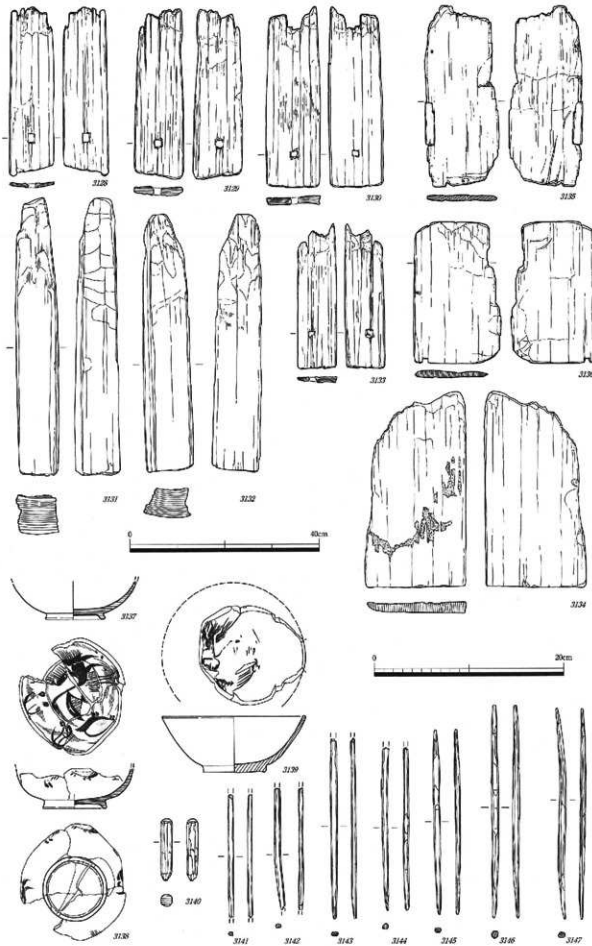
第182図　遺物実測図（*3082～3111*　1/4）

B3地区　SK1104（*3086～3092*）　SE1305（*3082～3084*）　SD1900（*3085*）　B4地区　SD2172（*3093～3111*）

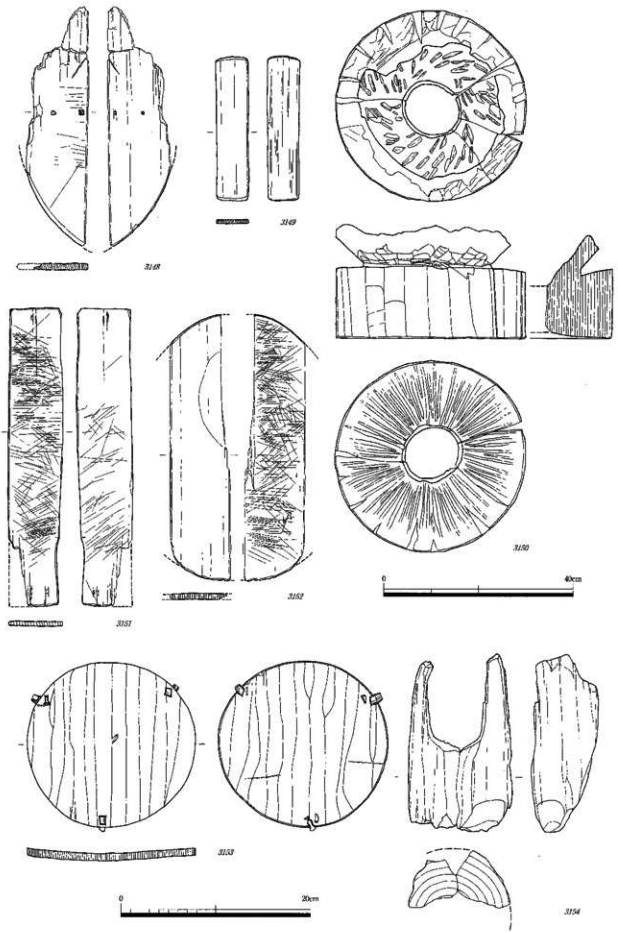


第183図　遺物実測図（*3112・3115～3123*　1/4,　*3113・3114・3124～3127*　1/8）

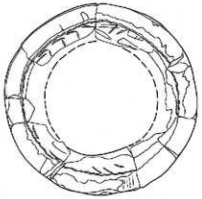
B4地区　SE2090（*3113～3115*）　SD2172（*3112*）　B4S地区　SD3501（*3116*）　B6地区　SD4120（*3117～3127*）

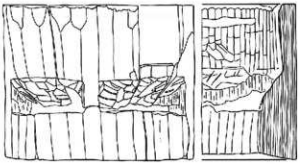


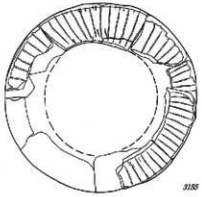
第184図　遺物実測図（*3137～3147*　1/4，*3128～3136*　1/8）
B6地区　SE4120（*3128～3134*）　SE4288（*3135・3136*）　C地区　SD5302（*3137～3147*）

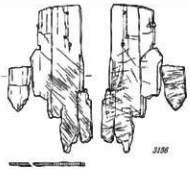


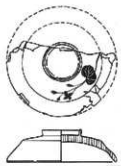
第185図　遺物実測図（*3148・3149・3151～3154* 1/4，*3150* 1/8）
C地区　SE5101（*3150*）　SE5212（*3149*）　SE5213（*3151～3153*）　SP5477（*3154*）　SK5302（*3148*）

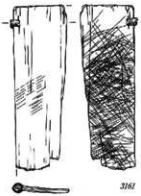


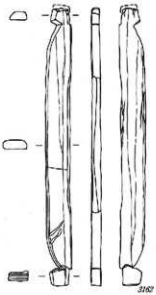






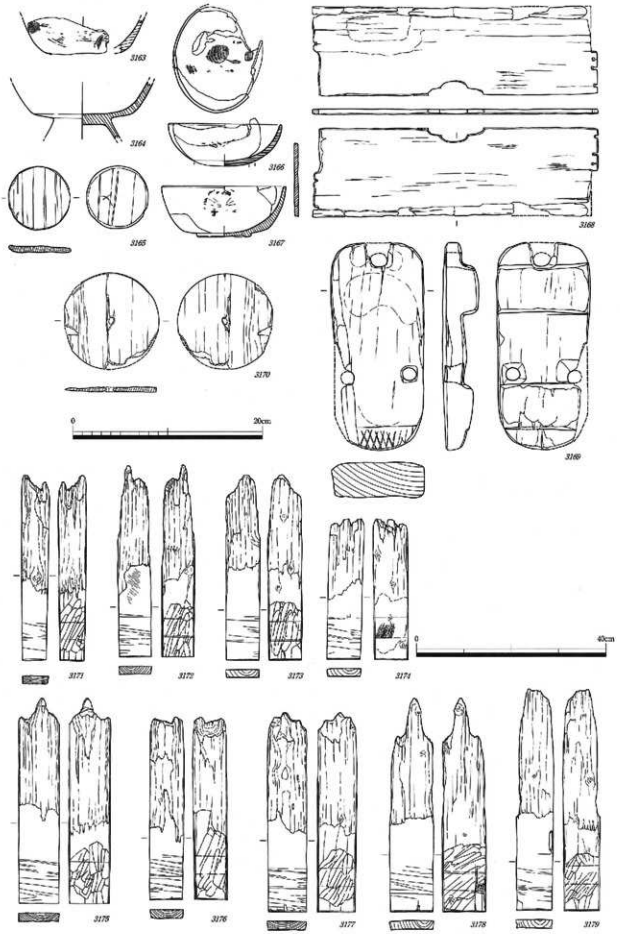






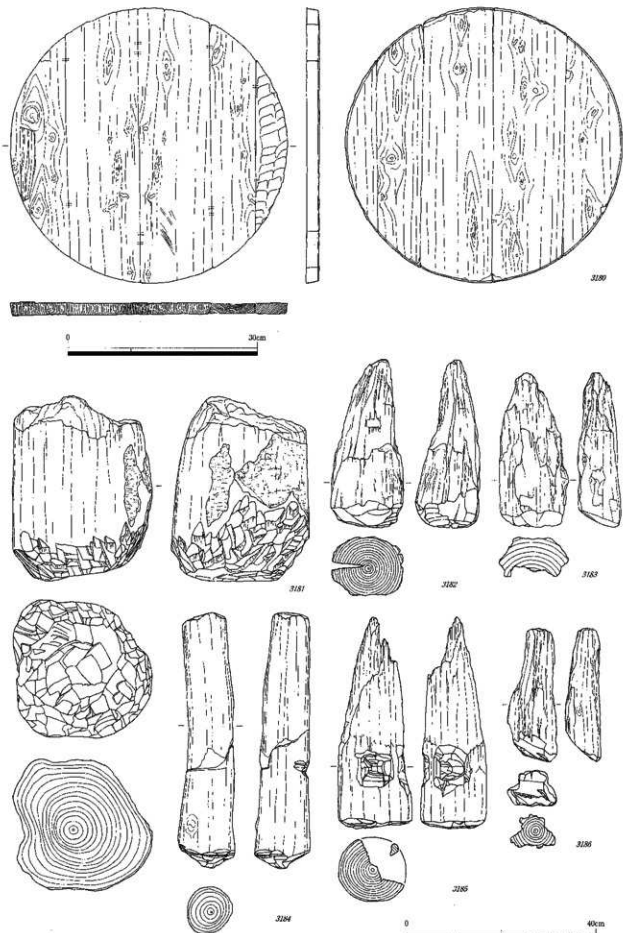
第186図　遺物実測図（*3159～3162*　1/4，*3155～3158*　1/8）

C地区　SE5223（*3155・3156*）　SE5231（*3157*）　SE5272（*3158*）　SE5414（*3160・3161*）
SE5472（*3162*）　包含層（*3159*）



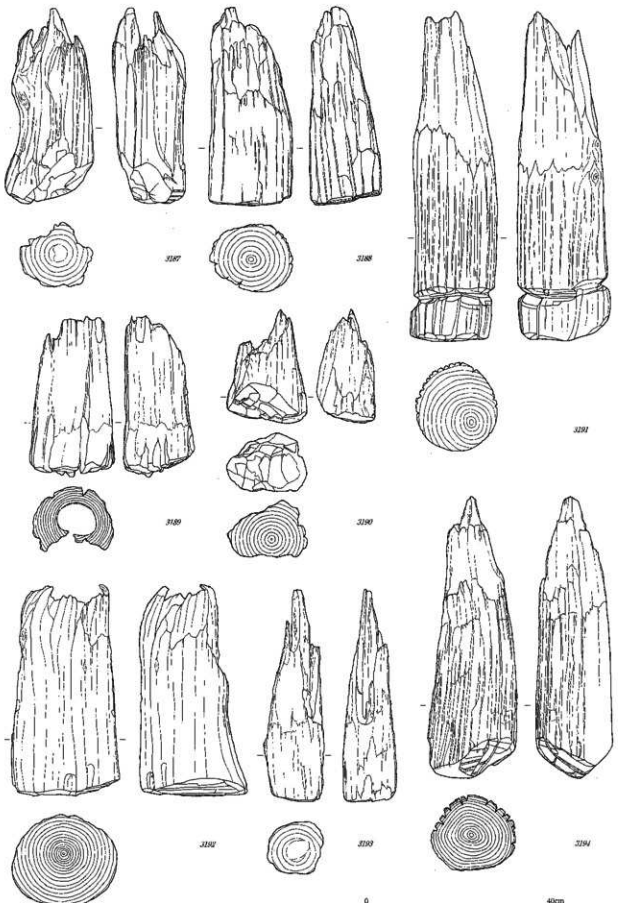
第187図　遺物実測図（*3163～3170・3174* 1/4, *3171～3173・3175～3179* 1/8）

C地区　SK5124（*3170～3179*）　SK5150（*3163・3168・3169*）　SK5234（*3164*）
SP5056（*3165・3166*）　SK5263（*3167*）



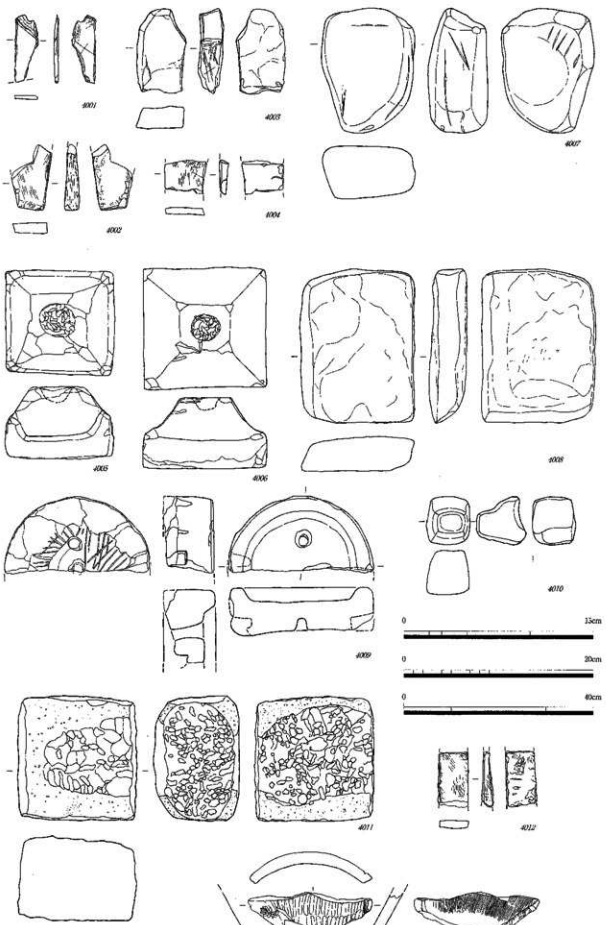
第188図　遺物実測図（*3181～3186*　1/8、*3180*　1/12）

C地区　SK5124（*3180*）　SK5220（*3182*）　SP5056（*3181*）　SP5267（*3183*）　SK5366（*3184*）
SP5454（*3185*）　包含層（*3186*）



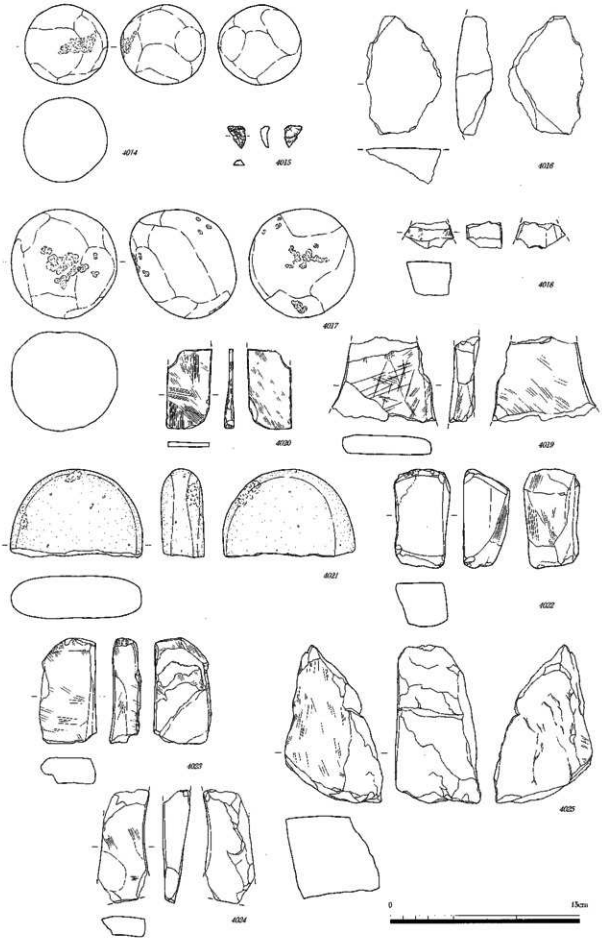
第189図　遺物実測図（*3187～3194*　1/8）

C地区　SP5218（*3191*）　SP5253（*3187*）　SP5255（*3189*）　SP5123（*3190*）　SP5263（*3192*）
SP5265（*3194*）　SK5356（*3188*）　SP5476（*3193*）



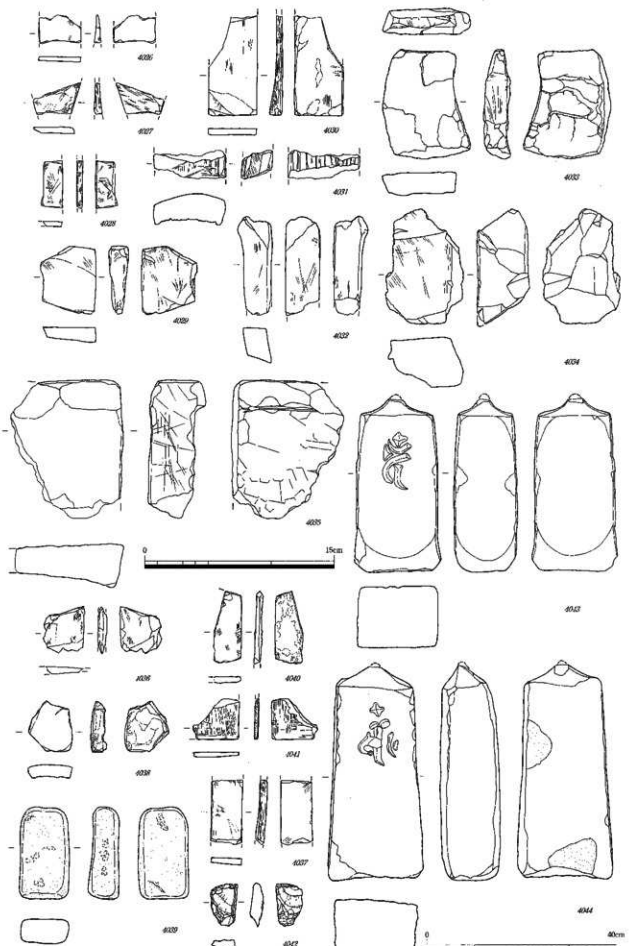
第190図　遺物実測図（*4001～4004・4007・4012* 1/3, *4013* 1/4, *4005・4006・4008～4011* 1/8）

A2地区　包含層（4001）　SD4501（*4003～4007*）　SD4568（*4002・4009*）　SF4579（*4010*）　SD4608（*4008*）
B2地区　包含層（4012）　SD672（*4011*）　B3地区　SK1694（*4013*）



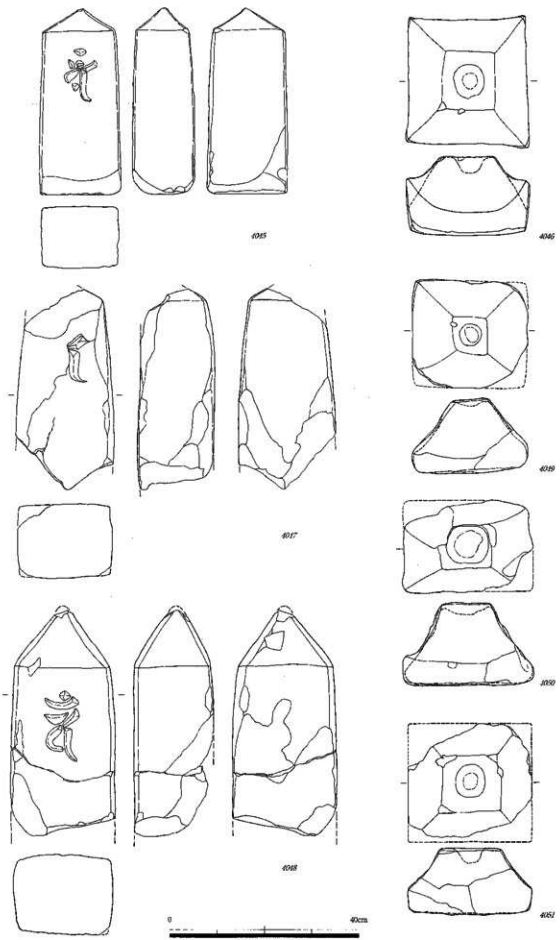
第191図　遺物実測図（*4014～4025*　1/3）

B3地区　SD1002（*4015*）　SK1101（*4017～4019*）　SD1229（*4014*）　SK1276（*4022*）　SE1304（*4025*）
SE1305（*4023*）　SE1305（*4023*）　SK1315（*4024*）　SK1525（*4020*）　SK1622（*4021*）　包含層（*4016*）



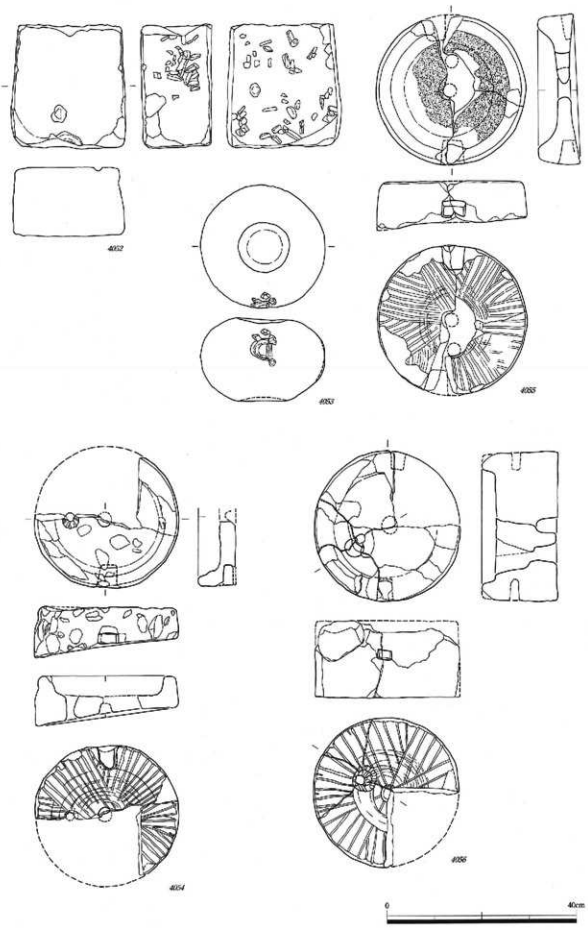
第192図　遺物実測図（*4026～4042*　1/3、*4034・4044*　1/8）

B3地区　SK1350（*4033*）　包含層（*4026～4032・4034・4035*）　B4地区　SD2172（*4036・4037*）
包含層（*4038～4042*）　B6地区　SK4505（*4043・4044*）



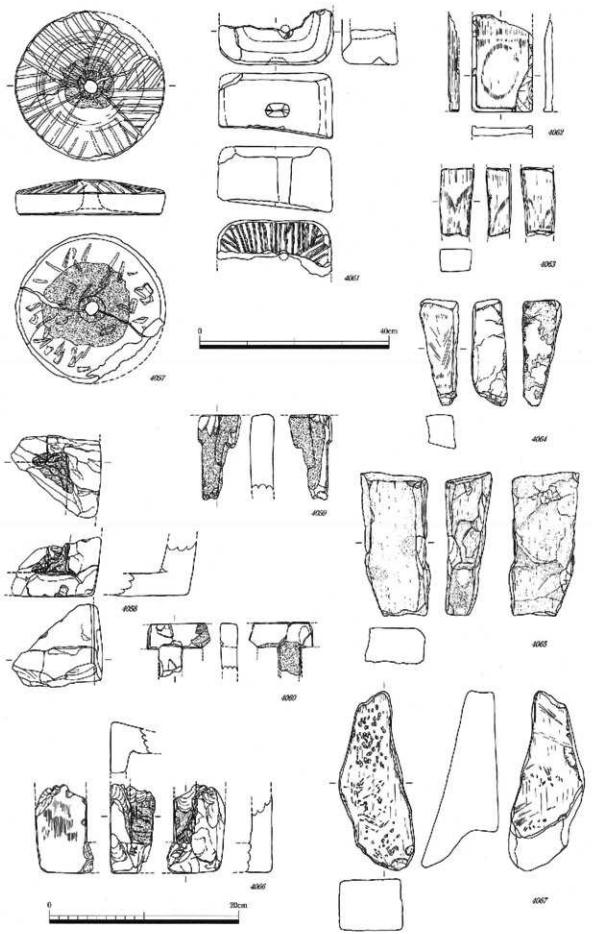
第193図　遺物実測図（*4045～4051*　1/8）

B6地区　SK4060（*4046*）　SD4080（*4045*）　C地区　SE5101（*4047*）　SK5224（*4049～4051*）
SX5252（*4048*）



第194図　遺物実測図（*4052～4056*　1/8）

C地区　SE5150（*4053*）　SD5205（*4056*）　SD5205・SX5252（*4055*）　SE5301（*4052*）　SK5467（*4054*）



第195図　遺物実測図（*4058～4060・4062～4067* 1/4，*4057・4061* 1/8）

C地区　SD5064（*4060*）　SK5120（*4057*）　SK5150（*4066*）　SX5252（*4067*）　SD5302（*4058・4059*）
SK5318（*4063*）　包含層（*4061・4062・4064・4065*）

第11表　土器・陶磁器一覧（1）

挿図	掲載番号	図版	地区	遺構番号	出土地点	種別	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	器厚(cm)	色調		釉調		時期	備考
145	0001	59	B1	SK206		須恵器	杯A	12.00			0.85	N7/0	灰白色			8c第下	
145	0002	59	B1	SK206		須恵器	蓋				0.90	10YR5/1	褐灰色				
145	0003	59	B1	SK229		須恵器	杯B			8.10	0.60	N6/0	灰色				
145	0004	59	B1	SK256		須恵器	壺	15.00			0.45	N6/0	灰色				
145	0005	59	B1	SP301		須恵器	杯	11.20	3.5	6.70	1.00	N6/0	灰色				
145	0006	59	B1	SD230	X113Y145	須恵器	蓋	11.40			0.65	7.5Y7/1	灰白色				
145	0007	59	B1	SD231	X112Y143	須恵器	杯B	12.00			0.45	5Y6/1	灰色				
145	0008	59	B1	SD240	X108Y145	須恵器	杯A	13.80	2.80	10.40	7.00	5Y5/1	灰色			9C前	
145	0009	59	B1	SD240	X105Y145	須恵器	蓋	20.00			0.90	2.5Y6/1	黄灰色				
145	0010	59	B1	SD284		須恵器	杯蓋	15.60	2.30		0.90	2.5Y7/2	灰白色			8C中	墨合
145	0011	59	B1	SD284		須恵器	杯蓋	12.40	1.60		0.50	5Y6/1	灰色			9C後～10C初	
145	0012	60	B1	SD284		土師器	杯A	12.40	4.00	5.70	0.50	10YR8/4	浅黄橙色			10C後	内面暗文単位段階
145	0013	60	B1	SK224		土師器	甕か鍋				1.10	10YR7/4	にぶい黄橙色			9C末	
145	0014	60	B1	SD252	X102Y145区d層	土師器	杯D	12.00			0.40	5YR6/6	橙色				高台付の皿か
145	0015	60	B1	SD252		土師器	皿	13.50	2.80	8.00	1.80	10YR7/3	にぶい黄橙色			9C後～10C前	赤彩
145	0016	60	B1	SD252	X104Y145	土師器	杯A	12.00			0.40	2.5Y8/2	灰白色			9C	全面未処
145	0017	60	B1	SD252		土師器	椀	17.50	4.50	5.00	0.40	5YR6/6	橙色			10C後	
145	0018	60	B1	SD252	X104Y145	赤彩土師器	杯D			7.10	0.40	5YR6/8	橙色				
145	0019	60	B1	SD252		緑釉陶器	椀	12.00	4.00	6.40	0.90	10YR8/2	灰白色	10Y7/2	灰白色	9C中	
145	0020	59	B1	SD252		須恵器	杯蓋	17.80			0.60	7.5Y6/1	灰色			9C前	
145	0021	59	B1	SD252		須恵器	杯蓋	12.40	1.70		0.60	N6/1	灰色			9C前後	
145	0022	59	B1	SD252		須恵器	杯A	12.00	3.30	6.00	0.60	7.5Y7/1	灰白色			9C	
145	0023	59	B1	SD252	最下層	須恵器	杯	13.60	2.50	7.40	0.80	5Y8/1	灰白色			10C初	墨書？
145	0024	59	B1	SD252	最上層	須恵器	杯A	14.00	2.40	10.80	0.60	10Y5/0	灰色			9C前	
145	0025	59	B1	SD252		須恵器	杯	10.20			0.45	5Y6/1	灰色				
145	0026	59	B1	SD252		須恵器	杯B	11.00			0.35	N6/0	灰色				
145	0027	59	B1	SD252	最下層	須恵器	杯B	11.10	4.00	7.00	0.80	7.5Y6/1	灰色				
145	0028	59	B1	SD252		須恵器	杯	11.40	4.40	7.00	0.35	5Y7/1	灰白色			9C後葉	上来焼印沢3
145	0029	59	B1	SD252	最下層	須恵器	椀	11.00	4.50	6.60	1.30	5B4/0	青灰色				
145	0030	60	B1	SD252		須恵器	杯金	13.80	6.70	8.20	1.30	N6/0	灰色			9C中～後	
145	0031	60	B1	SD252		須恵器	杯	15.80	5.93	9.40	1.80						
145	0032	59	B1		X97Y146区d層	須恵器	蓋	14.10			0.90	N5/0	灰色				天井部1/3回転ヘラケズリ
145	0033	59	B1		X120Y140区d層	須恵器	蓋	14.10			0.90	N7/0	灰白色				
145	0034	59	B1		X120Y138区c層	須恵器	蓋	12.40			0.65	N6/0	灰色				
145	0035	59	B1		区c層	須恵器	蓋	12.80			0.65	N6/0	灰色				
145	0036	59	B1		区c層	須恵器	蓋	12.40			0.60	N6/0	灰色				
145	0037	59	B1		X115Y141	須恵器	蓋	12.20			0.75	N6/0	灰色				
145	0038		B1		X117Y145区b層	須恵器	杯蓋	12.00	2.00			N6/0	灰色			9C後	蓋と思われる
145	0039	59	B1		X118Y137区c層	須恵器	杯蓋	13.00	2.00		0.60	5Y6/1	灰色			9C後～10C初	
145	0040	59	B1		X120Y138区d層	須恵器	蓋	14.00			0.70	N7/0	灰白色				
145	0041	59	B1		X119Y143区c層	須恵器	壺	14.00			0.70	5Y6/1	灰色				
145	0042	60	C		X106Y111上層	土師器	小型	10.20			0.35	10YR8/4	浅黄橙色				
145	0043	59	B1		X118Y134区d層	須恵器	蓋	12.40	3.40		1.50	7.5YR6/1	褐灰色				墨書
145	0044	60	B1		X99Y154区e層	須恵器	杯A	12.50	3.10		1.00	2.5Y7/2	灰黄色				[illegible]
145	0045	59	B1		X98Y148区d層	須恵器	杯A	13.00	3.00		0.80	2.5Y7/1	灰白色			8c第下	
145	0046	60	B1		区c層	須恵器	杯A	10.80	3.30	6.90	0.70	7.5Y7/1	灰白色				墨書
145	0047	59	B1		X110Y146区c層	須恵器	杯A	11.40	2.80		0.60	10Y6/1	灰色				
145	0048	59	B1		X115Y135区d層	須恵器	杯A	11.00	3.00		0.60	2.5Y8/2	灰白色				
145	0049	59	B1		X122Y141区c層	須恵器	杯	13.00	3.20	7.00	0.50	7.5Y6/1	灰色				
145	0050	59	B1		X114Y146区d層	須恵器	長頸壺か		4.60	8.90	2.70	7.5Y6/1	灰色				
145	0051	59	B1		X120Y120区d層	須恵器	杯	6.60		6.20		N6/0	灰色				ヘラ記号
145	0052	59	B1		X121Y138区d層	須恵器	杯B	10.00	3.90	5.80	0.55	N6/0	灰色				
145	0053	60	B1		X119Y139区c層	須恵器	杯	17.00	4.10	6.60	0.90	5Y6/1	灰色				105Mb-B4 区d層 X119Y139に接合
145	0054	59	B1		X116Y128区d層	須恵器	杯B			6.40	0.55	N6/0	灰色				
145	0055	59	B1		X100Y156区d層	須恵器	杯B			8.20	0.75	7.5Y6/1	灰色				
146	0056	59	B1		X121Y142区c層	須恵器	杯			10.00	0.80	2.5Y7/1	灰白色				
145	0057	59	B1		X117Y136区d層	須恵器	盤（稜椀形）	17.10			0.80	N6/0	灰色				
145	0058	59	B1		区c層	須恵器	杯B			7.20	0.45	N6/0	灰色				
145	0059	59	B1		X113Y145区d層	須恵器	盤B	13.20	3.60	7.40	2.30	N7/0	灰白色			9C末～10C前	
145	0060	60	B1		X115Y140上層	赤彩土師器	杯A			5.00	0.80	5YR6/6	橙色				
145	0061	60	B1		X99Y150区d層	土師器	杯A	11.10	2.00	4.00	0.80	5YR6/6	橙色			9C後	内外面2次焼成ひどくよくわからない
145	0062	60	B1		X117Y146区c層	土師器	長甕	20.80			0.80	7.5YR7/4	にぶい橙色				
145	0063	60	B1	SK306	X118Y136区d層	土師器	甕	20.40	7.60		0.70	7.5R6/3	浅黄橙色				内外面煤付着
145	0064	60	B1		X113Y143上層		土錘					5YR6/6	橙色				長5.0cm　幅1.25cm　孔径0.5cm
145	0065	60	B1		X120Y141		土錘					7.5YR8/4	浅黄橙色				幅3.0cm　孔径1.5cm
145	0066	60	B1		X115Y136区c層		土錘					10YR8/4	浅黄橙色				長6.3cm　幅4.1cm　孔径1.3cm　重量約36g
146	0067	61	B2	SI001		須恵器	甕	20.00			0.70	5Y6/1	灰色			8C後	
146	0068	62	B2	SI001		須恵器	杯B	12.00	3.10	6.80	0.40	7.5Y5/1	灰色			8C後～9C前	
146	0069	61	B2	SI001		須恵器	杯A			7.40	0.50	5Y7/1	灰白色				
146	0070	61	B2	SI001	1層	須恵器	杯	12.60	3.80		0.70	5Y7/2	灰白色				
146	0071	61	B2	SI001		須恵器	杯	12.00	4.30	6.60	0.40	5Y6/1	灰色			9C後	
146	0072	61	B2	SI001		須恵器	壺				0.60	5Y6/1	灰色				つまみのみ残存
146	0073		B2	SI001		須恵器	杯	13.00	3.00		0.70	10Y7/1	灰白色				墨書
146	0074	61	B2	SI001		須恵器	杯B	14.00			0.45	5Y6/1	灰色				
146	0075	61	B2	SI001		須恵器	皿	12.80	2.40	3.70	0.55	2.5Y7/2	灰黄色				
146	0076	61	B2	SI001		土師器	鍋				0.60	7.5YR8/3	浅黄橙色			9C?	巻き込み口縁
146	0077	61	B2	SI001		土師器	甕	24.50			0.70	10YR7/3	にぶい黄橙色			9C?	巻き込み口縁
146	0078	61	B2	SI001		土師器	甕				0.90	10YR7/3	にぶい黄橙色				
146	0079	61	B2	SD005		須恵器	杯金	14.00			1.20	5Y6/1	灰色				

第11表　土器・陶磁器一覧（2）

挿図	遺物番号	図版	地区	遺構番号	出土地点	種類	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	器厚(cm)	色調		釉調	時期	備考
146	0080	61	B2	SD686	X97Y178	灰釉系	皿	12.00			0.85	2.5Y6/1	黄灰色			
146	0081	61	B1	SD686	X97Y178	須恵器	坏	15.60	2.60		0.80	7.5Y6/1	灰色		8C後～9C前	
146	0082	61	B2	SD686	X95Y185	土師器		14.20			0.50	10YR7/6	明黄褐色			
146	0083	61	B2	SD717		須恵器	蓋	17.60			0.70	N4/0	灰色			
146	0084	62	B2	SD729	X97Y184	土師器		13.10			0.50	7.5YR7/4	にぶい橙色			
146	0085	62	B2	SD729	X97Y182	土師器	埦	13.40	3.40	3.00	0.30	7.5YR8/6	浅黄橙色			
146	0086		B2	SE738		土師器	甕				1.00	10YR6/4	にぶい黄橙色		8C後?	
146	0087	61	B1	SE831		須恵器	坏B			7.10	0.80	2.5Y7/2	灰黄色		8C末?	
146	0088		B1	SK227	X113Y145	黒色土器	坏	12.00			0.40	5Y3/6	灰色		9C	
146	0089	61	B2	SK753		須恵器	坏B			7.00	0.70	7.5Y7/1	灰白色			
146	0090	61	B2	SK728		須恵器	蓋	13.10			0.60	2.5Y6/1	黄灰色			
146	0091	61	B2	SK728		須恵器	坏	16.20		4.80	0.60	5Y6/1	灰色			
146	0092	61	B2	SK810		須恵器	坏B			6.20	0.50	7.5Y7/1	灰白色		9C	
146	0093	61	B2	SK739			土錘					10YR8/3	浅黄橙色			長5.8cm 幅3.6cm 孔径1.5cm
146	0094	61	B2	SK728			土錘					10YR7/4	にぶい黄橙色			長6.4cm 幅4.1cm 孔径1.3cm 重量106.07g
146	0095	61	B2	SK728			土錘					10YR8/4	浅黄橙色			長6.0cm 幅2.4cm 孔径1.6cm 重量95.44g
146	0096	61	B2	SK729			土錘					10YR8/4	浅黄橙色			長5.8cm 幅4.3cm 孔径1.8cm 重量86.61g
146	0097	61	B2		X97Y183Ⅳc層	灰釉系	皿	12.00			0.70	5Y6/1	灰色			
146	0098	61	B2		X20Y178 溝	須恵器	坏	12.00			0.60	N5/0	灰色			
146	0099	61	B2		X75トレンチ	須恵器	坏	12.00	2.60		0.60	N5/0	灰色			
146	0100	61	B2		X97Y178Ⅱ層	須恵器	坏	13.00	3.60	6.00	0.70	5Y7/1	灰白色			
146	0101	61	B2		X73Y178Ⅳc層	須恵器	坏A	12.40	3.30	3.60	0.70	2.5Y7/3	浅黄色			
146	0102	61	B2		X73Y178Ⅳc層	須恵器	坏B	14.00	4.20		0.70	5Y7/2	灰白色			
146	0103	61	B3		X61Y185Ⅳd層	須恵器	坏B	16.70			0.40	N6/0	灰色			
146	0104	61	B2		X56Y183Ⅳc層	須恵器	円面硯				0.40	5Y6/1	灰色			
146	0105	61	B2		X84Y188Ⅳd層	土師器	坏	12.50	3.40	5.40	0.80	7.5YR7/4	にぶい橙色		8C中～	灯明
146	0106	61	B2		X84Y188Ⅳc層	土師器	坏	13.20	4.20	5.40	0.80	5Y7/6	浅黄色		8C中～	灯明
146	0107	62	B2		X73Y178Ⅳc層	須恵器	杯	13.20			0.10	5YR6/6	橙色			
146	0108	62	B3		X73Y178Ⅳc層	製塩土器					2.10	7.5YR6/6	橙色		7C?	
146	0109	62	B3		X73Y178Ⅳc層	製塩土器					1.50	7.5YR7/6	橙色		7C?	全高0.3cm 外面褐色 内面淡黄色 底部直径2.5cm 高さ3.9cm
146	0110	62	B2		X80Y180Ⅱb層		土錘					7.5YR7/4	にぶい橙色			長6.8cm 幅3.8cm 孔径1.4cm
146	0111	62	B2		X73Y178Ⅳd層		土錘					10YR8/4	浅黄橙色			長3.7cm 幅2.2cm 孔径0.4cm 重量13.80g
146	0112	62	B3		X73Y178Ⅳc層	土師器	甕	14.60			0.50	10YR6/3	にぶい黄橙色		8C中～後	
146	0113	62	B2		X73Y173Ⅳc層	土師器	甕	14.60			0.50	10YR7/4	にぶい黄橙色			
146	0114	62	B2		X73Y179Ⅳc層	土師器	甕	20.00			0.70	10YR7/3	にぶい黄橙色			
146	0115	62	B2		X76Y178Ⅳc層	土師器	甕	28.00			0.70	10YR6/3	にぶい黄橙色			カキ目
146	0116	62	B2		X73Y178Ⅳc層	土師器	鍋	30.00			1.00	10YR7/2	にぶい黄橙色			カキ目
146	0117	62	B2		X73Y178Ⅳc層	土師器	甕	32.80			1.00	10YR8/4	浅黄橙色			
146	0118	62	B2		X73Y178Ⅳc層	土師器	鍋	44.60			1.00	10YR7/3	にぶい黄橙色			カキ目
147	0119	64	B3	SE1269	底部	須恵器	蓋	15.40			1.10	7.5Y5/1	灰色		9C	
147	0120	64	B3	SE1269		須恵器	坏B	11.60			0.45	5Y6/1	灰色			
147	0121	64	B3	SE1269	溝底	須恵器	坏B	12.70			0.60	5Y5/1	灰色			
147	0122	64	B3	SE1269		須恵器	瓦(多)可能				0.95	10YR6/1	褐灰色			
147	0123	65	B3	SE1269	X55Y160	土師器	甕	11.10			0.85	10YR6/3	にぶい黄橙色			
147	0124	65	B3	SE1269	X55Y160	土師器	甕	19.00			0.75	10YR6/3	にぶい黄橙色			
147	0125	65	B3	SE1269	X56Y160	土師器	甕	25.00			0.80	10YR7/4	にぶい黄橙色			
147	0126	65	B3	SK1614		土師器	長甕	24.00			0.75	10YR7/4	にぶい黄橙色			ひも状圧痕
147	0127	64	B3	SP1148		須恵器	坏蓋				0.80	2.5Y7/2	灰黄色			遺構出土ではなくその下の層と撹乱土と思われる
147	0128	64	B3	SE1308		須恵器	蓋	12.00			0.70	7.5Y6/1	灰色		9C	
147	0129	65	B3	SK1626		須恵器	鉢	15.00	3.00		1.00	10Y7/1	灰白色		9C	
147	0130	64	B3		X56Y175	須恵器	坏B	12.40			0.30	2.5Y6/1	黄灰色			
147	0131	64	B3	SE1250	溝上層	須恵器	坏B	14.00	4.60	9.70	0.60	5Y6/1	灰色		9C	
147	0132	64	B2	SK1154	(?)	須恵器	双耳壺				1.00	10GY5/1	緑灰色			
147	0133	64	B3	SK1638		須恵器	壺	11.30			0.30	5Y5/1	灰色			[illegible]
147	0134	65	B3	SK1364		製塩土器	支脚部				1.10	7.5YR6/6	橙色			[illegible]
147	0135	64	B3	SK1578		須恵器(墨書)	蓋				0.60	10Y4/1	灰色		9C	[illegible]
147	0136	64	B3		X40Y166Ⅲc層	須恵器	坏身	12.00			0.80	2.5Y6/1	黄灰色		7C	
147	0137	64	B3		X58Y149Ⅳb～c層	須恵器	杯蓋				0.80	5Y6/1	灰色			
147	0138	63	B3		X60Y148Ⅳb～c層	須恵器	杯蓋	14.40	2.40		0.80	10BG5/1	青灰色			
147	0139	63	B3		Ⅳa層 №13	須恵器	杯身	15.60	1.70	9.00	0.90	7.5Y6/1	灰色			
147	0140	64	B3		X60Y149Ⅳa～c層	須恵器	蓋	15.80	2.40		0.90	2.5Y7/1	灰白色			
147	0141	64	B3		Ⅳc層	須恵器	杯蓋	16.10	2.70		1.00	5Y7/1	灰白色			自然釉がかかっている
147	0142	63	B3		X53Y173Ⅳa層	須恵器	坏	12.00	3.50	6.00	0.50	N6/0	灰色			
147	0143	63	B3		X60Y149Ⅳb層	須恵器	坏A	11.30	3.20	8.80	0.50	2.5Y7/1	灰白色			墨書
147	0144		B3		X54Y172Ⅳc層	須恵器	坏	12.00	3.00	8.70	0.70	2.5GY6/1	オリーブ灰色			
147	0145	63	B3		X60Y148Ⅳa層 №12	須恵器	坏	13.40	3.10	10.00	0.70	5Y6/1	灰色			
147	0146	63	B3		X40Y170Ⅳc層	須恵器	坏	13.60	3.50		0.80	7.5Y7/1	灰白色			
147	0147	64	B3		X59Y149Ⅳa～c層	須恵器	坏	13.80	3.40	9.20	0.90	5Y7/1	灰色			墨書
147	0148	64	B3		X60Y148Ⅳb～c層	須恵器	坏			6.00	0.70	N5/0	灰色			
147	0149	64	B3		X60Y147Ⅳc層	須恵器	坏B	11.00	3.70	7.60	0.55	5Y7/1	灰白色			墨書
147	0150	63	B3		X58Y149Ⅳa層	須恵器	坏B	11.40	3.20	7.50	0.45	2.5Y6/1	黄灰色			
147	0151	64	B3		X60Y149Ⅳa～c層	須恵器	坏D	12.00	4.30	7.60	0.35	2.5Y6/1	黄灰色			
147	0152		B3		X60Y147Ⅳb～c層	須恵器	坏	12.00	4.50	8.10	0.90	5Y6/1	灰色			
147	0153	64	B3		Ⅳc層	陶器	壺	20.20			1.20	10Y5/1	灰色			
147	0154		B3		X50Y148Ⅳa～c層	須恵器	甕	22.30			1.25	10YR6/1	褐灰色			
147	0155	63	B3		X46Y148Ⅲa層	土師器	土錘					10YR7/4	にぶい黄橙色			長26cm 幅4cm 孔径1.0cm 重量73.73g
147	0156	66	B3		X38Y164Ⅲc層	須恵器	穴硯				1.40	5Y6/1	灰色			
147	0157	66	B3		X60Y149Ⅳb～c層	須恵器	短頸壺	12.00			0.75	2.5Y6/1	黄灰色			
147	0158	66	B3		X54Y173Ⅳc層	土師器	小皿	13.10			0.30	7.5YR7/6	橙色			墨書

第11表　土器・陶磁器一覧（3）

挿図	掲載番号	図版	地区	遺構番号	出土地点	種別	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	器厚(cm)	色調	釉調	時期	備考
147	0159	65	B3		X58Y148床面b~c層	土師器	坏	19.80			0.75	10YR7/4 にぶい黄橙色			
147	0160	65	B3		X60Y147床c層	土師器	鉢	33.80			1.15	7.5YR7/6 橙色			外面煤付着
148	0161	73	B4	SI04	竪穴北東部	須恵器	壺	15.20			1.00	2.5Y6/1 黄灰色		8C後~	
148	0162	73	B4	SI04		須恵器	杯A	13.70			0.60	N7/0 灰白色			
148	0163	73	B4	SI02	覆土中	須恵器	杯A	11.20	3.00	8.40	0.50	N7/0 灰白色		8C	
148	0164	79	B4	SI02	床面上	土師器	甕	15.90			0.50	10YR7/2 にぶい黄橙色		8C後	煤付着　二次的な被熱により赤化
148	0165	73	B4	SI02	床面上	須恵器	瓶(耳部分か)				1.20	N6/0 灰色		8C後	自然釉
148	0166	68	B4	SI03	北西隅覆土中	須恵器	盤	13.80	3.20		0.80	5Y6/1 灰色		8C後~	
148	0167	73	B4	SI03	北西隅覆土中	須恵器	杯	11.50	3.20	8.60	0.60	2.5Y5/1 黄灰色		8C	
148	0168	68	B4	SI03	北西隅覆土中	須恵器	杯	11.60	4.10	7.60	0.65	2.5Y8/2 灰白色		8C後	
148	0169	68	B4	SI03	覆土中一括	須恵器	杯	11.40	4.60	7.00	0.80	7.5Y6/1 灰色		8C末	
148	0170	79	B4	SI03		土師器	甕	14.20			0.70	2.5Y8/2 灰白色			
148	0171	79	B4	SI03		須恵器	杯	13.70			0.70	10YR8/6 黄橙色			
148	0172	79	B4	SI03		土師器	壺	10.20			0.70	10YR7/2 にぶい黄橙色			口縁部煤付着
148	0173	68	B4	SI03		土師器	甕	9.10			1.00	10YR6/4 にぶい黄橙色			内外面煤付着
148	0174	79	B4	SI03	X94Y138覆土上層	土師器	甕	15.90			0.70	10YR6/4 にぶい黄橙色		9C前	内外面煤付着
148	0175	79	B4	SI03		土師器	鍋	30.40	6.30		0.90	7.5YR7/6 橙色		8C後~9C前	かき目
148	0176	79	B4	SI03			二重					7.5YR7/6 橙色			長さ4.9cm　幅3.2cm　孔径1.3cm　重量32.4g
148	0177	79	B4	SI05	竈内-煙道	土師器	長胴				0.60	7.5YR7/6 橙色			
148	0178	68	B4	SI05	竈内-煙道	土師器	甕	20.60			0.80	7.5YR6/4 にぶい橙色		8C後	内外面煤付着
148	0179	79	B4	SI06	竪穴中央部	土師器	鍋	32.40			0.80	2.5Y6/2 灰黄色			煤付着
148	0180	68	B4	SI06	竈内-煙道	土師器	鉢	41.80			0.90	10YR7/4 にぶい黄橙色		8C後	
148	0181	69	B4	SI05	覆土中	須恵器	蓋	12.10	2.90		0.80	10Y6/1 灰色			
148	0182	69	B4	SI05	覆土中	須恵器	壺	13.00	2.80		0.80	5Y6/2 灰オリーブ色		8C後~末	
148	0183	73	B4	SI08	覆土中	須恵器	杯	14.00	3.00	10.00	0.90	7.5Y7/1 灰白色		8C	
148	0184	73	B4	SI08	覆土中	須恵器	杯	15.00	3.50	11.60	0.90	10YR6/1 灰色		8C	
149	0185	69	B4	SI07	竪穴北西部覆土中	須恵器	皿	13.40	2.90		0.70	5Y6/1 灰色		9C前	内面の一部に煤付着
149	0186	73	B4	SI07		須恵器	杯A	12.00	2.70	9.10	0.70	N7/0 灰白色		8C	
149	0187	69	B4	SI07	竪穴北東部覆土中	須恵器	杯	12.60	3.30	9.10	0.70	5Y5/1 灰色		8C後~	
149	0188	79	B4	SI07		土師器	甕	15.40			0.40	7.5YR7/4 にぶい橙色			内面煤付着
149	0189	79	B4	SI07	竈周辺	土師器	甕	15.30			0.60	10YR6/3 にぶい黄橙色		~9C前	内外面煤付着
149	0190	69	B4	SI07	竪穴北東部覆土中	須恵器	鉢	24.00	12.00		1.20	2.5Y8/3 淡黄色			
149	0191		B4	SI07		土師器	甕				0.70	10YR7/3 にぶい黄橙色			外面煤付着
149	0192	79	B4	SI07		土師器	甕				0.90	7.5YR6/6 橙色			
149	0193	69	B4	SI07	竈周辺	土師器	甕			7.50	0.90	7.5YR7/4 にぶい橙色		9C	煤付着
149	0194	69	B4	SI07	掘方	土師器	甕			6.60	0.80	10YR8/4 浅黄橙色			
149	0195	79	B4	SI07	竈周辺	土師器	鍋	30.40			0.80	7.5YR7/6 橙色			内外面煤付着　赤彩
149	0196	73	B4	SI09	竈周辺	須恵器	蓋	15.40			0.80	10YR5/3 にぶい黄褐色		8C後~	
149	0197	70	B4	SI09	竈周辺	須恵器	杯A	13.20	3.30	10.00	0.70	N6/0 灰色		8C	
149	0198	70	B4	SI09	竈周辺	須恵器	杯	13.30	4.20	8.40	0.80	5Y6/2 灰オリーブ色		8C後~	
149	0199	79	B4	SI09		土師器	甕				0.70	10YR7/3 にぶい黄橙色			[illegible]
149	0200	79	B4	SI09		土師器	蓋	12.00			0.70	5YR6/6 橙色			[illegible]
149	0201	79	B4	SI09	竈周辺	土師器	甕	16.30			0.40	7.5YR7/6 橙色		8C	外面煤付着
149	0202	70	B4	SI09	竈周辺	土師器	甕	23.30			0.60	2.5Y7/2 灰黄色		~9C	煤付着
149	0203	70	B4	SI09	竪穴南西隅	土師器	蓋	27.00			0.70	10YR8/3 浅黄橙色		9C	外面煤付着
149	0204	79	B4	SI09	竪穴北東隅	土師器	杯蓋	20.20			0.30	7.5YR7/6 橙色			竪穴住居内出土(当て具痕あり)
149	0205	79	B4	SI09	竈周辺	土師器	甕	27.00			0.80	7.5YR7/6 橙色		8C後	かき目
149	0206	70	B4	SI09	竈周辺	土師器	蓋				1.00	10YR7/4 にぶい黄橙色		8C後~9C中	煤付着
150	0207	70	B4	SD2172b	X113Y136中層	須恵器	蓋	12.40	2.60		0.50	5Y6/1 灰色		(8C後~)9C前	
150	0208	70	B4	SD2172b	X95Y134上層	須恵器	壺	14.20	2.20		1.00	N6/0 灰色		8C	
150	0209	70	B4	SD2172b	X119Y133上層	須恵器	壺	13.40	3.80		1.00	5Y6/1 灰色		8C	
150	0210	71	B4	SD2172b	X117Y134下層	須恵器	蓋	15.70	3.30		0.70	2.5Y7/1 灰白色		8C後~	
150	0211	71	B4	SD2172b	X116Y135下層	須恵器	杯	16.80	3.10		0.80	7.5Y5/1 灰色		(8C後~)9C前	
150	0212	71	B4	SD2172b	X113Y136下層	須恵器	杯蓋	13.30	3.30		0.70	7.5Y6/1 灰色		8C後~9C	墨書
150	0213	71	B4	SD2172b	X116Y135下層	須恵器	杯蓋	12.60			0.60	N6/0 灰色			墨書
150	0214	73	B4	SD2172b	X108Y136下層	須恵器	杯	12.40	3.30	7.80	0.50	10Y6/1 灰色		8C後~9C中	
150	0215	73	B4	SD2172b	X114Y136下層	須恵器	杯	11.70	3.40	6.60	0.60	N6/0 灰色		9C後	
150	0216	73	B4	SD2172b	X114Y136	須恵器	杯A	12.20	3.20	7.00	0.55	N7/0 灰白色		9C	
150	0217	73	B4	SD2172b	X113Y136下層	須恵器	杯A	12.00	3.30	6.90	0.50	5Y8/1 灰白色		9C	
150	0218	73	B4	SD2172b	X109Y136	須恵器	杯A	11.90	3.00	7.30	0.50	N5/0 灰色		9C	
150	0219	74	B4	SD2172a	X119Y132上層	須恵器	杯	12.40	3.80	7.20	0.80	N7/0 灰白色		8C後	
150	0220	74	B4	SD2172	X120Y136上層	須恵器	杯A	16.20			0.60	10Y6/1 褐灰色		9C	内外面朱付着痕跡あり　転用硯の可能性?
150	0221	71	B4	SD2172b		須恵器	杯	10.20	4.50	6.20	0.80	5PB6/1 青灰色		~9C前	
150	0222	71	B4	SD2172b		須恵器	杯	11.00	3.80	6.30	0.60	N5/0 灰色			
150	0223	74	B4	SD2172b	X114Y136(X)	須恵器	杯	11.00	4.30	6.10	0.80	N5/0 灰色			
150	0224	72	B4	SD2172b	X110下層	須恵器	杯B	12.60	5.50	6.70	0.40	N6/0 灰色		9C	
150	0225	74	B4	SD2172b	X109Y136	須恵器(墨書)	杯A			7.20	0.50	5Y8/1 灰白色		9C	墨書
150	0226	74	B4	SD2172	X117Y136下層	須恵器	杯B	11.60	3.40	7.60	0.50	N5/0 灰色		9C	外底面にヘラ記号
150	0227	72	B4	SD2172b	X114Y136中層	須恵器	杯	12.30	3.20	7.80	0.80	2.5Y7/1 灰白色			墨書
150	0228	75	B4	SD2172b		須恵器	蓋				0.90	7.5Y6/1 灰色		8C	
150	0229	75	B4	SD2172	X108Y137	須恵器	壺	10.80			0.70	10YR7/1 灰黄褐色			
150	0230	72	B4	SD2172a	X106Y133底面直上	須恵器	壺	3.50	2.30		0.40	5PB6/1 青灰色			
150	0231	74	B4	SD2172	X112Y136	須恵器					1.10	N6/0 灰色			
150	0232	75	B4	SD2172b	X104Y135底面直上	須恵器	壺				0.90	2.5Y5/1 黄灰色			外面に自然釉
150	0233	80	B4	SD2172b	X106Y132中層	土師器	皿	13.80	2.80	6.30	0.40	5YR6/6 橙色		9C後~10C前	
150	0234	77	B4	SD2172b	X113Y136下層	須恵器	皿	13.20	3.00	7.50	0.70	5Y6/1 灰色			
150	0235	74	B4	SD2172b	X108Y136下層	土師器	皿			7.80	0.90	N7/0 灰白色		9C前~	
150	0236	80	B4	SD2172b	X106Y130底面直上	土師器	甕	16.00			0.80	10YR8/3 浅黄橙色			
150	0237	80	B4	SD2172b	X114Y136中層	土師器	甕	11.00			0.50	7.5YR6/2 灰褐色		(8C後)~9C前	煤付着

第11表 土器・陶磁器一覧 (4)

挿図	挿図番号	図版	地区	遺構番号	出土地点	種類	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	器厚(cm)	色調		釉調	時期	備考
150	0238	80	B4	SD2172b	X114Y136d層	土師器	甕	13.00			0.60	10YR7/3	にぶい黄橙色		9C前	
150	0239	80	B4	SD2172b	X114Y136d層中	土師器	甕	12.40			0.60	7.5YR8/4	にぶい橙色		9C中	X114Y136付近d層と接合
150	0240	80	B4	SD2172b	X114Y136中層	土師器	坏	14.60			0.40	2.5YR6/8	橙色		9C後～	内外に赤彩　胎土2.5Y8/2浅黄色
150	0241	80	B4	SD2172b	X106Y137中層	土師器	坏	14.00	3.50		0.40	5YR6/8	橙色		9C末～10C初	内外面に赤彩わずかに残る
150	0242	80	B4	SD2172b	X113Y136	土師器	鍋				0.70	10YR7/3	にぶい黄橙色			外面煤付着
150	0243	80	B4	SD2172	X120Y124	製塩土器	不明				1.00	10YR7/2	にぶい黄橙色			
150	0244	80	B4	SD2172	一括		土錘					7.5YR4/6	褐色			長3.7cm　幅1.4cm　孔径0.3cm　重量6.39g
150	0245	80	B4	SD2172	X108Y133上層		土錘					10YR8/2	灰白色			長4.9cm　幅2.8cm　孔径1.3cm　重量16.12g
150	0246	78	B4	SD2172	X110Y136	須恵器	甕				1.20	2.5Y7/1	灰白色			
150	0247	80	B4	SD2172b	X106Y138Pd層	須恵器	壺			12.00	1.00	N7/0	灰白色		9C	双(糸)水波の紋形　体部上下一部自然釉有り
150	0248	72	B4	SD2172	X114Y136上層	須恵器	壺(多)耳瓶			13.00	1.90	N5/0	灰色			自然釉　内面底部から上り
150	0249	80	B4	SD2172b	X113Y136中層	土師器	鍋	35.80			0.90	10YR8/6	黄橙色		9C後(～末)	煤付着
151	0250	73	B4	SD3347		須恵器	蓋	13.20	3.10		1.00	N6/0	灰色			
151	0251	75	B4	SD3347	X100Y135	須恵器	蓋	14.60	2.00		0.70	5Y8/1	灰白色			
151	0252	73	B4	SD3347	X100Y137	須恵器	蓋	13.00			1.00	2.5Y8/2	灰白色		9C	
151	0253	73	B4	SD3347	X101Y134	須恵器	蓋	16.00	2.00		0.70	2.5Y5/1	黄灰色		9C	
151	0254	73	B4	SD3347	X100Y135	須恵器	杯蓋	13.20			0.60	10Y6/1	灰色		9C後～9C	墨書
151	0255	74	B4	SD3347	X101Y135	須恵器(墨書)	蓋				0.50	N6/0	灰色		9C後	天井部外面に墨書(判読不明)
151	0256	74	B4	SD3347	X102Y134	須恵器	杯A	12.10	3.60	8.70	0.60	N7/0	灰白色		9C	
151	0257	74	B4	SD3347	X101Y138	須恵器	杯A	13.00	3.40	9.40	0.60	7.5Y7/1	灰白色		9C	
151	0258	74	B4	SD3347	X105Y132	須恵器	杯A	13.10	3.70	9.80	0.60	7.5Y7/1	灰白色		9C	
151	0259	73	B4	SD3347	X101Y134	須恵器	杯	12.80	3.30	8.80	0.80	7.5Y6/1	灰色			
151	0260	74	B4	SD3347	X100Y136	須恵器	杯A	13.10	3.30	9.80	0.80	5Y6/1	灰色		9C	
151	0261	74	B4	SD3347		須恵器	杯A	12.80	3.50	9.40	0.80	5Y7/1	灰白色		9C	
151	0262	74	B4	SD3347	X102Y134	須恵器	杯A	14.20		9.80	0.80	5Y7/1	灰白色		9C	
151	0263	73	B4	SD3347	X101Y135	須恵器	杯A	12.70	3.00	9.10	0.60	N7/0	灰白色		9C	
151	0264	73	B4	SD3347	X100Y134	須恵器	杯A	12.30	3.10	9.20	0.70	5Y8/1	灰白色		9C	
151	0265	74	B4	SD3347	X100Y138	須恵器	杯	12.60	3.20	8.90	0.80	5Y7/1	灰白色			
151	0266	74	B4	SD3347	X101Y135	須恵器	杯A	12.60	3.10	10.00	0.60	N7/0	灰白色		9C～	
151	0267	74	B4	SD3347	X101Y134	須恵器	杯A	13.40	3.20	8.80	0.50	N7/0	灰白色		9C	
151	0268	73	B4	SK3346		須恵器	杯	12.80	3.10	9.10	0.90	5Y8/2	灰白色			底部有り
151	0269	74	B4	SD3347	X101Y135	須恵器	杯			8.00	0.70	10YR7/2	にぶい黄橙色			墨書「井口」?
151	0270	74	B4	SD3347	X101Y135	須恵器	杯A	11.60	2.70	8.00	0.55	7.5Y6/1	灰色		9C	
152	0271		B4	SD3347	X101Y138	須恵器	杯	11.60	2.90	9.00	1.00	N6/0	灰色			
151	0272	74	B4	SD3347	X102Y134	須恵器	杯	12.80	3.00	10.40	0.90	7.5Y7/1	灰白色			
151	0273	74	B4	SD3347	X102Y134	須恵器	杯	12.60	2.90	9.30	0.70	N7/0	灰色			
151	0274	74	B4	SD3347	X101Y136	須恵器	杯	12.40	2.80	10.00	0.60	N7/0	灰色			
151	0275	74	B4	SD3347	X102Y136	須恵器	杯A	12.50	3.30	9.70	0.60	2.5Y8/2	灰白色		9C	
151	0276	74	B4	SD3347	X101Y136	須恵器	杯A	12.50	3.10	9.30	0.60	N6/0	灰色			
151	0277	74	B4	SD3347	X102Y134	須恵器	杯A	13.00	3.20	10.20	0.60	5Y6/1	灰色		9C	
151	0278	74	B4	SD3347	X101Y134	須恵器	杯	12.80	3.60	9.40	0.90	5Y7/1	灰白色			
151	0279	74	B4	SD3347		須恵器	杯A	13.20	3.60	10.10	0.80	N6/0	灰色		9C	
151	0280	74	B4	SD3347	X101Y138	須恵器	杯A	12.90	3.10	9.60	0.70	5Y8/1	灰白色		9C	
151	0281	74	B4	SD3347	X102Y134	須恵器	杯	13.00	3.00	9.30	0.60	2.5Y7/1	灰白色			
151	0282	74	B4	SD3347	X101Y134	須恵器	杯	13.80	3.70	9.00	0.80	5Y7/1	灰白色			
151	0283	74	B4	SD3347	X101Y134	須恵器	杯	11.80	3.10	8.30	0.80	N6/0	灰色			墨書
151	0284	74	B4	SD3347	X102Y135	須恵器	杯		1.80	3.00	0.90	N7/0	灰白色			墨書
151	0285	74	B4	SD3347	X102Y134	須恵器	杯B	15.10	3.70	9.60	0.70	N4/0	灰色		9C	
151	0286	75	B4	SD3347	X102Y134	須恵器	杯	14.60	4.10	9.00	1.10	5Y7/1	灰白色			
151	0287	74	B4	SD3347	X101Y135	須恵器	杯B	14.20	4.10	9.50	0.80	N7/0	灰白色		9C	
151	0288	74	B4	SD3347	X101Y138	須恵器	杯B	14.00	3.50	10.80	0.80	N7/0	灰白色		9C	
151	0289	75	B4	SD3347	X100Y135	須恵器	杯B	13.40	3.80	8.90	0.80	N6/0	灰色		9C	
151	0290	75	B4	SD3347	X101Y135	須恵器	杯B	13.40	3.80	8.50	0.80	N7/0	灰白色		9C	
151	0291	74	B4	SD3347	X102Y134	須恵器	杯B	13.00	3.80	7.80	0.80	N6/0	灰色		9C	
151	0292	75	B4	SD3347	X101Y136	須恵器	杯	17.20	3.60	12.40	1.00	5Y5/1	黄灰色			
151	0293	74	B4	SD3347	X101Y138	須恵器	杯B	12.50	3.70	7.70	0.70	N6/0	灰色		9C	
151	0294	75	B4	SD3347	X100Y138	須恵器	杯	12.40	3.80	8.30	0.80	N5/0	灰色			内面底部から上り
151	0295	75	B4	SD3347	X102Y138	須恵器	杯	10.50	4.00	8.40	0.70	N7/0	灰白色			自然釉
151	0296	74	B4	SD3347	X100Y135	須恵器	杯B	11.30	4.30	7.20	0.60	N6/0	灰色		9C	
151	0297	74	B4	SD3347	X101Y134	須恵器	杯	10.40	4.50	6.00	0.70	2.5Y7/1	灰白色			体部外面に墨書(判読不明)　外面煤付着
151	0298	75	B4	SD3347	X101Y134	須恵器	杯B	10.70	4.10	5.70	0.50	5Y6/1	灰色		9C	
151	0299	75	B4	SD3347	X102Y135	須恵器	杯	11.60	4.30	6.00	0.50	N5/0	灰色			
151	0300	75	B4	SD3347	X105Y133	須恵器	杯B			8.00	0.60	N6/0	灰色		9C	内面ウルシ付着
151	0301	76	B4	SD3347	X101Y136	須恵器	杯B	11.00	3.40	7.30	0.60	N5/0	灰色		9C	
151	0302	76	B4	SD3347		須恵器	杯B	12.40	3.70	8.50	0.60	2.5Y6/1	黄灰色		9C	
151	0303	76	B4	SD3347	X101Y137	須恵器	杯B	12.30	3.20	8.40	0.60	7.5Y6/1	灰色			
151	0304	76	B4	SD3347		須恵器	杯	12.80	4.30	8.20	1.10	2.5YR6/4	にぶい橙色			全体は焼成不良で赤化　部分的に黒色化
151	0305	75	B4	SD3347	X101Y136	須恵器	杯B	12.50	3.50	8.10	0.50	7.5YR5/1	褐灰色		9C	
151	0306	76	B4	SD3347	X101Y138	須恵器	杯	13.00	4.40	9.10	1.00	2.5Y7/1	灰白色			
151	0307	76	B4	SD3347	X101Y134	須恵器	杯	15.60	5.00	11.20	0.60	2.5Y8/1	灰白色			薄手で作りが良い
151	0308	76	B4	SD3347	X101Y133	須恵器	杯B	16.30	5.30	11.00	0.60	N6/0	灰色		9C	
151	0309	73	B4	SD3347	X101Y136	須恵器	杯B	11.80	4.60	7.20	0.60	5Y8/1	灰白色		9C	
152	0310	75	B4	SD3347	X102Y135	須恵器	杯	16.00	7.10	10.60	1.00	7.5Y6/1	灰色			
152	0311	76	B4	SD3347	X102Y134	須恵器	杯	17.30	7.10	12.90	0.80	2.5Y7/2	灰黄色			
152	0312	80	B4	SD3347	X102Y133	土師器	杯A	12.00			0.50	7.5YR7/6	橙色		9C	
152	0313	77	B4	SD3347	X101Y136	土師器	杯	13.20	4.00	6.90	0.70	5YR6/6	橙色			灯芯
152	0314	80	B4	SD3347	X101Y134	土師器	皿B	15.00			0.40	10YR6/3	にぶい黄橙色		9C	
152	0315	80	B4	SD3347	X106Y132	黒色土器	杯			3.20	0.70	2.5Y7/3	浅黄色		10C	内面黒漆付着　外面黒斑　灯芯
152	0316	80	B4	SD3347	X103Y133	土師器	甕				1.30	7.5YR7/6	橙色			

第11表　土器・陶磁器一覧（5）

挿図	分類番号	図版	地区	遺構番号	出土地点	種別	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	器厚(cm)	色調		釉調		時期	備考
152	0317	80	B4	SD3347	X100Y134	土師器	甕				1.00	10YR5/3	にぶい黄褐色				
152	0318	76	B4	SD3347	X100Y134	灰釉陶器	[illegible]				0.70	7.5YR7/1	明褐灰色				
152	0319	75	B4	SD3347		須恵器	転用硯	12.40			0.70	5R7/1	明褐灰色				
152	0320	75	B4	SD3347	X100Y136	須恵器	円面硯	14.30			1.00	N7/0	灰白色				
152	0321	80	B4	SD3347	X102Y135	緑釉陶器	皿			7.20	0.80	2.5Y8/3	浅黄色	7.5Y4/3	暗オリーブ色		[illegible]
152	0322	77	B4	SD3347	X101Y134	緑釉陶器	椀	20.40	6.70	7.60	1.10	10YR8/4	浅黄橙色	7.5Y7/3	浅黄色	9C中	[illegible]　京都系洛北産
152	0323	75	B4	SD3347	X102Y136	須恵器	広口壺				1.20	10YR6/1	褐灰色			9C	自然釉
152	0324	77	B4	SD3347	X101Y135	須恵器	台付長頸瓶			10.20	2.00	5Y7/1	灰白色				胴部上下自然釉著しい
152	0325	77	B4	SD3347	X102Y134	須恵器	台付長頸瓶			9.80	1.30	N6/0	灰色				
152	0326	77	B4	SD2960		須恵器	杯B	15.00	6.30	9.10	0.60	N6/0	灰色			9C	
152	0327	73	B4	SK3261		須恵器	杯A	11.00	3.30	7.30	0.50	5Y7/1	灰白色			9C	
152	0328	73	B4	SK3261		須恵器	杯A	13.10	3.30	8.40	0.40	2.5Y6/2	灰黄色			9C	
152	0329	73	B4	SK3261		須恵器	杯B	15.00			0.80	N7/0	灰白色			9C	
152	0330	73	B4	SK2056		須恵器	蓋	14.60	5.90		0.70	N6/0	灰色				
152	0331	78	B4	SK2056		須恵器	杯	14.00	5.60	7.40	0.70	N6/0	灰色				
152	0332	78	B4	SK2850	上層	須恵器	杯B	17.30	6.70	10.90	0.90	2.5Y7/1	灰白色			9C前～9C後	
152	0333	73	B4	SK2849	下層	須恵器	杯B	14.30	4.50	9.30	0.30	N7/0	灰白色			9C	
152	0334	80	B4	SD2950	X84Y141	土師器	甕				0.90	10YR8/4	浅黄橙色				
152	0335	78	B4	SD3194		須恵器	蓋	13.30	1.80		0.70	7.5Y7/1	灰白色				
152	0336	78	B4	SD3195		須恵器	杯A	12.90	3.10	9.70	0.30	2.5Y6/1	黄灰色			9C	
152	0337	73	B4	SK3053		須恵器	蓋	13.00	3.00		0.90	N6/0	灰色				
152	0338	78	B4	SK3053		須恵器	杯	12.40	3.10	9.40	0.50	2.5Y7/1	灰白色			9C後	
152	0339	78	B4	SK3055		須恵器	蓋	15.20	3.30		1.10	5Y5/1	灰色			9C	転用硯あり
152	0340	73	B4	SK3117		須恵器	杯A	13.00	3.80	6.20	0.60	N6/0	灰色				
152	0341	73	B4	SK3117		須恵器	杯A	12.00	3.40	8.80	0.70	N6/0	灰色			9C	
152	0342	78	B4	SK3234		須恵器	杯	11.70	3.20	7.30	0.70	5Y7/1	灰白色			9C後	
152	0343	73	B4	SK3283		須恵器	杯A	11.70	3.30	9.10	0.80	N7/0	灰白色			9C後	
152	0344	73	B4	SK3283		須恵器	杯	13.30	3.70	7.80	0.60	2.5Y7/3	浅黄色				墨書有り
152	0345	73	B4	SK3326		須恵器	杯B	12.00	3.10	8.10	0.60	N6/0	灰色			9C	
152	0346	78	B4	SP3237		土師器	杯	12.70	4.30	6.00	0.80	7.5YR6/4	にぶい橙色			10C前	[illegible]
152	0347	79	B4	SK3105		土師器	皿				0.60	5YR7/6	橙色				
152	0348	79	B4	SK3105		土師器	甕	9.00			0.50	2.5YR6/6	橙色				[illegible]
152	0349	73	B4	SX2543		須恵器	杯B	14.40	3.50	9.40	0.80	10YR7/1	灰白色			9C	高台外面にヘラ記号
152	0350	79	B4	SP3101			土錘					7.5YR7/4	にぶい橙色				長5.8cm　幅1.9cm　孔径1.1cm　重量76.40g
152	0351	79	B4	SX3129		土師器	甕	14.00			0.60	10YR7/3	にぶい黄橙色			9C	全体に煤付着
152	0352	79	B4	SP3168		土師器	甕	13.80			0.90	10YR6/4	にぶい黄橙色			9C	内外面煤付着
152	0353	79	B4	SX3283		土師器	甕	16.00			0.70	10YR8/3	浅黄橙色			9C	カキ目
152	0354	79	B4	SX3125		土師器	甕	25.00			0.80	10YR7/2	にぶい黄橙色			9C	
152	0355	80	B4	SX3145		土師器	甕	27.40			0.90	10YR7/4	にぶい黄橙色				
153	0356	79	B4	SX3333	X70Y130Ⅳa層礫中	須恵器	蓋	18.00	3.60		0.90	5Y6/1	灰色			9C後	
153	0357	79	B4	SX3333	Ⅳc層礫中	須恵器	蓋	13.60	3.30		1.00	N6/0	灰色				
153	0358	81	B4	SX3353	X64Y140Ⅳc層礫中	須恵器	杯			7.20	0.20	10Y6/1	灰色				墨書
153	0359	81	B4	SX3353	X80Y136Ⅳc層礫中	須恵器	杯	10.60	3.70	7.20	0.70	5Y5/1	灰色			9C後～	自然釉　内面墨痕あり
153	0360	81	B4	SX3353	X86Y136Ⅳc層礫中	須恵器	杯	13.60	3.30	8.50	0.80	5Y6/1	灰色			9C後	
153	0361	81	B4	SX3353	X84Y137Ⅳa層礫中	須恵器	杯	16.60	6.40	11.00	0.80	N6/0	灰色			9C	
153	0362	76	B4	SX3333	X84Y137Ⅳa層礫中	須恵器	杯	13.40	3.50		0.90	N6/0	灰色				
153	0363	77	B4	SX3333	X78Y130Ⅳa層礫中	須恵器	杯	13.80	3.80	10.00	0.90	N6/0	灰色			9C	
153	0364	77	B4	SX3333	X90Y136Ⅳa～b層礫中	須恵器	蓋			0.60	1.20	N5/0	灰色				
153	0365	80	B4	SX3333	X66Y139Ⅳc層礫中		土錘					5YR6/6	橙色				長6.1cm　幅4.0cm　孔径1.3cm　重量76.43g
153	0366	80	B4	SX3333	X86Y135Ⅳa層	土師器	甕	31.80			1.00	10YR6/4	にぶい黄橙色				カキ目
153	0367	80	B4	SX3353	X80Y135Ⅳd層礫中	土師器	甕	34.40			0.80	10YR7/4	にぶい黄橙色				カキ目
153	0368	78	B4		X38Y140Ⅳb層礫中	須恵器	壺	38.40			0.80	5Y6/2	灰オリーブ色				
153	0369	82	B4	SX3353	X84Y138Ⅳa層礫中	土師器	把手付小型甕	10.00			0.80	10YR6/3	にぶい黄橙色				
153	0370		B4		X30Y140Ⅳa～d層礫中	須恵器	鉢				1.40	N6/0	灰色				
153	0371	82	B4		X113Y136Ⅳd層	土師器	杯	11.80	3.40	5.10	0.70	7.5YR7/6	橙色			10C前	[illegible]
153	0372	82	B4		X116Y137Ⅳd層	ロクロ土師器	杯	12.80	4.80	6.00	0.50	5YR6/8	橙色			9C後～10C前	内外面に赤彩　糸切　釉上10YR8/3浅黄橙色
153	0373	82	B4		X110Y137Ⅳd層	土師器	杯	13.40	4.10	6.10	0.60	10YR7/3	にぶい黄橙色			10C中～末	
153	0374	83	B4		X116Y137Ⅳd層	ロクロ土師器	杯	12.90	4.30	5.60	0.60	7.5YR7/4	にぶい橙色			10C前～中	[illegible]
153	0375	80	B4		X103Y135Ⅳd層	土師器	杯A	11.90	4.10	4.30	0.60	10YR8/4	浅黄橙色			9C	
153	0376	72	B4		X97Y128Ⅳd層	土師器	杯A	12.00			0.40	7.5YR6/6	橙色			9C	
153	0377	80	B4		X110Y138Ⅳd層	土師器	杯A	13.00			0.50	5YR6/6	橙色			9C	
153	0378	80	B4		X120Y136Ⅳc層	黒色土器	杯			6.40	0.80	10YR7/3	にぶい黄橙色			9C後～10C前	内面黒色処理　[illegible]
153	0379	80	B4		X92Y133Ⅳe層	黒色土器	杯A				1.10	10YR8/3	浅黄橙色			9C	
153	0380	80	B4		X108Y138Ⅳd層	黒色土器	杯B				0.90	10YR8/3	浅黄橙色			9C	高台貼付
153	0381	80	B4		X113Y137Ⅳd層	黒色土器	椀				0.70	2.5Y7/3	浅黄色			10C	内面黒色処理
153	0382	80	B4		X99Y137Ⅳd層	土師器	皿	17.20			0.60	2.5YR5/6	明赤褐色			9C	内外面赤彩　10YR8/3浅黄橙色
153	0383	80	B4		X72Y143Ⅳd層	土師器	杯	17.30	6.20	10.80	0.80	2.5Y5/6	明赤褐色			9C前	内外面赤彩　胎土7.5YR7/3にぶい橙色
153	0384	80	B4		Ⅳd層	土師器	取っ手					7.5YR7/6	橙色				取っ手のみ残存
153	0385	80	B4		X40Y146Ⅱa層		土錘					10YR7/4	にぶい黄橙色				長4.7cm　幅1.7cm　孔径0.4cm　重量10.34g
153	0386	80	B4		X73Y139Ⅰ層		土錘					2.5YR6/6	橙色				幅1.1cm　孔径0.4cm　[illegible]
153	0387	80	B4		X85Y136Ⅳb～c層礫中		土錘					10YR8/2	灰白色				長6.5cm　幅3.1cm　孔径1.0cm　重量25.63g
153	0388	80	B4		X87Y139Ⅳd層		土錘					10YR8/2	灰白色				長4.9cm　幅3.4cm　孔径1.1cm　重量35.69g
153	0389	81	B4		X113Y138Ⅳd層	土師器	甕	13.00			0.50	10YR7/3	にぶい黄橙色				口縁部一部煤付着
153	0390	81	B4		X86Y142Ⅳd層	土師器	甕	17.20			0.70	10YR7/4	にぶい黄橙色			9C	カキ目
153	0391	81	B4		X89Y140Ⅳc層	土師器	甕	17.00			0.70	10YR8/4	浅黄橙色			9C	体部内外にクロナデ仕上げ（カキ目なし）　外面煤付着
153	0392	81	B4		X110Y137Ⅳd層	土師器	甕	20.40			0.80	10YR8/2	灰白色				
153	0393	81	B4		X110Y137Ⅳd層	土師器	甕	29.60			0.70	10YR7/3	にぶい黄橙色				カキ目
153	0394	81	B4		X95Y136Ⅳa層	土師器	甕				0.70	7.5YR7/6	橙色				外面煤付着
153	0395	81	B4		X98Y140Ⅳd層	土師器	甕				0.90	2.5YR7/6	橙色				

第11表 土器・陶磁器一覧（6）

挿図	挿図番号	図版	地区	遺構番号	出土地点	種類	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	器厚(cm)	色調		釉調	時期	備考
133	0396	80	B4		X89～92Y133～141Ⅳc層	土師器	[illegible]				0.70	10YR7/3	にぶい黄橙色			
133	0397	81	B4		X96Y138Ⅳd層	土師器	[illegible]				0.90	5YR6/4	にぶい橙色			外面煤付着
133	0398	81	B4		X100Y137Ⅳe層	土師器	[illegible]				0.70	10YR7/6	明黄褐色			
134	0399	79	B4		X98Y146Ⅳb層	須恵器	蓋	16.00	2.60		0.70	5Y6/1	灰色		8C後～	
134	0400	75	B4		X88Y139Ⅳd層	須恵器	[illegible]	15.90	2.80		1.00	5Y6/1	灰色		8C	
134	0401	79	B4		X91Y140Ⅳd～e層 №22	須恵器	[illegible]	15.70	3.10		1.30	2.5Y7/3	浅黄色			
134	0402	79	B4		X95Y134Ⅳd層	須恵器	[illegible]	15.40	2.30		0.90	N6/0	灰色		8C	
134	0403	79	B4		X94Y133Ⅳd層	須恵器	[illegible]	13.30	3.00		1.00	10YR8/2	灰黄褐色		8C	
134	0404	79	B4		№75	須恵器	[illegible]	15.80	3.30		0.80	N6/0	灰色		8C	
134	0405	75	B4		X98Y140Ⅳb層	須恵器	[illegible]	15.70			1.00	N7/0	灰白色		8C	
134	0406	75	B4		X95Y132Ⅳd層	須恵器	[illegible]	14.90			0.70	2.5Y6/1	黄灰色		8C	
134	0407	75	B4		X100Y138Ⅳc層	須恵器	[illegible]	17.50			0.60	N6/0	灰色			
134	0408	75	B4		X83Y135Ⅳa層	須恵器	[illegible]	15.30			0.90	N7/0	灰白色		8C	
134	0409	75	B4		X95Y132Ⅳd層	須恵器	[illegible]	15.30			0.60	N6/0	灰色		9C	
134	0410	75	B4		X120Y135Ⅳd層	須恵器	[illegible]	11.60			0.70	N7/0	灰白色		9C末～10C前	
134	0411	76	B4		X100Y138Ⅳc層	須恵器	[illegible]	12.30			0.60	N5/0	灰色		9C末～10C前	
134	0412	76	B4		X91Y133Ⅳd層	須恵器	[illegible]	12.00			0.60	10Y5/1	灰色		9C末～10C前	
134	0413	76	B4		X108Y136Ⅳd層	須恵器	[illegible]	12.60			0.60	N6/0	灰色		9C末～10C前	
134	0414	79	B4		X113Y137Ⅳb層	須恵器	[illegible]	13.00			0.60	5Y7/1	灰白色		9C末～10C前	
134	0415	76	B4		X112Y138Ⅳd層	須恵器	[illegible]	12.00			0.70	N6/0	灰色		9C末～10C前	
134	0416	76	B4		X109Y135Ⅳe層	須恵器	[illegible]	12.20			0.80	5Y6/1	灰色		9C後～	
134	0417	80	B4		X100Y138Ⅳd層	須恵器	[illegible]	12.80			0.60	N7/0	灰白色		9C末～10C前	
134	0418	80	B4		X100Y136Ⅳd層	須恵器	[illegible]	12.60			0.60	N6/1	灰色		9C末～10C前	
134	0419	79	B4		X108Y138Ⅳc層	須恵器	[illegible]	13.50	2.30		0.70	5Y7/1	灰白色		9C	
134	0420		B4		X116Y136Ⅳb層	須恵器	[illegible]	14.50			0.80	N4/0	灰色		9C末～10C前	
134	0421	80	B4		X89Y141Ⅳe層	須恵器	[illegible]	15.30	3.15		0.90	7.5Y6/1	灰色		8C前	器名「[illegible]」?
134	0422	76	B4		X98Y138Ⅳb層	須恵器	蓋	15.30			0.80	5Y6/1	灰色		8C	内面に「[illegible]」のヘラ記号有り
134	0423	80	B4		X109Y138Ⅳc層	須恵器	[illegible]	12.50	2.80		0.60	N6/0	灰色		10C	[illegible]
134	0424	75	B4		X86Y142Ⅳd層	須恵器	坏A	11.90	3.10	10.00	0.60	2.5Y6/1	黄灰色		8C	外面に墨痕らしきもの有り
134	0425	76	B4		X87Y135Ⅳb～c層	須恵器	坏A	13.00	3.40	8.60	0.60	5YR6/4	にぶい橙色		8C	
134	0426	76	B4		X85Y131Ⅳd層	須恵器	[illegible]	12.70	3.10	8.60	0.60	5YR8/3	にぶい淡橙色			
134	0427	76	B4		X86Y142Ⅳd層	須恵器	坏A	13.40	3.40	9.50	0.80	N7/0	灰白色		8C	
134	0428	80	B4		X86Y141Ⅳd層	須恵器	坏A	13.90	3.70	9.90	0.90	N6/0	灰色		8C	
134	0429	78	B4		X94Y134Ⅳe層	須恵器	坏A	12.40	3.20	9.60	0.70	5Y7/1	灰白色		8C	
134	0430	76	B4		X86Y141Ⅳd層	須恵器	坏A	12.00	3.00	8.30	0.60	5YR6/1	褐灰色		8C～	
134	0431	76	B4		X72Y143Ⅳd層	須恵器	坏A	12.90	3.50	9.40	0.90	7.5YR6/1	褐灰色		8C～	
134	0432	76	B4		X100Y130Ⅳc層	須恵器	坏	12.40	3.40	8.40	0.80	2.5Y7/1	灰白色		8C前～	
134	0433	73	B4		X89Y139Ⅳd層	須恵器	坏A	11.10	3.40	8.10	0.70	7.5Y6/1	灰色		8C	
134	0434	76	B4		X83Y142Ⅳd層	須恵器	坏A	11.50	2.80	8.00	0.60	N6/0	灰色		8C	
134	0435	80	B4		X106Y138Ⅳd層	須恵器	坏A	12.90	3.10	9.40	0.80	N7/0	灰白色			
134	0436		B4		X86Y137Ⅳb層	須恵器	坏A	12.00	2.80	8.20	0.50	2.5Y8/2	灰白色			
134	0437	73	B4		X46Y148Ⅳb層	須恵器	坏A	12.50	2.90	8.70	0.50	2.5Y8/2	灰白色		8C	
134	0438	76	B4		X106Y138Ⅳd層	須恵器	坏A	12.60	3.10	8.40	0.50	5Y8/1	灰白色		8C	
134	0439	75	B4		X97Y137Ⅳd層	須恵器	坏A	14.00	3.40	10.40	0.60	7.5YR7/1	明褐灰色		8C	
134	0440	80	B4		包含層№17	須恵器	坏A	13.00	2.90	9.50	0.50	2.5Y5/1	黄灰色		8C	内底面一部剥れあり
134	0441	76	B4		X88Y142Ⅳc層	須恵器	坏A	14.50	3.00	11.50	0.70	10YR6/4	にぶい黄橙色		8C	
134	0442	76	B4		X113Y136Ⅳd層	須恵器	坏A	12.00			0.60	5Y7/1	灰白色			
134	0443	78	B4		X113Y136	須恵器	坏A	11.10	3.00	7.00	0.50	N7/0	灰白色		9C	
134	0444	80	B4		X113Y137Ⅳd層	須恵器	坏A	12.00	3.30	7.80	0.60	5Y8/1	灰白色		9C	
134	0445	76	B4		X79Y140Ⅳd層	須恵器	坏A	12.40	3.80	6.80	0.50	N6/0	灰色		9C	
134	0446	76	B4		X113Y137Ⅳ層	須恵器	坏A	11.80	3.30	6.90	0.40	5Y7/1	灰白色		9C	
134	0447	81	B4		X106Y138Ⅳc層	須恵器	坏A	12.60	3.20	7.30	0.50	5Y7/1	灰白色		9C	
134	0448	76	B4		X113Y137Ⅳd層	須恵器	坏A	11.60	3.30	7.50	0.70	N7/0	灰白色		9C	
134	0449	75	B4		X96Y138Ⅳb層	須恵器	[illegible]			7.20	0.80	N7/0	灰白色		9C後～	
134	0450	77	B4		X113Y138Ⅳd層	須恵器	[illegible]			7.80	0.90	5Y7/1	灰白色		9C後	
134	0451	77	B4		X116Y137Ⅳd層	須恵器	[illegible]	13.00	2.70	7.00		N6/0	灰色		9C後～	
134	0452	78	B4		X87Y134Ⅲb～c層	須恵器	[illegible]	14.40			0.80	10Y7/1	灰白色		8C	天井部外面に自然釉 外面に「十」字のヘラ記号
134	0453	77	B4		X89Y144Ⅳd層	須恵器	坏B	11.90	3.30	8.80	0.80	N6/0	灰色		8C	
134	0454	77	B4		X88Y141Ⅳb～c層	須恵器	坏B	13.60	4.00	8.50	0.50	2.5GY7/2	明オリーブ灰色		8C	
134	0455	77	B4		[illegible]～d層	須恵器	坏B	14.00	3.70	10.00	0.80	2.5Y7/1	灰白色			
134	0456	77	B4		X85Y146Ⅲc層	須恵器	坏B	14.40	3.70	10.40	0.80	10Y7/1	灰白色		8C	
134	0457	77	B4			須恵器	坏B	14.00	3.80	9.50	0.60	5Y7/1	灰白色		8C	
134	0458	81	B4		X94Y138落ち込み 一括	須恵器	坏	14.50	3.90	9.10	0.70	7.5Y6/1	灰色			
134	0459	77	B4		X36Y142Ⅳc層	須恵器	坏B	12.80	2.90	8.60	0.80	7.5Y5/1	灰色		8C前	
134	0460	81	B4	SD0317	X102Y131Ⅳc層	須恵器	坏B	14.00	3.50	8.80	0.60	N6/0	灰色		8C	
134	0461	77	B4		X92Y142Ⅳc層	須恵器	坏B	14.00	4.00	9.20	0.60	5Y7/1	灰白色			
134	0462	77	B4		X113Y136Ⅳd層	須恵器	坏B			8.10	0.60	5Y7/1	灰白色		8C	外底面墨書有り「[illegible]」か?
135	0463	81	B4		X79Y140Ⅳb層	須恵器	坏B	15.10	6.10	8.40	0.70	N6/0	灰色		8C	
135	0464	77	B4		X67Y142Ⅳc層	須恵器	坏B	14.60	4.70	9.80	0.50	N7/0	灰白色		8C	
135	0465	81	B4		X86Y140Ⅳc層	須恵器	坏B	12.70	4.30	7.50	0.90	10BG6/1	青灰色		8C	
135	0466	81	B4		X84Y136Ⅳa層覆土中	須恵器	坏	12.30	3.60	8.10	0.70	N6/0	灰色		8C後	
135	0467	81	B4		X89Y142Ⅳc層	須恵器	坏B	13.10	3.90	8.60	0.50	5Y6/1	灰色		8C	
135	0468	81	B4		X83Y142Ⅳc層	須恵器	坏B	12.00	3.50	7.60	0.70	10YR6/2	灰黄褐色		8C	
135	0469	81	B4		X83Y142Ⅳb層	須恵器	坏B	11.00	3.00	7.50	0.40	N6/0	灰色		8C	内面灰かぶり
135	0470	81	B4		X85Y142Ⅳc層	須恵器	坏B	17.60	6.60	10.80	0.70	N6/0	灰色			
135	0471	77	B4		X82Y141Ⅳc層	須恵器	坏B	11.30	4.10	8.00	0.80	10YR7/3	にぶい黄橙色			
135	0472	81	B4		X94Y132Ⅳd層	須恵器	坏B	11.10	4.10	7.10	0.80	N7/0	灰白色		8C	
135	0473	77	B4		X111Y137Ⅳc層	須恵器	坏B	10.80	4.40	6.80	0.40	N6/0	灰色		8C	
135	0474	81	B4		X89Y136	須恵器	坏B	10.00	3.50	6.60	0.60	5PB5/1	明青灰色		8C	

第11表　土器・陶磁器一覧（7）

挿図	挿図番号	図版	地区	遺構番号	出土地点	種類	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	器厚(cm)	色調		釉調		時期	備考
155	0475	77	B4		X65Y134Ⅳa層	須恵器	杯B	10.60	3.30	7.60	0.50	N6/0	灰色				底部外面に「ス」字状のヘラ記号
155	0476	81	B4		X83Y135Ⅳa層	須恵器	杯B	17.80	6.00	11.00	0.50	5Y6/1	灰色			9C	
155	0477	82	B4		X113Y136Ⅳd層	須恵器	杯	12.70	6.00	8.40	0.80	7.5Y6/1	灰色				墨書
155	0478	77	B4		X113Y138Ⅳd層	須恵器	杯B	12.20	4.40	6.50	0.40	N6/0	灰色			9C	
155	0479	81	B4		X113Y135Ⅳd層	須恵器	杯B	12.60	5.30	6.80	0.60	N6/0	灰色			9C	
155	0480	75	B4		X108Y136Ⅳd層	須恵器	杯B	13.00	4.40	5.90	0.50	5PB6/1	青灰色				
155	0481	77	B4			須恵器	杯	13.00			0.50	N6/0	灰色			9C	
155	0482	77	B4		X103Y135Ⅳd層	須恵器	杯B	10.30	3.80	6.50	0.70	2.5Y8/1	灰白色			9C	墨書土器(判読不明)　字形不明
155	0483	77	B4		X113Y138Ⅳd層	須恵器	杯B	11.80	4.80	6.30	0.50	N6/0	灰色			9C	
155	0484	82	B4		X113Y138Ⅳd層	須恵器	杯B	14.50	5.80	9.20	1.00	N7/0	灰白色			9C	
155	0485	77	B4		X105Y137	須恵器	杯B	13.50	5.60	8.10	0.70	5Y7/1	灰白色			9C	
155	0486	82	B4		X113Y137Ⅳd層	須恵器	杯B	14.20	6.30	7.50	0.70	N7/0	灰白色			9C	
155	0487	77	B4		X89Y142Ⅳd層	須恵器	杯B	15.80	7.90	8.70	1.10	7.5Y7/1	灰白色			9C	
155	0488	78	B4		X113Y138Ⅳd層	須恵器	壺	14.80			0.60	5Y6/1	灰色				
155	0489	78	B4		X85Y134Ⅳa層	須恵器	広口瓶				1.10	N7/0	灰白色			9C	
155	0490	78	B4		X96Y142Ⅳb～c層	須恵器	双耳瓶	12.20			0.50	2.5Y5/2	暗灰黄色			9C後～	
155	0491	78	B4		X90Y135Ⅳb～c層	須恵器	双耳瓶				1.10	7.5Y7/1	灰白色				自然釉
155	0492	78	B4		X86Y139Ⅳb層	須恵器	双耳瓶				1.30	7.5Y7/1	灰白色			9C中～後	
155	0493	78	B4		トレンチ内	須恵器	壺	10.40	6.90		0.70	5Y7/1	灰色				自然釉
155	0494	78	B4		X106Y138Ⅳc層	須恵器	壺	10.20			0.70	5Y6/1	灰色				自然釉
155	0495	82	B4		X111Y137Ⅳd層	須恵器	瓶				1.30	2.5Y7/1	灰白色				自然釉
155	0496	78	B4		X92Y142	須恵器	壺				1.00	N7/0	灰白色			9C	外面に自然釉
155	0497	77	B4		X92Y136Ⅳc層	須恵器	四耳杯				1.20	2.5Y5/1	黄灰色			9C～	
155	0498		B4		X84Y137Ⅳa層	須恵器	横瓶				1.20	2.5Y6/1	黄灰色			9C	
155	0499	78	B4		X50Y145Ⅳd層	須恵器	甕	41.00			1.00	5Y6/1	灰色				
155	0500	83	B4		X107Y138Ⅳc層	土師器	鍋	35.60			0.80	7.5YR7/6	橙色				
155	0501	73	B4		X107Y138Ⅳb層	土師器	鍋	40.00			0.90	10YR7/3	にぶい黄橙色			9C	外面煤付着
156	0502	82	B4		X113Y138Ⅳd層	須恵器	瓦	9.80			1.30	5Y7/1	灰白色			9C～	
156	0503	78	B4		X96Y134Ⅳc～d層	須恵器	突帯付四耳壺				0.80	7.5YR7/1	明褐灰色			9C	
156	0504	78	B4		X98Y137Ⅳb層	須恵器	壺				1.00	2.5Y6/2	灰黄色				胴部のみ灰釉化　断面は明赤褐色を呈する　外面に波状文
156	0505	78	B4		X84Y152Ⅳa層	須恵器	甕				1.30	5Y6/1	灰色				頸部上半に波状文　体部外面にタタキ目の痕跡
156	0506	78	B4		X98Y138Ⅳd層	須恵器	鉢A	23.80			0.80	N6/0	灰色				
156	0507	78	B4		X85Y135Ⅳc層	須恵器	鉢	22.00			1.10	5Y6/1	灰色				カキ目
156	0508	78	B4		X108Y138Ⅳd層	須恵器	甕	23.00			0.90	N5/0	灰色				外面に自然釉付着
156	0509	78	B4		X92Y134Ⅳd層	須恵器	甕	25.10			1.30	2.5Y6/1	黄灰色				
156	0510	82	B4S		X37Y151Ⅳa層	須恵器	杯蓋	14.00			0.80	5B6/1	青灰色				
156	0511	82	B4S		X37Y130Ⅳa層	須恵器	杯	11.80	3.10	7.50	0.70	7.5Y6/1	灰色				
156	0512	82	B4S		X40Y147Ⅳa層	須恵器	杯	11.60	4.40	7.00	0.70	10Y6/1	灰色				
156	0513	82	B4S		X37Y133Ⅳa層	須恵器	杯	11.70	4.50	6.70	0.60	5GY6/1	オリーブ灰色				
156	0514	82	B4S	SD2679	X36Y153	須恵器	杯	11.20	3.60	8.20	0.50	7.5Y6/1	灰色				
156	0515	82	B4S		X44Y149	須恵器	短頸壺	9.20			0.80	7.5Y5/1	灰色			8C～9C	自然釉が厚くかかっている
156	0516	82	B4S	SD3950			土錘					10YR8/2	灰白色				長5.1 幅3.9 孔径1.3 重量30.3g
156	0517	83	B6		X98Y187Ⅲ層下層	須恵器	蓋				0.70	7.5Y6/1	灰色				
156	0518	83	B6	SP4024		須恵器	蓋	10.80			1.10	7.5YR6/1	褐灰色				
156	0519	83	B6	SP4348		須恵器	皿	13.10	1.70		0.60	5Y6/1	灰色			9C	
156	0520	84	B6		X100Y183Ⅳ層下層	土師器	杯A	11.60	3.60	5.30	0.40	7.5YR7/6	橙色			9C	
156	0521	85	B6		X96Y188Ⅲ層下層	赤彩土師器	杯A	11.00	4.30	5.10	0.40	7.5YR8/6	浅黄橙色			9C	回転糸切
156	0522	84	B6		X100Y183Ⅳ層下層	赤彩土師器	杯A	12.20	4.10	5.30	0.50	5YR6/6	橙色			9C	回転糸切
156	0523	84	B6		X96Y189Ⅲ層下層	赤彩土師器	杯A	12.00			0.30	10YR8/6	黄橙色			9C	赤彩痕跡
156	0524	84	B6		X100Y190Ⅰ層(排土)	赤彩土師器	杯A	12.80			0.50	10YR8/6	黄橙色			9C	
156	0525	84	B6		X98Y186Ⅲ層下層	赤彩土師器	杯A			5.20	0.40	10YR8/3	浅黄橙色			9C	赤彩痕跡有　回転糸切
156	0526	84	B6		X98Y186Ⅲ層下層	土師器	杯			5.40	0.50	7.5YR8/6	浅黄橙色				
156	0527	84	B6		X106Y185Ⅲ層下層	土師器	杯A			5.40	0.30	7.5YR7/6	橙色			9C	回転糸切
156	0528	83	B6		X104Y190Ⅰ層(排土)	須恵器	杯A	11.60		8.20	0.50	10Y6/1	灰色				
156	0529	83	B6	SK4120		須恵器	杯A	14.00	2.90	10.80	0.40	5Y6/1	灰色			9C	
156	0530	83	B6	SK4405		須恵器	杯B			7.20	0.50	7.5Y5/1	灰色				
156	0531	83	B6		X104Y190Ⅰ層(表土)	須恵器	杯B			6.60	0.40	5B6/1	青灰色				
156	0532	83	B6		X102Y184Ⅰ層(耕作土)	須恵器	杯B			7.30		5Y6/1	灰色				
156	0533	85	B6	SD4333		須恵器	杯B			8.70	0.40	2.5Y7/1	灰白色			9C	
156	0534	83	B6	SD4008	2区	須恵器	杯B	16.40	4.00	11.80	0.20	7.5Y6/1	灰色				
156	0535	83	B6	SK4124		土師器	土錘					2.5Y8/2	灰白色				長6.0cm　幅2.9cm　孔径1.2cm　重量35.1g　下方に焼成時の黒斑　水流による表面摩滅
156	0536	83	B6		X101Y186Ⅲ層下層	土師器	土錘					10YR7/6	明黄褐色				長6.3cm　幅3.0cm　孔径1.2cm　重量48.0g　表面焼成時の黒斑残る
156	0537	83	B6		X105Y187Ⅲ層下層	土師器	土錘					10YR8/4	浅黄橙色				長4.3cm　幅4.0cm　孔径1.4cm　重量38.4g　水流による表面摩滅有　両端成形時の粘土のまくれ
156	0538	83	B6		X99Y186Ⅲ層下層	土師器	土錘					10YR7/3	にぶい黄橙色				長4.3cm　幅5.2cm　孔径1.4cm　重量65.9g　水流による表面摩滅
156	0539	83	B6			土師器	土錘					10YR8/6	黄橙色				長5.3cm　幅4.3cm　孔径1.4cm　重量59.9g　水流による表面摩滅有　片面成形時の粘土の輪状痕跡
156	0540	83	B6		X95Y187攪乱	土師器	土錘					10YR8/4	浅黄橙色				長6.3cm　幅4.7cm　孔径1.7cm　重量104.9g　水流による表面摩滅有
156	0541	83	B6	SD4008	7区	土師器	土錘					10YR7/3	にぶい黄橙色				長6.4cm　幅4.4cm　孔径1.4cm　重量110.1g　水流による表面摩滅
156	0542	83	B6		X100Y183Ⅳc層下層	土師器	土錘					7.5YR8/6	浅黄橙色				長6.3cm　幅4.6cm　孔径1.6cm　重量86.2g　上下端使用による摩滅で一部欠　水流による表面摩滅
156	0543	83	B6		X101Y186Ⅲ層下層	土師器	土錘					7.5YR8/6	浅黄橙色				長6.1cm　幅4.7cm　孔径1.4cm　重量99.5g　表面水流による摩滅　成形時の粘土痕有
156	0544	83	B6		X97Y190Ⅲ層	土師器	土錘					7.5YR8/6	浅黄橙色				長6.0cm　幅4.3cm　孔径1.3cm　重量93.8g　外面成形時の粘土付着　水流による表面摩滅有
156	0545	84	B6	SD4217	1区	土師器	小形甕	11.20			0.60	10YR7/4	にぶい黄橙色				回転糸切
156	0546		B6		X100Y188Ⅲ層下層	土師器	小甕			5.60	0.60	7.5YR8/4	浅黄橙色				回転糸切
156	0547		B6		X103Y190Ⅲ層下層	土師器	甕			7.80	1.30	7.5YR7/6	橙色				カキ目
156	0548	84	B6		X117Y183Ⅰ層	土師器	甕	33.80			0.70	10YR7/3	にぶい黄橙色			9C	
156	0549	84	B6		X103Y188Ⅲ層下層	土師器	甕	28.00			0.80	10YR7/4	にぶい黄橙色				カキ目
156	0550	84	B6		X103Y188Ⅲ層下層	土師器	鍋	36.00			0.80	10YR7/3	にぶい黄橙色				カキ目
156	0551	84	B6		X105Y190Ⅲ層下層	土師器	鍋	40.00			0.70	10YR7/4	にぶい黄橙色				
157	0601	58	A2	SX4502・SD4368	X75Y78	越中瀬戸	皿	11.60	2.60	4.80	1.10	2.5Y6/2	灰黄色	5Y6/4	オリーブ黄色	16末～17C	内部に印花文あり
157	0602	58	A2	SX4502	X86Y78	越中瀬戸	皿	10.80	2.60	4.00	0.80	7.5YR7/6	橙色	10YR4/1	褐灰色		

第11表 土器・陶磁器一覧 (8)

挿図	挿図番号	図版	地区	遺構番号	出土地点	種類	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	器厚(cm)	色調		釉調		時期	備考
157	0603	58	A2	SX4592		越中瀬戸	皿	11.00			0.40	7.5YR7/3	にぶい橙色	2.5YR4/1	赤灰色		
157	0604	58	A2	SX4592·SR4547		越中瀬戸	鉢	10.50	3.60	4.70	1.00	5Y6/1	灰色	7.5YR2/2	黒褐色		あめ釉
157	0605	58	A2	SX4592		越中瀬戸	天目茶碗	10.00		6.00	0.80	2.5Y7/2	灰黄色	7.5YR2/1	黒色		X73Y75と接合
157	0606	58	A2	SX4592	X78Y76	越中瀬戸	擂鉢	28.80			0.90	10YR7/1	灰白色	7.5YR4/1	褐灰色		転用
157	0607	58	A2	SX4592	X77Y78	越中瀬戸	鉢	28.60			1.00	10YR7/1	灰白色	2.5Y4/2	暗灰黄色	17C	擂目7条
157	0608	58	A2	SK4528		伊万里	碗	12.60			0.50	5Y7/1	灰白色			17C前半	山辺田窯(1630~1650年)、X74Y78 I層から同種個体が出土している。見込みに草花文(?)の染付の文様あり
157	0609	58	A2	SD4593		越中瀬戸	皿	11.60	2.30	5.20	1.00	10YR7/3	にぶい黄橙色	7.5YR2/3	極暗褐色		
157	0610	58	A2	SX4609		瀬戸美濃か伊万里	丸椀				0.65	10YR7/4	にぶい黄橙色	7.5YR2/3	極暗褐色	17C	
157	0611	58	A2	SX4509		越中瀬戸	皿	11.60	2.20	4.30	1.10	10YR7/3	にぶい黄橙色	7.5YR3/2	黒褐色		X74Y76と接合
157	0612	58	A2	SX4509	X78Y77	越中瀬戸	鉢	28.80			1.30	2.5Y7/3	浅黄色	5YR4/2	灰褐色	17C	X77Y77 I層と接合 擂目8条
157	0613	58	A2	SX4509		越中瀬戸	鉢	30.00			1.20	2.5Y7/3	浅黄色	5R5/1	赤灰色	17C	擂目10条
157	0614	58	A2	SK4525		伊万里	小碗	10.00			0.40	5GY7/1	明オリーブ灰色				
157	0615	58	A2	SK4546		越中瀬戸	皿	10.80			0.50	10YR7/4	にぶい黄橙色	5YR3/1	黒褐色	17C	
157	0616	58	A2	SK4346		越中瀬戸	皿	11.40	2.30	4.30	1.20	10YR7/3	にぶい黄橙色	7YR4/3	にぶい赤褐色		墨書あり
157	0617	58	A2	SK1586		伊万里	皿				0.30	7.5Y7/1	灰白色	10YR8/1	灰白色	17C	染付文(青)
157	0618	58	A2	SX4615		中世土師器	皿	11.00			0.50	10YR7/3	にぶい黄橙色			15C	煤付着
157	0619	58	A2	SE4593		伊万里	丸椀			4.40	1.60	N7/0	灰白色	7.5Y7/1	灰白色	17C中	波文
157	0620	58	A2	SE4547	①	越中瀬戸	碗			4.40	1.10	2.5Y6/2	灰黄色	7.5YR4/4	褐色		
157	0621	58	A2	SD4598	X72Y75	中国青磁	碗	10.20			0.50	7.5Y7/1	灰白色	7.5Y7/2	灰白色	15C後~16C中	
157	0622	58	A2	SD4573		唐津	碗			4.10	1.20	10YR6/2	灰黄褐色	10YR6/3	にぶい黄橙色		
157	0623	58	A2	SK4574		珠洲	甕				2.10	N6/0	灰色				
157	0624	58	A2	SK4574		越中瀬戸	皿	12.00		5.00	1.30	10YR7/3	にぶい黄橙色	10R2/2	極暗赤褐色	17C	
157	0625	58	A2	SK4574		越中瀬戸	皿			4.80	0.90	10YR7/3	にぶい黄橙色	2.5YR7/2	明赤灰色	17C	
157	0626	58	A2	SK4574		珠洲	壺	13.00			1.30	N6/0	灰色				
157	0627	58	A2	SX4509·4574		越前	鉢			11.40	1.50	N6/0	灰色	10R4/4	赤褐色	17C	SK09·74 包含層接合 擂目12条
157	0628	58	A2	SD4301	X73Y68	中世土師器	皿	9.50	2.10		0.70	2.5Y6/2	灰黄色				
157	0629	58	A2	SD4301	X77Y76	中世土師器	皿	9.00			0.30	2.5Y8/2	灰白色			15C	
157	0630	58	A2	SD4301	X76Y72	越前	擂鉢				1.20	10YR7/3	にぶい黄橙色			16末	擂目10条 外面煤付着
157	0631	58	A2	SD4601		中世土師器	皿	11.20			0.50	2.5Y7/2	灰黄色			15C	
157	0632	58	A2	SX4602		珠洲	鉢				1.90	2.5Y7/2	灰黄色				有溝
157	0633	58	A2	SX4602		珠洲	鉢	27.00			1.60	7.5Y3/1	灰色				擂目8条 打痕
157	0634	58	A2		X71Y75 I層	伊万里	蓋	9.30			0.50	7.5Y8/1	灰白色	2.5GY7/1	オリーブ灰色		
157	0635	58	A2		X76Y79 下層	中世土師器	皿	10.20			0.40	2.5Y7/2	灰黄色				
157	0636	58	A2		X71Y77 下層	中世土師器	皿	11.80			0.30	2.5Y7/1	灰白色			15C	
157	0637	58	A2		X76Y79 下層	中世土師器	皿	12.00			0.30	2.5Y8/2	灰白色			15C	
157	0638	58	A2		X76Y70	中世土師器	皿	14.00			0.50	2.5Y7/1	灰白色			16末~17C	内面煤付着
157	0639	58	A2		X75Y76 I層	越中瀬戸	皿	10.30	3.50	4.20	1.30	2.5Y6/2	灰黄色	10YR3/4	暗褐色		
157	0640	59	A2		X74Y78 I層	越中瀬戸	皿	11.10	3.00	5.00	0.80	2.5Y7/2	灰黄色	5Y6/3	オリーブ黄色	16末~17C	内面ロクロ目 内面底に目跡あり
157	0641	58	A2		X70Y76 I層	越中瀬戸	皿			4.50	1.00	2.5Y7/1	灰白色	10YR8/1	灰白色	16末~17C	印花文あり
157	0642	58	A2		X77Y77 I層	越中瀬戸	皿	11.40	3.50	4.50	1.00	2.5Y7/2	灰黄色	7.5YR3/4	暗褐色	17C	
157	0643	59	A2	SD4501	X70Y76	越中瀬戸	皿	10.30	2.40	4.40	1.20	7.5Y7/1	灰白色	5Y5/1	灰オリーブ色		
157	0644	58	A2		X73Y77 I層	越中瀬戸	擂鉢				0.70	7.5YR8/4	浅黄橙色	7.5YR5/2	灰褐色		
157	0645	58	A2		X73Y69 II層	越中瀬戸	天目茶碗	20.00			0.40	10YR6/1	褐灰色	7.5YR3/3	暗褐色	17末	
157	0646	58	A2		X72Y75 I層	珠洲	擂鉢				1.40	10Y5/1	灰色				文字
157	0647	58	A2		X77Y78 II層	越中瀬戸	火鉢	100.00			0.60	7.5YR8/1	灰白色	5YR3/3	暗赤褐色	17C	灰釉の上から鉄釉で彩色
158	0648	59	B1	SD113	①	中世土師器	皿	8.50	1.30	3.00	1.00	5YR6/6	橙色			12C後半~13C	
158	0649	60	B1	SD113	②	中世土師器	皿	14.10			0.70	2.5Y7/2	灰黄色			12C後	
158	0650	60	B1	SD113	③	珠洲	甕	30.00			1.30	N5/0	灰色				
158	0651	60	B1	SD113		珠洲	双耳壺				0.90	N6/0	灰色				胴部(肩~胴部)のみ残存
158	0652	60	B1	SD113	I層	中国青磁	碗	16.00			0.50	10Y5/1	灰色	10Y6/1	灰色	13C	龍泉窯系青磁
158	0653	60	B1	SD113		珠洲	擂鉢	23.80			1.10	N3/0	灰色				
158	0654	60	B1	SD119		中国青白磁	合子	4.80	2.00		0.70	2.5Y8/1	灰白色	2.5GY8/1	灰白色		受部付もの
158	0655	60	B1	SK114		中世土師器	皿	14.00			0.60	10YR7/4	にぶい黄橙色			13C前	
158	0656	60	B1	SK114		珠洲	鉢	22.10			1.30	2.5Y8/2	灰白色				
158	0657	60	B1	SE115		中国青磁	碗	16.30			0.40	10Y7/1	灰白色	5GY7/2	緑みの灰色	12C中~13C	同安窯系
158	0658	60	B1	SE115		珠洲	擂鉢	20.00			0.70	N5/0	灰色				
158	0659	60	B1	SE115		珠洲	壺T種			16.60	1.50	5.5/0	灰色			13C	重ね
158	0660	60	B1		X117Y140 II層	中国白磁	壺	6.00	1.10		0.50	5Y8/1	灰白色	7.5GY7/1	明緑灰色	13C前後	
158	0661	60	B1		X200Y159 I層	中世土師器	皿	8.00			0.50	10YR7/3	にぶい黄橙色				
158	0662	60	B1		X100Y152 I層	中世土師器	皿	8.00			0.60	2.5Y6/3	にぶい黄色			16C	
158	0663	60	B1		X100Y164 I層	中世土師器	皿	8.00			0.50	2.5Y7/1	灰白色			16C	2次焼成を受けたものと思われる
158	0664	60	B1		X201Y162	中世土師器	皿	10.00			0.40	10YR8/3	浅黄橙色				
158	0665	60	B1		X101Y16? II層	中世土師器	灯明皿	10.00			0.40	10YR8/2	灰白色			16C	内外面煤付着
158	0666	60	B1		X101Y160 I層	中世土師器	皿	13.00			0.50	2.5Y8/3	淡黄色			16C	
158	0667	60	B1		X100Y156	中国白磁	碗				0.40	5Y7/1	灰白色	7.5Y6/2	灰オリーブ色		端反りのV類 内面に櫛描文 釉の発色悪く光沢無い
158	0668	60	B1		X130Y144 I層	瀬戸美濃	卸皿	17.00			0.60	2.5Y8/3	淡黄色	2.5Y7/4	浅黄色		
158	0669	60	B1		X118Y140 I層	瀬戸美濃	折縁鉢				0.90	2.5Y8/3	淡黄色	5Y6/3	オリーブ黄色		口縁に二叉のタイプの折縁鉢(大型)
158	0670		B1		X117Y139 I層	珠洲	擂鉢	22.00			1.30	2.5Y5/1	黄灰色				
158	0671	62	B2	SK653		瀬戸	皿	12.30	3.20	3.60	1.20	10YR5/2	灰黄褐色	10Y5/3	オリーブ灰色	15C	
158	0672	62	B2	SK667·SD729		中世土師器	皿	8.00	1.60		0.40	2.5Y8/3	淡黄色				
158	0673	62	B2	SK667		中世土師器	皿	8.00	1.60		0.60	7.5YR8/4	浅黄橙色				
158	0674	62	B2	SK667		中世土師器	皿	6.20	1.20		0.30	10YR7/3	にぶい黄橙色			15C	
158	0675	62	B2	SK667		中世土師器	皿	8.00	1.50		0.60	10YR7/3	にぶい黄橙色				内面煤付着
158	0676	62	B2	SK667		中世土師器	皿	8.30	1.50		0.45	2.5Y7/2	灰黄色			15C	
158	0677	63	B2	SK667		越中瀬戸	皿			5.10	0.80	10YR8/4	浅黄橙色	7.5YR3/3	暗褐色		
158	0678	62	B2	SK667		中世土師器	皿	9.00			0.50	2.5Y8/2	灰白色				外面煤付着
158	0679	62	B2	SK667		中世土師器	皿	8.90	1.00	7.10	0.50	10YR8/3	浅黄橙色			15C	
158	0680	62	B2	SK667		中世土師器	皿	9.00			0.50	10YR7/3	にぶい黄橙色			15C	
158	0681	62	B2	SK667		中世土師器	皿	12.00			0.50	10YR8/2	灰白色			16C中	

第11表　土器・陶磁器一覧（9）

挿図	遺物番号	図版	地区	遺構番号	出土地点	種類	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	器厚(cm)	色調		釉調		時期	備考
158	0682	62	B2	SK667	1層	中世土師器	皿	13.00			0.50	2.5Y8/2	灰白色			14C	
158	0683		B2	SK667		中国青磁	碗				0.50	7.5Y6/1	灰色	10GY6/1	緑灰色	14C中～15C前	蓮弁?
158	0684	62	B2	SD675		中世土師器	皿	8.10			0.50	10YR7/3	にぶい黄橙色			15C	
158	0685	62	B2	SD670	X82Y180	中世土師器	皿	12.80			0.50	2.5Y8/2	灰白色			16C中	
158	0686	62	B2	SD619		中世土師器	皿	15.60	3.70	8.40	1.20	7.5YR7/6	橙色			13C	
158	0687	62	B2	SK661		中世土師器	小皿	7.00	1.20		0.50	7.5YR8/3	浅黄橙色				
158	0688	62	B2	SK662		中世土師器	皿	8.00	2.00		0.50	7.5YR8/3	浅黄橙色				2/3片面煤付着
158	0689	62	B2	SK702		中世土師器	皿	6.10	1.40	5.40	0.50	10YR8/3	浅黄橙色			14C中	
158	0690	62	B2	SK741		中世土師器	皿	8.10			0.60	2.5Y8/1	灰白色			15C後～16C前	
158	0691	62	B2	SK749		中世土師器	皿	8.00	1.80		0.50	10YR8/3	浅黄橙色			15C末～16C前	
158	0692	63	B2	SK778		中国青磁	碗			6.00	1.30	10YR7/2	にぶい黄橙色	2.5Y6/3	にぶい黄色	16C?	
158	0693	63	B2	SK728		珠洲	擂鉢			13.60	3.10	5Y6/1	灰色				2H1
158	0694	63	B2	SE738		八尾	甕	20.00			1.30	10YR5/3	にぶい黄褐色				
159	0695	62	B2	SD686	X96Y184	中世土師器	皿	7.60	1.20		0.50	7.5YR7/4	にぶい橙色			13C	
159	0696	62	B2	SD686	X96Y184	中世土師器	皿	8.10			0.50	10YR7/3	にぶい黄橙色			13C	
159	0697	61	B2	SD686	X97Y178	加賀	鉢			6.00	0.80	N5/0	灰色				
159	0698	63	B2	SD701	X74Y178	珠洲	壺				2.00	5GY4/1	暗オリーブ灰色			13C中	自然釉
159	0699	62	B2	SD701	X177Y178	中世土師器	皿	8.10	1.10	7.40	0.50	10YR6/2	灰黄褐色			13C	
159	0700	62	B2	SD701	X88Y181	中世土師器	皿	9.40	1.00		0.50	10YR7/3	にぶい黄橙色			14C～15C	
159	0701	62	B2	SD701	X83Y181	中世土師器	皿	11.80			0.40	2.5Y7/3	浅黄色			13C	
159	0702	62	B2	SD701	X80Y181	中世土師器	皿	8.20			0.70	10YR7/3	にぶい黄橙色			15C末～16C前	
159	0703	62	B2	SD701		中世土師器	皿	8.40	1.50		0.40	10YR7/3	にぶい黄橙色				
159	0704	62	B2	SD701	X90Y185	中世土師器	皿	9.10			0.30	10YR7/4	にぶい黄橙色			13C	
159	0705	62	B2	SD701	X76Y176	中世土師器	皿	14.00			0.50	10YR5/3	にぶい黄褐色			12C?	
159	0706	63	B2	SD701	X88Y181	中国白磁	碗	16.90			0.80	10Y8/1	灰白色	2.5GY7/1	明オリーブ灰色	12C後～13C前	
159	0707	63	B2	SD701	X74Y178	中国青磁	碗			6.40	1.70	10Y6/1	灰色	7.5Y5/2	灰オリーブ色	13C中～13C末	
159	0708	63	B2	SD701	X83Y181	珠洲	甕			13.00	2.10	5Y5/1	灰色				
159	0709	62	B2	SD717		中世土師器	皿	3.90	1.00		0.40	7.5YR7/3	にぶい橙色			12C後	
159	0710	62	B2	SD717		中世土師器	小皿	8.00	1.50		0.50	10YR7/4	にぶい黄橙色				
159	0711	62	B2	SD717		中世土師器	皿	10.00			0.40	10YR8/3	浅黄橙色			13C	
159	0712	62	B2	SD717		中世土師器	皿	12.20			0.60	10YR7/3	にぶい黄橙色			13C末～14C前	
159	0713	62	B2		X86Y162Ⅱa層	中世土師器	皿	6.60	1.00	5.40	0.50	2.5Y7/3	浅黄色			15C後～16C前	底部に製作上の指押しの痕あり
159	0714	62	B2		炭層検出	中世土師器	皿	8.00	1.30		0.70	2.5Y7/3	浅黄色			13C	
159	0715	62	B2		X97Y181Ⅱ層	中世土師器	皿	8.00			0.50	10YR8/3	浅黄橙色				
159	0716	62	B2		X85Y177Ⅱa層	中世土師器	皿	7.80	1.10	4.40	0.50	10YR7/4	にぶい黄橙色			15C後～16C前	
159	0717	62	B2			中世土師器	皿	8.00			0.50	2.5Y7/2	灰黄色			14C	
159	0718	62	B2		X87Y179Ⅱb層	中世土師器	皿	8.00			0.35	10YR8/3	浅黄橙色				
159	0719	62	B2		X73Y170Ⅱa層	中世土師器	小皿	7.00	1.60		0.65	10YR8/3	浅黄橙色				
159	0720	62	B2		X97Y180Ⅰ層	中世土師器	皿	8.70	1.90		0.60	10YR8/3	浅黄橙色			16C後～	
159	0721	62	B2		X70Y182Ⅰ層	中世土師器	皿	9.50	2.00		0.50	7.5YR7/3	にぶい橙色				
159	0722	62	B2		X102Y173Ⅱ層	中世土師器	皿	10.00			0.60	10YR8/2	灰白色			14C前	
159	0723	62	B2		X82Y179Ⅱb層	中世土師器	皿	10.60			0.70	10YR7/3	にぶい黄橙色				
159	0724	62	B2		X85Y176Ⅱb層	中世土師器	皿	11.50	3.10		0.60	10YR7/3	にぶい黄橙色				
159	0725	62	B2		X85Y180Ⅱ層	中世土師器	皿	8.00	1.10	8.50	0.40	10YR7/4	にぶい黄橙色				
159	0726	62	B2		X80Y175Ⅱa層	中世土師器	皿	11.20			0.40	10YR8/2	灰白色			16C中	
159	0727	62	B2		7トレンチ	中世土師器	皿	10.20			0.30	10YR7/3	にぶい黄橙色			16C後～	
159	0728	62	B2		X96Y185Ⅱ層	中世土師器	小皿	12.00			0.40	10YR6/2	灰黄褐色				
159	0729	60	B1		X97Y181Ⅱ層	中世土師器	小皿	12.00	2.30		0.40	2.5Y8/2	灰白色				
159	0730	60	B1		X98Y148Ⅳd層	中世土師器	小皿(ロクロ)	11.00	3.10		0.70	5YR7/6	橙色				
159	0731	63	B2		X75Y160	中国青磁	碗				1.10	N7/0	灰白色	10Y5/2	オリーブ灰色		鎬蓮弁文
159	0732	63	B2		X90Y188Ⅱ層	中国青磁	碗				0.90	7.5Y7/1	灰白色	10Y5/2	オリーブ灰色	14C前	蓮弁文
159	0733	63	B2		X87Y175Ⅲa層	中国青磁	碗				0.70	N6/0	灰色	7.5Y6/1	灰色	14C?	蓮弁文
159	0734	63	B2		X87Y165Ⅱb層上面層	瀬戸美濃	天目小碗	15.00			0.45	2.5Y8/2	灰白色	5Y6/3	オリーブ黄色		
159	0735	63	B2		X87Y170Ⅱb層上面層	瓦質土器	火鉢				0.90	7.5YR3/1	黒褐色				
159	0736	63	B2		X84Y184Ⅱ層	越中瀬戸	皿			5.20	0.80	10YR7/3	にぶい黄橙色	2.5Y8/1	灰白色		印花文
159	0737	63	B2		X84Y154Ⅰ層	唐津	天目茶碗	12.00			0.70	2.5YR8/3	浅黄色	2.5YR2/1	赤黒色	16C末	
159	0738	63	B2			瀬戸美濃	碗	12.00			0.70	2.5Y7/2	灰黄色	7.5YR2/1	黒色		
159	0739	63	B2		X80Y182Ⅱb層	越中瀬戸	鉢	11.20			0.80	7.5YR7/3	にぶい橙色	5YR4/2	灰褐色		
159	0740	62	B2		X68Y159Ⅰ層	越中瀬戸	香炉			2.80		2.5Y7/3	浅黄色	7.5YR4/2	灰褐色		
159	0741	64	B2		X97Y181Ⅱ層	珠洲	壺	8.80			0.90	10Y5/1	灰色				
159	0742	63	B2		X85Y182Ⅰ層	珠洲	甕				0.90	5Y6/1	灰色			13C前	
159	0743	63	B2		X66Y164Ⅱa層	珠洲	擂鉢	33.00			1.30	2.5Y5/1	黄灰色				
159	0744	63	B2		X77Y178Ⅱ層	珠洲	擂鉢	31.00			1.00	2.5Y6/1	黄灰色				卸目7条
159	0745	63	B2		X90Y183Ⅱ層	珠洲	擂鉢	35.40			0.90	N6/0	灰色				
159	0746	63	B2		X86Y185Ⅰ層	珠洲	擂鉢	30.00			0.90	N5/0	灰色				スリ目12条一単位
159	0747	63	B2		X80Y160Ⅱa層	珠洲	擂鉢	30.00			1.00	N5/0	灰色				卸目7条
159	0748	63	B2		X87Y180Ⅰ層	珠洲	擂鉢			10.00	2.10	N5/0	灰色				スリ目8条一単位
159	0749	63	B2		X84Y184Ⅱa層	越前	擂鉢				1.50	5YR7/6	橙色			16C後	
159	0750	63	B2		X90Y185Ⅱ層	八尾	擂鉢			11.20	2.80	5YR6/3	にぶい橙色				
160	0751	64	B2			珠洲	甕				1.10	N5/0	灰色				海水
160	0752	64	B2		X80Y161Ⅱa層	珠洲	甕				1.70	5B6/1	青灰色			14C	平行
160	0753	64	B2		X87Y186Ⅰ層	珠洲	甕				2.00	N5/0	灰色				
160	0754	64	B2		X84Y181Ⅱc層	珠洲	甕				1.60	2.5Y6/1	黄灰色			13C中～1270年代	自陶
160	0755	64	B2		X66Y164Ⅱc層	珠洲	甕				1.40	N5/0	灰色				
160	0756	63	B2		X87Y175Ⅱa層	珠洲	壺				1.00	10Y6/1	灰色			15C	Ⅴ～Ⅵ期
160	0757	64	B2		X80Y184Ⅱa層	珠洲	壺				1.30	2.5GY6/1	オリーブ灰色				
160	0758	64	B2		X89Y175Ⅱb層	八尾	甕	27.00			1.90	5Y6/1	灰色				自然釉
160	0759	64	B2		X102Y171Ⅱa層	八尾		28.70			1.30	10Y5/2	オリーブ灰色			13C中～後	
160	0760	67	B3	SK1104		中世土師器	皿	6.00	1.40		0.50	2.5Y8/2	灰白色			13C～14C	

第11表　土器・陶磁器一覧（10）

挿図	挿図番号	図版	地区	遺構番号	出土地点	種類	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	器厚(cm)	色調		釉調		時期	備考
160	0761	69	B3	SK1607		中世土師器	小皿	7.00	1.40		0.40	7.5YR7/4	にぶい橙色				
160	0762	69	B3	SK1460	X43Y451	中世土師器	小皿	7.00	1.20		0.30	2.5Y7/2	灰黄色				
160	0763	69	B3	SK1827		中世土師器	小皿	7.60	1.20		0.60	7.5YR7/4	にぶい橙色				
160	0764	69	B3	SK1197		中世土師器	皿	10.00	1.30		0.70	10YR7/4	にぶい黄橙色				
160	0765		B3	SK1918		中世土師器	皿	6.50	1.20		0.60	7.5YR6/4	にぶい橙色			14C	
160	0766	69	B3	SK1936	①	中世土師器	皿	8.30			0.60	10YR4/3	にぶい黄褐色				
160	0767	69	B3	SK1123	X59Y161	中世土師器	小皿	8.70	1.70		0.60	2.5Y7/3	浅黄色				
160	0768	69	B3	SK1691		中世土師器	小皿	7.70	1.60		0.50	10YR8/4	浅黄橙色				
160	0769		B3	SK1817		中世土師器	小皿	7.60	1.40		0.30	2.5Y5/1	黄灰色				
160	0770	69	B3	SK1502		中世土師器	小皿	9.90			0.50	10YR6/3	にぶい黄橙色				
160	0771	69	B3	SK1708		中世土師器	皿	10.60	1.90		0.40	5YR6/6	橙色			15C末～16C前	
160	0772	69	B3	SK1159	上層	中世土師器	皿	9.00	1.95		0.60	2.5Y8/3	淡黄色			15C末～16C前	
160	0773	64	B3	SK1635		中世土師器	皿	8.80	1.80		0.50	2.5Y8/3	淡黄色			16C～	
160	0774	69	B3	SK1369		中世土師器	中皿	11.60			0.40	10YR8/3	浅黄橙色				
160	0775	69	B3	SK1419	X49Y177	中世土師器	大皿	13.50			0.50	10YR7/3	にぶい黄橙色				
160	0776	69	B3	SK1159		中世土師器	大皿	13.90			0.30	10YR7/3	にぶい黄橙色				
160	0777	69	B3	SK1963		中世土師器	皿	12.90			0.50	7.5YR7/6	橙色			16C～	
160	0778		B3	SK1673		中世土師器	皿	12.00			0.70	10YR7/3	にぶい黄橙色				
160	0779	69	B3	SK1644		中世土師器	中皿	12.00	3.00		0.40	10YR6/3	にぶい黄橙色				
160	0780	69	B3	SK1330		中世土師器	皿	10.60	2.50		0.50	2.5YR6/6	橙色				煤痕あり
160	0781	69	B3	SK1460		中世土師器	中皿	12.00	2.90		0.60	10YR7/3	にぶい黄橙色				
160	0782	69	B3	SK1640		中世土師器	大皿	12.60			0.60	10YR8/3	浅黄橙色				
160	0783	69	B3	SK1652		中世土師器	皿	13.20			0.50	2.5Y8/2	灰白色			13C～15C後	
160	0784	66	B3	SX1989		瀬戸	碗	17.00			0.70	5Y8/2	灰白色	5Y6/4	オリーブ黄色		
160	0785	66	B3	SP1626		中国青磁	碗	17.00			0.50	7.5Y6/1	灰色	5GY6/1	オリーブ灰色		蓮弁文
160	0786	66	B3	SK1323	⑦	中国青磁	碗			4.60	1.10	10YR7/1	灰白色	10Y6/2	オリーブ灰色		
160	0787	66	B3	SZ1684		中国白磁	皿	2.90			0.20	2.5Y8/1	灰白色	5Y8/1	灰白色		SX684（骨蔵上土坑）の蓋？を本来使った製品？
160	0788	66	B3	SK1635		中国白磁	皿			6.00	0.40	2.5Y8/1	灰白色	5GY8/1	灰白色		
160	0789	66	B3	SK1371		中国白磁	碗	12.00			0.40	7.5Y8/1	灰白色	7.5GY6/1	明緑灰色		口禿
160	0790	64	B3	SK1694		珠洲	壺				1.20	2.5Y6/1	黄灰色				外面肩部にヘラ刻みの線刻あり
160	0791	66	B3	SK1743		八尾	擂鉢			17.30	2.40	2.5Y7/2	灰黄色				
160	0792	66	B3	SK1420		珠洲	擂鉢			10.20	1.10	5Y6/1	灰色				スリ目8条一単位で内面6分割
160	0793	66	B3	SK1330	上層	珠洲	擂鉢			13.40	2.30	5Y6/1	灰色				拓本
160	0794	65	B3	SK1330		珠洲	擂鉢	29.00			0.80	N5/0	灰色				スリ目は12条一単位
160	0795	65	B3	SK1931	③	珠洲	甕	40.00			1.40	5Y5/1	灰色				
160	0796	65	B3	SK1380		珠洲	甕	43.20			1.70	N3/0	暗灰色				
161	0797	67	B3	SK1104	③	中世土師器	皿	7.00	1.30		0.60	10YR8/3	浅黄橙色			13C～14C	
161	0798	67	B3	SK1104		中世土師器	皿	6.70	1.20		0.50	10YR8/3	浅黄橙色				内外面煤付着
161	0799	67	B3	SK1104		中世土師器	皿	7.50	1.30		0.50	10YR7/4	にぶい黄橙色				
161	0800	67	B3	SK1104		中世土師器	皿	7.80	0.60		0.70	2.5Y8/3	淡黄色			13C～14C	
161	0801	67	B3	SK1104		中世土師器	皿	8.00	1.30		0.50	2.5Y7/3	浅黄色			13C～14C	
161	0802	64	B3	SK1104	①	中世土師器	皿	8.00	1.40		0.50	10YR8/3	浅黄橙色			13C～14C	
161	0803	67	B3	SK1104	①	中世土師器	皿	8.60	1.30		0.50	10YR7/2	にぶい黄橙色			13C～14C	
161	0804	67	B3	SK1104		中世土師器	皿	9.00			0.70	2.5Y7/1	灰白色			13C～14C	
161	0805	67	B3	SK1104		中世土師器	皿	8.30			0.50	2.5Y8/2	灰白色			13C～14C	
161	0806	67	B3	SK1104		中世土師器	皿	9.00	1.30		0.50	10YR7/3	にぶい黄橙色				
161	0807	67	B3	SK1104	①	中世土師器	皿	9.50			0.50	2.5Y5/2	暗灰黄色				
161	0808	67	B3	SK1104	上層	中世土師器	皿	10.50	1.50		0.50	10YR6/2	灰黄褐色			13C～14C	
161	0809	67	B3	SK1104	①	中世土師器	皿	8.00	1.20		0.60	10YR8/2	灰白色			14C～15C	
161	0810	67	B3	SK1104	①	中世土師器	皿	8.00	1.10		0.60	10YR8/3	浅黄橙色				
161	0811	67	B3	SK1104	上層	中世土師器	皿	8.40	0.90		0.50	10YR7/3	にぶい黄橙色			13C～14C	
161	0812	65	B3	SK1104	①	中世土師器	皿	8.40	1.50		0.50	10YR8/3	浅黄橙色				
161	0813	67	B3	SK1104	上層	中世土師器	皿	8.20	1.30		0.50	10YR8/4	浅黄橙色			13C～14C	
161	0814	65	B3	SK1104		中世土師器	皿	8.00	1.50		0.50	2.5Y8/3	淡黄色			14C～15C前	
161	0815	67	B3	SK1104	⑩	中世土師器	皿	8.60			0.40	10YR8/2	灰白色			13C～14C	
161	0816	66	B3	SK1104		中世土師器	皿	9.30	1.60		0.50	10YR7/3	にぶい黄橙色				外面煤付着
161	0817	67	B3	SK1104		中世土師器	皿	8.60	1.60		0.60	10YR7/2	にぶい黄橙色				
161	0818	67	B3	SK1104		中世土師器	皿	9.40	1.50		0.50	10YR8/3	浅黄橙色			13C～14C	
161	0819	65	B3	SK1104	①	中世土師器	皿	9.00	1.70		0.50	10YR8/3	浅黄橙色				
161	0820	68	B3	SK1104	①	中世土師器	皿	9.80	1.80		0.40	7.5YR8/4	浅黄橙色			13C～14C	
161	0821	68	B3	SK1104	②	中世土師器	小皿	8.40	1.60		0.40	10YR7/2	にぶい黄橙色				
161	0822	66	B3	SK1104	②	中世土師器	皿	10.00	1.70		0.50	10YR7/3	にぶい黄橙色				内面煤付着
161	0823	68	B3	SK1104	①	中世土師器	皿	7.00	1.00		0.40	10YR7/4	にぶい黄橙色				
161	0824	68	B3	SK1104		中世土師器	皿	8.00			0.60	10YR8/3	浅黄橙色				
161	0825	65	B2	SK1104	①	中世土師器	皿	8.60	1.00		0.60	10YR8/3	浅黄橙色				完形
161	0826	66	B3	SK1104		中世土師器	皿	8.00	1.00		0.50	2.5Y8/2	灰白色				
161	0827	68	B3	SK1104	①	中世土師器	皿	8.00	1.20		0.50	10YR8/3	浅黄橙色			14C～15C	
161	0828	65	B3	SK1104		中世土師器	皿	7.60	1.60		0.70	7.5YR6/6	橙色				
161	0829	65	B3	SK1104		中世土師器	皿	8.00	1.20		0.70	10YR5/1	褐灰色			14C～15C後	内外面煤付着
161	0830	65	B3	SK1104		中世土師器	皿	8.00	1.40		0.70	7.5YR8/3	浅黄橙色				
161	0831	68	B3	SK1104	①	中世土師器	小皿	7.20	1.70		0.50	10YR6/2	灰黄褐色				
161	0832	68	B3	SK1104	②	中世土師器	皿	8.00	1.60		0.60	2.5Y7/3	浅黄色				
161	0833	65	B3	SK1104		中世土師器	皿	8.00	1.60		0.60	10YR7/4	にぶい黄橙色				[illegible]　煤付着
161	0834	68	B3	SK1104	①	中世土師器	小皿	7.80			0.30	10YR7/3	にぶい黄橙色				内面煤付着
161	0835	68	B3	SK1104	X54Y108	中世土師器	小皿	8.40	1.80		0.40	7.5YR8/4	浅黄橙色				
161	0836	68	B3	SK1104	X57Y170	中世土師器	小皿	8.40	1.70		0.40	7.5YR7/4	にぶい橙色				
161	0837	68	B3	SK1104	①	中世土師器	小皿	8.00	1.30		0.40	10YR5/2	灰黄褐色				
161	0838	68	B3	SK1104	①	中世土師器	小皿	8.40	1.50		0.40	10YR7/3	にぶい黄橙色				内面煤付着
161	0839	68	B3	SK1104	①	中世土師器	皿	8.60	1.50		0.30	2.5Y7/3	浅黄色				

第11表　土器・陶磁器一覧（11）

挿図	挿図番号	図版	地区	遺構番号	出土地点	種類	器種	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	器厚(cm)	色調		釉調	時期	備考
161	0840	68	B3	SK1104		中世土師器	皿	8.10	1.30		0.40	10YR7/3	にぶい黄橙色			
161	0841	68	B3	SK1104	[illegible]	中世土師器	皿	8.00	1.30		0.50	10YR8/3	浅黄橙色			
161	0842	68	B3	SK1104	[illegible]	中世土師器	皿	8.00			0.40	7.5YR7/4	にぶい橙色			
161	0843	68	B3	SK1104	[illegible]	中世土師器	皿	8.00	1.20		0.50	10YR7/4	にぶい黄橙色		14C~15C	内外面煤付着
161	0844	68	B3	SK1104		中世土師器	皿	8.50	1.20		0.30	7.5YR6/6	橙色		13C~13C	
161	0845	68	B3	SK1104		中世土師器	皿	8.20	1.50		0.40	2.5Y7/2	灰黄色		14C	
161	0846	68	B3	SK1104	[illegible]	中世土師器	皿	8.00			0.40	2.5Y7/2	灰黄色			外面煤付着
161	0847	68	B3	SK1104	[illegible]	中世土師器	皿	8.20	1.20		0.40	10YR8/3	浅黄橙色			
161	0848	68	B3	SK1104	上層	中世土師器	皿	9.30	2.00	6.00	0.30	7.5YR7/4	にぶい橙色		13C~14C	
161	0849	68	B3	SK1104		中世土師器	皿	7.00	1.30		0.50	10YR8/3	浅黄橙色			
161	0850	68	B3	SK1104	[illegible]	中世土師器	皿	9.40	1.20		0.60	10YR8/4	浅黄橙色			
161	0851	68	B3	SK1104		中世土師器	皿	10.40			0.30	2.5Y8/2	灰白色		13C~14C	
161	0852	68	B3	SK1104	[illegible]	中世土師器	皿	11.00	2.40		0.30	2.5Y7/2	灰黄色		14C~15C後	
161	0853	68	B3	SK1104		中世土師器	皿	11.40	2.30		4.50	7.5YR7/6	橙色			
161	0854	68	B3	SK1104	[illegible]	中世土師器	皿	12.00	2.70		0.50	7.5YR6/1	褐灰色		14C~15C	内外面煤付着
161	0855	68	B3	SK1104	[illegible]	中世土師器	皿	12.00			0.50	5YR7/2	明褐灰色		14C	
161	0856	68	B3	SK1104	[illegible]	中世土師器	皿	12.00			0.60	10YR7/2	にぶい黄橙色			
161	0857	68	B3	SK1104		中世土師器	皿	11.60			0.50	7.5YR7/3	にぶい橙色		12C~13C	
161	0858	68	B3	SK1104		中世土師器	皿	13.30			0.70	10YR7/2	にぶい黄橙色		15C~16C	内面ハケ残る
161	0859	68	B3	SK1104		中世土師器	皿	10.70			0.60	10YR6/1	褐灰色		14C~15C	
161	0860	68	B3	SK1104	[illegible]	中世土師器	皿	11.00			0.80	10YR7/4	にぶい黄橙色		15C	
161	0861	68	B3	SK1104	[illegible]	中世土師器	皿	13.20			0.60	2.5Y8/2	灰白色		12C~13C	
161	0862	68	B3	SK1104	[illegible]	中世土師器	皿	12.90			0.70	10YR7/3	にぶい黄橙色		15C	
161	0863	68	B3	SK1104		中世土師器	皿	13.00			0.50	2.5Y8/2	灰白色			
161	0864	68	B3	SK1104	[illegible]	中世土師器	皿	11.00			0.30	10YR7/3	にぶい黄橙色			内外面煤付着
161	0865	68	B3	SK1104	[illegible]	中世土師器	皿	13.20	2.70		0.30	10YR7/3	にぶい橙色			
161	0866	68	B3	SK1104	[illegible]	中世土師器	皿	11.60	2.30		0.40	10YR7/3	にぶい黄橙色		14C~16C	
161	0867	68	B3	SK1104	[illegible]	中世土師器	皿	12.00			0.40	7.5YR7/4	にぶい橙色			
161	0868	68	B3	SK1104		中世土師器	皿	12.40			0.60	10YR4/2	灰黄褐色		14C~15C	内外面煤付着
161	0869	68	B3	SK1104	[illegible]	中世土師器	大皿	12.80			0.50	2.5Y8/2	灰白色			
161	0870	68	B3	SK1104		中世土師器	皿	12.60	3.30		0.30	7.5YR7/3	にぶい橙色		14C~15C後	外面煤付着
161	0871	68	B3	SK1104	[illegible]	中世土師器	皿	13.00	2.70		0.30	10YR8/4	浅黄橙色		14C~15C後	
161	0872	68	B3	SK1104	[illegible]	中世土師器	皿	13.40	2.80		0.60	5YR7/4	にぶい橙色		14C~15C後	
161	0873	68	B3	SK1104	[illegible]	中世土師器	皿	16.00	3.00		0.50	7.5YR7/4	にぶい橙色		13C~14C	
161	0874	68	B3	SK1104		中世土師器	皿	14.00	1.90		0.60	10YR7/2	にぶい黄橙色			外面煤付着
161	0875	68	B3	SK1104	[illegible]	中世土師器	皿	12.40	2.00		0.40	10YR7/4	黄橙色		15C~16C	
161	0876	68	B3	SK1104	[illegible]	中世土師器	皿	14.00	2.30		0.30	2.5Y8/3	淡黄色		15C末~16C前	
161	0877	68	B3	SK1104	[illegible]	中世土師器	大皿	14.00			0.40	10YR7/3	にぶい黄橙色			
161	0878	68	B3	SK1104		中世土師器	皿	14.50			0.60	10YR8/2	灰白色		15C~16C	
161	0879	68	B3	SK1104	[illegible]	中世土師器	皿	14.00			0.60	2.5Y7/2	灰黄色			
161	0880	68	B3	SK1104	[illegible]	中世土師器	大皿	12.40	2.20		0.80	10YR7/3	にぶい黄橙色			
161	0881	68	B3	SK1104		中世土師器	皿	12.40			0.70	10YR7/3	にぶい黄橙色		15C~16C	
161	0882	66	B3	SK1104		中国白磁	合子(蓋)		1.80		0.30	5Y8/1	灰白色	5Y7/1 灰白色		
161	0883	66	B3	SK1104		中国青磁	碗				0.50	10Y8/1	灰白色	10GY7/1 明緑灰色		[illegible]
161	0884	66	B3	SK1104		中国青磁	碗				0.30	7.5Y6/1	灰色	7.5Y6/2 灰オリーブ色		[illegible]
161	0885	66	B3	SK1104		須恵器	[illegible]	18.00			1.30	N5/0	灰色			底部外面に4本の突線(... [illegible])
161	0886	66	B3	SK1104·SK1309		須恵器	[illegible]	19.70	8.10	9.00	1.60	5B6/1	青灰色		古墳	[illegible]
161	0887	66	B3	SK1104	X54Y170	須恵器	[illegible]	28.40			0.80	N4/0	灰色			SD704と接合
161	0888	66	B3	SK1104	[illegible]	須恵器	[illegible]	30.00	14.50	11.80	2.50	5Y6/1	灰色		古墳	[illegible]には炭化物が付着
161	0889	68	B3	SK1104			土錘					10YR6/4	にぶい黄橙色			幅1.6cm　孔径0.4cm
162	0890	69	B3	SE1209	井戸枠内から	中世土師器	皿	12.40			0.40	10YR8/3	浅黄橙色			
162	0891	69	B3	SE1209		中世土師器	皿	13.00			0.40	10YR8/3	浅黄橙色		12C~13C	
162	0892	69	B3	SE1209		中世土師器	大皿	12.30	2.20		0.60	2.5Y7/2	灰黄色			
162	0893	67	B3	SE1209		中世土師器	皿	8.00	1.30		0.40	7.5YR8/4	浅黄橙色			
162	0894	69	B3	SE1209	井戸枠内から	中世土師器	皿	9.80	1.10		0.60	10YR8/3	浅黄橙色			
162	0895	69	B3	SE1209		中世土師器	皿	8.00	1.20	6.80	0.80	2.5Y7/2	灰黄色		12C~13C	[illegible]
162	0896	69	B3	SE1209		中世土師器	[illegible]	8.00	1.40	4.80	0.30	7.5YR7/6	橙色		13C~13C	外面煤付着　[illegible]
162	0897	66	B3	SK1209	X54Y161	中国青磁	碗	15.00			0.30	7.5Y7/1	灰白色	2.5GY6/1 緑灰色		
162	0898	66	B3	SE1209	X55Y160	中国青磁	碗	16.00			0.50	N7/0	灰白色	2.5GY5/1 オリーブ灰色		
162	0899	63	B3	SE1209		須恵器	坏			8.30	1.00	5Y6/1	灰色			[illegible]
162	0900	65	B3	SE1209		須恵器	[illegible]	27.20			1.20	5PB5/1	青灰色			
162	0901	65	B3	SE1209	井戸枠内	須恵器	鉢	31.00			1.20	2.5Y5/1	黄灰色			
162	0902	66	B3	SE1209·SK1159	X55Y156上層	須恵器	[illegible]			13.40	2.50	10YR5/2	灰黄褐色			井戸枠内に崩落していた石にはさまって出土(出土状況写真)
162	0903	69	B3	SE1208			土錘					10YR7/4	にぶい黄橙色			長6.0cm　幅13cm　孔径1.1cm　重量67.33g
162	0904	65	B3	SE1208		[illegible]	[illegible]	34.30			1.20	7.5Y6/1	灰色			[illegible]
162	0905	69	B3	SE1696		中世土師器	皿	8.00			0.70	5YR6/6	橙色			
162	0906	67	B3	SE1696		中世土師器	皿	7.80	1.60		0.50	10YR7/4	黄橙色		14C~15C前	
162	0907	69	B3	SE1696		中世土師器	皿	8.40	1.50		0.50	2.5Y7/3	浅黄色		15C中~16C前	
162	0908	69	B3	SE1696		中世土師器	皿	8.60	1.60		0.50	10YR7/2	にぶい黄橙色		16C~	
162	0909	69	B3	SE1306		中世土師器	皿	10.50			0.40	2.5Y8/2	灰白色		16C~	
162	0910	69	B3	SE1304		中世土師器	大皿	14.00			0.50	7.5YR8/4	浅黄橙色			脚台付の可能性有り
162	0911	65	B3	SE1304		須恵器	[illegible]	23.40			0.80	N6/0	灰色			左口部分　SK171と接合
162	0912	65	B3	SE1304		須恵器	甕	24.00			1.20	2.5Y5/1	黄灰色			[illegible]
162	0913	69	B3	SE1305		中世土師器	小皿	8.00	1.40		0.50	7.5YR7/6	橙色			口縁端部煤付着
162	0914	69	B3	SK1779		中世土師器	皿	12.00			0.90	2.5YR7/6	橙色			
162	0915	69	B3	SD1102	X45Y173上層	中世土師器	皿	8.00	1.60		0.50	10YR7/3	にぶい黄橙色			
162	0916	69	B3	SD1102	上層	中世土師器	皿	11.00			0.60	2.5YR5/6	明赤褐色		14C~15C後	
162	0917	66	B3	SD1102		中国青磁	碗	17.00			0.30	10Y7/1	灰白色	10Y6/1 灰色		鎬蓮弁文青磁
162	0918	65	B3	SD1102	X50Y173	須恵器	壺				1.20	2.5Y5/1	黄灰色			